COMAND

Mercedes-Benz

マーク

この取扱説明書では、以下のマークを使用しています。

⚠ **警告**

警告項目は、お客様ご自身やお車に同乗の方々の健康を脅かすような危険への注意を喚起するものです。

環境に関する注意

環境に関する注意は、環境を意識した行動や廃棄についての情報を提供しています。

! 車両の損傷につながる危険を喚起する、機材の損傷に関する注意です。

i これらのマークは、お客様の助けになるような、便利な操作方法や詳細情報を示しています。

▶	このマークは、お客様に従っていただきたい操作を示しています。
▶	連続しているマークは、いくつかのステップがある操作を示しています。
(▷ ページ)	このマークは、項目についての詳細情報がある場所を示しています。
▷▷	このマークは次のページに続く警告または操作を示しています。
画面設定	この表記は、マルチファンクションディスプレイ / COMAND ディスプレイのメッセージを示しています。

メルセデス・ベンツをお買い上げいただきありがとうございます

運転される前に、この COMAND システムの取扱説明書を注意深くお読みいただき、その内容についてのご理解を深めてください。

お客様自身と周りの人々を危険から守り、COMAND システムを最大限に楽しんでいただくことを可能にします。

COMAND システムの装備や製品名称はオプション装備によって異なる場合があります。

メルセデス･ベンツは、車両を最先端にする改良を絶えず行なっています。

そのため、デザイン、装備などが予告なく変更されることがあり、この取扱説明書に含まれる記述やイラストと異なる場合があります。

不明点があるときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

取扱説明書とすべての補足版は車両の一部ですので、常に車両に搭載してください。また車両をお譲りになる場合は、必ず取扱説明書を次のオーナーにお渡しください。

Daimler AG の技術文献チームは、お客様が安全で楽しい運転ができることを望んでいます。

メルセデス・ベンツ日本株式会社

1725842881

さくいん 4
使用に関する安全 12
各部の名称 15
システムの設定 33
車両機能 41
ナビ 49
電話 141
オンライン/インターネット 173
オーディオ 213
TV/映像 257
リアエンターテインメント 285

あ

明るさの調整(テレビ、ビデオ) ... 258
アクセスデータのリスト
新しいプロバイダー 179
アクティブパーティション(USB機器のみ)
選択する 227
アドレス帳
閲覧 164
項目を削除する 165
住所をダウンロードする 169
登録データの詳細 165
登録データを検索する 164
登録データを作成する 165
登録データを変更する 166
はじめに 163
発信する 167
呼び出す 164
ルート案内を開始する 168
安全上の注意
電話の使用 142
CD/DVD オーディオおよびMP3 モード 217
DVD ビデオモード 273
一時停止機能
オーディオモード(CD、DVD、MP3) 221
DVD ビデオ 276
色合いの調整(テレビ、ビデオ) ... 258
インターネット
アクセスデータの選択/設定 .. 176
アクセスの必須条件 174
お気に入りの管理 208
お気に入りの選択 203
お気に入りメニュー 209
お気に入りを作成する 208
お気に入りを開く 206
カルーセルビュー(マルチウインドウ)を呼び出す 202
メニュー機能 205
URL を入力する 202
インタフェース(USB、iPod®)
参照 メディアインターフェース
ウェブサイト
お気に入りに追加する 206
オーディオ
ラジオモード 214
オーディオスイッチ
音楽 CD/DVD オーディオまたは MP3 モードをオンにする 219
オーディオフォーマットの設定
リアエンターテインメントシステム 312
DVD オーディオ 226
DVD ビデオ 278
お気に入り (インターネット)
.... 208
お気に入りスイッチ 37
オプションの選択(COMAND Online)
天気表示 197
メニューの呼び出し 196
ローカル検索 197
音楽ファイル
インポート 235
音楽 CD/DVD オーディオまたはMP3 モード
切り替える(リアエンターテインメントシステム) 298
音質調整
バランスとフェーダー 26
音声認識機能
設定 35
オンラインとインターネットの機能
携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定 179
携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの選択 177
接続の確立 185
接続の確立/終了 184
ダウンロード用 ID を指定する 199
調整のリセット 200
メルセデス・ベンツ・モバイルウェブサイト 201
メルセデス・ベンツの追加アプリケーション 201
目的地のダウンロードの設定オプション 199
音量の設定
電話の通話 25
ビデオ AUX 280

音量の調整
ナビの音声案内 25
COMAND システム 25

か

画像の設定(テレビ、ビデオ) 258
画像ビューワー
画像の表示 281
はじめに 281
カテゴリーリスト(ミュージックサーチ)
.... 230
画面
リモコン操作で選択 288
機能の制限
DVD ビデオモード 274
緊急警告システム 273
クリアスイッチ 23
携帯電話
外部認証 147
接続する (Bluetooth® インターフェース) 144
登録する (認証する) 145
認証 145
認証を解除する 148
携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータ
項目の作成 179
削除 183
選択する 177
編集 182
携帯電話のネットワークプロバイダーのリスト
空欄 176
選択したプロバイダー 177
呼び出す 176
言語の設定
リアエンターテインメントシステム 312
COMAND システム 36
高音の調整(サウンド) 26
工場出荷時の設定(リセット機能) 39
後席用ディスプレイ
.... 287
コピープロテクト(CD/DVD) 229
コントラストの調整(テレビ、ビデオ) 258
コンパス機能 122

さ

再生オプション
オーディオモード(CD、DVD、MP3) 227
サウンド
オン/オフを切り替える 24
サウンドの設定
サウンドメニューの呼び出し 25
サラウンドサウンド 26
サウンドの設定の調整
高音と低音 26
バランス 26
サウンドメニュー 25
サウンドモード 28
削除
履歴 161
サラウンドサウンド 26
サラウンドサウンド(harman/kardon®サウンドシステム)
切り替える 27
注意事項 26
シート
シート機能(COMAND Online) 44
調整の選択(COMAND Online) 45
調整のリセット 48
バランス(シートヒーター) 47
マッサージ機能 47
アクティブマルチコントロールシートバック 45
ランバーサポートの調整(COMAND システム) 45
時刻
形式の設定 35
時刻/日付の形式の設定 35
時刻の設定 34
設定 35
システム設定
音声認識機能 (音声認識) 35
言語 36
時刻 34
日付 34
Bluetooth® 36

自宅住所
入力と登録 54
自動保存 216
渋滞などを迂回する機能 78
周波数
ラジオ放送局を設定する 215
周波数バンドの切り替え (ラジオ) 215
推奨車線
.... 71
設定
画像(COMAND システム) 258
メニュー概要 18
専用狭域通信(DSRC)
設定 129
ディスプレイの優先順位 130
表示例 130
役立つ情報 129
DSRC のバージョン 131
全ルート図 62

た

短縮ダイアルリスト
電話帳項目を保存する 162
地図(ナビ)
移動 116
縮尺の調整 115
スクロール 67
地図の設定 53
地図表示の選択 117
注意事項 115
地図外
.... 74
チャンネルの記憶
テレビ 265
チャンネルの選択
テレビ 264
調整
サウンドの設定 25
通過点
入力 64
通話
参照 電話
受信/終了/拒否 150
接続する 151
低音の設定 26
停止機能
DVD オーディオ 221
DVD ビデオ 276
ディスク
オーディオ DVD 228
CD/DVD 229
ディスプレイ
デザインの設定 34
テレビ
以下のサービス 266
映像の自動非表示 258
オーディオ設定 266
音声言語、字幕およびテロップの選択 272
オンにする 260
画像の設定 258
緊急警告システム 273
現在の番組 267
サウンドの設定(バランス、低音、高音) 25
受信感度 259
その他の機能 270
チャンネル検索 262
チャンネルの記憶(リアエンターテインメント) 304
チャンネルの記憶(COMAND システム) 265
チャンネルの設定(リアエンターテインメント) 304
チャンネルの設定(COMAND システム) 264
データの受信 268
ナビゲーションメニューを表示/非表示にする 261
番組情報マーク 262
番組予告 267
放送メール 271
メニューの表示/非表示 262
B-CAS カード 260
天気図 (COMAND Online)
天気情報の表示に切り替える 194
凡例 195
メニューの表示/非表示 194
天気表示(COMAND Online)
オフにする 191
オンにする 191
情報チャート 191

情報チャートでの場所の選択 192
天気図での場所の選択 194
天気図を呼び出す 194
場所を選択する 192

電話
参照 Bluetooth®
安全上の注意事項 142
外部認証 (Bluetooth®) 147
機能の概要 152
機能の制限 142
携帯電話の認証の解除 148
携帯電話の接続(全般的な情報) 144
受話音量と発話音量 149
全体的な注意事項 142
操作オプション 142
単一の通話 152
短縮ダイアルによる通話 151
着信 150
通話音量の調整 25
通話の受信/終了 150
通話する(発信) 150
通話の拒否 150
電話の使用 150
電話番号を入力する 151
番号の入力 150
ハンズフリーのマイクのオン / オフを切り替える 152
保留している通話を拒否する、または受ける 153

電話基本メニュー
Bluetooth® 接続 149

電話帳
新しい項目を作成する 158
アドレス帳の項目に番号を追加する 158
項目の検索 156
項目の削除 157
マークの概要 156
呼び出す 155

電話番号
入力する 150

データキャリア
ミュージックレジスター 234
MP3 228

道路外
.... 74

トラック
選択(CD、DVD、MP3) 223
テンキーで選択 223

トラック情報
.... 302

トラックとアルバムを表示する
.... 226

な

ナビ
アドレス帳から選択する 103
安全上の注意 50
以前の目的地を検索する 101
音声案内のオン/オフの切り替え 73
音声案内の繰り返し 73
ガソリンスタンド 53
観光案内から選択する 106
基本設定 53
切り替える 52
コンパス機能 122
施設の検索 86
自宅住所の入力/登録 54
住所検索 85
周辺の施設の検索 88
推奨車線 71
全体的な注意 50
全ルート図 62
立寄地点の選択/選択解除 105
地図から目的地を検索する 109
地図から目的地を設定する 59
注意事項 50
電話番号を使用して検索する 90
道路外/地図外 (オフロードの目的地) 74
特別なナビのメッセージのオン/オフの切り替え 83
ナビの音声案内の音量を調整する 25
燃料が少なくなったことを示す表示 62
別ルート 79
メニューの表示/非表示 52
メモリ地点 109
メモリ地点を検索する 101
目的地検索 84

目的地のダウンロード 188
目的地のダウンロードの設定
オプション 199
目的地を入力する 54
文字の入力(文字バー) 30
郵便番号を使用して検索す
る 99
ルート案内 68
ルート条件の選択 68
ルートを選択する 104
50 音パネルを使用しての検
索 92
ETC 131
GPS 受信 50
VICS 123
ナビの音声案内
停止 25
燃料
消費量表示 42

は

早送り
DVD ビデオ 275
早戻し
DVD ビデオ 275
バランスの調整 26
番号のダイアル(電話) 150
ハンズフリーのマイクのオン/オフを切り替える 152
日付の形式の設定 35
ビデオ
参照 DVD ビデオ
ビデオ AUX
画像の設定 258
ビデオ DVD
リアエンターテインメントシステム 307
表示灯
リモコン 291
表示例
オーディオ CD モード 220
ミュージックレジスター 234
昼画面設定 34
ヘッドホン
電池の交換 292
放送局サーチ 215
放送局の選択
ラジオ 215
放送局プリセット 215
放送局を記憶させる
ラジオ 216

ま

マイク、オンオフの切り替え 152
マルチコントロールシートバック 45
マルチセッション CD 228
マルチファンクションステアリング
音量の調整 25
ミュージックサーチ
.... 230
ミュージックレジスター
オンにする 234
個々の音楽ファイルの削除 238
再生オプション 238
すべての音楽ファイルの削除 236
全体的な注意事項 234
メモリー容量 237
メディアインターフェース
アルファベット順のトラック選択 252
音楽ファイルの選択 249
外部オーディオソースへの接続 247
外部ビデオソースの接続 279
カテゴリーを選択する 250
起動 248
基本メニュー 249
再生オプション 252
接続オプション 247
フォルダの選択 250
プレイリストの選択 250
モード 247
iPod® 247
MP3 プレイヤー 247
MP3 プレーヤーの注意 253
USB 機器 247
メディアリスト
.... 222
メモリ地点
アドレス帳へのエクスポート 114

並び替え 113
保存 109
メモリー 110

目的地(ナビ)
自宅住所から選択する 56
自宅住所の入力/登録 54
自宅住所を削除する 56
前回の目的地のリストからの選択 101
地図を使用して目的地を入力する 59
目的地プリセットから削除する 58
目的地プリセットからの選択 58
目的地プリセット 1-3 の入力/登録 57

文字
削除する 31
入力(ナビ) 30

文字放送
テレビ(リアエンターテインメントシステム) 306

や

夜画面設定 34

ら

ラジオ
概要 214
切り替える 214
交通情報 217
サウンドの設定(バランス、低音、高音) 25
周波数バンドの切り替え 215
放送局のメモリ 215
放送局を記憶させる 216

ランバーサポート
調整(COMAND システム) 45

リアエンターテインメントシステム
明るさの調整 295
色合いの調整 295
画質の設定 294
画面の表示形式を変更する 295
コードレスヘッドホン 290
コントラストの調整 295
サウンド設定の調整 294
システム設定 295
テレビモード 302
電池の交換 292
データの受信を設定する 306
ヘッドホンで操作する 293
マルチユーザー 294
メインスピーカーの使用 293
AUX モード 315
CD/DVD オーディオおよびMP3 モード 296
COMAND システムのソースの作動 313
DVD ビデオ 307

リセット(工場出荷時の設定) 39
リセット機能 39
リターンスイッチ 23
リダイアル(電話) 151

リモコン
スイッチ照明 288
リアエンターテインメントシステム 287

履歴
アドレス帳にデータを保存する 160
詳細を表示する 160
履歴項目を表示し、選択する 159

ルート(ナビ)
交通統計を使用してのルート検索 83
削除 61

ルート案内
継続 78
全体的な注意事項 69
追加メッセージ 69
道路外 74

ルート情報を表示する 80

連絡先
削除する 171

英字

AUDIO スイッチ
ミュージックレジスターへの切り替え 234

AUX(オーディオ)
切り替える 254
注意/ソケット 253

AUX(ビデオ)
- 音量とサウンドの設定 280
- 外部ビデオソースの接続 279
- 切り替える 280
- メニューの表示/非表示 280

AUX 端子
- CD/DVD ドライブ 289

B-CAS カード
- 情報 260
- 情報の表示 271

Bluetooth®
- インターフェース 142
- オーディオ機器の再接続 242
- オーディオ機器の接続 239
- オーディオモードの作動 243
- 外部認証 147
- 携帯電話 143
- 携帯電話の検索 144
- 作動/解除 36
- 条件(電話) 143
- 設定 36
- 全般的な情報 36
- デバイスリスト 240
- 電話機能に関する注意 142
- 電話基本メニュー 149
- はじめに 142
- パスコードの入力 145
- 他の携帯電話との接続 147

Bluetooth®オーディオ基本画面 244

CD
- 安全上の注意 217
- 一時停止機能 221
- コピープロテクト 229
- コンパクトディスクに関する注意事項 229
- サウンドの設定(バランス、低音、高音) 25
- 全般的な情報 229
- 挿入 218
- 挿入/読み込み(リアエンターテインメントシステム) 297
- トラックの選択 223
- 取り出し/排出(リアエンターテインメントシステム) 297
- 早送り/早戻し 224
- マルチセッション 228
- メディアの種類の選択 222
- モード、切り替える 219

CD/DVD
- 挿入 218
- 取り出し 218

CD モード
- 再生オプション 227

COMAND Online
- アクティブマルチコントロールシートバック 45
- オン/オフの切り替え 24
- 基本機能 24
- シート機能 44
- 施設をインポートする 190
- 設定 210
- 操作の例 22
- ディスプレイ 16
- マルチコントロールシートバック 45

COMAND Online とインターネット
- 参照 オンラインとインターネットの機能

COMAND 画像形式の変更(テレビ、ビデオ) 258

COMAND コントローラー 22

COMAND コントローラーのスイッチ 22

COMAND コントロールパネル 20

COMAND システム
- オーディオとビデオのスイッチ 23
- 走行状況調整機能を呼び出す(ABC) 44
- メニュー概要 18

COMAND ディスプレイ
- オン/オフを切り替える 19
- 設定 34
- 手入れの説明 19

Dolby®Digital 26

DVD
- コピープロテクト 229
- サウンドの設定(バランス、低音、高音) 25
- 挿入 218
- 挿入/読み込み(リアエンターテインメントシステム) 297
- ディスクに関する注意事項 229
- トラックを選択する 223

取り出し/排出(リアエンターテインメントシステム) 297
早送り/早戻し 224
メディアの種類の選択 222
DVD オーディオ
安全上の注意 217
一時停止 221
オーディオフォーマットの設定 226
再生オプション 227
停止機能 221
モード、切り替える 219
DVD ビデオ
安全上の注意 273
一時停止機能 276
インターアクティブコンテンツ 279
映像/タイトルの選択 277
映像の自動非表示 258
オーディオフォーマットの設定 278
画像の設定 258
機能の制限 274
切り替える 274
言語の設定 278
再生条件 274
シーン/チャプターを選択する 276
字幕 278
操作 273
ディスクに関する注意 273
ナビゲーションメニューの表示/非表示 275
早送り/早戻し 275
メニューの表示/非表示 275
DVD メニュー 277
ETC
スマート IC ゲート 133
設定 132
注意点 131
履歴 133
Google™ ローカル検索
キーワード検索 185
検索位置の選択 186
検索履歴 188
通常検索 187
目的地/ルートをインポートする 187
目的地として使用する 187
GPS の受信 50
Gracenote® Media Database
.... 225
Harman/Kardon® Logic 7® サウンドシステム
参照 サラウンドサウンド(harman/kardon®サウンドシステム)
iPod®
アルファベット順のトラック選択 252
カテゴリー／プレイリストの選択 250
メディアインターフェースに接続する 247
iTunes®
.... 252
MP3
安全上の注意 217
一時停止機能 221
再生オプション 227
サウンドの設定(バランス、低音、高音) 25
注意事項 228
著作権 229
データキャリア 228
トラックの選択 223
早送り/早戻し 224
ビット/サンプリングレート .. 229
ファイルシステム 228
フォーマット 229
メディアの種類の選択 222
モード、切り替える 219
SD メモリーカード
挿入 218
排出 219
True Image™ 28
USB
参照 メディアインターフェース
USB 機器を接続する
.... 219
vCard の受信 170
VICS 123

重要な安全上の注意

⚠ **警告**

常に交通状況に注意してください。

道路や交通状況が許す場合のみ、COMAND システムや電話を使用してください。

50km/h の速度でも、車両は 1 秒間に約 14 m の距離を走行するということを念頭に置いてください。ナビゲーションシステムは、一時停止の標識や前方優先道路の標識、交通規則、道路の安全性についての情報を提供するものではありません。車両を運転している場合に、これらのことに注意を払うのは運転者の義務です。車両が停止している場合にのみ、新しい目的地を入力してください。

正しく使用するために

COMAND システムを使用するときは、以下の情報を遵守してください。

- 本説明書の安全に対する注意点
- 道路交通法
- 自動車に関係する法律と安全基準

ℹ 電子部品や、他のシステム（ラジオ、DVD チェンジャー）とそれらのソフトウェアへの不適切な作業は誤作動や故障の原因となります。 電子システムは接続されているため、改造されていないシステムにも影響をあたえるおそれがあります。 電子システムの誤作動によって車両の操作安全性が重大な危険にさらされることがあります。

ℹ ルーフキャリアシステムが使用されている場合、ルーフアンテナ（電話、GPS) の機能が損なわれることがあります。

フロントガラスに後付けの金属製フィルムをつけるとラジオの受信に影響を与えたり、車内の他のすべてのアンテナ（例：緊急アンテナ）に悪影響を与えるおそれがあります。

ℹ 電子部品の作業や変更はメルセデス・ベンツ指定サービス工場でのみ行なってください。 メルセデス・ベンツ指定サービス工場では、整備作業を行なうのに必要な専門知識と専用工具を完備しています。 メルセデス・ベンツではメルセデス・ベンツ指定サービス工場をご利用いただくことをお勧めします。 特に、安全装備や安全にかかわるシステムについての作業は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

メルセデス・ベンツ指定サービス工場

車両の取扱説明書にあるメルセデス・ベンツ指定サービス工場についての情報をお読みください。

著作権の情報

全体的な注意事項

COMAND システムおよびその構成部品で使用されているフリーおよびオープンソースのソフトウェアのライセンスの情報は、ウェブサイトが公開されるとすぐにここ **http://www.mercedes-benz.com/opensource** でご覧になれます。（このリンクは現在のところ有効ではありません）

Macrovision

この製品には、米国の特許や他の知的所有権によって保護された著作権保護技術が取り込まれています。 この著作権保護技術の使用は Rovi Corporation の許可が必要であり、Rovi Corporation による許可がない場合には、家庭および他の制限された閲覧使用にのみ意図されてい

ます。 リバースエンジニアリングや分解は禁じられています。

libJPEG

このソフトウェアは Independent JPEG Group の製品に一部基づいています。

Free Type

本ソフトウェアの一部は © 2005The FreeType Project (www.freetype.org) の著作権です。 All rights reserved. © 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg.

NetFront™

本製品には ACCESS 社の NetFront Browser ソフトウェアが含まれています。著作権 © 1996-2010 ACCESS Co., Ltd. All rights reserved.

NetFront Browser ソフトウェアは、Independent JPEG Group の製品に一部基づいています。

Camellia

著作権 © 2006, 2007 NTT（日本電信電話株式会社）。

All rights reserved.

Camellia の使用に関する利用条件と免責条項は **http://info.isl.ntt.co.jp/crypt/eng/index.html** で入手できます。

Flash® Lite™

本製品にはアドビシステム社による Flash® Lite™技術が含まれています。

本製品にはアドビシステム社からのライセンスの下、Adobe® Flash® player ソフトウェアが含まれています。著作権 © 1995-2010 Adobe Macromedia Software LLC. All rights reserved. Adobe と Flash は米国や他の国のアドビシステム社の登録商標です。

COMAND システムの特徴

この取扱説明書は、お買い上げいただいた時点で利用可能な、COMAND システムの標準装備やオプション装備すべてについて記載しています。 国により、仕様が異なる場合があります。 本書に記載されているすべての機能が、お客様の車両に当てはまらない可能性があることにご留意ください。 このことは、安全に関する装備や機能についても当てはまります。 そのため、記載されている内容やイラストが、お客様の車両の装備と異なる場合があります。 装備や操作について不明点があるときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

機能の制限

安全のために、車両走行中は COMAND システムのいくつかの機能が制限されたり、利用できないことがあります。 このことは、例えば、いくつかのメニュー項目が選択できなかったり、COMAND システムにこの結果に対するメッセージが表示されることで、ご確認いただけます。

各部の名称

COMAND システムの特徴 16
COMAND システムの操作 16
COMAND システムの操作 23
COMAND システムの基本機能 24
文字入力 30

COMAND システムの特徴

本補足版は、印刷時点で利用可能なCOMAND システムのすべての標準装備やオプション装備について記載しています。 国により、仕様が異なる場合があります。 本書に記載されているすべての機能が、お客様の車両に当てはまらない可能性があることにご留意ください。

COMAND システムの操作

概要

① COMAND ディスプレイ(▷ 16 ページ)
② シングル DVD ドライブ付き COMAND コントロールパネル
③ COMAND コントローラー(▷ 22 ページ)

COMAND システムを使用して以下の基本機能が操作できます。

- ナビゲーションシステム
- オーディオ機能
- 電話機能
- ビデオ機能
- システムの設定
- オンラインとインターネット機能
- デジタル版取扱説明書
  (車種により使用可能)

以下のようにして基本機能を呼び出すことができます。

- 対応する機能の選択スイッチを使用する
- COMAND ディスプレイの基本機能バーを使用する

COMAND ディスプレイ

全体的な注意事項

! 収納のためにディスプレイの前のスペースを使用しないでください。 ここに置かれたものにより、ディスプレイを損傷したり、機能が損なわれることがあります。 ディスプレイの表面に直接触れないようにしてください。 ディスプレイの表面にかかる力で、復元できないような損傷をディスプレイに与えるおそれがあります。

偏光サングラスを着用するとディスプレイの視認性が損なわれることがあります。

ディスプレイは温度制御による自動スイッチオフの機能があります。 気温が高すぎると、明るさは自動的に低下します。 必要であれば、画面は一時的に完全にオフになります。

ディスプレイの概要

ラジオの表示例

① ステータスバー

② オーディオメニューの呼び出し

③ 基本機能バー

④ 表示/選択ウインドウ

⑤ ラジオメニューバー

ステータスバー ① は時刻および電話操作の現在の設定を示します。

基本機能のナビ、オーディオ、電話、TV/映像には追加メニューがあります。 これは三角のマーク ② で表示されます。以下の表に利用可能なメニュー項目を記載しています。

基本機能バー ③ で好みの基本機能を呼び出すことができます。 基本機能が作動しているときは、白色の文字によって識別可能です。

例えば、オーディオ基本機能がラジオモードになると表示/選択ウインドウ ④ が表示されます。

ラジオメニューバー ⑤ でラジオ機能の操作ができます。

メニュー概要

ナビ	オーディオ	電話	TV/映像	システム	🌐 マーク
地図表示切替	ラジオ	電話	テレビ	設定メニューを呼び出す	デジタル版取扱説明書を呼び出す (車種により使用可能)
地図表示形式	ディスク	アドレス帳	DVD ビデオ		COMAND Online とインターネットを呼び出す
VICS 表示	メモリーカード		外部入力		
施設マークの表示	ミュージックレジスター				
設定	USB メモリー				
案内の中止/継続	メディアインターフェース				
コンパスを表示する	Bluetooth® オーディオ				
	外部入力				

システムメニュー概要

設定	時刻	消費	シート	ディスプレイオフ
ディスプレイの設定	時刻の設定	燃料消費量表示を呼び出す	運転席/助手席の設定を変更する	ディスプレイのオフ
音声認識	フォーマットの設定			
言語の設定	タイムゾーンの設定			

設定	時刻	消費	シート	ディスプレイオフ
お気に入りスイッチ				
☑Bluetooth®の作動/解除				
データのインポート/エクスポート				
COMAND システムをリセットする				

COMAND ディスプレイのオン/オフを切り替える

▶ SYS 機能スイッチを押します。

または

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ◎ 、基本機能バーで システム を選択し、押して ◎ 確定します。

いずれの場合も、システムメニューが表示されます。

▶ **オフにする：** 画面 OFF を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ **オンにする：** SYS、NAVI のような機能スイッチの 1 つ、またはリターンスイッチ ↩ を押します。

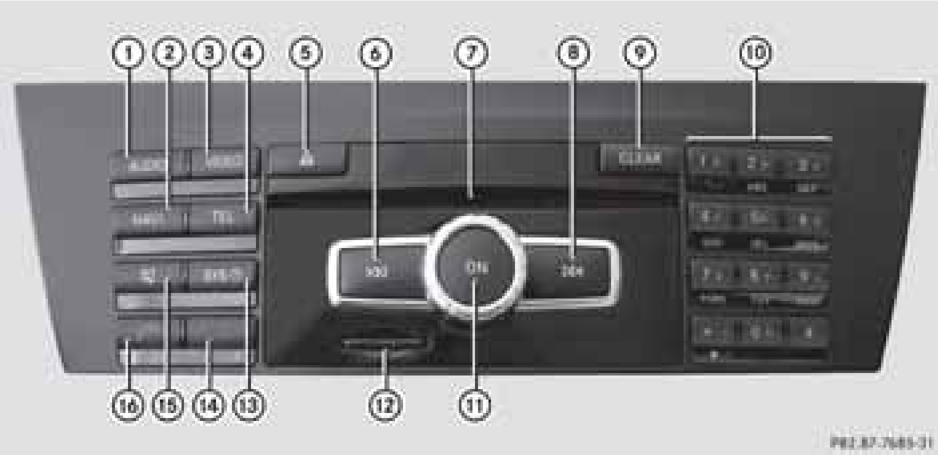
手入れの説明

! COMAND ディスプレイには触れないでください。 ディスプレイはとても繊細な高光沢の表面のため、損傷するおそれがあります。 画面をきれいにする場合には、中性洗剤と柔らかく毛羽の立たない布を使用してください。

清掃を始める前に、ディスプレイの電源を切り、冷ましてください。 必要なときは市販のマイクロファイバーの布やTFT/LCD ディスプレイ用の洗剤でディスプレイ画面を清掃してください。 復元不可能な損傷の原因になるため、清掃するときはディスプレイ表面に力を加えないでください。 そして乾いたマイクロファイバーの布で表面を拭き取ってください。

アルコール性シンナーや、ガソリン、研磨洗浄剤を使用しないでください。 ディスプレイの表面を損傷するおそれがあります。

COMAND コントロールパネル



	機能	ページ
①	最後に選択されていたオーディオモード（例：ラジオモード）に切り替える	214
②	ナビゲーションモードに切り替える	52
	設定メニューを表示する	52
③	最後に選択されていたビデオモード（例：テレビモード）に切り替える	260
④	電話基本メニュー（Bluetooth® インターフェースによる電話機能）を呼び出す	149
	アドレス帳を呼び出す	164
⑤	挿入/排出スイッチ	218
⑥	放送局サーチ機能を使って放送局を選択する	215
	早戻し	224
	前のトラックを選択する	223

	機能	ページ
⑦	ディスクスロット	
	• CD/DVD を挿入する	218
	• CD/DVD を排出する	218
⑧	放送局サーチ機能を使って放送局を選択する	215
	早送り	224
	次のトラックを選択する	223
⑨	クリアスイッチ	
	• 文字を削除する	31
	• 項目を削除する	31

	機能	ページ
⑩	テンキー	
	• 放送局プリセットによって放送局を選択する	215
	• 手動で放送局を登録する	216
	• 携帯電話の認証	145
	• 電話番号の入力	150
	• 文字入力	30
	• メモリーから天気予報の場所を選択する	192
	# 再生されている現在のトラックを表示する	226
	# 文字バーのあるリスト：文字の設定（かな/漢字/アルファベット/カタカナ/数字入力）を切り替える	30
	# 選択リストとしてのリスト：文字の設定	30

	機能	ページ
	（カタカナ/アルファベット）を切り替える	
	* 周波数を手動で入力して放送局を選択する	215
	* トラックを選択する	223
⑪	COMAND システムのオン/オフを切り替える	24
	音量の調整	25
⑫	SD メモリーカードスロット	218
⑬	設定メニューを呼び出す	34
⑭	通話を拒否する	150
	通話を終える	150
	保留中の通話を拒否する	153
⑮	ミュート	24
	ハンズフリーマイクのオン/オフを切り替える	152
	ナビゲーションの音声案内を停止する	25
⑯	通話を受ける	150
	番号をダイアルする	151
	リダイアル	151
	保留中の通話を受ける	153

COMAND コントローラー

概要

① COMAND コントローラー

COMAND コントローラーを使用して COMAND ディスプレイのメニュー項目を選択できます。

以下のことができます。

- メニューまたはリストの呼び出し
- メニューまたはリスト内のスクロール、そして
- メニューまたはリストの終了

操作

例：COMAND コントローラーを操作する

COMAND コントローラーは以下のようなことができます。

- 軽く押す、または押して保持する ◎↓
- 時計回り、または反時計回りにまわす ↺◎↻
- 左右にスライドする ←◎→
- 前後にスライドする ↑◎↓
- 斜めにスライドする ↖◎↗

操作の例

説明では、操作の順番は以下に記載されているようになります。

▶ AUDIO スイッチを押す。

最後に選択されていたオーディオソースがオンになります。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ 、オーディオを選択し、押して ◎↓ 確定します。

オーディオメニューが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ↺◎↻、ミュージックレジスター のように異なるオーディオソースを選択し、押して ◎↓ 確定します。

ミュージックレジスターがオンになります。

COMAND コントローラーのスイッチ

概要

① リターンスイッチ(▷ 23 ページ)
② クリアスイッチ(▷ 23 ページ)
③ シート機能スイッチ(▷ 44 ページ)
④ お気に入りスイッチ(▷ 37 ページ)

ⓘ 車両にシート機能スイッチが装備されていない場合は、2 つのお気に入りスイッチがあります。

リターンスイッチ

リターンスイッチ [↩] を使用して、メニューを終了するか、または現在の操作モードの基本画面を呼び出すことができます。

- ▶ **メニューを終了する：** リターンスイッチ [↩] を軽く押します。
  COMAND システムは現在の操作モードのなかで、一つ上のメニュー階層に切り替わります。
- ▶ **基本画面を呼び出す：** リターンスイッチ [↩] を押して保持します。
  COMAND システムは現在の操作モードの基本表示に切り替わります。

クリアスイッチ

- ▶ **個々の文字を削除する：**クリアスイッチ [c] を軽く押します。
- ▶ **入力全体を削除する：** クリアスイッチ [c] を押して保持します。

シート機能のスイッチ

[シート] スイッチを使用して、以下のシート機能を呼び出すことができます。

- マルチコントロールシートバック（電動ランバーサポート付）
- アクティブマルチコントロールシートバック（ダイナミックシートとマッサージ機能）
- バランス（シートヒーターの配分）

シート機能の詳細 (▷ 44 ページ)。

お気に入りスイッチ

あらかじめ設定した機能をお気に入りスイッチ [＊] に指定し、スイッチを押してそれらを呼び出すことができます (▷ 37 ページ)。

オーディオおよびビデオのスイッチ

[AUDIO] スイッチで、最後に選択していたオーディオソースを呼び出します。

[VIDEO] スイッチで、最後に選択していたビデオソースを呼び出します。

COMAND システムの操作

基本機能を選択する

状況：ナビゲーションモードからシステム設定に切り替える。

- ▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** [NAVI] 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎、基本機能バーに切り替えます。

▶ 基本機能バーで COMAND コントローラーをまわして ◀◎▶、システム を選択し、押して ◎ 確定します。
システムメニューが表示されます。

基本機能のメニューの選択

音楽 CD モードとオーディオメニューの表示例（下記）

ナビゲーション、オーディオ、電話またはビデオの基本機能の 1 つがオンになると、三角 が基本機能バーの項目の隣に表示されます。 そして関連のメニューを選択できます。

例として、音楽 CD モード（音楽 CD が再生されている）からオーディオメニューを呼び出す方法を示します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎、基本機能バーで オーディオ を選択し、押して ◎ 確定します。
オーディオメニューが表示されます。
ドット ● は現在選択されているオーディオモードを示しています。

▶ COMAND コントローラーをまわして ◀◎▶、ラジオ のような他のオーディオモードを選択し、押して ◎ 確定します。
ラジオモードがオンになります。

COMAND システムの基本機能

COMAND システムのオン / オフの切り替え

▶ コントロールノブ ON を押します。
警告メッセージが表示されます。
COMAND システムは以前選択したメニューを呼び出します。

ℹ COMAND システムをオフにすると、現在のオーディオまたはビデオソースの再生もオフになります。

ミュート

オーディオ/ビデオソースからのサウンド

▶ COMAND コントロールパネルまたはマルチファンクションステアリングの 🔇 スイッチを押します。
それぞれのオーディオまたはビデオソースからのサウンドがオンになるか、消音されます。

ℹ 消音されているとき、システムはステータスバーにアイコン 🔇 を表示します。 オーディオまたはビデオソースを変更する、または音量を調整すると、サウンドは再び自動的にオンになります。

ⓘ 消音されていても、ナビシステムの音声案内は行なわれます。

ナビの音声案内のオフ

▶ **ナビの音声案内：** 音声案内中に [🔇] スイッチを押します。

ナビの音声案内を元に戻す

▶ [🔇] スイッチを再度押します。

ナビの音声案内は以下のとき再びオンになります。

- コントロールノブ ⓞⁿ で COMAND システムのオン/オフを切り替える場合
- または新しいルート案内を開始する場合

音量の調整

オーディオまたはビデオソースの音量を調整する

▶ コントロールノブ (ON) をまわします。

または

▶ マルチファンクションステアリングの [+] または [−] スイッチを押します。

現在選択されているオーディオやビデオのソースの音量が変わります。

以下の場合に音量を調整することができます。

- ナビの音声案内
- 電話の通話
- 音声認識システムの音声出力（別冊取扱説明書をご覧ください）

ナビの音声案内の音量を調整する

ナビの音声案内が行なわれているとき

▶ コントロールノブ (ON) をまわします。

または

▶ マルチファンクションステアリングの [+] または [−] スイッチを押します。

電話の通話音量を調整する

通話中にハンズフリーモードの音量を調整することができます。

▶ コントロールノブ (ON) をまわします。

または

▶ マルチファンクションステアリングの [+] または [−] スイッチを押します。

サウンド設定を調整する

サウンドメニューを呼び出す

異なるオーディオやビデオソースのサウンドのさまざまな設定ができます。 例えば、音楽 CD モードよりもラジオモードに、より低音を設定できます。 好みのモードのメニューからそれぞれのサウンドメニューを呼び出すことができます。

音楽 CD モードでサウンドメニューをどのように呼び出すかの例を示します。

▶ AUDIO 機能スイッチを押します。
音楽 CD モードが最後に選択されたモードの場合、音楽 CD モードが作動します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎↓ から、まわして 〔◎〕、サウンド を選択し、押して ◎ 確定します。
音楽 CD モードで高音、低音およびバランスを設定できます。

高音と低音を調整する

低音を調整する

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、サウンドメニューの Treble または Bass を選択し、押して ◎ 確定します。
調整スケールが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、設定を選択し、押して ◎ 確定します。
設定が保存され、メニューが終了します。

バランスとフェーダーを調整する

バランスを設定する

バランス機能は運転席側または助手席側のいずれかのサウンドを大きくするかを制御するために使用します。

フェーダー機能は車両のフロントまたはリアのいずれかのサウンドを大きくするかを制御するために使用します。

車両モデルによってフェーダーを調整することができます。

Bang & Olufsen サウンドシステムの装備： 最良のサウンドを集中させるためには、0 の設定を選択します。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、サウンドメニューで Position（バランス/フェーダー）を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ←◎→、バランスの設定を選択し、押して ◎ 確定します。

サラウンドサウンド

全体的な注意事項

車両には 2 つのサウンドシステムの 1 つが装備されています。

- harman/kardon®Logic 7® サラウンドシステム
  harman/kardon®Logic 7® サラウンドシステムは車内の最適なサラウンド

サウンドを設定します(▷ 27 ページ)。

- Bang & Olufsen サウンドシステム(▷ 28 ページ)

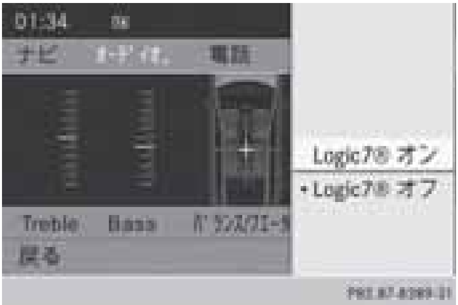
いずれのサウンドシステムも以下の操作モードで使用可能です。

- ラジオ (FM のみ)
- 音楽 CD
- DVD オーディオ (MLP、dts、PCM と Dolby Digital のオーディオフォーマット)
- MP3 (SD メモリーカードと USB 記憶機器を含む)
- メディアインターフェース
- Bluetooth® オーディオの操作
- テレビ
- DVD ビデオ (PCM、dts と Dolby Digital のオーディオフォーマット)
- 外部入力

DVD によってはステレオとマルチチャンネルオーディオの両方のフォーマットが含まれているため、オーディオフォーマットの設定が必要な場合があります(▷ 278 ページ)。

記述したオーディオフォーマットをサポートしているディスクには以下のようなロゴがあります。

harman/kardon®Logic 7® サラウンドシステム



ラジオモードでサラウンドサウンドをどのように設定するかの例を示します。

▶ **サラウンドサウンドのオン/オフを切り替える：** AUDIO 機能スイッチを押します。
最後に選択されていたモードがラジオモードの場合、ラジオ画面が表示されます。 最後に選択した周波数バンドで再生していた最後の放送局が聞こえます。

- COMAND コントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ⟲◎⟳、サウンド を選択し、押して ◎ 確定します。
- サラウンド を選択し、押して ◎ 確定します。
- COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、Logic7® ON または Logic7® OFF を選択し、押して ◎ 確定します。
  選択によって、サラウンドがオンまたはオフになり、メニューが終了します。
- **保存しないでメニューを終了する：** リターンスイッチ [↩] を押すか、COMAND コントローラーをスライドします ⬅◎➡ 。

ℹ 以下のことに注意してください。
Logic7® が作動しているときにすべての乗員が最適なオーディオ体験をするには、バランスを車内の中央に設定しなければなりません。

高品質の音楽や DVD ビデオを再生することにより、最良のサウンドが得られます。

MP3 のトラックのビットレートは少なくとも 128 kbit/s でなくてはなりません。

サラウンド再生は AM ラジオモードのようなモノラル信号のソースでは機能しません。

トンネル内のようにラジオの受信が弱いときは、ステレオとモノラルで切り替わったり、一時的な音の歪みの原因になることがあるため、 Logic 7®をオフにしてください。

ステレオ録音されたもののなかには、通常のステレオ再生とは音の特性が異なることがあります。

ℹ Logic7® ON 機能は、例えば、ステレオ録音されたものを再生するときに、どの乗員もサラウンドサウンドの体験ができます。 MLP、dts または Dolby Digital のようなマルチチャンネルのオーディオフォーマットの CD、DVD オーディオまたは DVD ビデオで音楽や映画を最適に再生することができます。 このようにして、オリジナルの録音時にサウンドエンジニアが意図したようなサウンド特性になります。

ℹ Logic7® OFF を選択すると、許可されたすべてのフォーマットがメディアに登録されて再生されます。 室内空間のデザインのため、乗員すべてに最適なオーディオ体験が保証されているわけではありません。

Bang & Olufsen サウンドシステム

Bang & Olufsen サウンドシステムおよび True Image™ サウンド技術で車両のサウンドを最適にすることができます。 サウンドモード 機能は、車内で選択したサウンドの設定を集中させることができます。

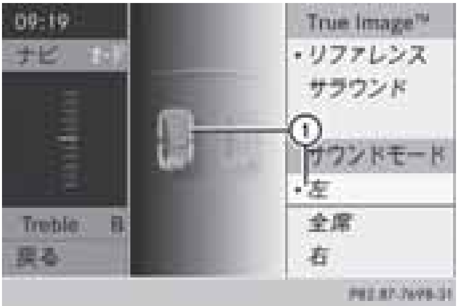
ラジオモードで最適なサウンドをどのように設定するかの例を示します。

True Image™のサウンドの設定の選択

- ▶ AUDIO 機能スイッチを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、サウンド を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ Bang&Olufsen を選択し、押して ◎ 確定します。
  メニューが表示されます。ドット ● は True Image™の現在の設定を示します。
- ▶ リファレンス または サラウンド を選択し、押して ◎ 確定します。

• リファレンス
この設定は車内をスタジオの雰囲気にするためのきびきびとしてクリアで、贅沢なハイエンドのサウンドの設定を提供します。

• サラウンド
この設定によって音楽やビデオの再生で広範囲な音の体験を可能にします。



① サウンド設定の現在位置

音楽を最適に楽しむために、1 つのシートに正確にサウンドイメージを集中することができます。これは、選択した位置で正確に計算されたシステムのすべてのパラメーターで、聞いている体験の中心にいることを意味しています。結果として車内で元の音楽の復元することになります。

サウンドの設定に焦点をあてる

- ▶ AUDIO 機能スイッチを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、サウンド を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ Bang&Olufsen を選択し、押して ◎ 確定します。
  メニューが表示されます。ドット ● はサウンドモードの現在の設定を示します。
- ▶ 左、全て または 右 を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ **メニューを終了する：** リターンスイッチ ↩ を押すか、COMAND コントローラーをスライドします ←◎→。

ⓘ 以下のことに注意してください。高品質の音楽 DVD および CD を再生することによって、Bang & Olufsen サウンドシステムで最高のサウンドの結果を得ることができます。

MP3 のトラックのビットレートは少なくとも 224 kbit/s でなくてはなりません。

iPod®を使用して再生するときは、ビットレートは少なくとも 224 kbit/s にしてください。

最適な再生品質のために：

- ▶ iPod®の“EQ” 設定をオフにしてください。

サラウンド再生はラジオモードでの中波域のようなモノラル信号ソースでは機能しません。

ステレオ録音されたもののなかには、通常のステレオ再生とは音の特性が異なることがあります。

文字入力

COMAND コントローラーを使用する

文字種類を選択する

例えば、電話やアドレス帳項目を検索するときに、文字種類を選択することができます。

▶ 例えば、アドレス帳を呼び出します (▷ 164 ページ)。

▶ アドレス帳で COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、検索 を選択し、押して ◎ 確定します。
項目が 8 つ以上ある場合は、検索メニューと文字バーが表示されます。

▶ 文字 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 文字種類を選択し、押して ◎ 確定します。

ⓘ 項目の種類によって、使用できる文字の種類が異なります。 電話番号と郵便番号を入力するときは、文字の種類は自動的に数字の入力に切り替わります。

文字種類	説明
かな/漢字	ひらがな、漢字
ｶﾀｶﾅ	カタカナ（半角）
カタカナ	カタカナ（全角）
ABC	大文字のアルファベット（半角）(単語の最初の 1 文字だけが大文字になります)
Ａ Ｂ Ｃ	大文字のアルファベット（全角）(単語の最初の 1 文字だけが大文字になります)
abc	小文字のアルファベット（半角）
ａ ｂ ｃ	小文字のアルファベット（全角）
半角数字	数字と主要記号（半角）
全角数字	数字と主要記号（全角）
特別文字	追加文字
特別数字	丸数字やローマ数字
特別記号	マーク

文字の入力

▶ ↑ ↓ ← → を使用して入力する行の位置を選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎↓、文字を選択します。

または

▶ COMAND コントローラーをスライドして ←◎→、文字を選択します。

または

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、文字を選択し、押して ◎ 確定します。

ひらがなとカタカナを入力する

- **ひらがなまたはカタカナの行を選択する：** COMAND コントローラーをスライドします ↑◎↓。
- **文字を選択する：** COMAND コントローラーをまわします ⟲◎⟳。
- **文字を確定する：** COMAND コントローラーを押します ◎。

文字を削除する

- **個々の文字を削除する：** COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、c マークを選択し、押して ◎ 確定します。

または

- COMAND コントローラー脇の、または COMAND コントロールパネルの c スイッチを押します。
  カーソルの左側の 1 文字が削除されます。
- **項目を削除する：** c マークを選択し、項目全体が削除されるまで COMAND コントローラーを押して ◎ 保持します。

または

- 項目全体が削除されるまで、COMAND コントローラー脇の、または COMAND コントロールパネルの c スイッチを押して保持します。

COMAND コントロールパネルのテンキーを使用する（直接入力）

文字種類を選択する

- COMAND コントロールパネルの # スイッチを押します。
  文字バーのあるリストが表示される場合は、# スイッチを押して、この順番で文字の設定を変更することができます：かな/漢字 → ｶﾀｶﾅ → カタカナ → ABC → ＡＢＣ → abc → ａｂｃ → 半角数字 → 全角数字 → かな/漢字 → ...
  リストが選択リストとして表示される場合は、# スイッチを押して、文字の設定をカタカナからアルファベットに切り替えることができます。

ℹ 項目の種類によって、使用できる文字の種類が異なります。

ℹ 特別文字、特別数字、特別記号 の文字の種類は COMAND コントローラーで選択できます。

数字を入力する

- 対応するテンキーを続けて押します。

ひらがなやカタカナ、句読点などを入力する

- 希望の文字が書かれたテンキーを押します。
  キーを押すと画面下部に文字が表示されます。 最初に使用できる文字が強調されます。
- スイッチを押すごとに、文字バーの次の文字が選択されます。
  選択された文字は約 2 秒後に挿入されます。

ℹ 入力する文字が選択された後に、いずれかのテンキーを押しても文字が挿入されます。

ひらがなを漢字に変換する

▶ 漢字の読みをひらがなで入力します。
変換するひらがながアミかけで表示されます。

ℹ 変換するひらがな文字の範囲を変更する：[←][→] でカーソルを動かします。

▶ 変換 を選択します。
使用可能な漢字が表示されます。

▶ **項目の文字を選択する：** COMAND コントローラーをまわします ⟲◎⟳。

または

▶ COMAND コントローラーをスライドします ↑◎↓ 。

▶ 変換するひらがなの範囲が長いときは、[←][→] を使用してカーソルを動かして範囲を変更します。

COMAND システムの特徴 34
ディスプレイの設定 34
時刻の設定 34
音声認識機能の設定 35
Bluetooth®の設定 36
システム言語の設定 36
お気に入りスイッチの指定 37
データのインポート/エクスポート 37
リセット機能 39

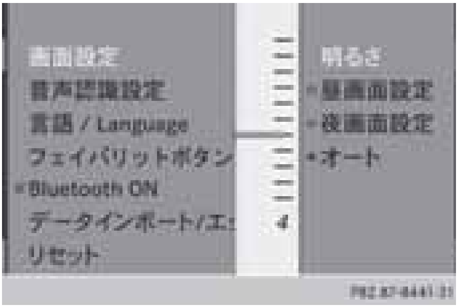
COMAND システムの特徴

本補足版は、印刷時点で利用可能な COMAND システムのすべての標準装備やオプション装備について記載しています。 国により、仕様が異なる場合があります。 本書に記載されているすべての機能が、お客様の車両に当てはまらない可能性があることにご留意ください。

ディスプレイの設定

明るさを設定する

ディスプレイライトセンサーによって検知された明るさは本機能の設定オプションに影響をあたえます。



- ▶ SYS スイッチを押す。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、設定 を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ 画面設定 を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ 明るさ を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして ◎ 明るさを調整し、押して ◎ 確定します。

ディスプレイデザイン

COMAND ディスプレイは昼間や夜間の間の操作に最適なデザインになるという機能があります。 手動で昼または夜のデザインを選択したり、自動設定を選択したりして、デザインをカスタマイズすることができます。

- ▶ SYS スイッチを押す。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、設定 を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ 画面設定 を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、昼画面設定、夜画面設定 または オート を選択し、押して ◎ 確定します。
  ドットは現在の設定を示しています。

設定	説明
昼画面設定	ディスプレイは常に昼デザインに設定されます。
夜画面設定	ディスプレイは常に夜デザインに設定されます。
オート	オート の設定を選択すると、COMAND システムは自動車両光センサーからの測定値を判断し、自動的にディスプレイデザインを切り替えます。

時刻の設定

全体的な注意事項

COMAND システムにナビゲーションシステムが装備されている場合、GPS を

受信すると、COMAND システムは自動的に時刻と日付を設定します。 ご自身で時刻を 30 分単位で調整することもできますが、日付を変更することはできません。

ℹ 正しい時刻の設定は、以下のナビゲーションシステムの機能が正しく作動するために必要です。

- 時刻に依存した交通案内のルートでのルート案内
- 到着予想時刻の計算

ℹ この機能を使用して、車内の各ディスプレイの時間を設定することができます。

時間の設定

▶ 押す SYS

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎ 、時間 を選択し、押して 確定します。

▶ 時間設定 を選択して、押して 確定します。

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎ 、時刻を設定し、押して 確定します。
時刻が決定されます。

時刻/日付の形式の設定

▶ 押す SYS

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎ 、時間 を選択し、押して 確定します。

▶ 表示形式 を選択し、押して 確定します。
現在の設定に ● マークが表示されます。

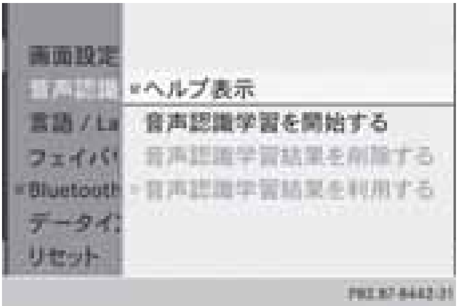
▶ COMAND コントローラーをまわして ◎ 、表示形式を設定し、押して 確定します。

省略形	意味
DD . MM . YY	日 月 年 (日付の形式、2 桁)
MM/DD/YYYY	月/日/年 日付の形式、年 (全 4 桁)
YY/MM/DD	年/月/日 日付の形式、年 (2 桁)
HH : MM (24 H)	時 : 分 (24 時間形式)
HH : MM (AM/PM)	時 : 分 (午前/午後形式)

音声認識機能の設定

ヘルプ表示を開く/閉じる

ヘルプ表示は、音声認識学習中、および次の音声認識をしているときに、音声指示に加えて情報を提供します。



▶ SYS スイッチを押す。

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎ 、設定 を選択し、押して 確定します。

▶ 音声認識設定 を選択し、押して 確定します。

▶ ヘルプ表示 を選択し、押して 確定します。
ヘルプ表示をオン ☑ またはオフ ☐ にします。

音声認識学習

音声認識学習を使用して、音声認識機能をお客様自身の声に細かく合わせ、音声認識を向上させることができます。 別冊取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth®の設定

Bluetooth® に関する全般的な情報

Bluetooth® テクノロジーとは、最大通信距離が約 10 m の近距離無線通信規格です。 例えば、Bluetooth® を使用して vCard の交換もできます。

Bluetooth® は Bluetooth Special Interest Group (SIG) Inc.の登録商標です。

Bluetooth® の作動 / 解除

▶ SYS を押します。
システムメニューが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎ システム を選択し、を押して確定します。

▶ Bluetooth ON を選択し、を押して確定します。
この操作により、Bluetooth® をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。

システム言語の設定

本機能はメニュー表示とナビ音声案内の言語を決定できます。 選択した言語は入力の文字にも適用されます。

システム言語を変更すると、音声認識設定の言語もまた変更されます。 選択した言語が音声認識機能でサポートされていない場合は、英語が選択されます。

▶ SYS スイッチを押す。

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎ 、設定 を選択し、押して 確定します。

▶ 言語/Language を選択し、押して ⊙ 確定します。
言語の一覧が表示されます。 ドット ● は現在の設定を示します。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、言語を選択し、押して ⊙ 確定します。
COMAND システムは選択した言語を読み込み、それを設定します。

ℹ 言語を切り替えると、ナビの地図の文字情報がそれぞれの言語（英語/日本語の地図）で表示されます。

お気に入りスイッチの指定

▶ **お気に入りスイッチを指定する：** SYS スイッチを押します。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、設定 を選択し、押して ⊙ 確定します。

▶ フェイバリット ボタン を選択し、押して ⊙ 確定します。
あらかじめ設定した機能のリストが表示されます。
ドット ● は現在選択されている機能を示します。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、機能を選択し、押して ⊙ 確定します。
お気に入りスイッチには選択されている機能が指定されています。

▶ **例：お気に入りを呼び出す：** お気に入りスイッチ ＊ を押します。
これによりあらかじめ設定された機能を呼び出します。

メニューであらかじめ設定された以下の機能を選択できます。

- 画面 オフ/オン：画面をオフまたはオフに切り替えることができます。
- 全画面 '時計表示'：時計とともに全画面を呼び出すことができます。
- 🌐メニュー：オンラインとインターネット機能のメニューを呼び出すことができます。
- 全画面 '地図表示'：地図とともに全画面を呼び出すことができます。
- 音声案内：現在の走行の推奨を呼び出すことができます。
- 渋滞情報表示：交通レポートを呼び出すことができます。
- 自宅に案内する：住所をすでに入力し登録している場合は、自宅住所までルート案内を開始できます(▷ 54 ページ)。
- 迂回設定：迂回メニューを呼び出し、ルートのある区域を回避し、ルートを再検索することができます(▷ 78 ページ)。
- コンパス：コンパスを呼び出すことができます。
- マッサージ機能 運転席、マッサージ機能 助手席 または マッサージ機能 運転席：助手席：どのシートが選択されているかによって、マッサージ機能を開始することができます(▷ 47 ページ)。

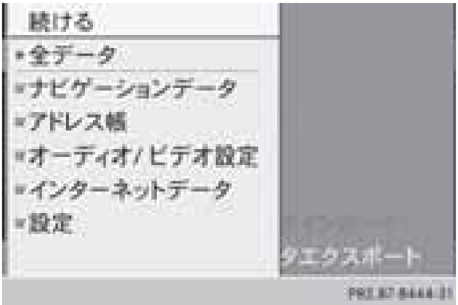
データのインポート/エクスポート

! USB スティックまたはメモリーカードにデータを書き込んでいるときは、スティックまたはカードを取り外さないでください。データを失うおそれがあります。

この機能を使用して以下のことを行ないます。

- あるシステム/車両から他へ個人の COMAND システムのデータを移行する
- 個人データのバックアップのコピーを作成したり（データのエクスポート）、それを再度読み込む（データのインポート）

一時記憶領域として SD メモリーカードまたは USB 機器（USB スティック）のどちらかを使用することができます。



▶ SD メモリーカードを挿入します (▷ 218 ページ)。

または

▶ USB 機器（例：USB メモリースティック）を接続します(▷ 219 ページ)。

▶ SYS スイッチを押す。
システムメニューが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎ 、設定 を選択し、押して 確定します。

▶ データインポート/エクスポート を選択し、押して 確定します。

▶ データインポート または データエクスポート を選択し、押して 確定します。

▶ **プリセットを選択する：**メモリーカード または USB メモリー を選択し、押して 確定します。

▶ 全データ を選択し、押して 確定します。
この機能はすべてのデータを選択したディスクにエクスポートします。

または

▶ データの種類を選択し、押して 確定します。
前回の入力によって、データの種類をエクスポートするか ☑ またはしないか ☐ を選択します。

▶ 続ける を選択し、押して 確定します。

ℹ ミュージックレジスターにある個人の音楽ファイルはこの機能を使用して保存して再度インポートすることはできません。

ℹ インターネットデータ を選択すると、インターネットアクセスデータを設定するためのパスワードは保存されません。 そのためインポートの後、手動でパスワードを入力しなくてはなりません。
携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定(▷ 179 ページ).

リセット機能

COMAND システムを工場出荷時の設定に完全にリセットすることができます。他のものと同様に、これにより COMAND システムのすべての個人データを削除します。これには、放送局プリセット、ナビシステムの目的地メモリーと以前の目的地のリストにある項目およびアドレス帳項目が含まれます。例えば、車両を譲渡または売却なさる前にリセットすることをお勧めします。

ミュージックレジスターの音楽ファイルのような内部部ハードディスクドライブにあるデータは消去されます。"すべての音楽ファイルを削除" 機能を使用してミュージックレジスターから音楽ファイルを消去することもできます。(▷ 236 ページ)

- SYS 機能スイッチを押します。
- COMAND コントローラーをまわして、設定 を選択し、押して 確定します。
- リセット を選択し、押して 確定します。
  リセットしてもよいかを確認するメッセージが表示されます。
- はい または いいえ を選択し、押して 確定します。

  いいえ を選択すると、処理が中止されます。

  はい を選択すると、本当にリセットしてもよいかを確認するメッセージが再度表示されます。
- はい または いいえ を選択し、押して 確定します。

  はい を選択すると、メッセージが表示されます。COMAND システムはリセットされ、再起動します。

  いいえ を選択すると、処理が中止されます。

COMAND システムの特徴 42
エアコンの作動表示 42
燃料消費量表示 42
オン&オフロード表示 43
走行状況メニュー（アクティブボディコントロール） 43
シートの機能 44

COMAND システムの特徴

本補足版は、印刷時点で利用可能な COMAND システムのすべての標準装備やオプション装備について記載しています。 国により、仕様が異なる場合があります。 本書に記載されているすべての機能が、お客様の車両に当てはまらない可能性があることにご留意ください。

エアコンの作動表示

例：COMAND ディスプレイのエアコン作動状況表示

エアコンディショナーシステムの設定を変更すると、エアコンの状況表示が COMAND ディスプレイの画面の下に 3 秒間表示されます。 エアコンのさまざまな利用機能の現在の設定が表示されます。

エアコンディショナーシステムの概要は別冊の車両取扱説明書をご覧ください。

エアコンの作動状況表示は以下のときに表示されます。

▶ 温度コントローラーをまわして温度を設定するとき

または

▶ コントローラーをまわして、送風を設定するとき

または

▶ 以下のスイッチの 1 つを押します。

送風を強くする

送風を弱くする

A/C エアコンのオン ／ オフを切り替える

ZONE ZONE 機能のオン ／ オフを切り替える

AUTO エアコンを自動的にコントロールする

AIR FLOW オートモードでの送風スタイルを設定する　(FOCUS/MEDIUM/DIFFUSE)

送風口を設定する

、 または 送風配分を設定する

MAX デフロスター機能をオンにする

ℹ エアコンの作動表示の呼び出し方は車両のエアコンディショナーシステムによって異なります。

デフロスター機能（上部）とオートモードでのエアコンモードの設定例

▶ **非表示にする：** COMAND コントローラーをまわす、または押します。

または

▶ COMAND システムのスイッチの 1 つを押します。

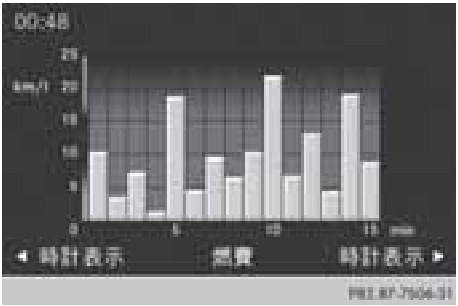
燃料消費量表示

概要

車両装備および搭載しているエンジンの種類によって、燃料消費を COMAND ディスプレイに表示することができます。

車両がハイブリッド車両で搭載エンジンの種類がそれをサポートしている場合は、他の表示を呼び出すことができます (別冊取扱説明書をご覧ください)。

ディスプレイの呼び出し/終了



- **全画面表示を呼び出す：** SYS スイッチを押します。
- システムメニューで、オプションの 全画面表示 が選択されるまで、COMAND コントローラーをスライドします ↑◎。
- COMAND コントローラーを押します ◎。

  システム表示が全画面モードで表示されます（システムメニューなし)。
- 燃料消費量インジケーターが表示されるまで COMAND コントローラーを繰り返しスライドします ←◎→。

  COMAND ディスプレイには過去 15 分間に走行した燃料消費量が表示されます。
- **全画面表示を終了する：** COMAND コントローラーを押します ◎。

  システムメニューが表示されます。

グラフのそれぞれのバーは 1 分間の平均値を示します。

燃料消費表示は、トリップ メニューにあるトリップコンピューターのスタート後のインジケーターと異なることがあります。別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。

オン&オフロード表示

概要

オン&オフロード表示は M クラスおよび GL クラス車で使用できます。

オン＆オフロード機能の設定と状態は COMAND ディスプレイに表示することができます。 オン&オフロード機能と表示自体に関する詳しい情報は車両の取扱説明書をご覧ください。

表示を呼び出す

- SYS スイッチを押す。
- システムメニューで、表示/選択ウインドウが選択されるまで、COMAND コントローラーを上へスライドします ↑◎。
- オン＆オフロード表示が表示されるまで、COMAND コントローラーをスライドします ←◎→。

  COMAND システムはオン＆オフロード機能の設定と状態を表示します。

表示を終了する

- 希望の表示（時計または燃料消費量）が表示されるまで、COMAND コントローラーをスライドします ←◎→。

走行状況メニュー（アクティブボディコントロール）

全体的な注意事項

アクティブボディコントロール (ABC)を装備した車両では、COMAND ディスプ

レイにいくつかの走行装備と追加情報を表示することができます。

走行状況メニュー（ABC）を呼び出す

▶ SYS スイッチを押す。

▶ システムメニューで、表示/選択ウインドウが選択されるまで、COMAND コントローラーを上へスライドします ↑◎。

▶ 走行状況メニュー（ABC）が表示されるまで、COMAND コントローラーを繰り返しスライドします ←◎→。

対応する表示が COMAND ディスプレイに表示されます。

表示の詳細

- 標準車両は別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。
- AMG 車は別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。

表示を終了する

▶ 希望の表示（時計または燃料消費量）が表示されるまで、COMAND コントローラーをスライドします ←◎→。

シートの機能

概要

可能な設定は、シートの種類と車両のシリーズによります。COMAND コントローラーの隣の [シートスイッチ] スイッチ、またはシステムメニューのシートメニュー項目を使用して、以下のシート設定機能を呼び出すことができます。

- マルチコントロールシートバック装備の M クラスおよび GL クラス車：
  - シートクッションの長さ
  - バックレストのサイドサポート
  - ランバー
  - マッサージ
- ランバーサポートシート装備の SL クラス車：
  - ランバー
  - バランス
- マルチコントロールシートバック装備の SL クラス車：
  - シートクッションのサイドサポート
  - バックレストのサイドサポート
  - ランバー
  - バランス
- ドライビングダイナミックシート装備の SL クラス車
  - シートクッションのサイドサポート
  - バックレストのサイドサポート
  - ランバー
  - ドライビングダイナミクス
  - マッサージ
  - バランス

ⓘ メモリースイッチおよび対応するメモリーポジションスイッチを使用しても、現在のシート機能設定を保存して、再度呼び出すことができます。別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。

メモリースイッチを使用して、マッサージ機能を開始または停止することはできません。

シートの選択

最初に、調整したいシートを選択します。

▶ [シート] または [SYS] スイッチを押します。

▶ シート を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ より低いラインに切り替えるためには、両方のオプションで COMAND コントローラーをスライドします ◎↓。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、運転席シート または 助手席シート を選択し、押して ◎ 確定します。

調節機能

シートクッションの長さを調整する

この機能は、マルチコントロールシートバック装備の M クラスおよび GL クラス車で使用できます。

この機能によって、シートクッションの高さを調整できます。

▶ シートを選択します(▷ 45 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、シートクッション を選択し、押して ◎ 確定します。
スケールが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわすか ⟲◎⟳、スライドして ↑◎↓、押して ◎ 確定します。

▶ **メニューを終了する：** リターンスイッチ [↩] を押します。

シートバックレストの腰部でシートの周囲を調整する

この機能は、マルチコントロールシートバック装備の M クラスおよび GL クラス車、そしてシートの種類に関係なくすべての SL クラス車で使用できます。

この機能によってバックレストの腰部(電動ランバーサポート)のエアクッションを調整することができます。

▶ シートを選択します(▷ 45 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、ランバー を選択し、押して ⊛ 確定します。
クロスカーソルが表示されます。 2 つの設定をすることができます。
- **垂直：** 最も腰部をサポートする部分を上または下に動かす
- **水平：** サポートの量を調整する

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎↓ または ←◎→、押して ⊛ 確定します。

▶ **メニューを終了する：** リターンスイッチ [↩] を押します。

シートバックレストの側面を調整する（バックレストのサイドサポート）

この機能は、マルチコントロールシートバックまたはドライビングダイナミックシート装備の M クラス、GL クラスおよび SL クラス車で使用できます。

▶ シートを選択します(▷ 45 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、サイド を選択し、押して ⊛ 確定します。
スケールが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ↑◎↓、押して ⊛ 確定します。

▶ **メニューを終了する：** リターンスイッチ [↩] を押します。

ⓘ ドライビングダイナミックシート装備の SL クラス車：ドライビングダイナミクスが作動していて、進路変更（コーナリングなど）に反応した処理を行なっているときは、バックレストのサイドサポートは調整することができません。

シートのサイドサポートの調整

この機能は、マルチコントロールシートバックまたはドライビングダイナミックシート装備の SL クラス車でのみ使用できます。

この機能によって、シートのサイドサポートのエアクッションを調整することができます。

▶ シートを選択します(▷ 45 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、サイド を選択し、押して ⊛ 確定します。
スケールが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ↑◎↓、押して ⊛ 確定します。

▶ **メニューを終了する：** リターンスイッチ [↩] を押します。

バランス

この機能は、SL クラス車で使用できます。

バランス機能はシートのバックレストとクッションのヒーターの配分を制御します。

バランス機能は現在設定しているシートヒーターのヒーターレベルに影響を与えます。別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。

▶ シートを選択します(▷ 45 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⦅◎⦆、バランス を選択し、押して ◎ 確定します。
スケールが表示され、現在の設定が表示されます。 プラスの値がシートバックレストのヒーターの出力を示し、マイナスの値がシートクッションのヒーターの出力を示します。 強度はスケールの上の強調されたシートにあるオレンジ色のバーによって示されます。
値は以下のことを表します。

- 0 - バックレストとシートクッションは最大レベルで等しく温められます。
- 1 ～ 3 - シートクッションのヒーターの出力は 1/3 単位で減らされます。
- -1 ～ -3 - バックレストのヒーターは 1/3 単位で減らされます

▶ COMAND コントローラーをまわすか ⦅◎⦆、スライドして ←◎→、押して ◎ 確定します。

▶ **メニューを終了する：** リターンスイッチ [↩] を押します。

マッサージ機能

この機能は、マルチコントロールシートバック装備の M クラスおよび GL クラス車、そしてドライビングダイナミックシート装備の SL クラス車で使用できます。

表示例（M クラスまたは GL クラス）

▶ シートを選択します(▷ 45 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⦅◎⦆、マッサージ を選択し、押して ◎ 確定します。
リストが表示されます。
マッサージ機能の異なる種類を選択できます。

- 0：オフ
- 1：ゆっくり/弱め
- 2：ゆっくり/強め
- 3：速く/弱め
- 4：速く/強め

▶ COMAND コントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ↑◎↓、押して ◎ 確定します。
マッサージ機能は設定によって約 15 ～ 25 分間作動します。

▶ **メニューを終了する：** リターンスイッチ [↩] を押します。

ドライビングダイナミクスの調整

この機能は、ドライビングダイナミックシート装備の SL クラス車でのみ使用できます。

▶ シートを選択します(▷ 45 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、ダイナミックシート を選択し、押して ◎ 確定します。
スケールが表示されます。
以下の選択ができます。
- 0：オフ
- 1：レベル 1 （中の設定）
- 2：レベル 2 （強の設定）

▶ COMAND コントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ↑◎↓、押して ◎ 確定します。

▶ **メニューを終了する：** リターンスイッチ [↩] を押します。

すべての調整のリセット

▶ シートを選択します(▷ 45 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、初期化 を選択し、押して ◎ 確定します。
確認が表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。
いいえ を選択した場合は、処理が中止されます。
はいを選択した後に、すべてのシート調整が初期設定の値（工場出荷時の設定）にリセットされます。

COMAND システムの特徴 50
概要 50
基本設定 53
目的地の入力 54
全ルート図 62
ルート案内 68
目的地の検索 84
メモリ地点 109
地図の操作と設定 115
VICS - 道路交通情報通信システム 123
DSRC（専用狭域通信）................ 129
ETC - 自動料金支払いシステム .. 131
ナビゲーションシステムのトラブル 134
地図記号 136

COMAND システムの特徴

本補足版は、印刷時点で利用可能な COMAND システムのすべての標準装備やオプション装備について記載しています。 国により、仕様が異なる場合があります。 本書に記載されているすべての機能が、お客様の車両に当てはまらない可能性があることにご留意ください。

概要

重要な安全上の注意

⚠ 警告

安全のため、車両が停止しているときにのみ新しい目的地を入力してください。交通状況から注意がそれて、事故の原因になったり、お客様や他の方が負傷するおそれがあります。

COMAND システムは、以下のことなどを考慮しないで目的地までのルートを検索します。

- 信号
- 一時停止および優先標識
- 駐車または停車の規制
- 道路の道幅の狭さ
- その他、道路や交通ルール、規則

COMAND システムは地図上のデータが実際の状況と違う場合には、適切でない走行案内をすることがあります。例えば、ルートが変更されたり、または一方通行の方向が変わったときです。

このため、走行中は、道路や交通ルール、規則を常に遵守してください。システムの走行案内よりも道路や交通ルール、規則を常に優先してください。

全体的な注意事項

ナビゲーションシステムの操作準備

ナビゲーションシステムは、初めてご使用になる前、または操作状況が復帰したときはいつでも、車両の位置を決定しなくてはなりません。 したがって、正確なルート案内が可能になるまではしばらく運転する必要があります。

GPS の受信

GPS を受信することにより、ナビゲーションシステムは正しく機能します。 トンネル内や立体駐車場にいるときなど、いくつかの状況では、GPS の受信に障害が生じたり、干渉があったり、またはまったく受信できないことがあります。

入力の制限

いくつかの国の車両では、データ入力に制限があります。

車両の速度が約 5 km/h になると制限がかかります。 車両の速度が約 3 km/h 以下になると制限が解除されます。

制限がかかっているときは、入力できない項目があります。 実際には、いくつかのメニュー項目が灰色になり、選択できません。

例えば、以下のような入力はできません。

- 目的地の街と道路の入力
- 地図からの目的地の入力
- 街周辺の施設、または名前検索による入力
- 項目の編集
- テンキーを使用しての直接入力

しかし、目的地、または現在地周辺の施設入力のような他の入力は可能です。

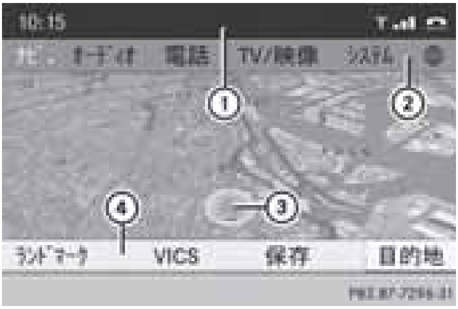
ナビに関する注意

ルート案内中に、COMAND システムによる目的地への案内が不明確になったり不正確になることがあります。

原因	例
車両の現在位置の特徴 （互いに非常に接近した道路、大きなビルや大型車両の近くなど）	現在の車両位置は以下のときは正しく表示されません。 • 主要道路を走行していて、現在のルート区間と並行する、またはその下に別の道路があるとき • 車両が駐車場のターンテーブルで回転させられたり、らせん状の道路を走行しているとき • 車両が駐車場から出るとき • 車両が、砂利道、雪道または凍結路などの滑りやすい路面を長時間走行しているとき • まっすぐな道路で頻繁に車線変更するとき • 車両が大きなビル、大型車両または山間地周辺を走行しているとき
地図情報がない、または古い （地図が古い、または通行ルートが一時的に変更されている）	COMAND システムは以下のように案内します： • 一方通行で誤った方向に案内される。 • 一時的な道路の閉鎖により曲がることができない交差点で道路に案内される。 • 目的地の向こう側にある道路に案内される。 • 道路が目的地まで続いていない、または幅が狭すぎる場合に、検索した目的地の手前の地点に案内される。

原因	例
検索ルートからの逸脱 （現在の交通状況などによる）	以下の場合、COMAND システムは異なる、または適切でない案内を行なったり、まったく行なわないことがあります。 • 検索されたルート地点の前で交差点を曲がったり、道を外れた場合 • 別のルートを選択してルート検索をやり直した場合 次の交差点ではまだ、新しいルート案内が使用できないことがあります。 • 検索された通過点を通らずに、目的地の方向に走行している場合 COMAND システムは、その通過点に案内し続けようとすることがあります。 • ルートを外れた場合 検索されたルートにより、向きを変えるように案内されることがあります。 ℹ 別のルートを選択してルートを再検索すると、ルートが長くなることがあります。
目的地が近すぎる、または遠すぎる	たとえば COMAND システムは適切なルートを検索できません。

ナビゲーションモードへの切り替え



表示されるメニュー（ルート案内オフ）

① ステータスバー

② 基本機能バー

③ 現在の車両位置

④ ナビゲーションシステムメニューバー

オプション 1

▶ NAVI 機能スイッチを押します。
メニュー付きまたはメニューなし（全画面モード）の地図が表示されます。

オプション 2

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ⊛ 確定します。
地図がメニュー付きで表示されます。

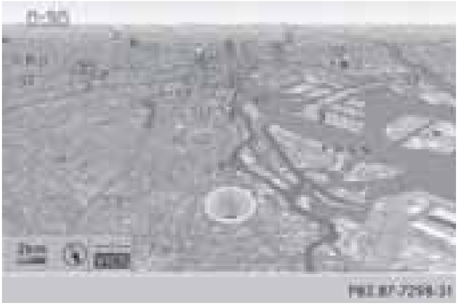
ⓘ **ルート案内中** は、目的地を入力して、COMAND システムがルートを検索していることを意味しています。ディスプレイには、ルートや進行方向の変更、および推奨車線が表示されます。 ナビゲーションの案内は目的地まで案内します。

ルート案内オフ は目的地がまだ入力されておらず、ルートがまだ検索されていないことを意味しています。

メニューの表示/非表示

▶ **メニューを非表示にする：** COMAND コントローラーをスライドします ↑◎。
メニュー項目の 全画面表示 が表示されます。

▶ 押して ⊛、全画面表示 を確定します。
地図が全画面モードで表示されます。

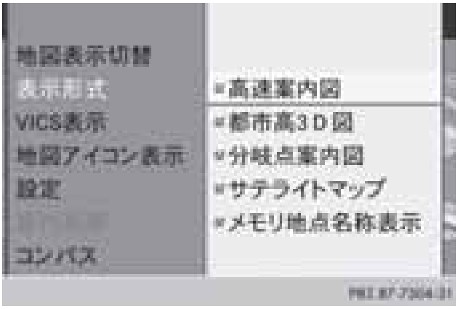


例：全画面表示モードの地図

▶ **メニューを表示する：** 地図が全画面モードで表示されているときに、COMAND コントローラーを押します ⊛。

基本設定

地図の種類の設定



▶ NAVI 機能スイッチを押します。

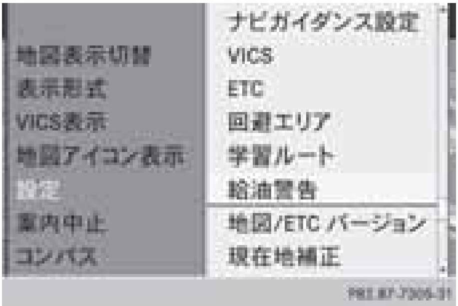
▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ◎ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ◎ 確定します。

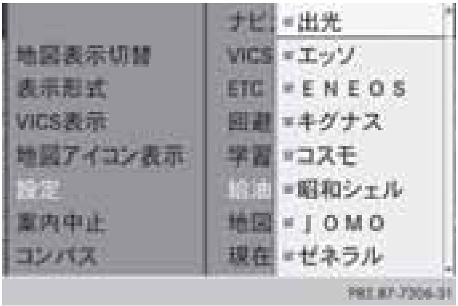
▶ 表示形式 を選択し、押して ◎ 確定します。
地図の設定リストが表示されます。

▶ 設定を選択し、押して ◎ 確定します。前回の状況によって、設定をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。

地図の種類	説明
高速案内図	高速道路施設（ガソリンスタンド、休憩地点など）がルート案内中に表示されます。
都市高 3D 図	都市高速道路施設（ガソリンスタンド、サービスエリアなど）がルート案内中に表示されます。
分岐点案内図	次の分岐点の名称がルート案内中に表示されます。
サテライトマップ	地図の縮尺が 1 km 以上に設定されている場合は、サテライトマップが表示されます。
メモリ地点名称表示	メモリ地点の名称が地図に表示されます。 500 m またはより詳細な縮尺の地図が表示されている場合は、メモリ地点の名称が表示されます。 ⓘ これは編集されたメモリ地点にのみ適用されます。

燃料が少ないときにガソリンスタンドを選択する





燃料が少ないときにどのガソリンスタンドまで走行したいかを決定できます。

ガソリンスタンドを選択し、予備燃料を表示すると、地図は自動的にガソリンスタンド検索に切り替わります（▷ 62 ページ）。

▶ NAVI 機能スイッチを押します。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 設定 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 給油警告 を選択し、押して ◎ 確定します。

ガソリンスタンドの会社名リストが表示されます。

▶ ガソリンスタンドの会社を選択し、押して ◎ 確定します。

前回の状態に応じて、検索するガソリンスタンドの会社名を選択 ☑ または非選択 ☐ にします。

目的地の入力

目的地の入力の前に

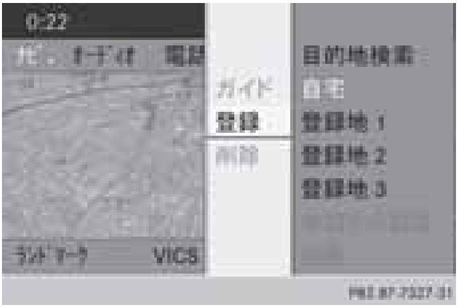
ℹ 安全上の理由のため、車両が動いている間は、目的地（ルート案内非作動）または 目的地設定（ルート案内作動）を選択できません。

以下の場合は、COMAND システムはルート検索を行なうことができません。

- 出発地点と目的地周辺で、地図に利用できる道路がない場合
- 島のように検索できる適切なルートがない場合

自宅

自宅住所を入力して登録する



▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

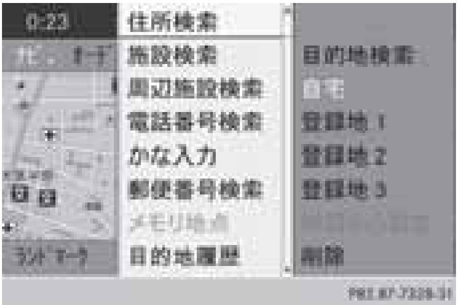
▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◎ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 自宅 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 設定 を選択し、押して ◎ 確定します。

ℹ ルート案内が作動していないときは 目的地 が表示され、ルート案内が作動しているときは 目的地設定 が表示されます。



メニューにはさまざまな目的地検索オプションがあります。

目的地検索	説明
住所検索	住所の検索
施設検索	施設の検索
周辺施設検索	施設の検索 • 現在の車両位置 • 目的地 • ルート周辺
電話番号検索	電話番号を使用しての検索
かな入力	"50 音"表を使用しての検索
郵便番号検索	郵便番号を使用しての検索
メモリ地点	メモリ地点の検索
目的地履歴	以前の目的地の検索
アドレス帳検索	アドレス帳からの選択
地図から設定	地図からの選択

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、目的地検索を選択し、押して ⊛ 確定します。

目的地検索に関するさらなる情報 (▷ 84 ページ)。

▶ 引き続き目的地を入力します。
自宅住所をすべて入力すると、地図が表示されます。 COMAND システムは適切な地図の縮尺を設定します。 クロスカーソルは現在の目的地を示しています。

▶ **地図上で目的地を移動する：**スクロール を選択し、⊛ で確定します。

▶ COMAND コントローラーをいずれかの方向にスライドします。
クロスカーソルが地図上で移動します。

▶ クロスカーソルを自宅住所の地点に動かして、押して ⊛ 確定します。
メニューが表示されます。

▶ 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
自宅を登録しました というメッセージが表示されます。 自宅住所が目的地として登録されます。

自宅住所を選択する

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◉ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 自宅 を選択し、押して ◉ 確定します。

ℹ 自宅住所をまだ決定していない場合は、まず自宅登録 を使用して自宅住所を入力し登録しなければなりません(▷ 54 ページ)。

▶ ガイド を選択し、押して ◉ 確定します。

全ルート図が表示されます。

▶ 押して ◉、開始 を確定します。

自宅住所へのルート案内が開始されます。

ℹ さらなる情報

- 全ルート図(▷ 62 ページ)
- ルート案内 (▷ 68 ページ)

自宅住所を削除する

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◉ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 登録 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 削除 を選択し、押して ◉ 確定します。

確定のメッセージが表示されます。

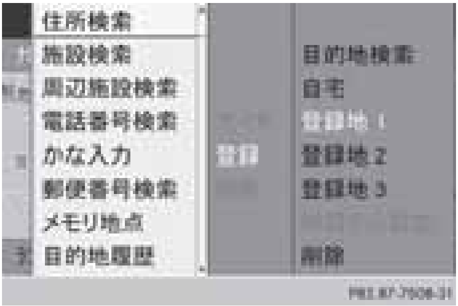
▶ はい または いいえ を選択し、押して ◉ 確定します。

はい を選択すると、自宅住所が削除されます。

いいえを選択すると、削除が取り消されます。

目的地プリセット 1–3

目的地を入力し、目的地プリセットを登録する



COMAND システムには頻繁に訪れる目的地として使用できる 3 つの目的地プリセットがあります。

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◎ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↺◎↻、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 登録地 1、登録地 2 または 登録地 3 を選択し、◎ で確定します。

▶ 設定 を選択し、押して ◎ 確定します。
メニューにはさまざまな目的地検索オプションがあります。

目的地検索	説明
住所検索	住所の検索
施設検索	施設の検索
周辺施設検索	施設の検索 • 現在の車両位置 • 目的地 • ルート周辺

目的地検索	説明
電話番号検索	電話番号を使用しての検索
かな入力	"50 音"表を使用しての検索
郵便番号検索	郵便番号を使用しての検索
メモリ地点	メモリ地点の検索
目的地履歴	以前の目的地の検索
アドレス帳検索	アドレス帳からの選択
地図から設定	地図からの選択

▶ COMAND コントローラーをまわして ↺◎↻、目的地検索を選択し、押して ◎ 確定します。
目的地検索に関するさらなる情報 (▷ 84 ページ)。

▶ 引き続き目的地を入力します (▷ 85 ページ)。
選択した目的地プリセットの目的地住所をすべて入力すると、地図が表示されます。 COMAND システムは適切な地図の縮尺を設定します。 クロスカーソルは現在の目的地を示しています。

▶ **地図上で目的地を移動する：** スクロール を選択し、◎ で確定します。

▶ COMAND コントローラーをいずれかの方向にスライドします。
クロスカーソルが地図上で移動します。

▶ **地図の縮尺を変更する：** COMAND コントローラーをまわします ⟲◎⟳。

▶ クロスカーソルを目的地住所の地点に動かし、押して ◎ 確定します。
メニューが表示されます。

▶ 設定 を選択し、押して ◎ 確定します。
登録地 <x> を登録しました というメッセージが表示されます。 目的地住所は選択した目的地プリセットに保存されます。

目的地プリセットからの目的地の選択

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◎ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 登録地 1、登録地 2 または 登録地 3 を選択し、◎ で確定します。

ℹ 登録地 <x> をまだ設定していない場合は、まず 設定 を使用して目的地を入力し、選択したメモリ位置に登録します。

▶ ガイド を選択し、押して ◎ 確定します。
全ルート図が表示されます。

▶ 押して ◎、開始 を確定します。
選択した目的地プリセットの目的地住所へのルート案内が開始されます。

ℹ さらなる情報

- 全ルート図(▷ 62 ページ)
- ルート案内 (▷ 68 ページ)

目的地プリセットから目的地を削除する

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◎ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地

または 目的地設定 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 登録地 1、登録地 2 または 登録地 3 を選択し、◉ で確定します。

▶ 削除 を選択し、押して ◉ 確定します。
確定のメッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◉ 確定します。
はい を選択すると、目的地住所が選択した目的地プリセットから削除されます。
いいえ を選択すると、削除が取り消されます。

地図を使用して目的地を選択する

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◉ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↺◎↻、目的地 または 目的地設定 を選択し、◉ 確定します。

▶ 地図から設定 を選択し、押して ◉ 確定します。
地図がクロスカーソルとともに表示されます。

▶ 地図をスクロールします (▷ 116 ページ)。

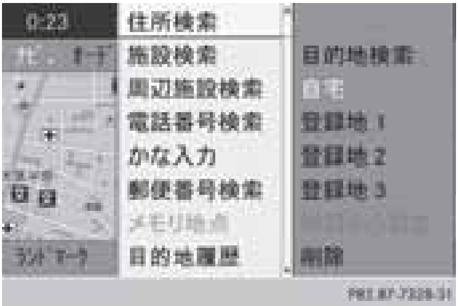
▶ クロスカーソルを目的地の地点に動かして、押して ◉ 確定します。

▶ 前進 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 登録 を選択し、押して ◉ 確定します。
目的地が設定されます。全ルート図 が表示されます(▷ 62 ページ)。

目的地の検索

目的地検索をオンにする



▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◉ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↺◎↻、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 目的地検索 を選択し、押して ◉ 確定します。
メニューにはさまざまな目的地検索オプションがあります。

目的地検索	説明
住所検索	住所の検索
施設検索	施設の検索

目的地検索	説明
周辺施設検索	施設の検索 • 現在の車両位置 • 目的地 • ルート周辺
電話番号検索	電話番号を使用しての検索
かな入力	"50 音"表を使用しての検索
郵便番号検索	郵便番号を使用しての検索
メモリ地点	メモリ地点の検索
目的地履歴	以前の目的地の検索
アドレス帳検索	アドレス帳からの選択
ドライブコース	ルートの選択
観光案内	観光案内からの選択

- COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、目的地検索を選択し、押して ⊛ 確定します。
  目的地検索に関するさらなる情報 (▷ 85 ページ)。
- 引き続き目的地を入力します。
  目的地住所がすべて入力されると地図が表示されます。COMAND システムは適切な地図の縮尺を設定します。クロスカーソルは現在の目的地を示しています。

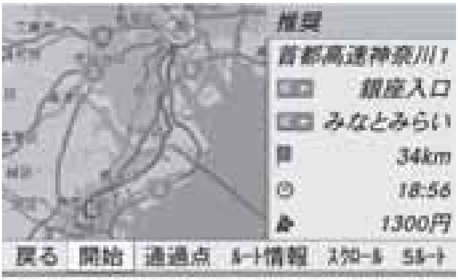
目的地の保存とルートの検索

目的地をメモリ地点として保存する

- 保存 を選択し、押して ⊛ 確定します。
- メモリ地点 を選択し、押して ⊛ 確定します。

目的地をアドレス帳に保存する

- 保存 を選択し、押して ⊛ 確定します。
- アドレス帳検索 を選択し、押して ⊛ 確定します。



全ルート図

目的地を設定し、ルートを検索する：

- 登録 を選択し、押して ⊛ 確定します。
- 目的地 を選択し、押して ⊛ 確定します。
  全ルート図 が表示されます (▷ 62 ページ)。

目的地周辺の高速、橋、トンネル

目的地をどこに設定しますか？ という確認が表示されます。

▶ 目的地を高速道路または一般道路に設定する：COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、高速道 または 一般道 を選択し、押して ◎ 確定します。

<xxx> を目的地に設定しました というメッセージが表示されます。 目的地が設定されます。

▶ この機能を使用したくない場合は、戻る を選択し、◎ で確定します。

表は説明付きの選択のオプションを示しています。

選択	説明
高速道	目的地を最寄りの高速道路に設定します。
一般道	目的地を最寄りの一般道に設定します。
有料優先	目的地を最寄りの有料道路に設定します。
トンネル	目的地を最寄りのトンネルに設定します。
橋	目的地を最寄りの橋に設定します。

目的地が水域にある

選択した目的地が水域にある場合は、水面上は目的地に設定できません というメッセージが表示されます。

▶ 他の目的地を選択します。

ルート/目的地の削除

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◎ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 削除 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ ルート を選択し、押して ◎ 確定します。

確認が表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。

はい を選択すると、ルート/目的地が削除されます。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

ナビ

燃料レベルを示す表示

燃料が少なくなったときは、ガソリンスタンド検索メニューが自動的に表示されます。 最寄りのガソリンスタンドが地図で強調されます。

地図にガソリンスタンドを表示する

▶ 次候補 または 前候補 を選択し、押して 確定します。

次または前のガソリンスタンドが地図に表示されます。

選択したガソリンスタンドに発信する

▶ 電話 を選択し、 で確定します。

ガソリンスタンドに電話が発信されます。 ディスプレイが電話機能に切り替わります。

ℹ 携帯電話が COMAND システムに接続されていて、電話番号が使用可能な場合は、この機能を使用することができます(▷ 144 ページ)。

選択したガソリンスタンドにルート案内を開始する

▶ 案内 を選択し、押して 確定します。

ℹ COMAND システムは、音楽 CD モードなど他の機能でもこのメニューを表示します。 取消し を確定すると、このメニューは以降は表示されません。

ℹ メニューが表示されているときは、リターンスイッチ と COMAND コントロールパネルの NAVI スイッチは機能しません。

全ルート図

概要

目的地が選択されてルート検索が終わると、全ルート図が表示されます。

以下のことができます。

- ルート案内の設定の変更
- ルートの詳細の表示
- ルート種類の選択

メニュー項目	説明
IC	高速道路の入口や出口を変更することができます。
通過	通過点を設定できます。
ルート情報	ルート情報を表示できます。
スクロール	運転を始める前に、地図上でルートを辿ることができます。
5 ルート	ルート条件を選択できます。

高速道路の入口や出口を変更する

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、全ルート図で IC を選択し、押して ◉ 確定します(▷ 62 ページ)。

▶ 次候補 または 前候補 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 設定 を選択して、押して ◉ 確定します。
高速道路の入口や出口が変更されます。

ルート案内中に全ルート図を表示する

ルート案内を開始した後も全ルート図を表示できます。

▶ **メニューを表示する**： COMAND コントローラーを押します ◉ 。

▶ ナビゲーションシステムメニューバーで COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、ルート を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 全ルート を選択し、押して ◉ 確定します。
全ルート図が表示されます。

ルート案内を開始する

▶ 全ルート図で 開始 を選択し、押して ◉ 確定します。
メッセージが表示され、ルート案内が開始します。

ℹ 発進するとルート案内は自動的に開始します。 現在の車両位置の地図を表示します。

通過点

概要

目的地を入力すると、4 箇所までの通過点を入力することによりルートを決定することができます。

通過点の順序はいつでも変更できます。

ルート案内中に通過点を入力する

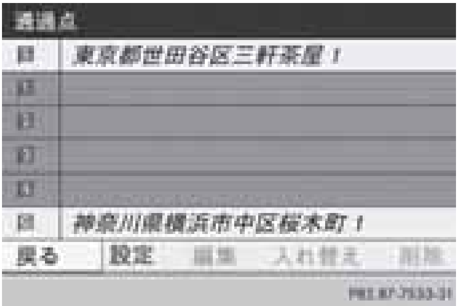
▶ メニューを表示する： COMAND コントローラーを押します ◉ 。

▶ 前進 を選択して、押して ◉ 確定します。

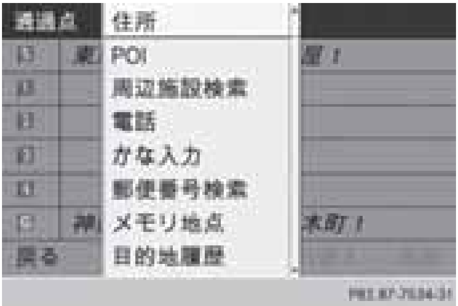
▶ 通過 1 を選択して、押して ◉ 確定します。

▶ 設定 を選択して、押して ◉ 確定します。
通過点のメニューが表示されます(▷ 64 ページ)。

通過点を入力する

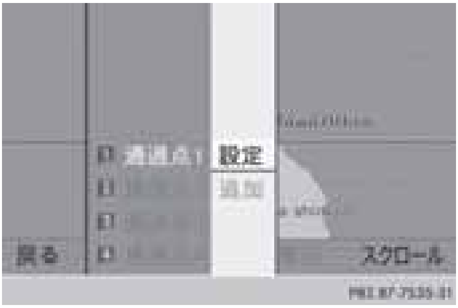


通過点メニュー

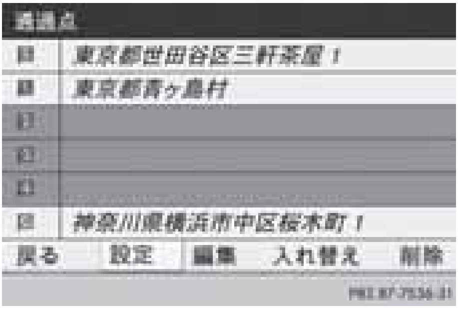


- 全ルート図で 通過 を選択し、押して ◉(▷ 62 ページ) 確定します。
- 設定 を選択して、押して ◉ 確定します。
  メニューにはさまざまな目的地検索オプションがあります。

目的地検索	説明
住所検索	住所検索
施設検索	施設を検索する
周辺施設検索	施設を検索する • 現在の車両位置 • 目的地 • ルート周辺
電話番号検索	電話番号を使用して検索する
かな入力	50 音パネルを使用して検索する
郵便番号検索	郵便番号を使用して検索する
メモリ地点	メモリ地点を検索する
目的地履歴	以前の目的地を検索する
アドレス帳検索	アドレス帳から選択する
地図から設定	地図で選択する



- COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、目的地検索を選択し、押して ◉ 確定します。
  目的地検索に関するさらなる情報 (▷ 85 ページ)。
- 引き続き目的地を入力します。
- 目的地検索の後、通過点 通過点 1 を選択し確定します。
- 押して ◉、設定 を確定します。



通過点 1 が通過点メニューに表示されます。

通過点 1 を入力した後に、さらに通過点を入力することができます。

▶ 設定 を選択して、押して ⊛ 確定します。
全ルート図が表示され、設定した通過点 1 が地図上にフラッグマークで表示されます。

通過点の順番を入れ替える

▶ 通過点メニューから通過点の項目を選択し、押して ⊛ 確定します(▷ 64 ページ)。

▶ 入れ替え を選択し、押して ⊛ 確定します。
通過点の順番が変更され、対応するメッセージが表示されます。

通過点の位置を変更する

P82.87-5914-31

▶ 通過点メニューから通過点の項目を選択し、押して ⊛ 確定します(▷ 64 ページ)。

▶ 編集 を選択し、押して ⊛ 確定します。
地図が表示され、選択した通過点が表示されます。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ←◎→、↑◎↓、↗◎↙、通過点の位置を変更します。

▶ 押して ⊛ 位置を確定します。

▶ 設定 を選択して、押して ⊛ 確定します。
通過点の位置が変更されます。

以下の機能も選択できます。

- 保存
  通過点をメモリ地点として、またはアドレス帳に登録できます。
- 電話
  通過点の情報に電話番号が含まれていて、携帯電話が COMAND システムに接続されている場合に、通話を開始します(▷ 151 ページ)。

通過点を削除する

▶ 通過点メニューから通過点の項目を選択し、押して ⊛ 確定します(▷ 64 ページ)。

▶ 削除 を選択し、押して ⊛ 確定します。
確定のメッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ⊛ 確定します。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。
はい を選択すると、通過点が削除されます。

ⓘ 通過点はルート案内中でも削除することができます。

ルート情報を表示する

全ルート図での表示

ルート情報 (名称)

▶ 全ルート図で ルート情報 を選択し、押して ⍟ 確定します (▷ 62 ページ)。
ルート情報が表示されます。

以下の情報が表示されます。

- 出発地点の名称
- 通過点の名称 (4 箇所まで)
- 目的地の名称

目的地情報に切り替える

▶ 地点情報 を選択し、押して ⍟ 確定します。

ルート地点までの距離と予想到着時間が表示されます。

全ルート図に戻る

▶ 戻る を選択し、押して ⍟ 確定します。

または

▶ COMAND コントローラーの左側のリターンスイッチ ⮌ を押します。

ルート案内中の表示

ルート案内が行なわれているときにもルート情報を表示することができます (▷ 80 ページ)。

ルートリストを表示する

目的地までの道路名称とおおよその距離を表示します。

ルートリストに以下が表示されます。

- 走行する道路
- 道路区間の長さ
- 支払う料金
- 高速道路の入り口/出口の名称

▶ 全ルート図で ルート情報 を選択し、押して ⍟ 確定します (▷ 62 ページ)。

▶ ルートリスト を選択し、押して ⍟ 確定します。
ルートリストが表示されます。

ルートリストをスクロールする

▶ COMAND コントローラーをまわすか ⟲◎⟳ 、スライドします ↑◎↓ 。

ルート情報に戻る

▶ COMAND コントローラー ◎ または リターンスイッチ [↩] を押します。

ルートのプレビュー

▶ 全ルート図で ルート情報 を選択し、押して ◎ 確定します (▷ 62 ページ)。

▶ ルートスクロール を選択し、押して ◎ 確定します。
クロスカーソルのある地図が表示されます。

目的地位置を表示する

▶ [▶▶|] を選択し、押して ◎ 確定します。

目的地を表示する

▶ [▶] を選択し、押して ◎ 確定します。

スクロール機能を中止する

▶ [II] を選択し、押して ◎ 確定します。

ℹ プレビューは通過点と目的地で停止します。 この場合、プレビューは選択した方向で再開しなければなりません。

出発地点に戻る

▶ [◀] を選択し、押して ◎ 確定します。

出発地点の位置を表示する

▶ [|◀◀] を選択し、押して ◎ 確定します。

地図の縮尺を設定する

▶ 縮尺 を選択し、押して ◎(▷ 115 ページ) 確定します。

ℹ 安全上の理由から、現在の車両位置は発進すると表示されます。

地図をスクロールする

▶ 全ルート図で スクロール を選択し、押して ◎ 確定します。(▷ 62 ページ).
表示が全画面モードになり、地図上にクロスカーソルが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをスライドします ←◎→、↑◎↓、↖◎↘。

▶ COMAND コントローラーをまわします ⟲◎⟳。

ℹ 全ルート図では 500 km と 1,000 km の縮尺も選択できます。

ルート条件を選択する

全ルート図での選択

全ルート図

すべてのルート条件が検索されると、全ルートを表示することができます。

▶ 全ルート図で 5 ルート を選択し、押して ⊛ 確定します。

例：有料道路のあるルート

① ルート条件 (この場合、ルート上で料金が必要になります)

② 道路名

③ 入口 IC 名

④ 出口 IC 名

⑤ 目的地までの距離

⑥ 推定到着時間

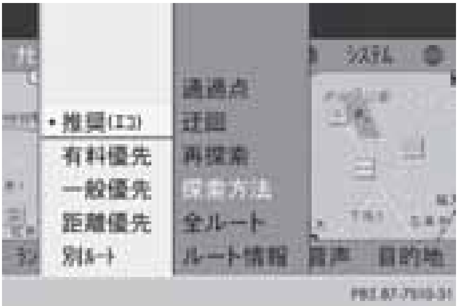
⑦ 料金（円）

ルート条件メニューが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、ルート条件を選択し、押して ⊛ 確定します。

ℹ 表示される料金は支払うべき実際の料金と異なることがあります。

ルート案内中の選択



ルート条件はルート案内中でも変更できます。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、ルート を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 探索方法 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ ルート条件を選択し、押して ⊛ 確定します。

ℹ 場合により、異なるルート条件を選択しても同じルートが表示されることがあります。

ルート案内

重要な安全上の注意

⚠ **警告**

COMAND システムは例えば以下のことを考慮せずに目的地までのルートを検索します。

- 信号
- 一時停止および優先標識
- 車線変更
- 駐車または停車規制での駐車または停車
- その他、道路や交通ルール、規則
- 狭い橋

実際の道路/交通状況が地図のデータと一致しない場合は、COMAND システムは適切でないナビの音声コマンドを発することがあります。例えば、ルートが変更されたり、または一方通行の方向が変わったときです。

このため、走行中は、道路や交通ルール、規則を常に遵守してください。 システムの走行案内よりも道路や交通ルール、規則を常に優先してください。

全体的な注意事項

ⓘ 車両が検索されたルートから外れると、COMAND システムは自動的に新しいルートを検索します。

ⓘ 道路によっては、ルート案内できないことがあります。

COMAND システムは交通規制の道路を回避しようとします。 これらには、通り抜けを禁止している、または居住者しか通行できない道路が含まれます。 このための前提条件として、地図に該当する情報が含まれていなければなりません。

5.5m よりも幅の狭い道路は、ルート案内から除外されます。 例外：道路がルート案内の目的地、通過点、または出発地点にある場合。

ⓘ 出発地点が地図に表示されない道路にある場合はルート案内は利用できません。 車両が表示された一般道に戻るとただちに、ルート案内が開始します。

ⓘ 地図表示は実際の状況と異なることを念頭に置いてください。 地図データは、地図が作成された時点で使用可能な一般的にアクセスできる情報に基づいています。 この情報には、地図上で目印として使用されている分岐点、公共施設、ガソリンスタンド、企業、レストランおよび他の施設が含まれます。

立体交差、地下道または複雑な分岐点を通過するときに、現在の車両位置を一時的に見失うことがあります。

そのような場合、COMAND システムはルートを再検索し、現在の車両位置からルート案内を開始します。

ⓘ マルチファンクションディスプレイのメインメニューで"ﾅﾋﾞ "を選択すると、以下のようになります。

- 方向
- 分岐点までの距離
- 推奨車線が表示されます；別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。

ルート案内作動中の追加メッセージ

概要

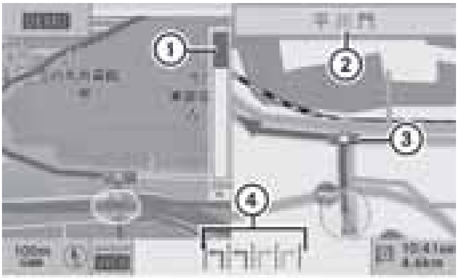
ルート案内が作動しているとき、以下の追加画面が表示されます。

- 交差点拡大図
- 高速道路分岐案内図

ルート案内画面のオンおよびオフを切り替えることができます(▷ 53 ページ)。

- 高速案内図
- 都市高 3D 図
- 分岐点案内図

交差点拡大図



P82.87-6050-31

① 分岐点（出口）までの距離のグラフィック表示（青色）

② 交差点名称 (出口名称)

③ 交差点 (出口地点)

④ 推奨車線(▷ 71 ページ)

ルート案内が作動しているときに、一般道の交差点に近づくと、交差点拡大図が表示されます。

COMAND システムは分岐点までの距離と走行を続けるべき方向を表示します。この情報は、分岐点までの距離によって数回表示されます。

分岐点を通過すると、通常の地図表示が表示されます。

ℹ 地図に対応するデータが含まれる場合は、分岐点情報が表示されます。

車両が分岐点に近づくにつれて、距離表示の青い部分 ① は下から上に大きさが減っていきます。

推奨車線と分岐点情報の表示は実際と異なることがあります。

分岐点地図を消す

▶ COMAND コントローラーの左側のリターンスイッチ [↩] を押します。

分岐点地図を表示する

▶ COMAND コントローラーをスライドするか ←◎→、まわして ⟲◎⟳、ナビゲーションメニューで 音声 を選択し、押して ◎ 確定します。

高速道路分岐案内図

P82.87-6051-31

① 高速道路の方向と出口の名称

ルート案内が作動していて、高速道路を走行しているときに、高速道路分岐案内図が表示されます。

地図を非表示にする

▶ COMAND コントローラーの左側のリターンスイッチ [↩] を押します。

高速案内図

P82.87-6052-31

以下の条件のときに高速道路サービス施設が表示されます。

- **都市高速ではなく高速道路を走行している場合**

  高速案内図 が地図の種類としてオンになります (▷ 53 ページ)

- **都市高速を走行している場合**

高速案内図 がオンになります
都市高 3D 図 がオフになります(▷ 53 ページ)

都市高 3D 図

P82.87-6053-31

以下の場合、都市高 3D 図が右側に表示されます。

- 都市高 3D 図 が地図の種類としてオンになっている場合(▷ 53 ページ)
- 都市高速を走行している場合

ⓘ 左には簡略化された形式で地図を表示することができます。
サテライトマップがオンで、地図の縮尺が 2 km 以上に設定されている場合は、サテライトマップが左側に表示されます。

次の交差点の表示

P82.87-6054-31

ルート案内が作動していて、分岐点案内図 が地図の種類として設定されているときに、次の分岐点が表示されます(▷ 53 ページ)。
COMAND システムは、次の交差点までの方向や距離とともに、その名称を表示します。

推奨車線

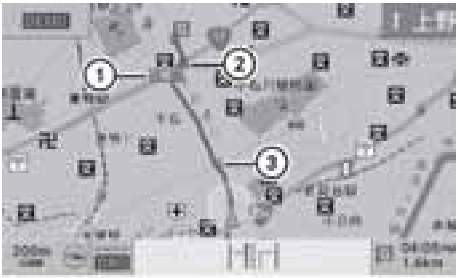
P82.87-6055-31

① 推奨車線
② 走行可能車線
③ 推奨されない車線

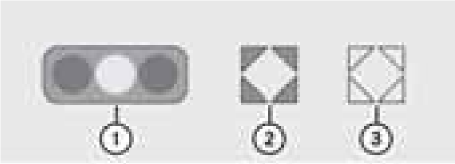
車線が複数ある道路では、COMAND システムは次の分岐点（交差点）までの推奨車線を表示します。

車線	説明
推奨車線	この車線では、次の分岐点またはその次の分岐点まで車線変更の必要がありません。 推奨車線は、昼間は暗い青色で、夜間は明るい青色で表示されます。
走行可能車線	この車線では、次の分岐点まで車線変更の必要がありません。 推奨車線は、昼間は明るい青色で、夜間は暗い青色で表示されます。
推奨されない車線	この車線では、次の分岐点までに車線変更の必要があります。 推奨されない車線は灰色で表示されます。

マークのある分岐点表示



P82.87-6056-31



P82.87-6182-31

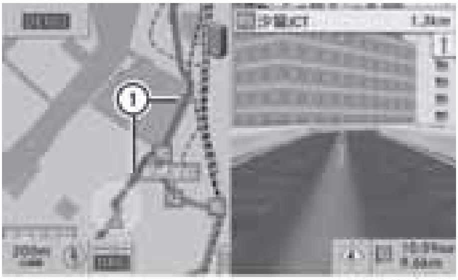
① 曲がる必要のある、信号機のある分岐点を表示する

② 曲がる必要のある、信号機のない分岐点を表示する

③ 曲がる必要のない、推奨車線が表示されている分岐点を表示する

ⓘ 地図の縮尺によっては、分岐点のマークは表示されません。

特別なナビのメッセージの表示



P82.87-6057-31

① 例：合流地点

特別なナビのメッセージがオンになると、以下の画面が表示されます。

この画面は通過する前に表示されます。

- 合流地点
- 踏み切り
- カーブ
- 県境

目的地または目的地周辺

ゴールマーク ① は目的地に表示されます。

以下の場合、マルチファンクションディスプレイにゴールマークが表示されます。

- "ナビ"がマルチファンクションディスプレイで選択されている場合；別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。
- 車両が目的地周辺に到着した場合

マルチファンクションディスプレイの情報

ルート案内の情報がマルチファンクションディスプレイに表示されます；別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。

ナビの音声案内

ナビの音声案内を繰り返す

車両がルートを走行しているときにのみ、最後の音声案内を繰り返すことができます。

▶ COMAND コントローラーをスライドするか ◎→ またはまわして 《◎》、ナビゲーションメニューで 音声 を選択し、押して ◎ 確定します。

ナビ音声案内のオン/オフの切り替え

▶ 音声案内中に、COMAND コントロールパネルまたはマルチファンクションステアリングの [🔇] スイッチを押します。

▶ **オンにする：** COMAND コントローラーを押します ◎ 。

▶ COMAND コントローラーをまわして 《◎》、ナビゲーションシステムのメニューバーで 音声 を選択し、押して ◎ 確定します。

ℹ 電話の通話中は、聞こえているナビの音声案内は消音されます。

ナビのメッセージの音量を調整する

▶ **オプション 1：**音声案内中に、COMAND コントロールパネルの音声コントロール ⓞ をまわします。

▶ **オプション 2：**音声案内中に、マルチファンクションステアリングの [+] または [−] スイッチを押します。

特別な機能

道路外および地図外の場所

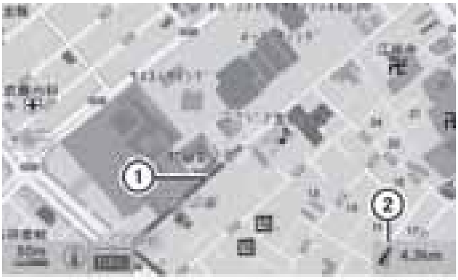
地図に登録されない道路上にない目的地へのルート案内

COMAND システムは地図に登録された道路から離れたところにある目的地へも案内することができます。 これらは道路外の目的地です。

このような場合は、ナビの音声案内や地図に表示されるルート案内を使用してできるだけ長く案内します。

地図に登録された道路から離れると間もなくして、進行方向を示す矢印が表示されます。

地図にない出発地点からのルート案内



P82.87-6061-31

① ルートの強調（青色）

② 矢印のマーク

システムが車両の位置を道路で特定できないときは、車両は道路外の場所に位置しています。 COMAND システムは、そのような場所からでも目的地まで案内することができます。

ルート案内が開始するとき、矢印 ② と目的地までの距離が表示されます。 矢印は直線距離での目的地までの方向を示します。

ルートとして青色で強調された ① はシステムにある最も近い道路から始まります。

車両がシステムにある道路に戻るとすぐに、COMAND システムが通常のルート案内を続けます。

特定のエリアの回避

通過したくない地域を指定できます。

以下の場合には、検索されたルートに回避エリアが含まれることがあります。

- 目的地が回避エリアにある。
- ルートが回避エリアを通る道路を使用している。

ℹ 回避エリア内の高速道路はルート検索に常に含まれます。

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** [NAVI] 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ から、まわして ⟲◎⟳ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 回避エリア を選択し、押して ⊛ 確定します。
回避エリアをまだ設定してない場合は、地図が表示されます（オプション 1）。

1 つ以上の回避エリアを設定している場合は、リストが表示されます（オプション 2）。

オプション 1：地図

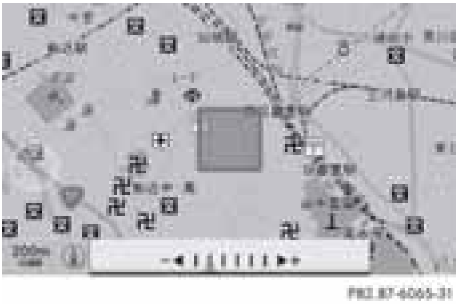
▶ 新規 を選択し、押して ◎ 確定します。
地図が表示されます。
クロスカーソルは回避エリアの中心を示します。

▶ **天気図をスクロールする：** COMAND コントローラーをスライドします ←◎→、↑◎↓、↖◎↘。

▶ **地図の縮尺を設定する：** COMAND コントローラーをまわすと ⟲◎⟳、すみやかに縮尺バーが表示されます。 時計回りにまわすと地図がズームアウトされ、反時計回りにまわすとズームインします。

▶ 希望の縮尺が設定されるまでまわします ⟲◎⟳ 。

▶ **回避エリアを適用する：** COMAND コントローラーを押します ◎。



COMAND システムは地図の縮尺を 200 m にし、回避エリアが地図に赤色の四角で表示されます。

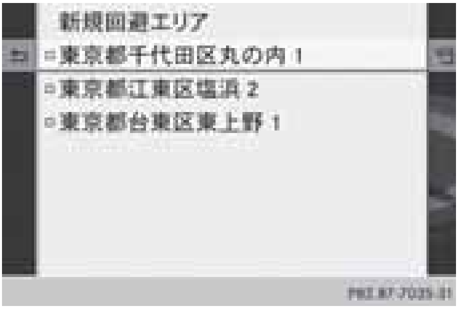
回避エリアの設定

▶ COMAND コントローラーをまわします ⟲◎⟳。
四角が拡大または縮小されます。

ⓘ 回避エリア（四角の 1 辺の長さ）を 50 m から 10 km の大きさで設定できます。

▶ **設定を確定する：** 押します ◎。
リストが表示されます。 以前に選択された回避エリアが追加され、有効になります。

▶ "オプション 2：リストの表示"に記載されている説明に従ってください。



例："回避エリア" リスト

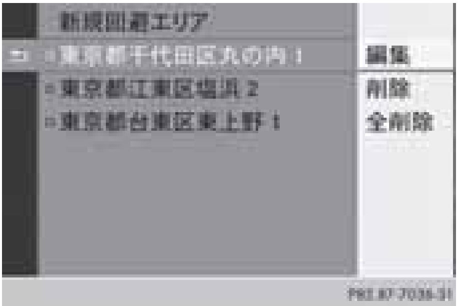
オプション 2：リストの表示

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、新規回避エリア を選択し、押して ◎ 確定します。
地図が表示されます。

▶ 地図上に新しい回避エリアを設定したい場合は、"オプション 1：メニューの表示" の指示に従って進めます。

回避エリアのオン/オフを切り替える

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、リストで項目を選択し、押して ◎ 確定します。
前回の状態によって、回避エリアがオン ☑ またはオフ □ に切り替わります。



回避エリアを変更する

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、リストで項目を選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドします ◎→。
メニューが表示されます。

▶ 編集 を選択し、押して ◎ 確定します。

回避エリアが地図上に表示されます。

エリアの位置を変更する

▶ COMAND コントローラーをスライドします ←◎→、↑◎↓、↗◎↙。
エリアが地図上で移動します。

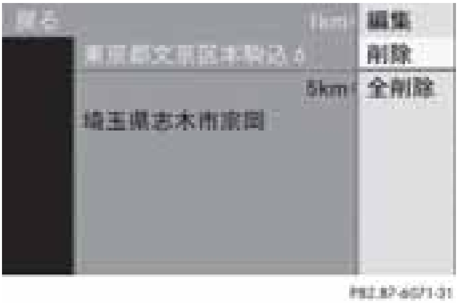
エリアのサイズを調整する

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、押して ◎ 確定します。
エリアが拡大または縮小されます。

ℹ 回避エリア（四角の一辺の長さ）を 50 m から 10 km の大きさで設定できます。

変更を確定する

▶ COMAND コントローラーを押します ◎。
リストが表示され、変更が入力されます。



回避エリアを削除する

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、リストで項目を選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドします ◎→。
メニューが表示されます。

▶ 削除 を選択し、押して ◎ 確定します。
地図が表示され、そのエリアを削除すべきかどうかを問う確認が表示されます。

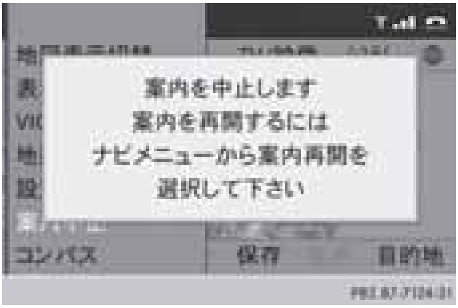
▶ はい または いいえ を選択し、◎ で確定します。
はい を選択すると、エリアが削除されます。
いいえ を選択すると、削除が取り消されます。

すべての回避エリアを削除する

▶ メニューで、全削除 を選択し、押して ◎ 確定します。
地図が表示され、すべてのエリアを削除すべきかどうかを問う確認が表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、◎ で確定します。
はい を選択すると、すべてのエリアが削除されます。
いいえ を選択すると、削除が取り消されます。

ルート案内を中止する



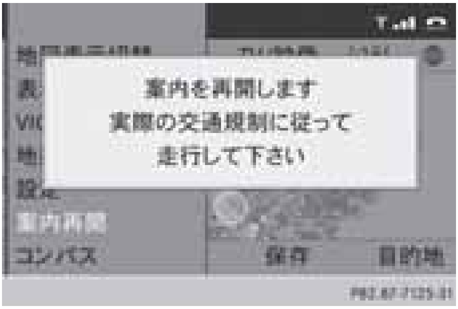
▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◎。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ から、まわして ⟲◎⟳、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 案内中止 を選択し、押して ◎ 確定します。
メッセージが表示されます。ルート案内を一時停止すると、ルート表示（青色の線）が地図から削除されます。

ルート案内を継続する



▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ から、まわして ◐◎◑ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ⊛ 確定します。

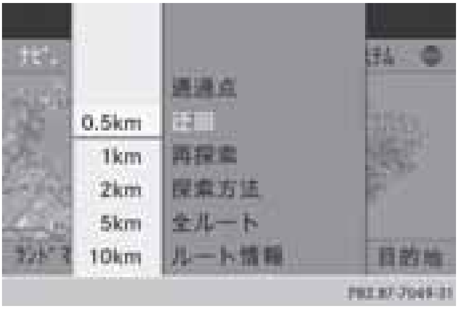
▶ 案内再開 を選択し、押して ⊛ 確定します。
メッセージが表示されます。COMAND システムは現在の位置から目的地までのルートを検索します。
検索後、地図がルート表示（青色の線）とともに表示されます。

ルート案内への影響

迂回検索する

この機能は前方にあるルートの区間を回避します。 回避するルート区間の長さを設定できます。 可能であれば、COMAND システムは回避するルート区間の周りの迂回路を検索します。

ℹ 回避する区間の長さによっては、迂回検索が利用できないことがあります。



迂回検索の開始

▶ ナビゲーションシステムメニューバーで COMAND コントローラーをまわして ◐◎◑ 、ルート を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 迂回 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 回避する区間の長さを選択し、⊛ で確定します。
COMAND システムは、回避するルートの区間を考慮に入れてルートの再検索を行ないます。

迂回路を削除する

▶ ナビゲーションシステムメニューバーで COMAND コントローラーをまわして ◐◎◑ 、ルート を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 再検索 を選択し、押して ⊛ 確定します。
以前に回避したルートの区間は再びフリーになり、COMAND システムはルートを再検索します。

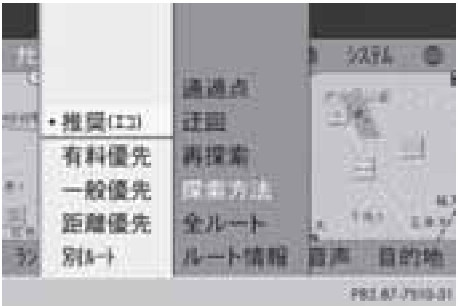
ルートの再検索

▶ ナビゲーションシステムメニューバーで COMAND コントローラーをまわし

て ◎ 、ルート を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 再検索 を選択し、押して ⊛ 確定します。
COMAND システムが新しいルートを検索すると、地図に表示されます。

別ルートの検索



▶ ナビゲーションシステムメニューバーで COMAND コントローラーをまわして ◎ 、ルート を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 条件変更 を選択し、押して ⊛ 確定します。
以下のオプションの 1 つを選択できます。 項目の左側にあるドット • が現在使用しているルートを示します。

別ルート	説明
推奨（エコ）	COMAND システムによって推奨されるルート
有料優先	可能な限り有料道路を使用したルート
一般優先	可能な限り一般道を使用したルート
距離優先	目的地から可能な限り最短距離のルート
別ルート	他に利用可能な別ルート

ℹ COMAND システムが新しいルートを検索すると、地図に表示されます。

一般道路が自動車道路の下を、または並行して走っている場合には、車両位置が一時的に他の道路に表示されることがあります。

実際は高速道路を走行していても、現在の車両位置が一時的に一般道に表示されることもあります。

ルートの再検索

全ルート地図を表示する

▶ ナビゲーションシステムメニューバーで COMAND コントローラーをまわして ◎ 、ルート を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 全ルート を選択し、押して ⊛ 確定します。

全ルート図が表示されている場合は、以下の機能を使用できます。

- 通過地点の表示、指定(▷ 64 ページ)、編集および変更
- 地図のスクロール(▷ 67 ページ)

ⓘ 安全のため、車両が走行しているときは、設定された間隔でのみ地図がスクロールします。

ルート情報を表示する

ルート情報の名称の表示

▶ ナビゲーションシステムメニューバーで COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、ルート を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ ルート情報 を選択し、押して ⊛ 確定します。
COMAND システムはルート情報を表示します。

以下の情報が表示されます。

- 出発地点の名称
- 通過点の名称 (4 箇所まで)
- 目的地の名称

ルート情報の距離の表示

▶ **目的地情報に切り替える：**メニューで 地点情報 を選択し、押して ⊛ 確定します。
ルート地点までの距離と予想到着時間が表示されます。

▶ **ルートリストを表示する：**ルートリスト を選択し、⊛ で確定します。
走行するルート区間が、長さ、名称およびマークとともに表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、ルートリストをスクロールします。

ルートの出発点にクロスカーソルのある地図

次のルート地点（通過点 1）にクロスカーソルのある地図

- **ルートをスクロールする：**メニューでスクロール を選択し、押して ◎ 確定します。
  クロスカーソルのある地図が表示されます。

目的地位置を表示する

- ▶▶| を選択し、押して ◎ 確定します。

目的地を表示する

- ▶ を選択し、押して ◎ 確定します。

スクロールを一時停止する

- ‖ を選択し、押して ◎ 確定します。

ℹ プレビューは通過点と目的地で停止します。 この場合、プレビューは選択した方向で再開しなければなりません。

出発地点に戻る

- ◀ を選択し、押して ◎ 確定します。

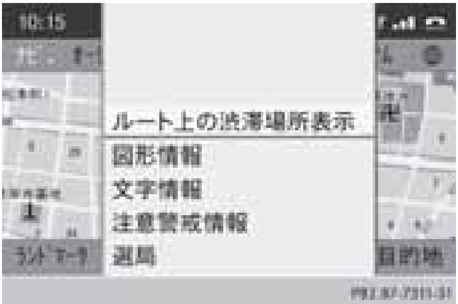
出発地点の位置を表示する

- |◀◀ を選択し、押して ◎ 確定します。

地図の縮尺を設定する

- 縮尺 を選択し、押して ◎ 確定します。
  さらなる情報(▷ 115 ページ)

交通状況を地図に表示する



COMAND システムが効果的な迂回路を提供できないような交通渋滞は、地図に詳細情報として表示されます。

- **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◎ 。

▶ COMAND コントローラーをまわして 、ナビゲーションシステムメニューバーで VICS を選択し、押して 確定します。

▶ ルート上の渋滞場所表示 を選択し、押して 確定します。

地図が表示され、交通渋滞があれば表示します。

▶ **交通渋滞を表示する：**ズームイン を選択し、押して 確定します。

地図の縮尺が拡大されます。

▶ ズームオフ で地図に戻ります。

① 交通渋滞の長さ

② 交通渋滞から現在地点までの距離

③ 交通渋滞により影響を受ける道路名

④ 交通渋滞が始まる道路名

⑤ 交通渋滞が終わる道路名

▶ **詳細情報を表示する：**詳細 を選択し、押して 確定します。

▶ **地図に戻る：** で 戻る を確定するか、リターンスイッチ を押します。

渋滞回避探索

道路および交通の情報を受信して評価するには、VICS（Vehicle Information and Communication System reports：道路交通情報通信システム）をサポートしている追加装備が車両に必要です。

渋滞回避探索の補助で、ナビゲーションシステムによって以下の場合に交通渋滞を避ける補助を行ないます。

- 車両に適切な VICS 装備が装備されてる場合
- 渋滞回避探索 機能がオンの場合

ℹ VICS についてのさらなる情報 (▷ 123 ページ)

VICS 装備についての情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場へお問い合わせください。

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します 。

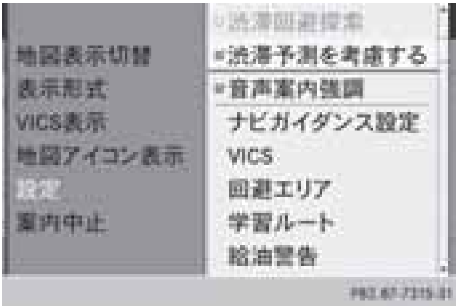
▶ COMAND コントローラーをスライドして から、まわして 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して 確定します。

▶ 設定 を選択し、押して 確定します。

▶ 渋滞回避探索 を選択し、押して 確定します。

以前の設定によって、機能がオン ☑ またはオフ ☐ のいずれかに切り替わります。

ルート検索に交通統計を考慮する



- **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◎ 。
- COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ から、まわして ⟲◎⟳ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ◎ 確定します。
- 設定 を選択し、押して ◎ 確定します。
- 渋滞予測を考慮する を選択し、押して ◎ 確定します。
  以前の設定によって、機能がオン ☑ またはオフ ☐ のいずれかに切り替わります。

ナビ音声案内中に音量を小さくする

ナビの音声案内中に、現在のオーディオソースが静かになります。

- **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◎ 。
- COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ から、まわして ⟲◎⟳ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ◎ 確定します。
- 設定 を選択し、押して ◎ 確定します。
- 音声案内優先 を選択し、押して ◎ 確定します。
  以前の設定によって、機能がオン ☑ またはオフ ☐ のいずれかに切り替わります。

特別なナビのメッセージのオン/オフの切り替え

特別なナビのメッセージのオン/オフを切り替えることができます。 これらは、例えば踏み切りを通過する前に聞くことができます。

- **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◎ 。
- COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ から、まわして ⟲◎⟳ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ◎ 確定します。
- 設定 を選択し、押して ◎ 確定します。
- ナビガイダンス設定 を選択し、押して ◎ 確定します。
- 項目を選択し、押して ◎ 確定します。
  以前の設定によって、機能がオン ☑ またはオフ ☐ のいずれかに切り替わります。

設定	ナビの音声案内が聞こえるとき
合流警告	分岐点の前
踏切警告	踏み切りの前

設定	ナビの音声案内が聞こえるとき
カーブ警告	カーブの前
県境お知らせ	県境通過の前

ルートの最適化

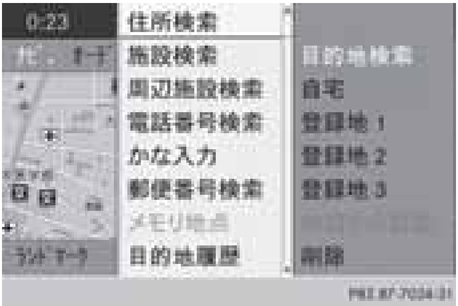
この機能がオンのときは、COMAND システムがルートを"学習する"ので、数回運転することによりルートが最適化されます。

- **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◎ 。
- COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ から、まわして 《◎》、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ◎ 確定します。
- 設定 を選択し、押して ◎ 確定します。
- 学習ルート を選択し、押して ◎ 確定します。
  以前の設定によって、機能がオン ☑ またはオフ □ のいずれかに切り替わります。

その後に"学習した"ルートのリストを開き、ルート案内のルートを選択することができます。

目的地の検索

目的地検索オプション



メニューにはさまざまな目的地検索オプションがあります。

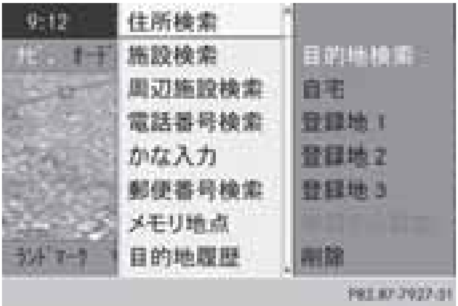
- **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◎ 。
- COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 《◎》、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ◎ 確定します。
- 目的地検索 を選択し、押して ◎ 確定します。
  目的地検索オプションが表示されます。
- オプションのすべてを表示するには、COMAND コントローラーをまわします 《◎》。

目的地検索	説明
住所検索	住所検索
施設検索	施設を検索する
周辺施設検索	施設の検索 • 現在の車両位置 • 目的地 • ルート周辺
電話番号検索	電話番号を使用して検索する

目的地検索	説明
かな入力	"50 音" 表を使用して検索する
郵便番号検索	郵便番号を使用して検索する
メモリ地点	メモリ地点を検索する
目的地履歴	以前の目的地を検索する
アドレス帳検索	アドレス帳から選択する
ドライブコース	ルートを選択する
観光案内	観光案内から選択する

ℹ ルート案内が作動していないときは 目的地 が、ルート案内が作動しているときは 目的地設定が利用できます。

住所検索



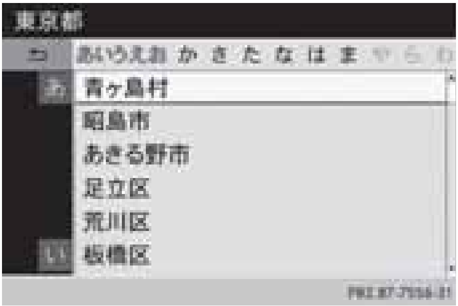
▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 目的地検索 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ ⊛ で 住所検索 を確定します。



現在選択されている地域の都道府県がリストに表示されます。

地域の選択

▶ COMAND コントローラーをスライドして ←◎→、地域を選択します。

地域（最上行）が北海道、東北、関東のように変わります。

選択した地域の都道府県のリストが表示されます。

都道府県の選択

▶ COMAND コントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ⟲◎⟳、選択し、⊛ で確定します。

リストに現在選択されている 50 音に一致する場所（市、区、市街地）が表示されます。

場所を選択する

▶ COMAND コントローラーをスライドして ←◎→ 、押して ◉ 確定します。
場所のリストが 50 音順にしたがって変わります。

▶ COMAND コントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ↺◎↻、◉ で確定します。
選択した都道府県の詳細なアドレスリスト (丁目) が表示されます。

住所（丁目）の選択

▶ COMAND コントローラーをスライドして ←◎→ 、押して ◉ 確定します。
住所のリストが 50 音順にしたがって変わります。

▶ COMAND コントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ↺◎↻、押して ◉ 確定します。
住所リスト（番地) が表示されます。

ℹ ～主要部を選択すると、選択した場所、または詳細な住所 (丁目) の地図が表示されます。

住所（番地）の選択

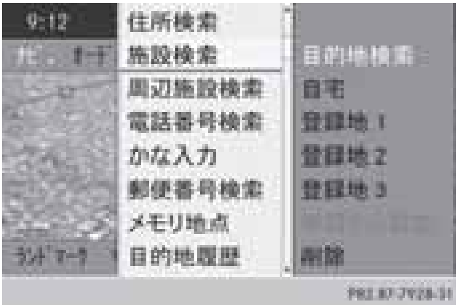
▶ COMAND コントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ↺◎↻、押して ◉ 確定します。
住所リスト（号）が表示されます。

住所（号）の選択

▶ COMAND コントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ↺◎↻、押して ◉ 確定します。
選択した住所付近の地図が表示されます。

選択の追加オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ◉ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 109 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 165 ページ)
目的地住所への電話発信(▷ 150 ページ)

施設を検索する



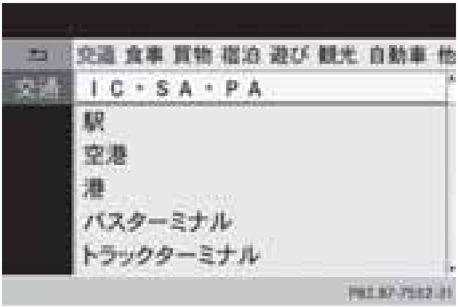
▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◉ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↺◎↻、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 目的地検索 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 施設検索 を選択し、押して ◉ 確定します。



カテゴリーリストが表示されます。

カテゴリーとカテゴリー項目の選択

▶ COMAND コントローラーをスライドします ←◎→ 。

カテゴリーが、交通、食事、買物のように変わります。

選択したカテゴリーで利用可能な項目のリストが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ⟲◎⟳、IC・SA・PA、駅、空港 などを選択し、押して ◎ 確定します。

現在選択されている地域の都道府県がリストに表示されます。

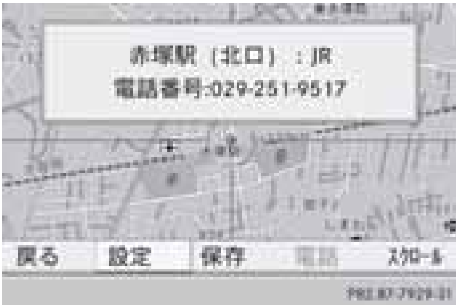
地域と都道府県の選択

▶ COMAND コントローラーをスライドします ←◎→ 。

地域が、北海道、東北、関東のように変わります。

選択した地域の都道府県のリストが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ⟲◎⟳、都道府県を選択し、押して ◎ 確定します。



都道府県にある選択したカテゴリーで利用可能な施設のリストが表示されます。

施設の選択

▶ COMAND コントローラーをスライドして ←◎→ 、押して ◎ 確定します。

施設のリストが 50 音順にしたがって変わります。

▶ COMAND コントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ⟲◎⟳、施設を選択し、押して ◎ 確定します。

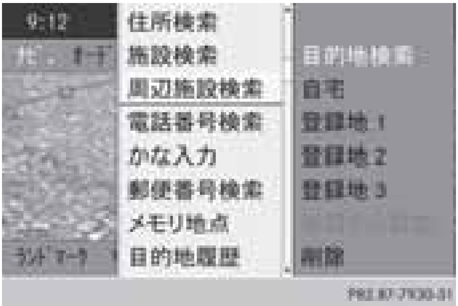
クロスカーソルのある地図が表示されます。 ウインドウに選択した施設と電話番号（使用可能な場合）が表示されます。

地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 109 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 165 ページ)
施設への電話発信(▷ 150 ページ)

ℹ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMAND システムに接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 144 ページ)。

周辺の施設を検索する

カテゴリーリストを使用しての検索



ステップ 1：施設メニューを呼び出す。

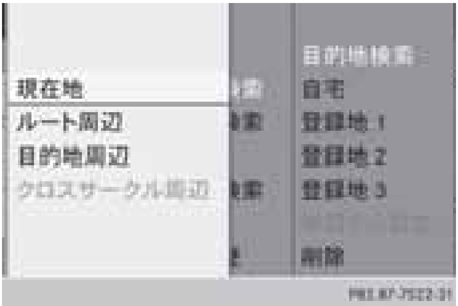
▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 目的地検索 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 周辺施設検索 を選択し、押して ⊛ 確定します。



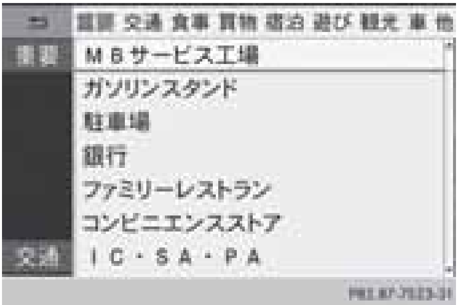
メニューが表示されます。

ステップ 2：施設検索の位置を決定する。

▶ COMAND コントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ⟲◎⟳、メニューで位置を選択し、押して ⊛ 確定します。
カテゴリーリストが表示されます。

選択	特徴
現在地	システムが現在の車両位置周辺の施設を検索します。
ルート周辺	ルート案内が作動しているときにのみ入力できます。 システムがルート沿いの施設を検索します。

選択	特徴
目的地周辺	システムが目的地周辺の施設を検索します。
クロスサークル周辺	この施設検索オプションは、クロスカーソルが地図に表示されているとき、例えば"地図を動かす"機能を使用しているときに利用できます (▷ 116 ページ)。



ステップ３：カテゴリーと施設を選択する。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ←◎→ カテゴリーを選択します。

カテゴリーが、交通、食事、買物のように変わります。

リストに使用可能な項目が表示されます。

▶ COMAND コントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ⟲◎⟳、リストから項目を選択し、押して ◉ 確定します。

見つかった施設が地図の右に表示されます。

▶ COMAND コントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ⟲◎⟳、項目を選択し、押して ◉ 確定します。

項目には以下の情報が含まれます。

- 施設への直線方向を示す矢印
- 施設までの直線距離（m または km）
- 施設の名称

クロスカーソルのある地図が表示されます。 ウインドウに選択した施設と電話番号（使用可能な場合）が表示されます。

地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ◉ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 109 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 165 ページ)
施設への電話発信(▷ 150 ページ)

ℹ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMAND システムに接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 144 ページ)。

施設ガイドを使用しての検索

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します 。

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、ランドマーク を選択し、押して 確定します。

地図が表示され、次に利用可能な施設が強調されます。

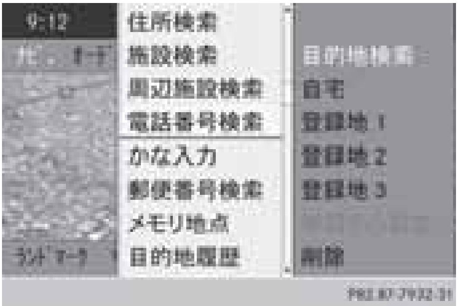
▶ **地図上の次/前の施設を強調する：** COMAND コントローラーをまわして ◎、次候補 または 前候補 を選択し、押して 確定します。

▶ **施設に関する情報を表示する：** 情報 を選択し、押して 確定します。

▶ **目的地を設定する：** 設定 を選択し、押して 確定します。

▶ 押して 、目的地 を確定します。
全ルート図 が表示されます(▷ 62 ページ)。

電話番号を使用して検索する



▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します 。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ◎、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して 確定します。

▶ 目的地検索 を選択し、押して 確定します。

▶ 電話番号検索 を選択し、押して 確定します。

電話番号の入力メニューが表示されます。

オプション 1

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、数字バーで数字を 1 桁ずつ選択し、押して ◉ 確定します。

オプション 2

▶ COMAND コントロールパネルのテンキーを使用して、数字を入力します。

入力の削除

▶ 数字バーで COMAND コントローラーをスライドして ←◎→ 、c を選択し、押して ◉ 確定します。

または

▶ COMAND コントローラー右側の c スイッチまたは COMAND コントロールパネルの CLEAR スイッチを押します。

どちらの場合も、カーソルの左側の数字が削除されます。

ℹ 削除時に、COMAND コントローラー、または c または CLEAR スイッチを押して保持すると、入力した数字が**すべて** 削除されます。

電話番号をすべて入力すると、メッセージが表示されます。

該当する住所付近の地図が表示されます。

以下の場合は、適切な縮尺で地図が表示されます。

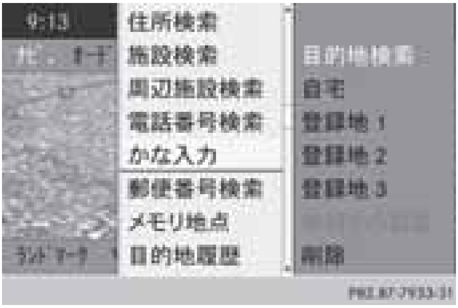
- 電話番号に住所の情報（丁目、番地、号、ピンポイント情報）が含まれていない。
- 市外局番または市内局番のみが入力されている。

地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ◉ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 109 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 165 ページ)
施設の呼び出し(▷ 150 ページ)

ℹ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMAND システムに接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 144 ページ)。

"50 音" 表を使用して検索する

"50 音" 表の呼び出し



"50 音" 表（ひらがな）

- **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◎ 。
- COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↺◎↻、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ◎ 確定します。
- 目的地検索 を選択し、押して ◎ 確定します。
- かな入力 を選択し、押して ◎ 確定します。
  "50 音" 表（ひらがな）が表示されます。

ℹ 文字が何も選択されていない場合は、c と リスト はメニューバーで選択できません。

ℹ リスト は項目の数が 10,000 件未満の場合に選択できます。

COMAND コントローラーを使用して入力する

- **行を切り替える：** COMAND コントローラーをスライドするか ←◎→、まわします ↺◎↻。
- **段を切り替える：** COMAND コントローラーをスライドします ↑◎↓ または ↗◎↙。

ℹ 灰色で表示されている文字は選択できません。

- **選択した文字を確定する：** COMAND コントローラーを押します ◎ 。
  選択に該当する項目のリストが表示されます。

COMAND コントロールパネルのテンキーを使用して入力する

- **行を選択する：** 行に対応するテンキー（右から数えて）を押します。
  選択した行の文字が画面の下に表示されます。

例：文字 "く" の選択

- 行でテンキー 2 を 3 回軽く押します。
  最初に押した後、か行で使用可能な文字が画面の下部に表示されます。 最初に使用可能な文字が強調されます。

キーが押されるたびに、次の文字が選択されます。

例：キー 2

- 1 度押し = か
- 2 度押し = き
- 3 度押し = く
- 4 度押し = け
- 5 度押し = こ

入力した文字を削除する

▶ COMAND コントローラーをスライドして ←◎→、最下行で [c] を選択し、押して ◎ 確定します。

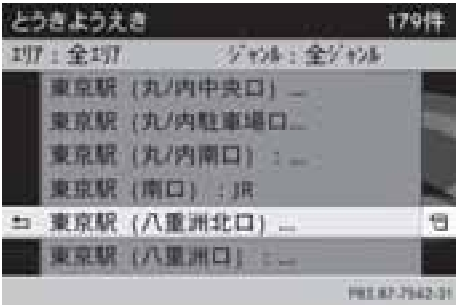
または

▶ COMAND コントローラー右側の [c] スイッチまたは COMAND コントロールパネルの [CLEAR] スイッチを押します。

いずれの場合も、以前に入力した文字が削除されます。

ⓘ 削除時に、COMAND コントローラー、または [c] または [CLEAR] スイッチの 1 つを押して保持すると、入力した文字が**すべて** 削除されます。

リストを表示する



リスト

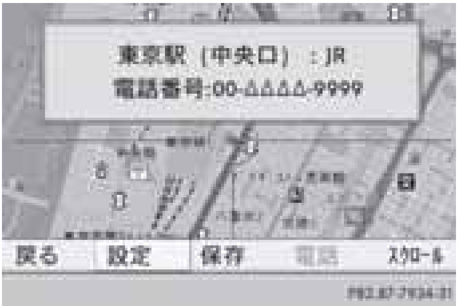
リスト は検索された項目が 10,000 件未満の場合に選択できます。 文字を入力すると、検索された項目の件数が右上に表示されます。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↻◎↺、リスト を選択し、押して ◎ 確定します。

入力した文字に合致する項目のリストが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ↻◎↺、リスト項目を選択し、押して ◎ 確定します。

ナビ



選択した項目の周辺が地図に表示されます。 加えて、項目名と電話番号のウインドウが表示されます。

地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ◉ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 109 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 165 ページ)
施設の呼び出し(▷ 150 ページ)

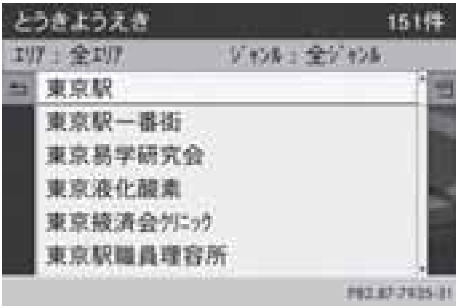
ℹ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMAND システムに接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 144 ページ)。

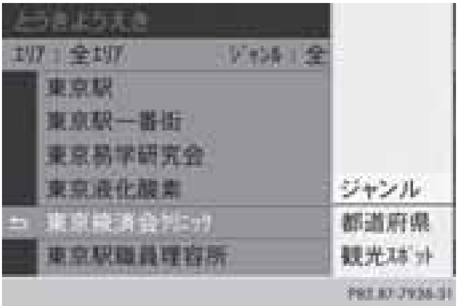
検索結果をさらに絞り込む

結果の数を減らすために以下のように検索を絞り込むことができます。

- カテゴリー
- 都道府県
- 名所

ℹ 異なる絞り込みを組み合わせても使用できます。 リストごとに異なる絞り込みを選択できます。





検索結果の選択

▶ リストで COMAND コントローラーをスライドして ◎➡、項目の右のリストマークを選択し、押して ◉ 確定します。
検索結果を絞り込むことができます。

カテゴリーで絞り込む

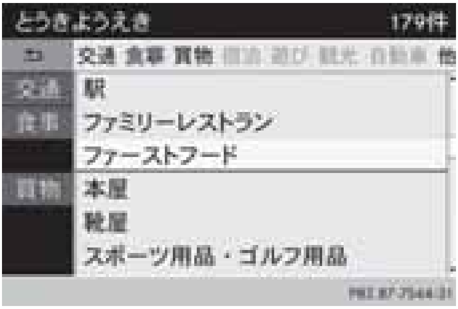
オプション 1

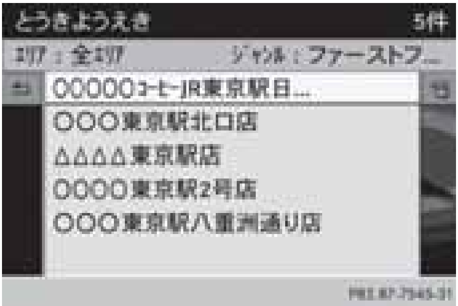
▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、ジャンル を選択し、押して ◉ 確定します。

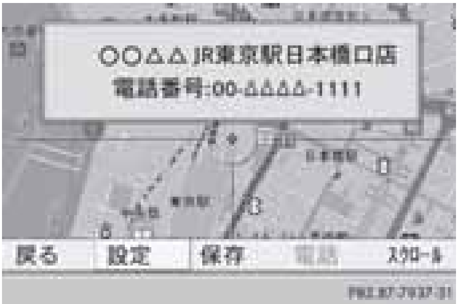
▶ 登録 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 現在の絞り込みを削除するには、削除 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ **カテゴリーを選択する：** COMAND コントローラーをスライドして ⬅◎➡ 、押して ◉ 確定します。
カテゴリーが、交通、食事、買物のように変わります。







オプション 2

▶ **施設の種類を選択する：**COMAND コントローラーをスライドする ↓◎↑ か、まわします 〔◎〕。
施設の種類が、ファミリーレストラン、ファーストフードのように変わります。

▶ 押して ◉ 施設の種類を確定します。
選択した施設の種類のある項目のリストが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、項目を選択し、押して ◉ 確定します。
検索結果の周辺エリアの地図が表示されます。 ウインドウに名称と電話番号（使用可能な場合）が表示されます。

地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ◉ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 109 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 165 ページ)
施設の呼び出し(▷ 150 ページ)

ℹ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMAND システムに接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 144 ページ)。

都道府県で絞り込む

オプション 1

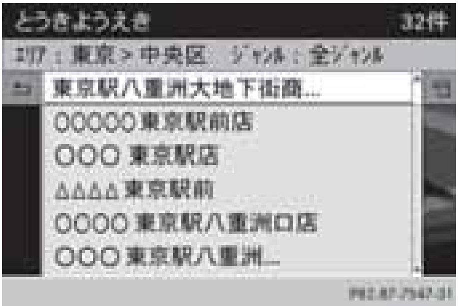
▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、都道府県 を選択し、押して ◉ 確定します。

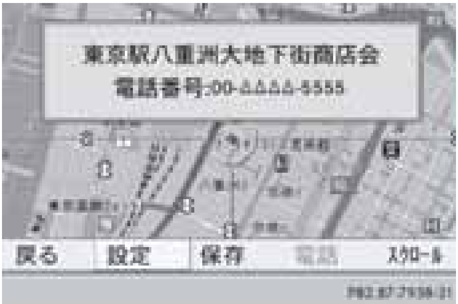
▶ 設定 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 現在の絞り込みを削除するには、削除 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ **地域を選択する：** COMAND コントローラーをスライドして ←◎→、押して ◉ 確定します。
地域が、北海道、東北、関東のように変わります。

ナビ





オプション 2

▶ **都道府県を選択する：**COMAND コントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわします ⟲◎⟳。

都道府県が変わります。

▶ 選択した都道府県を確定します ⊛ 。

市、区、市街地または町村内の使用可能な項目を含むリストが表示されます。

▶ **市、区、市街地または町村を選択する：** COMAND コントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ⟲◎⟳、押して ⊛ 確定します。

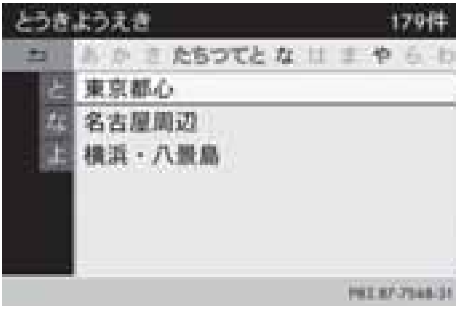
選択した場所（市、区、市街地または町村）で検索した結果を含むリストが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ⟲◎⟳、検索結果を選択し、押して ⊛ 確定します。

検索結果の周辺エリアの地図が表示されます。 名称と電話番号がウインドウに表示されます。

地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 109 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 165 ページ)
施設の呼び出し(▷ 150 ページ)

ℹ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMAND システムに接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 144 ページ)。



名所で絞り込む

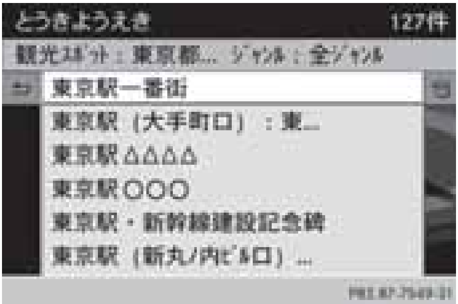
▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、観光スポット を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 設定 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 現在の絞り込みを削除するには、削除 を選択し、押して ◉ 確定します。

オプション 1

▶ COMAND コントローラーをスライドして ←◎→ 、押して ◉ 確定します。
名所のリストが 50 音順に従って変わります。



オプション 2

▶ **名所を選択する：** COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、押して ◉ 確定します。
使用可能な名所のリストが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、名所を選択し、押して ◉ 確定します。
名所の周辺エリアの地図が表示されます。 ウインドウに名称と電話番号（使用可能な場合）が表示されます。

地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ◉ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 109 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 165 ページ)
施設の呼び出し(▷ 150 ページ)

ℹ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMAND システムに接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 144 ページ)。

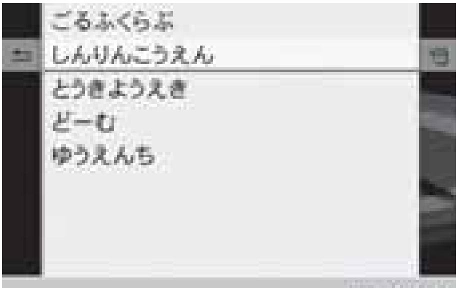
既に入力した文字列から検索する

COMAND システムは、"50 音" 表を使用して入力した文字列を保存します。
このようにして、既に入力した文字列を使用して検索を開始できます。

以前に入力した文字列の選択

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、検索履歴 を選択します。

ナビ



P82.87-7550-31

P82.87-6129-31

以前入力した文字列のリストが表示されます。

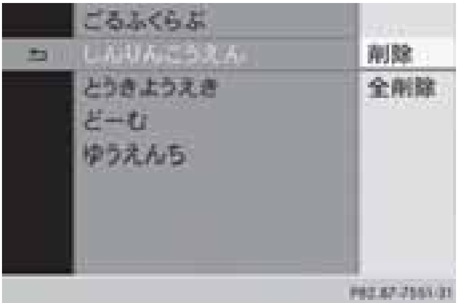
▶ **文字列を選択する：** COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、押して ◎↓ 確定します。
選択した文字列は"50 音"表の左上に表示されます。

▶ "50 音" 表を使用してさらに文字を追加することができます。

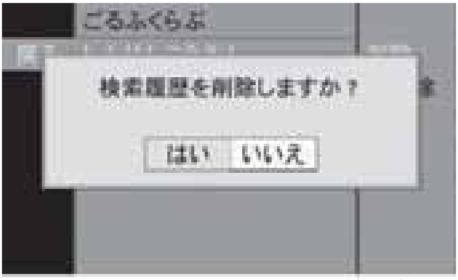
P82.87-6129-31

以前入力した文字列/すべての文字列の削除

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、検索履歴 を選択します。
以前入力した文字列のリストが表示されます。



P82.87-7551-31

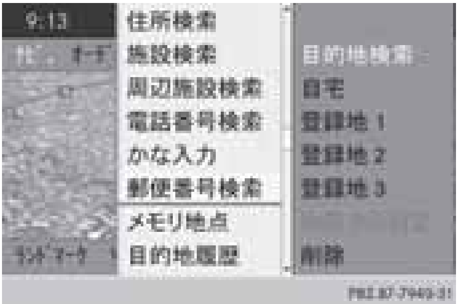


P82.87-6131-31

P82.87-6132-31

- **文字列を選択する：** COMAND コントローラーをまわします (◎)。
- COMAND コントローラーをスライドして ◎→、文字列の右側のリストマークを選択し、押して ⊛ 確定します。
- **特定の文字列を削除する：**削除 を選択し、押して ⊛ 確定します。
  確定のメッセージが表示されます。
- はい または いいえ を選択し、押して ⊛ 確定します。
  いいえ を選択すると、処理が中止されます。
  はい を選択すると、文字列が削除されます。
- **すべての文字列を削除する：** COMAND コントローラーをまわして (◎)、全削除 を選択し、押して ⊛ 確定します。
  確定のメッセージが表示されます。
- はい または いいえ を選択し、押して ⊛ 確定します。
  いいえ を選択すると、処理が中止されます。
  はい を選択すると、以前の文字列すべてが削除されます。

郵便番号を使用して検索する



P82.87-7949-31

- **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。
- COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして (◎)、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
- 目的地検索 を選択し、押して ⊛ 確定します。
- 郵便番号検索 を選択し、押して ⊛ 確定します。

P82.87-6542-31

P82.87-6544-31

郵便番号入力のメッセージが表示されます。

オプション 1

- COMAND コントローラーをまわして (◎)、数字バーで希望の数字を選択し、その都度押して ⊛ 確定します。

ナビ

オプション 2

▶ COMAND コントロールパネルのテンキーを使用して、希望の数字を入力します。

▶ 両方のオプションで、COMAND コントローラーをスライドして ←◎→、数字バーで ok を選択し、押して 確定します。

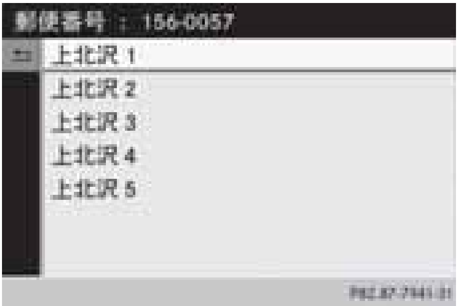
入力を削除する

▶ COMAND コントローラーをスライドして ←◎→、最下行で c スイッチを選択し、押して 確定します。

または

▶ COMAND コントローラー右側の c スイッチまたは COMAND コントロールパネルの CLEAR スイッチを押します。
いずれの場合も、最後に入力した数字が削除されます。

ℹ 削除時に、COMAND コントローラー、または c または CLEAR スイッチの 1 つを押して保持すると、入力した数字が**すべて** 削除されます。



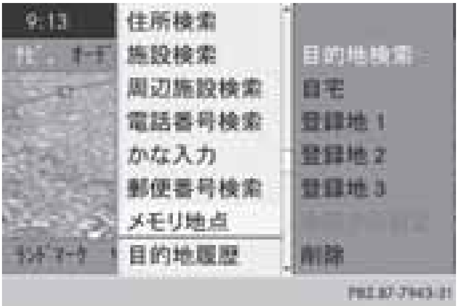
地域によっては、7 桁を入力すると、地域の詳細なリストが表示されます。

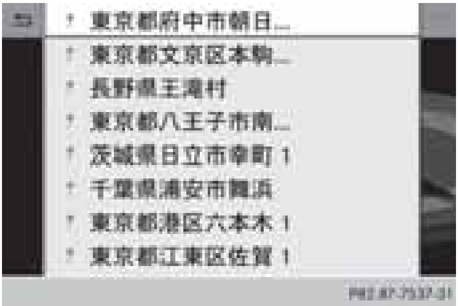
▶ COMAND コントローラーをまわして ◎ 、項目を選択し、押して 確定します。
郵便番号が明確な場合は、地図に該当のエリアが表示されます。

地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 109 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 165 ページ)
施設の呼び出し(▷ 150 ページ)

ℹ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMAND システムに接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 144 ページ)。

メモリ地点を検索する





- **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。
- COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
- 目的地検索 を選択し、押して ⊛ 確定します。
- メモリ地点 を選択し、押して ⊛ 確定します。
  メモリ地点リストが表示されます。
- COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、メモリ地点を選択し、押して ⊛ 確定します。
  地図にメモリ地点周辺が表示されます。

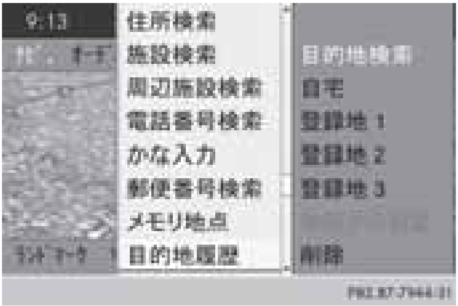
地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 109 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 165 ページ)
メモリ地点の呼び出し(▷ 150 ページ)

ⓘ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMAND システムに接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 144 ページ)。

ⓘ メモリ地点プリセットに関するさらなる情報は、(▷ 110 ページ) をご覧ください。

以前の目的地を検索する

以前の目的地メモリー



このメモリーには以前入力した目的地が 50 件まで含まれています。

- **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。

- COMAND コントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして 〔◎〕、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ◉ 確定します。
- 目的地検索 を選択し、押して ◉ 確定します。
- 目的地履歴 を選択し、押して ◉ 確定します。

以前の目的地のリストが表示されます。

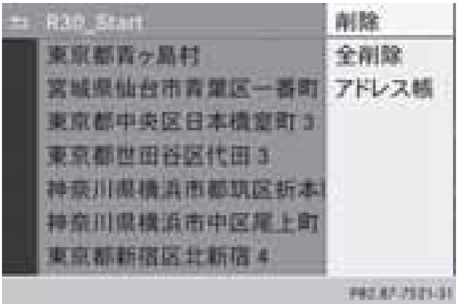
- COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、前回の目的地を選択し、押して ◉ 確定します。.
  選択した前回の目的地の周辺が地図に表示されます。

地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ◉ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 109 ページ)

地図選択オプション
アドレス帳への登録 (▷ 165 ページ)
前回の目的地への電話発信 (▷ 150 ページ)

ℹ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMAND システムに接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 144 ページ)。

以前の項目の削除



以前の目的地を削除する

- COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、メモリーで前回の目的地を選択します。
- COMAND コントローラーをスライドして ◎➡、選択した項目の右側のリストマークを選択し、押して ◉ 確定します。
- 押して ◉、削除 を確定します。
  確定のメッセージが表示されます。
- はい または いいえ を選択し、押して ◉ 確定します。
  いいえ を選択すると、処理が中止されます。
  はい を選択すると、選択した目的地が削除されます。

すべての以前の目的地を削除する

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、メモリーで前回の目的地を選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎→、選択した項目の右側のリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ メニューで、全削除 を選択し、押して ◎ 確定します。

確定のメッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

はい を選択すると、すべての以前の目的地が削除されます。

最後の目的地をアドレス帳にエクスポートする

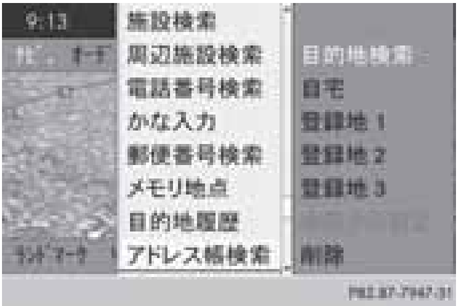
▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、メモリーで前回の目的地を選択します。

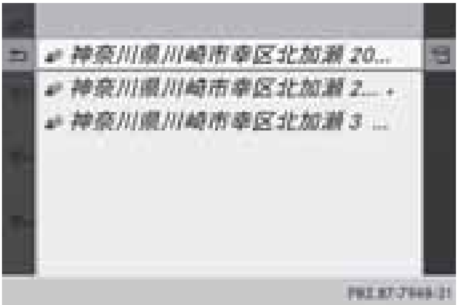
▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎→、選択した項目の右側のリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ メニューから アドレス帳 を選択し、押して ◎ 確定します。

アドレス帳についての情報 (▷ 165 ページ)。

アドレス帳から選択する





▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◎ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 目的地検索 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ アドレス帳検索 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ リストから ◎ マークのあるアドレス帳項目を選択します。

選択したアドレス帳項目周辺の地図が表示されます。

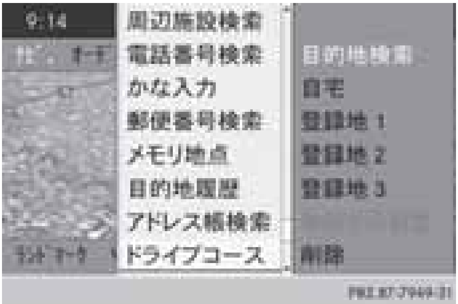
地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 109 ページ)
アドレス帳項目の呼び出し (▷ 150 ページ)

ナビ

ⓘ 電話番号が使用可能で、携帯電話が COMAND システムに接続されている場合は、電話 を選択することができます (▷ 144 ページ)。

ルートを選択する

保存したルートを呼び出す



ルート案内のために設定したルートから、ルートを編集することができます。

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↺◎↻、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 目的地検索 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ ドライブコース を選択し、押して ⊛ 確定します。

都道府県リストが表示されます。

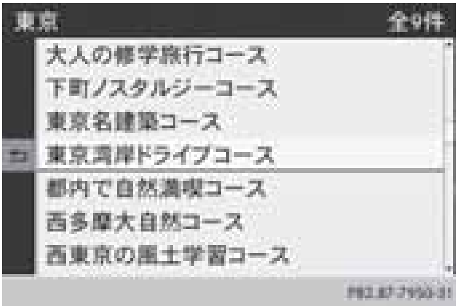
▶ **地域を選択する：** COMAND コントローラーをスライドします ←◎→。

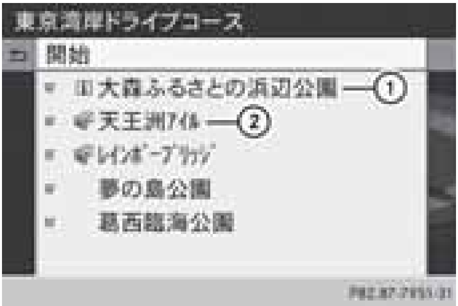
北海道、東北、関東のように地域を切り替えます。

選択した地域の使用可能な都道府県のリストが表示されます。

または

▶ **都道府県を選択する：** COMAND コントローラーをスライドするか ↑◎↓、まわして ↺◎↻、押して ⊛ 確定します。





① 文字情報のある立寄地点

② 文字と写真情報のある立寄地点

使用可能なルートのリストが表示されます。

▶ ルートを選択し、押して ⊛ 確定します。
ルート上の個々の立寄地点が表示されます。

立寄地点の選択/選択解除

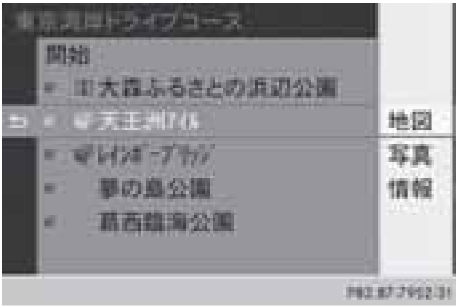
▶ 立寄地点を選択し、押して ⊛ 確定します。
ルート検索のための立寄地点を選択 ☑ または選択解除 □ できます。

▶ OK を選択し、押して ⊛ 確定します。
選択した立寄地点がルート検索に含まれます。 ルート検索が終了すると、ルート案内が開始されます。

ℹ 一度ルート案内が開始されると、立寄地点は追加できなくなります。

ℹ ただし、ルート案内が開始された後でも、立寄地点を選択解除できます。 そのためには、OK を選択し、ルートを再検索します。

立寄地点に関する情報



立寄地点の周辺地域の地図の呼び出し

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、立寄地点を選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎→、立寄地点の右側のリストマークを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 地図から指定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
立寄地点周辺が地図に表示されます。

以下のことができます。

- 地図のスクロール(▷ 116 ページ)
- 地図の縮尺の設定(▷ 115 ページ)

▶ **前回の画面に戻る：** COMAND コントローラーまたは ↩ スイッチを押します。

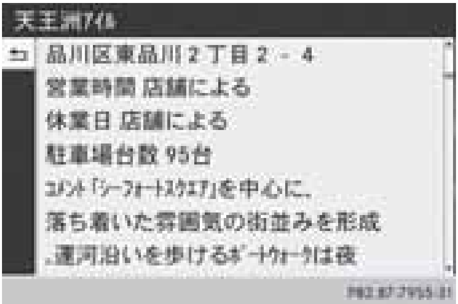
立寄地点の写真を表示する

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、立寄地点を選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎→、立寄地点の右側のリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 写真 を選択し、押して ◎ 確定します。
立寄地点の画像が表示されます。

▶ **前回の画面に戻る：** COMAND コントローラーまたは ↩ スイッチを押します。



立寄地点の文字情報を表示する

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、立寄地点を選択します。

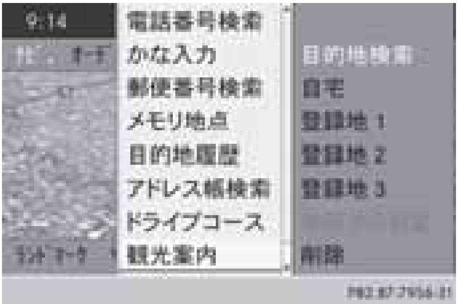
▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎→、立寄地点の右側のリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 情報 を選択し、押して ◎ 確定します。
入場料や営業時間などの文字情報が表示されます。

▶ **前回の画面に戻る：** COMAND コントローラーまたは ↩ スイッチを押します。

観光案内から選択する

観光案内を呼び出す



観光案内から目的地を選択できます。

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◎ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地

または 目的地設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 目的地検索 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 観光案内 を選択し、押して ⊛ 確定します。

日本の地図が表示されます。 例では、関東地域が強調されています。

▶ **地域を選択する：** COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、押して ⊛ 確定します。
選択した地域内で都道府県を選択できます。

▶ **都道府県を選択する：** COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、押して ⊛ 確定します。

選択した都道府県内で地図項目を選択できます。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、地図項目を選択します。 現在強調されている地図項目に赤い枠がつきます。

▶ COMAND コントローラーを押します ⊛。
グルメ、レジャー、観光など、使用可能なカテゴリーの 1 つを選択できます。

▶ グルメ、レジャー または 観光 を選択し、押して ⊛ 確定します。

選択したカテゴリーの利用可能な地図項目の地図が表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、地図項目を選択します。 現在強調されている地図項目に赤い枠がつきます。

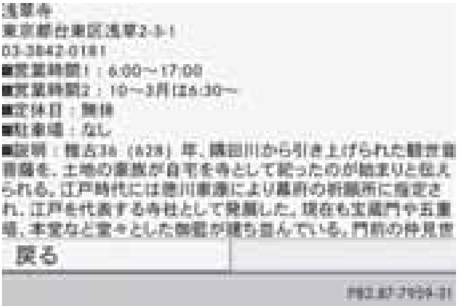
▶ COMAND コントローラーを押します ⊛。
メニューが表示されます。 目的地に関する情報（写真、文字）を閲覧し、ルート検索前に地図に切り替えることができます。

写真情報の閲覧

▶ 写真 を選択し、押して ⊛ 確定します。
選択した地図項目の写真が表示されます。

▶ **メニューに戻る：** 押して ⊛、戻る を確定するか、リターンスイッチ ⮌ を押します。

文字情報を表示する



▶ 情報 を選択し、押して ⊛ 確定します。
使用可能な文字情報が表示されます。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎↓、スクロールします。

▶ **メニューに戻る：** 押して ⊛、戻る を確定するか、リターンスイッチ [↩] を押します。

地図を表示する

▶ メニューから 地図 を選択し、押して ⊛ 確定します。
名所の地図、名称および電話番号（使用可能なとき）が表示されます。

地図選択オプション
目的地を設定する： 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。
メモリ地点としての保存 (▷ 109 ページ)
アドレス帳への登録 (▷ 165 ページ)
観光案内の目的地への電話発信 (▷ 150 ページ)

ℹ 観光案内の目的地が施設に登録されていて、携帯電話が COMAND システムに接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 144 ページ)。

地図から検索する

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** [NAVI] 機能スイッチを押します。

▶ 地図にクロスカーソルを表示します (▷ 116 ページ)。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、目的地 または 目的地設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 地図から設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 目的地 を選択し、押して ⊛ 確定します。
全ルート図 が表示されます(▷ 62 ページ)。

メモリ地点

メモリ地点の保存

全体的な注意事項

100 件までのメモリ地点を保存できます。

地図で選択し保存する

これらの地図の機能を使用します。

- 地図の縮尺を設定します (▷ 115 ページ)。
- 地図をスクロールします (▷ 116 ページ)。
- 地図の希望のメモリ地点にカーソルを置きます。
- **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。
- COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳ 、保存 を選択し、押して ⊛ 確定します。
- メモリ地点 を選択し、押して ⊛ 確定します。

メッセージは選択した地図の位置がメモリ地点として保存されたことを示します。

ℹ 選択した地図の位置はアドレス帳に登録することもできます(▷ 164 ページ)。

現在の車両位置を登録する

- ルート案内中で地図が表示されているときに COMAND コントローラーを押します ⊛。
  メニューが表示されます。
- COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、保存 を選択し、押して ⊛ 確定します。
- メモリ地点 を選択し、押して ⊛ 確定します。
  メッセージは現在の車両位置がメモリ地点として保存されたことを示しています。

目的地入力後に保存する

- 目的地の検索を開始します(▷ 84 ページ)。
  目的地住所がすべて入力されると地図が表示されます。 クロスカーソルは現在の目的地を示しています。
- 保存 を選択し、押して ⊛ 確定します。
- メモリ地点 を選択し、押して ⊛ 確定します。
  メッセージは目的地がメモリ地点として保存されたことを示します。

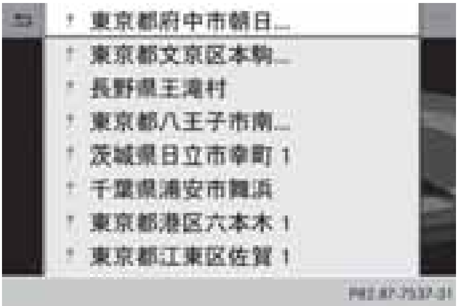
メモリ地点プリセット

使用できる機能

メモリ地点プリセットでは以下の機能が使用可能です。

- 詳細情報の表示と編集
- マークによるまたは保存日時によるメモリ地点の並び替え
- メモリ地点の削除
- すべてのメモリ地点の削除
- メモリ地点のアドレス帳への登録

メモリ地点プリセットを管理する



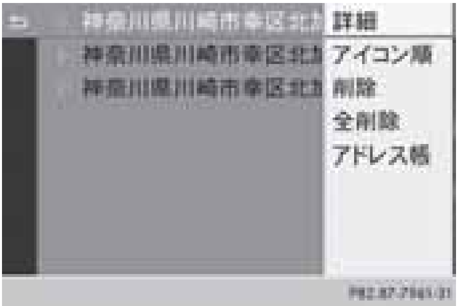
メモリ地点プリセット

- ナビゲーションモードに切り替える： NAVI 機能スイッチを押します。
- メニューを表示する： COMAND コントローラーを押します ◎ 。
- COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ◀◎▶、目的地設定 を選択し、押して ◎ 確定します。
- 目的地検索 を選択し、押して ◎ 確定します。
- メモリ地点 を選択し、押して ◎ 確定します。
  メモリ地点プリセットが表示されます。

ℹ ルート検索のためのメモリ地点の選択(▷ 101 ページ)。

リストからメモリ地点を選択し、COMAND コントローラーを押すと、目的地周辺のエリアの地図が表示されます。

詳細情報を表示する



メモリ地点の詳細画面

① 現在のマーク

② メモリ地点の名称

③ メモリ地点の住所

④ 電話番号 (使用可能な場合)

- COMAND コントローラーをまわして ◀◎▶、メモリ地点を選択します。
- COMAND コントローラーをスライドして ◎→、選択した項目の右側のリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。
- メニューで、押して ◎、詳細 を確定します。
  メモリ地点の詳細表示が表示されます。

ℹ 電話番号が施設に登録されており、携帯電話が COMAND システムに接続されている場合は、電話 を選択できます(▷ 144 ページ)。

マークを変更する

地図に表示されるマークを変更できます。

▶ メモリ地点の詳細画面で、押して ⊛、編集 を確定します。
メニューが表示されます。

P82.87-6094-31

▶ 押して ⊛、マーク を確定します。
マークのリストが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして《◎》、マークを選択し、押して ⊛ 確定します。
マークが変更され、メッセージが表示されます (例)。

P82.87-6095-31

名称を変更する

P82.87-6096-31

▶ メモリ地点の詳細画面で、押して ⊛、編集 を確定します。

▶ メニューから 名称 を選択し、押して ⊛ 確定します。
入力メニューが表示され、現在の名称を表示します。

▶ ok で入力を確定します。
名称が変更され、地図に表示されます。

文字入力に関する情報(▷ 30 ページ).

メモリ地点の電話番号を変更する

P82.87-6097-31

▶ メモリ地点の詳細画面で、押して ⊛、編集 を確定します。

▶ メニューから 電話番号 を選択し、押して ⊛ 確定します。
入力メニューが表示されます。

オプション 1

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、数字バーで希望の数字を選択し、その都度押して ◎ 確定します。

オプション 2

▶ COMAND コントロールパネルのテンキーを使用して、希望の数字を入力します。

▶ いずれの場合も、 ok を選択し、押して ◎ 確定します。
電話番号が変更されます。

メモリ地点の場所の変更

P82.87-6098-31

▶ メモリ地点の詳細画面で、押して ◎、編集 を確定します。

▶ メニューから 地点 を選択し、押して ◎ 確定します。
地図がクロスカーソルととも表示され、メモリ地点の位置を表示します。

▶ 地図の縮尺を設定します (▷ 115 ページ)。

▶ 地図をスクロールします (▷ 116 ページ)。
そのようにしてクロスカーソルを希望の位置に設定します。

▶ COMAND コントローラーを押します ◎。
メモリ地点の場所が変更されます。

メモリ地点を並び替える

P82.87-7963-31

メモリ地点をマークの種類により、または保存日時により並び替えることができます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、メモリーでメモリ地点を選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎→、選択した項目の右側のリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ アイコン順 または 登録順 を選択し、押して ◎ 確定します。
メモリ地点が応じて並び替わります。

ℹ アイコン順 が選択された後に、登録順 が使用できます。その逆も同様です。

メモリ地点を削除する

P82.87-7964-31

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、メモリーでメモリ地点を選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎→、選択した項目の右側のリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 削除 を選択し、押して ◎ 確定します。

P82.87-6102-31

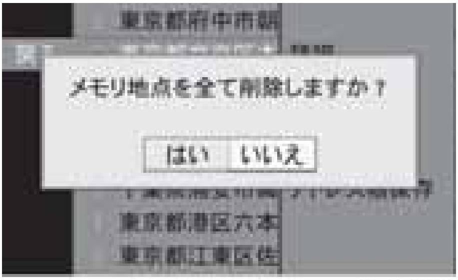
確定のメッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

はい を選択すると、メモリ地点が削除されます。

すべてのメモリ地点を削除する



P82.87-6103-31

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、メモリーでメモリ地点を選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎→、選択した項目の右側のリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 全削除 を選択し、押して ◎ 確定します。

確定のメッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

はい を選択すると、すべてのメモリ地点が削除されます。

メモリ地点のアドレス帳への登録

P82.87-7965-31

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、メモリーでメモリ地点を選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎→、選択した項目の右側のリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ アドレス帳検索 を選択し、押して ◎ 確定します。

メモリ地点がアドレス帳に保存されます。

▶ 新規 または 追加 を選択し、押して ⊛ 確定します。

新規 はメモリ地点を新しいアドレス帳項目として保存します。

追加 はメモリ地点を既存のアドレス帳項目に追加します。

▶ カテゴリーの 指定なし、プライベート または 仕事関連 を選択し、押して ⊛ 確定します。

新しいアドレス帳項目として保存する

▶ よみがなを入力します。これによりメモリ地点をすばやく選択することができます。

▶ ok を選択し、押して ⊛ 確定します。

保存しました というメッセージが表示されます。

アドレス帳項目に追加

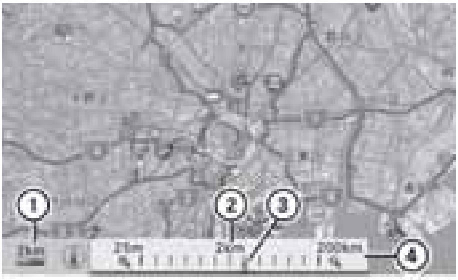
▶ メモリ地点が保存されるアドレス帳項目を検索します (▷ 164 ページ)。

地図の操作と設定

注意点

地図に表示されている会社のロゴは、それぞれの会社の商標です。 それらは、それらの会社の位置を示す目的でのみ使用されます。 地図でのそのようなロゴの使用は、ナビゲーションシステムにおけるそれらの会社の承認、サポート、または広告を示すものではありません。

地図の縮尺を設定する



① ユニット上の距離を数値で表した、現在設定されている地図の縮尺（この場合は 2 km）

② 現在設定されている地図の縮尺

③ 新しい選択を示す針

④ 地図の縮尺

▶ **メニューを非表示にする：** メニュー項目の 全画面表示 が表示されているときに、COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ 、押します ⊛ 。

▶ **縮尺バーを呼び出す：** COMAND コントローラーをまわす ⟲◎⟳ とすみやかに、縮尺バー ④ が表示されます。

▶ 希望の縮尺が設定されるまでまわします ⟲◎⟳ 。

ℹ 地図のデータが使用可能でないときは、地図の縮尺は灰色になり、選択できません。

市街図が使用可能なときは、25 m の縮尺が選択できます。

市街図は 25 m と 50 m の縮尺が使用できます。ほとんどの市街地で表示することができますが、通常郊外では表示できません。

25 m の縮尺が使用できないときは、50 m の縮尺が表示されます。

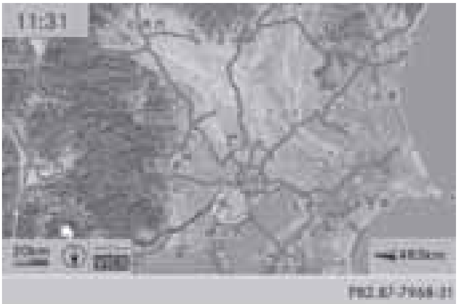
高速道路を約 5 km/h 以上の速度で走行して市街図を表示しているときは、画面

表示が自動的に 100 m の縮尺に切り替わります。 25 m および 50 m の地図の縮尺は車両が停止しているときにのみ再度使用することができます。

さまざまな地図の縮尺例

25m 縮尺の市街図（2D 表示）

200m 縮尺の市街図（2D 表示）



20km 縮尺のサテライトマップ（2D 表示）

地図の種類と地図の縮尺

地図の種類	地図の縮尺
市街地地図	25 m、50 m
一般地図	50 m ～ 200 km
サテライトマップ ℹ 地図の種類 サテライトマップ がオンのときに使用できます。	1 km ～ 200 km
全ルート図	50 m ～ 1000 km

地図を動かす

クロスカーソルを表示する

① クロスカーソル
② 現在の車両位置
③ 位置の名称
④ 現在の車両位置からクロスカーソル位置までの距離

▶ **メニューを非表示にする：** メニュー項目の 全画面表示 が表示されているときに、COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ 、押します ◎ 。

▶ **地図をスクロールする：** COMAND コントローラーをスライドします ←◎→、↑◎↓、 ↘◎↖。
クロスカーソルが地図に表示されます。 再びスライドすると、地図はクロスカーソルに対応した方向に動きます。

ⓘ 現在選択されている地図の縮尺が使用できないときは、使用できる最も大きな縮尺に自動的に切り替わります。

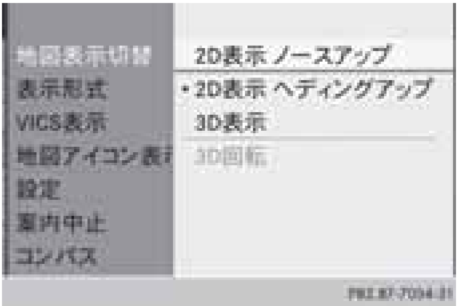
例：隣接市街地区を表示して地図を動かす

例：隣接県を表示して地図を動かす

地図の縮尺によっては、地図を動かすと、隣接地域、区、または都道府県が表示されます。

地図の設定

地図表示を選択する



2D 地図の向きをノースアップまたはヘディングアップ表示に設定できます。

ノースアップ表示：地図は北が常に上で表示されます。

ヘディングアップ表示：地図は進行方向で表示され、現在の車両方向を示す矢印が上を指します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ から、まわして ⟲◎⟳ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 地図表示切替 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、2D 表示 ノースアップ、2D 表示　ヘディングアップ または 3D 表示 を選択し、押して ⊛ 確定します。
ドット • は現在の設定を示します。

P82.87-6039-31

例：ノースアップ表示の 2D 表示

⊕ が画面下の地図縮尺のとなりに表示されます。

P82.87-6044-31

例：ヘディングアップ表示の地図

⊘ が画面下の地図縮尺のとなりに表示されます。 運転中は、車両の進行方向によってマークが回転します。

P82.87-6040-31

例：3D 表示

3D 回転

P82.87-6048-31

３ D 表示または"ビル表示" 機能を選択しているときは(▷ 117 ページ)、地図を回転することができます。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◎ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ から、まわして ◎ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 地図表示切替 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 3D 回転 を選択し、押して ◎ 確定します。
３ D 表示を回転できます。

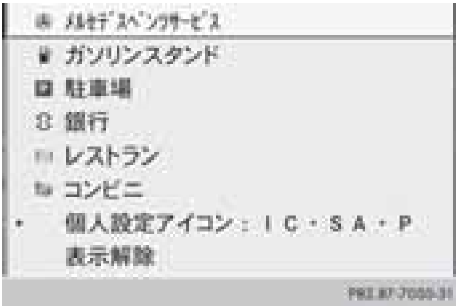
▶ **３ D 表示を時計回りに回転させる：** COMAND コントローラーを左にスライドします ←◎ 。

▶ **３ D 表示を反時計回りに回転させる：** COMAND コントローラーを右にスライドします ◎→ 。

ℹ 運転しているとき、地図は現在地を表示します。

"3D 回転"機能と"地図の移動"機能を一緒に使用すると、COMAND コントローラーを押すと ◎ 、新たに整列した地図が表示されます。

地図に施設を表示する



あらかじめ設定された施設のマークを選択する

25 m から 500 m の地図の縮尺で、地図に表示する、あらかじめ設定された 6 つの施設のマークを選択できます。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ から、まわして 〔◎〕、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 地図アイコン表示 を選択して、押して ⊛ 確定します。

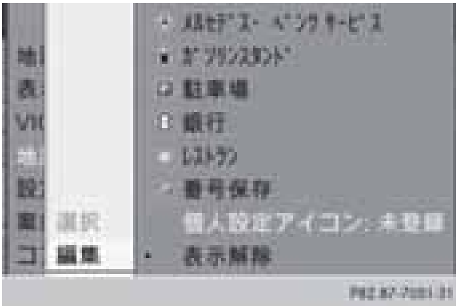
ドット • は現在の設定を示します。

▶ カテゴリーを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ **地図の施設のマークを非表示にする：** 表示解除 を選択し、押して ⊛ 確認します。

ⓘ 同時に複数のカテゴリーを選択することはできません。

表示解除を選択するときの特徴：メルセデス・ベンツサービス カテゴリーのアイコンは 25 m から 1 km の地図の縮尺で表示されます。

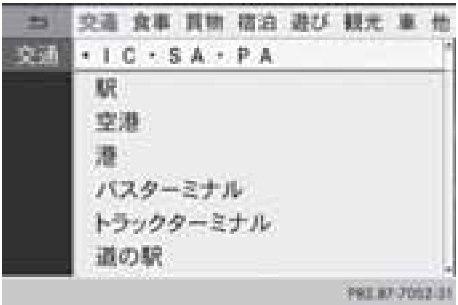


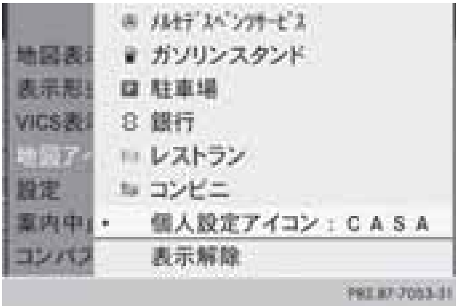
個人設定の施設を選択する

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして 〔◎〕、メニューから 個人設定アイコン： を選択し、押して ⊛ 確定します。

個人設定の施設がまだ選択されていない場合は、個人設定アイコン： の後に 未登録 が表示されます。

▶ 編集 を選択し、押して ⊛ 確定します。





▶ **カテゴリーを変更する：** COMAND コントローラーをスライドします ←◎→。
選択したカテゴリーが最上行で強調され、利用可能な項目を表示します。

▶ **施設を選択する：** COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 選択し、押して ◎ 施設を確定します。
選択した施設がメニューの 個人設定アイコン： の後に表示されます。

ビル情報を表示する

それぞれの情報が個々の施設で利用可能な場合は、COMAND システム はビル情報を表示することができます。

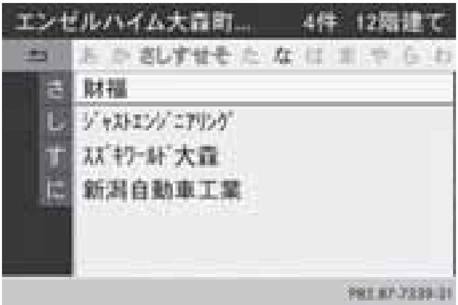
▶ 縮尺を 25 m または 50 m(▷ 115 ページ) に設定します。

▶ ビル情報を含んでいるビルに地図上のクロスカーソルを動かします (▷ 116 ページ)。
ビルの地面部分が茶色になります。
色が変わらない場合は、ビルに表示できる情報はありません。

▶ COMAND コントローラーを押します ◎。
メニューが表示されます。

▶ ガイド を選択し、押して ◎ 確定します。

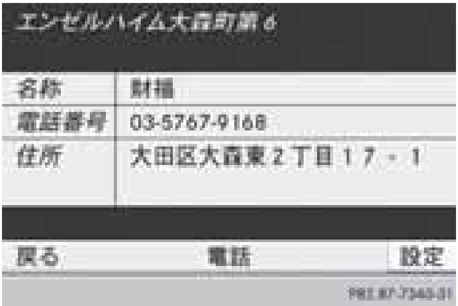
▶ ビル情報 を選択し、押して ◎ 確定します。
例：ビルにいくつかの施設がある場合は、利用可能な施設がリストに表示されます。

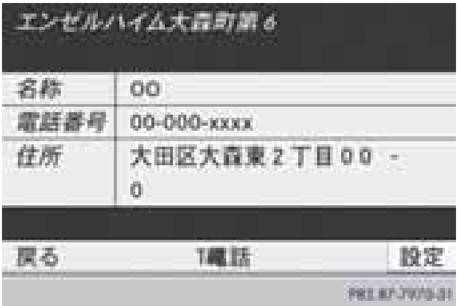


▶ COMAND コントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ↑◎↓ 、施設を選択します。

または

▶ COMAND コントローラーをスライドします ←◎→ 。
リストはあ行、か行、さ行、た行などに応じて利用可能な施設を並び替えます。





▶ COMAND コントローラーを押します ⊙。
選択した項目についての詳しい情報が表示されます（例)。

▶ **施設に電話する：** COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、電話 を選択し、押して ⊙ 確定します。

ℹ 電話番号が施設に登録されていて、携帯電話が COMAND システム に接続されている場合は、電話 を選択することができます(▷ 144 ページ)。

▶ **目的地として施設を設定する：** COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、目的地 を選択し、押して ⊙ 確定します。

日本語と英語の地図を切り替える

例：英語の地図

日本語の地図項目と英語の地図項目で地図を表示することができます。

▶ SYS⊙ 機能スイッチを押します。

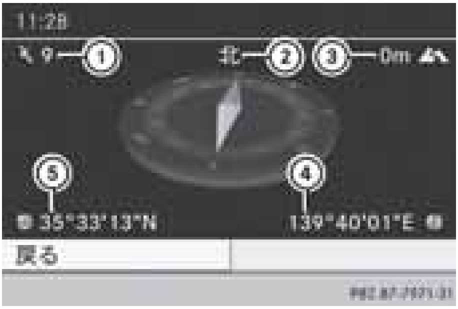
▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、設定 を選択し、押して ⊙ 確定します。

▶ 言語/Language を選択し、押して ⊙ 確定します。
これにより言語とそれに応じた地図に切り替わります。

例：日本語の地図

ナビ

コンパス機能



例：コンパス
① 現在使用している GPS 衛星の数
② 進行方向表示
③ 現在の海抜（四捨五入）
④ 現在の車両位置（緯度）
⑤ 現在の車両位置（経度）

コンパス表示では、例えば、現在の自車の方位や、現在の海抜、車両位置の緯度と経度を表示できます。

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。

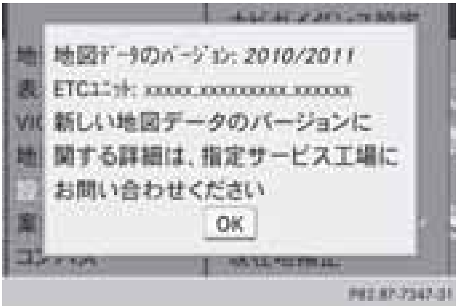
▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ から、まわして ↺◎↻ 、ナビ を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ COMAND コントローラーをまわして ↺◎↻ 、コンパス を選択し、押して ⊛ 確定します。

ℹ 現在の標高 ③ を表示するには、システムは少なくとも 4 つの衛星を受信していなければなりません。

▶ **表示を終了する：** 押して ⊛ 戻る を確定するか、リターンスイッチを押します ⮌。

地図の基準と ETC のバージョンを表示する



▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ から、まわして ↺◎↻ 、ナビ を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 地図/ETC バージョン を選択し、押して ⊛ 確定します。
地図データのバージョンが表示されます。
以下のとき ETC のバージョンが表示されます。
- ETC 機器が搭載され、ETC カードが挿入されているとき(▷ 131 ページ)
- エンジンスイッチがオンになっているとき

▶ **メッセージを確認する：** OK を押して確定します ⊛ 。

VICS - 道路交通情報通信システム

VICS に関する役立つ情報

略字である VICS は、**V**ehicle **I**nformation and **C**ommunication **S**ystem（道路交通情報通信システム）を表しています。

COMAND システムは VICS データを受信できます。

VICS は以下を経由して道路および交通情報を提供します。

- FM 多重放送
- 赤外線信号
- 電波

ℹ 電波と赤外線信号を経由して道路および交通情報を受信して使用するには、車両に追加装備が必要です。 車両にこの装備がある場合は、ナビゲーションシステムは交通渋滞を避ける補助を行ないます（渋滞回避探索)。

さらに詳しい情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

道路と交通の情報には以下が含まれます。

- 混雑の案内
- 所要時間
- 事故や工事の場所
- 速度規制および車線規制
- 駐車場と利用状況

ℹ VICS データの編集・処理・使用は、国家公安委員会、国土交通省、(財)日本道路交通情報センター、(財)VICS センターが行なっています。

VICS 情報に関する問い合わせ

VICS の概念や表示された情報の内容については(財)VICS センターに直接お問い合わせください。

(財)VICS センター

電話：0570-00-8831 (祝日を除く月曜日 ～ 金曜日　9:30 ～ 17:45)

(PHS からは利用できません)

FAX： 03-3562-1719

HP アドレス：**http://www.vics.or.jp**

この情報は本取扱説明書作成時点で使用可能なデータに基づいたものです。 予告なしに変更されることがあります。

VICS 情報の表示形式

VICS 情報は 3 つの方法で表示されます。

1. 文字情報

VICS 情報は COMAND ディスプレイに文字形式で表示されます。

現在の道路および交通情報が文字形式で提供されます。

2. 図形情報

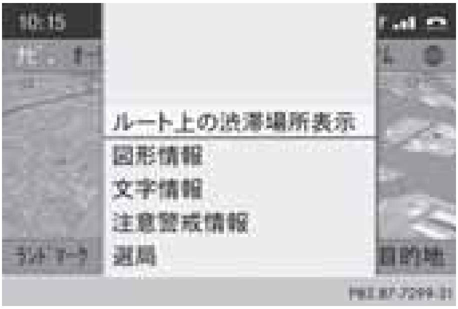
VICS 情報は COMAND ディスプレイに図形形式で表示されます。

この表示形式は選択された道路の混雑しているルートや所要時間を図形や文字形式で表示します。

3. 地図情報

VICS 情報は地図に表示されます。 受信した情報は車両の位置によって変わります。 情報の種類やその表示のオン/オフの両方を切り替えることができます。

文字情報を表示する



▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、メニューから VICS を選択し、押して ⊛ 確定します。
VICS メニューが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、文字情報 を選択し、押して ⊛ 確定します。

文字情報画面が表示されます。

▶ 番号を選択し、⊛ で確定し、希望の情報を表示します。

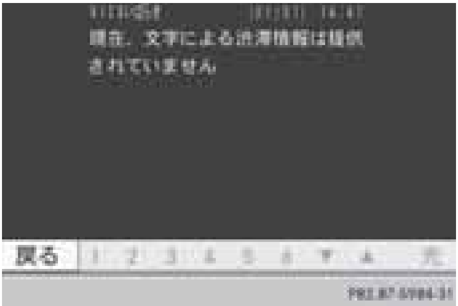
または

▶ COMAND システムのテンキーを押します。
該当する VICS 文字情報が表示されます。

ℹ 使用できる情報がある番号は黒色で表示されます。

スクロールする

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、▲ または ▼ スイッチを選択し、押して ⊛ 確定します。



使用できる情報がない場合は、以下の画面が表示されます。

図形情報を表示する

P82.87-5985-31

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。

▶ メニューから VICS を選択し、押して ⊛ 確定します。
VICS メニューが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、図形情報 を選択し、押して ⊛ 確定します。
図形情報画面が表示されます。

ℹ 使用できる情報がある番号は黒色で表示されます。

P82.87-5986-31

▶ 番号を選択し、⊛ で確定し、希望の情報を表示します。

または

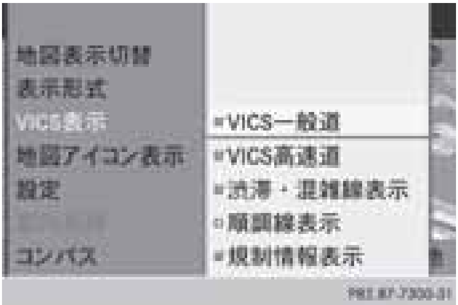
▶ COMAND システムのテンキーを押します。
該当する VICS 図形情報が表示されます。

スクロールする

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、▲ または ▼ スイッチを選択し、押して ⊛ 確定します。

地図に VICS 情報を表示する

表示する VICS 情報を選択する



P82.87-7300-31

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ から、まわして ⟲◎⟳ 、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ VICS 表示 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 希望の表示を選択し、押して 🖲 確定します。
表示をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。

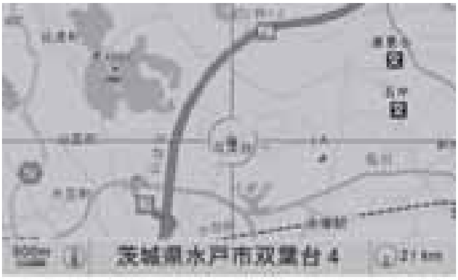
VICS 表示	説明
VICS 一般道	一般道用の VICS 情報が表示されます。
VICS 高速道	高速道路用の VICS 情報が表示されます。
渋滞・混雑線表示	交通混雑は赤色の矢印で表示されます。 低速で移動している道路はオレンジ色の矢印で表示されます。
順調線表示	交通障害のない道路は緑色の矢印で表示されます。
規制情報表示	交通規制が表示されます。

一般道の表示例

P82.87-5988-31

▶ メニューから VICS 一般道 を選択し、押して 🖲 確定します。
表示をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。
機能がオンのとき、一般道用の VICS 情報が表示されます。

高速道路の表示例



P82.87-5989-31

▶ メニューから VICS 高速道 を選択し、押して 🖲 確定します。
表示をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。
機能がオンのとき、高速道路用の VICS 情報が表示されます。

マークの詳細表示を呼び出す

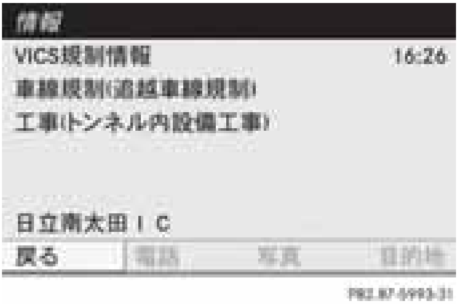
P82.87-5990-31

① VICS 情報マーク
② VICS 情報マーク

地図は VICS 情報マークとともに表示されます。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、ランドマーク を選択し、押して ⊛ 確定します。



▶ 情報 を選択し、押して ⊛ 確定します。
詳細情報が表示されます。

▶ **複数の VICS マークが使用可能な場合：** 前候補 または 次候補 を選択し、押して ⊛ 確定します。

FM VICS 放送局を切り替える

VICS メニューを呼び出す

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、メニューから VICS を選択し、押して ⊛ 確定します。
VICS メニューが表示されます。

▶ 選局 を選択し、押して ⊛ 確定します。

以下の方法で放送局を選択できます。

- 自動放送局検索
- 手動放送局検索
- 受信範囲を選択することによる検索

自動放送局検索

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、自動選局 を選択し、押して ⊛ 確定します。
自動選局 が 手動選局 に変わります。
COMAND システムは最も受信できる放送局に自動的に切り替えます。

ナビ

手動放送局検索

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、手動選局 を選択し、押して ◎ 確定します。
手動選局 が 自動選局 に変わります。

▶ ⏮ または ⏭ を選択し、押して ◎ 確定します。
0.1 MHz 単位で周波数が上がるか、下がります。

または

▶ ⏮ または ⏭ を選択します。

▶ 希望の周波数に設定されるまで、COMAND コントローラーを押して ◎ 保持します。

ℹ FM 多重放送局は 76.0 ～ 90.0 MHz の周波数範囲にあります。

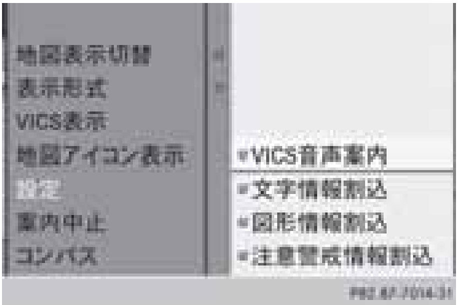
受信範囲を選択して検索する

選択した都道府県の放送局を受信するように、受信範囲を選択できます。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、リスト を選択し、押して ◎ 確定します。
都道府県リストが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、都道府県を選択し、押して ◎ 確定します。
COMAND システムは選択した都道府県で最も受信できる放送局を選択します。
受信できる放送局がないときは、選局なし が受信欄に表示されます。

基本 VICS 設定



VICS 情報を音声出力で聞いたり、COMAND ディスプレイに表示したりできます。

VICS 遠隔信号を通過し、電波または赤外線信号を受信すると、ただちに VICS 情報が COMAND ディスプレイに表示されます。

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◎ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ から、まわして 〔◎〕、基本機能バーで ナビ を選択し、押して ◎ 確定します。

- ▶ 設定 を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ VICS を選択し、押して ◎ 確定します。
  VICS の基本設定メニューが表示されます。
- ▶ 希望の VICS 基本設定を選択し、◎ で確定します。
  VICS 基本設定のオン ☑ または □ を切り替えます。

基本 VICS 設定	説明
VICS 音声案内	COMAND システムは音声出力を使用して VICS 情報を再生します。
文字情報割込	VICS 情報が文字情報として表示されます。
図形情報割込	VICS 情報が図形情報として表示されます。
注意警戒情報割込	VICS 情報が警告情報として表示されます。

DSRC（専用狭域通信）

DSRC に関する役立つ情報

DSRC（Dedicated Short Range Communication：専用狭域通信）は周波数 5.8 GHz で車両と距離信号間の双方向通信を可能にします。これは例えば交通および交通渋滞案内を放送するために使用することができます。

DSRC は交通および交通渋滞案内を以下のようなさまざまな形式でディスプレイに表示できます。

- 文字情報として
- 簡略化した図形として
- ビデオカメラからの静止映像として
- VICS-DSRC マークのある地図に

交通および交通渋滞案内を音声案内として読み上げさせることができます。最初にこの機能を作動させなければなりません(▷ 129 ページ)。

ℹ VICS-DSRC 情報に関する質問は、(▷ 123 ページ) をご覧ください。

DSRC 設定のオン/オフを切り替える

音声出力を設定して、交通および交通渋滞案内を読み上げることができます。追加の DSRC 設定により交通データのより正確な評価ができる車両データを、VICS センターに送信できます。両方の機能のオン/オフを切り替えることができます。

- ▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- ▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◎ 。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ◎ 、基本

ナビ

機能バーで ナビ を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ VICS を選択し、押して ⊛ 確定します。

オン / オフの切り替え

▶ 交通および交通渋滞案内を読み上げさせる：DSRC TTS Announcement（VICS 音声情報） を選択し、⊛ で確定します。

車両データを送信する：DSRC Uplink（車両データを送る） を選択し、⊛ で確定します。
選択した設定をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。

DSRC 交通案内の表示例

簡略化したイラストのある DSRC 交通案内

ナビゲーション内： 使用可能であれば交通案内が表示されます。

他の主要機能の一つからアクセスする

▶ **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。

▶ **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↓◎、サブメニューバーを選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ←◎→、VICS を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎↓、希望の情報を選択し、押して ⊛ 確定します。

拡大された DSRC 交通案内

▶ **交通案内を拡大する：** COMAND コントローラーをまわして ↺◎↻、拡大 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ **交通案内をスクロールする：** ↑ または ↓ を選択し、⊛ で確定します。

▶ **前または次の交通案内を表示する：**次 または 前 を選択し、⊛ で確定します。

ⓘ **ページを自動的に切り替える：** 一定時間後に交通案内の個々のページが自動的に表示されます。

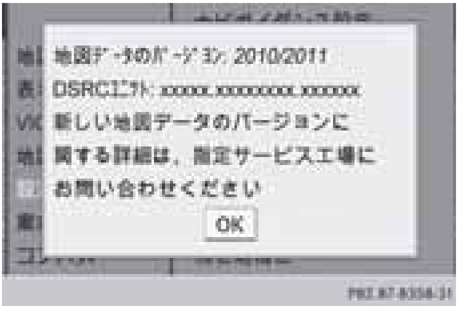
文字情報としての DSRC 交通案内

ビデオカメラからの静止画像としての DSRC 交通案内

簡略化したイラストのある DSRC 交通案内

サービスエリア/駐車場の追加表示

DSRC のバージョン表示



- **ナビゲーションモードに切り替える：** NAVI 機能スイッチを押します。
- **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊚ 。
- COMAND コントローラーをスライドしてから ↑⊚、まわして ⊚ 、ナビ を選択し、押して ⊚ 確定します。
- 設定 を選択し、押して ⊚ 確定します。
- Map/DSRC Version（地図/DSRC バージョン） を選択し、押して ⊚ 確定します。
  地図データのバージョンが表示されます。
  以下のとき DSRC のバージョンが表示されます。
  - DSRC 機器が装着されていて、そして
  - エンジンスイッチがオンになっているとき

ETC - 自動料金支払いシステム

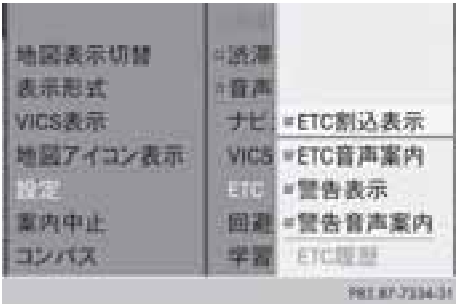
注意

ETC を利用するには、追加装備が必要です。 さらに詳しい情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

これらの機能は ETC カードが挿入されているときのみ利用できます。

ETC の設定

- **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◉ 。
- COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳ 、ナビ を選択し、押して ◉ 確定します。
- 設定 を選択し、押して ◉ 確定します。
- ETC を選択し、押して ◉ 確定します。
  現在の ETC の設定が表示されます。

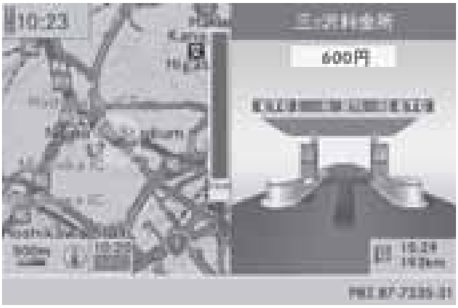


- ETC 設定を選択し、押して ◉ 確定します。
  ETC 設定をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。

ETC の設定	説明
ETC 割込表示	料金所に近づくと、ETC 情報が COMAND ディスプレイに表示されます。
ETC 音声案内	音声出力によって ETC 情報が聞けます。
警告表示	利用可能な警告メッセージが COMAND ディスプレイに表示されます。
警告音声案内	音声出力によって利用可能な警告メッセージが聞こえます。

ℹ ETC の設定の 警告表示 と 警告音声案内 がオンになります。
ETC カードの期限がもう少しで切れる、または切れている場合は、COMAND ディスプレイにこの結果に対するメッセージが表示されます。

ETC 割込表示



ETC 割込表示 が設定されている ☑ ときは、例えば料金所に接近すると、以下のようなメッセージが表示されます。
料金所名、料金（円）、料金所への入口（青色の矢印）が表示されます。

ℹ ETC 音声案内 が設定されていると、利用可能な ETC 情報の音声案内が表示と同時に行なわれます。

ETC の履歴

- **メニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ◉ 。
- COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳ 、ナビを選択し、押して ◉ 確定します。
- 設定 を選択し、押して ◉ 確定します。
- ETC を選択し、押して ◉ 確定します。
- ETC 履歴 を選択し、押して ◉ 確定します。
  これまでに通過した料金所のリストが表示されます。

項目を選択すると、料金所の名前が表示されます。

ℹ ETC 履歴 が表示されているときにETC カードを取り出すと、ディスプレイは現在の地図表示に切り替わります。

スマート IC ゲート

全般的な情報

サービスエリア（SA)やパーキングエリア（PA）での設置によって、スマート IC ゲートで高速道路に入ったり、出たりできます。 走行中に ETC カードが挿入されていて、COMAND システムがスマート IC ゲートをみつけると、自動的にルートが再探索されます。

スマート IC ゲートを表示する

車両がルート上のスマート IC ゲートに接近すると、"x km でスマート IC ゲートに到達します"というような対応するメッセージが聞こえます。

スマート IC ゲートは適時 COMAND ディスプレイに表示されます。

ナビゲーションシステムのトラブル

原因	考えられる原因および解決方法 ▶ 解決方法
走行を中断した後、COMAND システムがルート案内を継続できない。	2 時間以上走行を中断すると、ルート案内は中止されます。"走行の中断" とは車両を停止することを指しています。"ルート案内の継続" とは、COMAND システムを再度オンにして走行することを指しています。 ▶ ルート案内を続ける (▷ 78 ページ)。

原因	考えられる原因および解決方法 ▶ 解決方法
COMAND システムが車両位置を特定できない。	車両を輸送した場合は、COMAND システムは車両の位置を再度特定しなくてはなりません。 例： • フェリーで車両を輸送した後 • 車両列車で車両を輸送した後（日本国外） • 車両がけん引された後 ▶ 車両のエンジンをかけて発進してください。COMAND システムが車両位置を特定します。 運転状況によって時間がかかる場合があります。 車両位置を特定している間は、ルート案内が制限される場合があります。 位置の特定が終了すると、ルート案内はナビ音声案内とルート案内表示を再開します。

原因	考えられる原因および解決方法 ▶ 解決方法
ナビゲーションは使用できません というメッセージが表示されます。	COMAND システムは地図が登録されたハードドライブを内蔵しています。 内蔵ハードドライブを損傷から守るため、非常に高い、または低い温度では COMAND システムは内蔵ハードドライブをオフにします。 ナビゲーションシステムは一時的に使用できなくなります。 ▶ 車両および COMAND を冷ましてください。 ▶ **メッセージを非表示にする：** COMAND システムをオフにして再びオンにしてください。
	ハードディスクの領域に不具合がある場合は、COMAND システムはこの領域では地図データにアクセスすることはできません。 例えばルート検索時に生じることがあります。 ▶ **メッセージを非表示にする：** COMAND システムをオフにして再びオンにしてください。 ナビゲーションシステムはハードドライブのエラーのある箇所にもう一度アクセスするまで操作可能です。 メッセージが再度表示されます。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場 にお問い合わせください。

原因	考えられる原因および解決方法 ▶ 解決方法
デジタル地図を収録している DVD がシステムのソフトウェアと準拠しないというメッセージが表示される。	デジタル地図を収録している DVD は更新に使用できません。 ▶ **メッセージを確認する：** COMAND コントローラーを押します 。 ▶ DVD を取り出してください。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場でシステムデータベースを点検してください。

原因	考えられる原因および解決方法 ▶ 解決方法
地図ソフトウェアの更新が失敗する。	DVD が汚れています。 ▶ DVD をきれいにしてください。 ▶ 更新を再スタートしてください。
	DVD に傷があります。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。
	車内温度が高くなり過ぎています。 ▶ 車内が涼しくなるまでお待ちください。 ▶ 更新を再スタートしてください。
	COMAND システム内蔵のハードドライブに不具合があります。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

原因	考えられる原因および解決方法 ▶ 解決方法
COMAND システムが地図の更新中に作動コードをきいてくる。	デジタル地図が作動コードで保護されています。 ▶ メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご相談ください。

地図記号

VICS マーク

交通情報

ℹ 赤色の矢印は大きな交通の乱れ（交通渋滞）を示しています。 オレンジ色の矢印は小さな交通の乱れ（低速移動箇所）を示しています。 妨げられずに流れている道路は緑色の矢印で示されています。 交通規制のある道路区間は、黄色の矢印で示されています。

マーク	交通量（速度は道路の種類によります）
	赤色の矢印 • 一般道路：10 km/h 以下 • 都市高速道路：20 km/h 以下 • 都市間高速道路：40 km/h 以下

	オレンジ色の矢印 • 一般道路：10 km/h ～ 20 km/h • 都市高速道路：20 km/h ～ 40 km/h • 高速道路：40 km/h ～ 60 km/h
	緑色の矢印 • 一般道路：20 km/h 以上 • 都市高速道路：40 km/h 以上 • 高速道路：60 km/h 以上
	黄色の矢印：交通規制のあるルート区間

交通の乱れに関する情報

マーク	意味
	事故
	故障車
	道路の障害物
	工事区域
	凍結道路
	道路工事

交通規制に関する情報

マーク	意味
	閉鎖・通行止め
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	入口閉鎖
	入口規制
	速度規制
	徐行
	その他
	土砂崩れ
	イベント
	災害
	右折のみ
	左折のみ
	片側規制
	火災
	悪天候
	地震警告発令

駐車情報

駐車場（PA）およびサービスエリア（SA）の場所が表示されます。駐車場の利用状況が色で表示されます。

マーク	利用状況
	赤色：満車（90%以上使用）
	オレンジ色：混雑（70% ～ 90%使用）

P PA	青色：空車（70%以下使用）
P PA	赤色：閉鎖
P PA	黒色：利用できる駐車情報なし

ℹ 駐車情報は特定の地域でのみ利用できます。

ℹ 駐車情報は地図縮尺が 500m 以下でのみ表示されます。 施設のマークの表示の設定で、"駐車場"のオプションが選択されていなければなりません。

ℹ 駐車情報は絶えず変化するので、表示されている情報は現在の状況と異なることがあります。 駐車場で表示されている情報自体にも注意してください。

ℹ "ビル情報" の表示オプションを選択すると、駐車情報は表示されません。

地図マーク

地図マークの例

マーク	意味
	紫色：高速道路、都市高速道路、有料道路
	明るい赤色：国道
	緑色：主要な地方道路
	黄色：他の道路（地方道路）
	他の道路（5.5 m 以上の道幅）
	他の道路（3.0 m 以上の道幅）
	私鉄
	JR 鉄道
	青色：水域（川、湖、海など）
	濃い緑色：緑地
	淡い緑色：駅/用地
	政府機関の市区町村地方事務所
	都道府県庁
	市役所
	東京 23 区役所
	町村役場、東京以外の区役所
	郵便局
	警察署
	消防署
文	学校
幼	幼稚園
	病院
	他の施設
	発電所
	NTT
	銀行、信託銀行、農協
	スーパーマーケット
	デパート
	薬局

	ホテル、旅館
	ビル
	工場
	神社
	寺
	教会
	港
	城跡
	史跡
	ボーリング場
	ゴルフ場
	スキー場
	ヨットハーバー、マリーナ
	陸上競技場、体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	洗車場
	コインランドリー
	遊園地
	動物園
	灯台
	トンネル
	山
	墓地
	信号
	インターチェンジ
	パーキングエリア
	サービスエリア
	ジャンクション
	料金所
	駐車場
	道の駅
	フェリーターミナル
	空港
	MB サービス

サービスマーク

マーク	意味
	郵便局
	レストラン
	トイレ
	身障者用トイレ
	休憩所
	仮眠所

	売店
	ATM
	ファックスサービス
	高速道路情報ターミナル

COMAND システムの特徴 142
全体的な注意事項 142
Bluetooth® インターフェース経由による電話機能 143
受話音量と発話音量 149
電話操作 150
国際電話 153
電話帳の使用 154
通話リストの使用 159
短縮ダイアルリストの使用 162
アドレス帳の使用 163

COMAND システムの特徴

本補足版は、印刷時点で利用可能なCOMAND システムのすべての標準装備やオプション装備について記載しています。 国により、仕様が異なる場合があります。 本書に記載されているすべての機能が、お客様の車両に当てはまらない可能性があることにご留意ください。

全体的な注意事項

概要

COMAND システムは Bluetooth® インターフェースによる電話機能を提供します。

携帯電話が PBAP (**P**hone **B**ook **A**ccess **P**rofile) Bluetooth® プロファイルをサポートしているときは、連絡先をインポートすることができます (▷ 169 ページ)。

適合する携帯電話により、Bluetooth® インターフェース経由でハンズフリーシステムを使用したり、vCard を受信したりできます。

適合している携帯電話およびBluetooth®対応携帯電話の COMAND システムへの接続に関するさらなる情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場へお問い合わせください。

安全上の注意事項

⚠ 事故のおそれがあります

安全のため、車両が動いているときに電話を使用する場合には、ハンズフリーモードを使用してください。

ハンズフリーモードを使用して通話するときは、注意して運転を続け、すべての窓を閉めて、悪影響を及ぼす騒音を避けてください。

車両が移動している間の通話の切断

以下のときに通話が切断されることがあります。

- 特定の地域において、ネットワーク範囲が不十分なとき
- 送信/受信エリアを他に移動して空いているチャンネルがないとき
- 使用可能なネットワークに適していない SIM カードを使用しているとき

操作オプション

以下のようにして電話を操作できます。

- COMAND コントローラーを使用して
  まわす ◎
  スライドする ←◎→ または ↑◎↓
  押す ◎
- [発信] または [終話] スイッチを使用したり、COMAND システムのテンキーを使用する
- マルチファンクションステアリングの [発信] または [終話] スイッチを使用する
- 音声認識機能を使用する（別冊の音声認識機能の取扱説明書をご覧ください）

特に記載がない場合は、この項目の記述やイラストは COMAND システムを参照してください。

機能の制限

次のような状況のときは、電話を使用できなかったり、電話を使用できなくなったり、使用できるようになるまでに待たなければならないことがあります。

- 携帯電話の電源が入っていないとき
- COMAND システムの Bluetooth® 機能がオフになっているとき

- Bluetooth® 接続の電話を使用していて、携帯電話の Bluetooth® 機能がオフになっているとき
- 携帯電話が携帯電話のネットワークにログインしていないとき

ハンズフリーモードで通話中に COMAND システムをオフにすると、通話が終了します。 以下のようにしてこれを防ぐことができます。

Bluetooth® インターフェース経由による電話機能

▶ COMAND システムをオフにする前に携帯電話をプライベートモードに切り替えてください（携帯電話の取扱説明書をご覧ください）。

Bluetooth® インターフェース経由による電話機能

条件

COMAND システムの Bluetooth® 接続により電話機能を使用するには、Bluetooth® 対応の携帯電話が必要です。

COMAND システムで

▶ COMAND システムで Bluetooth® 機能を作動させます(▷ 36 ページ)。

携帯電話で

▶ 次に、携帯電話の電源を入れ、指示に従って PIN コードを入力します（携帯電話の取扱説明書を参照してください）。

▶ Bluetooth® 機能を作動させ、必要であれば携帯電話の Bluetooth® 可視モードを選択します（携帯電話の取扱説明書を参照してください）。

誤作動を防ぐため、携帯電話の電池は常に十分に充電しておく必要があります。

Bluetooth® 接続による電話通信を行うために、お手持ちの携帯電話について以下の項目を確認してください（携帯電話の取扱説明書を参照してください）。

- ハンズフリープロファイル
  携帯電話は、ハンズフリープロファイル 1.0 以上に対応している必要があります。
- Bluetooth® 可視モード
  特定の携帯電話では、Bluetooth® 機能を設定するとともに、機器本体を他の機器とペアリング可能な状態にする必要があります（携帯電話の取扱説明書を参照してください）。
  一部の携帯電話では、この可視モードに時間的制約があります。
- Bluetooth® 機器名
  Bluetooth® 機器にはそれぞれ Bluetooth® 機器名が付いています。 この機器名は自由に定義できますが、同じメーカーの機器はすべて同じ機器名が付いている場合があります。 したがって、お使いの携帯電話をすぐに認識できるようにするため、機器名を変更することをお勧めします（携帯電話の取扱説明書を参照してください）。

ℹ 市販の携帯電話がすべて適合するわけではありません。 適合する携帯電話について、詳しくはメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

ℹ 一部の表示（電波の強度など）は、対応するハンズフリープロファイルのバージョンによって異なります。

携帯電話を接続する

全般的な情報

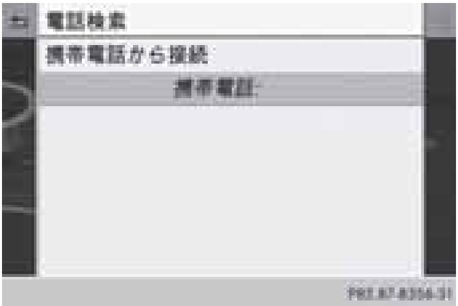
COMAND システムで初めて携帯電話を使用するときは、事前に以下のペアリング操作を行なう必要があります。

- 携帯電話を検索する。次に、 (▷ 144 ページ)
- 認証（登録）する。 (▷ 145 ページ).

新しい携帯電話を一度ペアリングすると、次回からは自動的に接続が確立されます。

最大 15 台の携帯電話を登録できます。

携帯電話を検索する



Bluetooth® 電話リストを空にする

検索条件

検索完了後の Bluetooth® 電話リスト

▶ COMAND システムの TEL 機能スイッチを押します。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、電話基本メニューで 接続デバイス を選択し、◎ を押して確定します。

▶ 電話検索 を選択し、スイッチを押して確定します。
メッセージが表示されます。

▶ 検索開始 を選択し、スイッチを押して確定します。
Bluetooth 携帯電話検索中…(最大 15 台) というメッセージが表示されます。 COMAND システムは、通信可能距離内にある Bluetooth® 電話を検索して Bluetooth® 電話リストに追加します。
新しい電話が見つかると、 マークとともにリストに表示されます。
検索にかかる時間は、通信可能距離内にある Bluetooth® 対応携帯電話の台数とその特性によって異なります。

Bluetooth® 電話リストのマーク

マーク	説明
	通信可能距離内にある未登録の新しい携帯電話
✓	登録済みの携帯電話
•	接続中の携帯電話
	通信可能距離内にある登録済みの携帯電話
(灰色)	通信可能距離内にないが、登録済みの携帯電話

Bluetooth® 電話リストには、通信可能距離内にある携帯電話、および通信可能距離内にあるかに関わらず過去に登録された携帯電話がすべて表示されます。

ℹ COMAND システムは、通信可能距離内にあっても Bluetooth® 可視モードに設定されていない携帯電話は認識できません。

ℹ Bluetooth® 電話リストがいっぱいになると、携帯電話の登録解除を促すメッセージが表示されます (▷ 148 ページ)。 COMAND システムが携帯電話を発見できない場合は、外部認証が必要となる場合があります (▷ 147 ページ)。

ℹ 電話リストを再度呼び出したときは、登録を解除された機器はリストから外されます。 その場合は、新たに検索を開始して Bluetooth® 電話リストを更新してください。

携帯電話を登録する

パスキーの入力

電話基本メニュー

オプション 1：パスキー（アクセス番号）を使用する

▶ COMAND コントローラーをまわして、Bluetooth® 電話リストから マークがある携帯電話を選択し、を押して確定します。
パスキーの入力メニューが表示されます。

電話

パスキーは 16 桁までの数字の組み合わせで任意に設定できます。 COMAND システムと Bluetooth® 対応携帯電話に同じ数字の組み合わせを入力してください（携帯電話の取扱説明書を参照してください)。

ℹ 携帯電話によっては 4 桁以上のパスキーを要求されることがあります。

ℹ 携帯電話の登録をいったん解除した後で再登録したいときは、別のパスキーを設定することができます。

ℹ COMAND システムと携帯電話の両方で登録を解除してください。 (▷ 148 ページ) そうしないと、その後の登録が失敗することがあります。

▶ **COMAND システムにパスコードを入力する：** 順番にテンキーを押します。

または

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、数字バーで数字を 1 桁ずつ選択し、◎ を押して確定します。

最初の数字が入力されると ok がハイライトされます。

▶ いずれの場合も、 ok を選択し、◎ を押して確定します。

▶ **携帯電話でパスコードを入力する：** Bluetooth® 接続が成功した場合は、パスコード（アクセスコード、パスキー；携帯電話の取扱説明書をご覧ください）を入力するように要求されます。

▶ COMAND システムに入力済みのコードと同じパスコードを携帯電話に入力します。

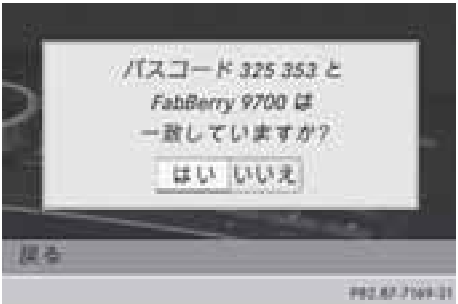
Bluetooth ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ接続中… というメッセージが表示されます。

認証が完了すると 認証を完了しました というメッセージが表示されます。

携帯電話が登録され、COMAND システムに接続されます。 COMAND システムのハンズフリーシステムを使用して電話をかけることができます。

ℹ パスキーを入力した後、通話するために携帯電話に確認データの入力が必要になる場合があります。 携帯電話の表示を確認してください。 一部の携帯電話ではこの確認データを保存することができます。 この場合、再度入力する必要はありません。

COMAND ディスプレイに 認証できませんでした というメッセージが表示される場合は、規定時間を越えています。 上記の手順を繰り返してください。



オプション 2：セキュアシンプルペアリングを使用する

セキュアシンプルペアリングで接続するには、携帯電話（または Bluetooth® オーディオ機器）が Bluetooth® バージョン 2.1 に対応している必要があります。 COMAND システムは 6 桁のコードを生成し、コードは接続される両方の機器に表示されます。

▶ 両機器のコードが一致している場合は、◎ を押して はい を確定します。

はい を選択すると、登録が完了し携帯電話が接続されます。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

▶ 携帯電話のメッセージを確認します。

外部認証

COMAND システムが携帯電話を検知しないときは、携帯電話の特定のセキュリティ設定が原因となっている場合があります。 その場合は、お使いの携帯電話が COMAND システムを検索可能であるかテストすることができます。 COMAND システムの Bluetooth® 機器名は MB Bluetooth です。

以下の事項に注意してください： 携帯電話によっては、パスコードを入力した後に COMAND システムとの接続を再度確立する必要があります（携帯電話の取扱説明書をご覧ください）。 この操作を行わないと、携帯電話は認証されません。

- COMAND システムの TEL 機能スイッチを押します。
- COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、電話基本メニューで 接続デバイス を選択し、⊛ を押して確定します。
  Bluetooth® 電話リストが表示されます。
- 携帯電話から接続 を選択し、⊛ スイッチを押して確定します。
  左側にメッセージが表示されます。
- 携帯電話で Bluetooth® 検索を開始します（携帯電話の取扱説明書を参照してください）。
- 携帯電話で COMAND システム（MB Bluetooth）を選択します。
- **オプション 1：** 入力を指示されたら、まず携帯電話にパスコードを入力し、次に COMAND システムに入力を行ないます。
- **オプション 2：** 携帯電話と COMAND システムに表示されたコードを確認します（セキュアシンプルペアリング）
  いずれの場合も、COMAND ディスプレイに <device name> を認証しますか？ という確認メッセージが表示されます。
- はい を選択すると、携帯電話が認証されます。 <name of B-tooth dev.> からの接続を待っています... および Bluetooth ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ接続中… というメッセージが表示されます。 接続が成功すると、電話基本メニューが開き接続された携帯電話が表示されます。
  いいえ を選択すると、処理が中止されます。

携帯電話の切り替え

複数の携帯電話が登録されているときは、使用する電話を切り替えることができます。

- Bluetooth® 電話リストで COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、携帯電話を選択し、⊛ を押して確定します。
  選択した携帯電話が Bluetooth® の通信可能距離内にあり、Bluetooth® が作動しているときは、選択した携帯電話を検索して接続します。
  一度に 1 台の携帯電話のみを接続できます。 現在接続されている携帯電話は

電話

Bluetooth® 携帯電話リストに ● で表示されます 。

ℹ 通話中でないときに限り別の登録済み携帯電話に切り替えることができます。

携帯電話の認証を解除する（登録を解除する）

COMAND システムと携帯電話の両方で登録を解除してください。 そうしないと、その後の登録が失敗することがあります。

- ▶ COMAND システムの TEL 機能スイッチを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↻◎↺、電話基本メニューで 接続デバイス を選択し、◎ を押して確定します。
  Bluetooth® 電話リストが表示されます (▷ 144 ページ)。
- ▶ Bluetooth® 電話リストで、希望する携帯電話を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドし ◎→ 項目の右にあるリストマークを選択し、◎ を押して確定します。
- ▶ 削除 を選択し、◎ を押して確定します。
  この機器の登録を本当に解除するか確認するメッセージが表示されます。
- ▶ はい または いいえ を選択します。
  はい を選択すると、機器は Bluetooth® 電話リストから削除されます。
  いいえ を選択すると、処理が中止されます。

ℹ 携帯電話を再登録する前に、携帯電話から機器名 MB Bluetooth も削除します。

接続内容を表示する

- ▶ COMAND システムの TEL 機能スイッチを押します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↻◎↺、電話基本メニューで 接続デバイス を選択し、◎ を押して確定します。
  Bluetooth® 電話リストが表示されます。
- ▶ Bluetooth® 電話リストで、希望の携帯電話を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるリストマークを選択し、◎ を押して確定します。
- ▶ 詳細 を選択し、◎ を押して確定します。
  選択した携帯電話に関する以下の情報が表示されます。
  - Bluetooth® の名称
  - Bluetooth® のアドレス
  - 使用可能状況（新たに検索した後、表示されます）
  - 登録状況
- ▶ **詳細表示を閉じる：**COMAND コントローラーをまわすか ↻◎↺ 、スライドします ←◎→。

電話

電話基本メニュー（Bluetooth® 接続）

基本メニュー画面

電話基本メニュー（Bluetooth® 接続）
① 接続表示
② 携帯電話ネットワークの電波強度
③ 二重の矢印のアイコン（インターネット接続オン）または受話器アイコン（通話終了）または（通話発信または通話中）
④ 通話リストを表示する
⑤ 文字バー
⑥ 現在接続されている携帯電話の Bluetooth® 名称
⑦ COMAND システムの電話帳の表示

▶ TEL 機能スイッチを押します。
接続した携帯電話が使用可能になると、電話基本メニューが表示されます。

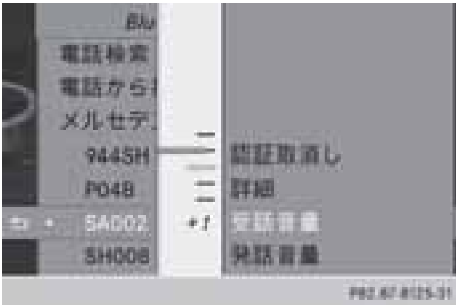
ℹ 表示 ② は接続されている携帯電話によって異なります。

バー ②には携帯電話ネットワークの現在の信号強度が表示されます。 すべてのバーが満たされているときは、最適な受信です。

バーが表示されず、アンテナのアイコンのみが表示される場合は、受信が極めて悪いか、まったく受信できないかのどちらかです。

受話音量と発話音量

携帯電話が認証された場合、発話および受話音量の設定を最適化することができます。 携帯電話に対する最適な設定については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場へお問い合わせください。



▶ TEL 機能スイッチを押します。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、電話基本メニューで 接続デバイス を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ まわして ⟲◎⟳ リストから認証された携帯電話を選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 受話音量 または 発話音量 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、音量の設定を選択します。

▶ **設定目盛りを閉じる：** 押す ◎ か、またはスライドします ←◎→ 。

ℹ 適切でない設定は通話音質を悪化させることがあります。

電話操作

着信

着信を受ける

例：受信

▶ **受ける：** 押して 、通話 を確定します。

または

▶ COMAND システムまたはマルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

通話を受けると、ハンズフリーモードを使用できます。

通話の音量を調整できます (▷ 25 ページ)。

通話中の他の機能(▷ 152 ページ)。

通話する相手の電話番号が移行されている場合は、ディスプレイに表示されます。

発信者の項目が電話帳に存在する場合は、氏名も表示されます。

電話番号が転送されない、または"データ非表示"機能が作動している場合は、不明 がディスプレイに表示されます。

ℹ 他の基本機能が COMAND システムでオンのときも、上記のように通話を受けることができます。 一度通話を受けると、画面が電話モードに切り替わります。 通話を終えると、以前の基本機能の画面が再び表示されます。

以下のときは、画面は電話画面に切り替わりません。

• COMAND コントローラーの隣にあるリターンスイッチ を押し、そして
• マルチファンクションステアリングの スイッチを使用して通話を受けたとき

通話の保留

通話を保留するときの表示（数秒間）

▶ **保留する：** COMAND コントローラーをまわして 、応答保留 を選択し、押して 確定します。

ℹ この機能のサポートは使用されている携帯電話とその設定によります。

発信する

テンキーを使用する

▶ 電話基本メニューを呼び出します (▷ 149 ページ)。

▶ テンキーを使用して数字を入力します。

▶ **通話を接続する：** COMAND システムまたはマルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

電話基本メニューを使用する

- 電話基本メニューを呼び出します (▷ 149 ページ)。
- COMAND コントローラーをまわして から、スライドして 、1 つずつ数字を選択し、押して 確定します。
- **通話する：** 文字バーで を選択し、押して 確定します。

または

- COMAND システムまたはマルチファンクションステアリングの スイッチを押します。

リダイアル

- 電話基本メニューを呼び出します (▷ 149 ページ)。
- 文字バーで を選択し、押して 確定します。

または

- 電話基本メニューが表示されているときに、COMAND システムの スイッチを押します。
  どちらの場合も、発信通話リストが表示されます。 一番最近電話をした番号が一番上になります。
- **通話を選択する：** COMAND コントローラーをまわします 。
- **電話をかける：** COMAND コントローラーを押します 。

マルチファンクションステアリングを使用してリダイアルします。別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。

通話リストまたは COMAND システムの電話帳を使用する

- 通話リストを開いて項目を選択します (▷ 159 ページ)。

または

- COMAND システムの電話帳を呼び出して、項目を選択します (▷ 156 ページ)。
- **通話する：** COMAND コントローラー または スイッチを押します。

マルチファンクションステアリングを使用して選択し通話します。別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。

短縮ダイアルプリセットを使用して電話をかける

短縮ダイアルリストには電話帳から保存された項目が含まれます(▷ 162 ページ)。

オプション 1：

- テンキーの 1 つを 2 秒以上押します。
  電話基本メニューに選択した項目が表示されます。 電話を発信します。

オプション 2：

- 電話基本メニューを呼び出します (▷ 149 ページ)。
- COMAND コントローラーをスライドしてから 、まわして 、履歴 を選択し、押して 確定します。
  メニューが表示されます。
- COMAND コントローラーをまわして 、短縮ダイアルリスト を選択し、押して 確定します。
  短縮ダイアルリストが表示されます。
- プリセットを選択し、押して 確定します。
  電話基本メニューに選択した項目が表示されます。 電話を発信します。

通話中に使用できる機能

概要

通話中の電話操作

① 通話をしている相手

② 電話接続作動のマーク

③ 着信の保留

④ ハンズフリーのマイクのオフ/オンの切り替え(▷ 152 ページ)

⑤ 自局番号の表示

⑥ 通話の終了

機能がネットワークや Bluetooth® 携帯電話によってサポートされている場合は、保留している通話を受けることができます。

ハンズフリーマイクのオン/オフの切り替え

本機能は通話中でも使用できます。

▶ 電話基本メニューを呼び出します(▷ 149 ページ)。

▶ **オフにする：**マイク OFF を選択し、押して ◎ 確定します。
マイクがオフのときは、画面に ⊗ マークが表示され、マイクが OFF です というメッセージが少しの間表示されます。

▶ **オンにする：**マイク ON を選択し、押して ◎ 確定します。
⊗ マークが消えます。 マイクが ON です というメッセージが少しの間表示されます。

自局番号の表示

ℹ この機能は接続されている携帯電話によって異なります。

▶ 電話基本メニューを呼び出します(▷ 149 ページ)。

▶ 自局番号 を選択し、押して ◎ 確定します。
Bluetooth® の名称のかわりに、携帯電話の電話番号が表示されます。

プライベートモード

プライベートモードが作動しているときは、車両内のマイクやスピーカーがオフになります。 通話は携帯電話を通して行なわれます。

ℹ 車両が停止しているときにのみ、この機能を使用してください。

プライベート通話を作動させる

▶ 電話基本メニューを呼び出します(▷ 149 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↻◎↺、電話 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ プライベートモード を選択し、押して ◎ 確定します。
プライベートモード というメッセージが表示され、携帯電話を通しての通話となります。

ハンズフリーモードに戻す

▶ 電話基本メニューで ハンズフリーモード を選択し、押して ⊛ 確定します。
数秒後に携帯電話は COMAND システムに再接続され、ハンズフリーモードでの通話が続けられます。

ⓘ 使用されている携帯電話によっては、待ち受け時に携帯電話で電話をかけると、この機能が自動的に作動することがあります。

ⓘ 機能が作動しているときは、ハンズフリーのマイクのオン/オフを切り替えることはできません。

複数の人との通話

保留している通話を拒否する、または受ける

携帯電話のネットワークプロバイダーが通話保留機能をサポートし、作動させていなくてはなりません。 使用している携帯電話によって、通話を受けるときのシステムの動作が異なります。

通話中に他の通話を受信したときは、画面に新しいウインドウが表示されます。信号音も聞こえます。 通話を受けるか拒否することができます。

▶ **拒否する：**着信拒否 を選択し、押して ⊛ 確定します。
オプション 1： 保留している通話を受けると、作動中の通話は終了します。
オプション 2： 接続されている携帯電話とその設定によっては、保留している通話は拒否され、作動中の通話は終了します。

または

▶ COMAND システムまたはマルチファンクションステアリングの [☎] スイッチを押します。

▶ **受ける：**通話 を選択し、押して ⊛ 確定します。

または

▶ COMAND システムまたはマルチファンクションステアリングの [✆] スイッチを押します。
携帯電話の設定によっては、作動している通話は通話を受けた後に保留になります。

どちらの場合も有効： 携帯電話を使用して保留している通話を受けると、作動している通話が保留になります。 このときは通話が 2 つになります。 受けたばかりの通話が作動します。

携帯電話を使用して保留している通話を受けると、作動している通話は保留になります。 このときは通話が 2 つになります。 受けたばかりの通話が作動します。

携帯電話で機能を操作し続けると、COMAND ディスプレイが携帯電話のものと異なることがあります。

国際電話

概要

国際電話をかけるには、国際通話コード(プリフィックス)を指定しなければなりません。 これは国際電話をかけるときは、国コード（例：アメリカ合衆国は 1）の前にダイアルされます。

日本では、国際通話コードは携帯電話のネットワークにより異なります。

ⓘ 項目が+81（日本の国コード）で登録されている場合は、コードは"0"に置き換わります。 これは入力されたプリフィックスには関係ありません。

携帯電話のネットワークプロバイダー	国際通話コード（プリフィックス）
NTT ドコモ ソフトバンク モバイル ディスニー モバイル イー・モバイル	010
au	005345

携帯電話のネットワークプロバイダーに関連する国際通話コードを設定すると、自動的に国際電話をかけることができます。 電話番号をダイアルするときに、"+" が国際通話コードに置き換わります。

国際通話コードの設定

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↻◎↺、電話基本メニューで 電話 を選択し、押して ◎ 確定します(▷ 149 ページ)。

▶ 国際電話 を選択し、押して ◎ 確定します。
入力メニューが表示されます。

▶ テンキーまたは COMAND コントローラーを使用して国コードを入力します。

ℹ 最大で 12 桁まで入力することができます。

▶ ok を選択し、押して ◎ 確定します。
保存しました というメッセージが表示されます。
国コードを入力した後に、戻る を選択すると、変更内容を保存しますか？ というメッセージが表示されます。

▶ **変更を保存する：**はい を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ **変更を破棄する：**いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。

国際通話コードの選択

自動ダイアル

電話帳またはアドレス帳で、電話番号は"+" で始まります。

▶ 電話帳またはアドレス帳で電話番号を選択します。
国際電話がかかります。

手動ダイアル

▶ 電話基本メニューを呼び出します。

▶ 素早く 2 回続けて * スイッチを押します。
国際通話コードが入力されます。

▶ テンキーを使用して、完全な電話番号（国コード、地域コード、発信先の電話番号）を入力します。
電話番号がすべて入力されると、国際電話がかかります。

電話帳の使用

概要

電話帳は COMAND システムのアドレス帳に登録されているすべてのアドレス帳項目の名称と電話番号を表示します。

アドレス帳項目に電話番号がないときは、それは電話帳には表示されません。

接続後に、携帯電話の電話帳は COMAND システムに自動的にダウンロードされます。

電話帳では、以下を行なうことができます。

- 電話番号の保存 (▷ 158 ページ)
- 項目の検索 (▷ 156 ページ)
- 項目の削除 (▷ 157 ページ)
- 連絡先のインポート (▷ 169 ページ)
- 連絡先の削除 (▷ 171 ページ)
- vCard の受信 (▷ 170 ページ)

ⓘ 他の携帯電話で COMAND システムを使用する場合でも、登録された電話帳と vCard は COMAND システムに残ったままになります。項目は携帯電話がなくても見ることができます。 このため、車両を手放したり売る前に、すべての電話帳項目を削除してください。

電話帳を呼び出す

電話帳を開く

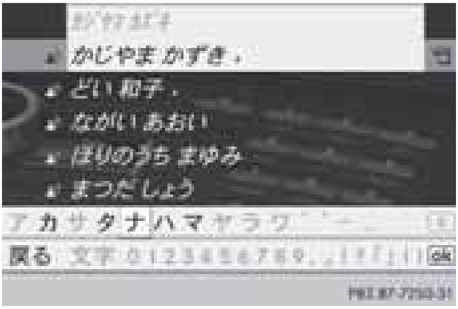
▶ TEL 機能スイッチを押します。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、電話基本メニューで 電話帳 を選択し、押して ◎ 確定します。

電話帳に項目が含まれているときは、それらはアルファベット順に表示されます。 画面の下の文字バーが作動します。

文字バーは項目を早く選択するために使用されます。

文字バーを使用して、文字を入力します (▷ 30 ページ)。



ⓘ マルチファンクションステアリングで電話帳を呼び出すこともできます。別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。

電話帳を閉じる

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↓◎、まわして 〔◎〕、文字バーで 戻る を選択し、押して ◎ 確定します。

または

▶ リターンスイッチ ⮌ を押します。

マルチファンクションステアリングを使用する

▶ ◀ または ▶ スイッチを使用して、電話 メニューを選択します。

▶ ▲、▼ または OK スイッチを使用して、電話帳を呼び出します。

マークの概要

マーク	説明
	COMAND システム経由で入力された、または変更されたアドレス帳項目 電話またはアドレス帳に登録されたインポートされた連絡先
	PBAP をサポートしている携帯電話からインポートされた連絡先
	SD メモリーカードまたは USB 機器からインポートされた項目
BT	Bluetooth® インターフェース経由でインポートされた項目

電話帳項目を検索する

文字バーで検索する

最初の文字を入力することにより、探している項目の最初の文字を決定します。

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、文字を選択し、押して 確定します。
選択した文字で始まるリストの最初の項目が強調されます。 似たような項目があるときは、次の異なる文字が表示されます。 例えば、ナオミ や ナオコ のような項目では、名前の最初が同じで M と K から選択するように促されます（ローマ字設定が選択されているとき）。

▶ 探している項目の文字をひとつずつ選択して、押して 確定します。
選択が明確になると、COMAND システムは自動的に選択リストに切り替わります。

▶ **検索を終了する：** COMAND コントローラーを繰り替えしスライドするか ◎↑、文字バーが消えるまで押して保持します 。
選択リストが表示されます。

文字入力に関する情報(▷ 30 ページ).

テンキーで検索する

最初の文字を入力することにより、探している項目の最初の文字を決定します。

▶ 適切なテンキーを必要な回数、順々に押します。

テンキーを使用しての文字入力に関するさらなる情報（直接入力）(▷ 30 ページ)。

リストから直接

文字を入力しているときはいつでも、リストに切り替えることができます。

▶ COMAND コントローラーを繰り返しスライドする ◎↑ か、文字バーが消えるまで押して 保持します。

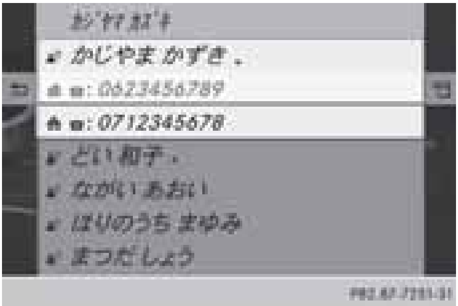
または

▶ ok を選択し、押して 確定します。

▶ **項目を選択する：** 好みの項目が強調されるまで COMAND コントローラーをまわして ◎ 、押して 確定します。

電話番号を選択する：◢ マークは、1 つ以上の電話番号を含んでいる項目を示しています。

▶ ◢ マークのある電話帳項目を選択して、押して ⊛ 確定します。
サブ項目が表示されます。 ◢ マークが ▼ に変わります。



複数の項目がある電話帳項目

▶ まわして ⟲◎⟳、サブ項目を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ **文字バーを使用して電話帳に戻る：** リストで ⮌ を選択し、押して ⊛ 確定します。

または

▶ リターンスイッチ ⮌ を押します。

マルチファンクションステアリングを使用する

▶ 電話帳から番号をダイアルする。別冊の車両の取扱説明書をご覧ください。

項目の詳細の表示

▶ 選択リストで COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、項目を選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎➡、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 詳細 を選択し、押して ⊛ 確定します。
詳細表示が表示されます。

▶ **詳細表示を閉じる：**項目が再び強調されるまで繰り返しスライドします ⬅◎➡。

または

▶ リターンスイッチ ⮌ を押します。

電話帳から項目を削除する

項目に電話番号のみが含まれているときは、電話帳とアドレス帳から削除されます。

案内可能な目的地のような追加データが含まれている場合は、項目は電話帳で削除されます。 しかし、項目はアドレス帳には残ります。

▶ 選択リストで COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、項目を選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎➡、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 削除 を選択し、押して ⊛ 確定します。
登録データを削除すべきか確認するメッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ⊛ 確定します。
はい を選択すると、項目は上記に記載されているルールに従って削除されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

電話帳に新しい項目を作成する

▶ 選択リストが表示されるまで、電話帳で COMAND コントローラーを繰り返しスライドします ⬆◎ 。

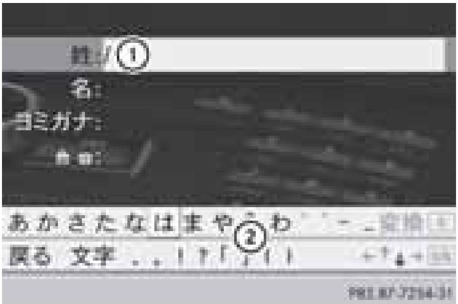
▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎➡、選択リストの右側のリストマークを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 新規 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 番号カテゴリーを選択し（例：プライベート）、押して ⊛ 確定します。

▶ 電話カテゴリーを選択し （例：携帯電話）、押して ⊛ 確定します。

▶ 続ける を選択し、押して ⊛ 確定します。
入力メニューがデータ欄とともに表示されます。



① カーソルがある、選択したデータ欄

② 文字バー

▶ 文字を入力し、項目を保存します。 "文字を入力する"の項目に記載されているように進めてください。(▷ 30 ページ)
電話帳とアドレス帳に項目が作成されます。

電話帳への項目の追加

既存の電話帳項目に電話番号を追加することができます。

▶ 選択リストで COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、項目を選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎➡、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 電話番号追加 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 番号カテゴリーを選択し（例：プライベート）、押して ⊛ 確定します。

▶ 電話カテゴリーを選択し （例：携帯電話）、押して ⊛ 確定します。

▶ 続ける を選択し、押して ⊛ 確定します。
選択した番号カテゴリーの中で、検索のための項目に指定した番号が 5 件より少ないときは、COMAND システムはデータを保存します。
5 件の番号が選択した番号カテゴリーの項目に登録されると、確認が表示されます。 そして、既存の番号の一つを上書きするかどうか選択できます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ⊛ 確定します。
はい を選択すると、5 つの既存の番号を含んだ選択リストが表示されます。

いいえ を選択すると、処理は中止されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、上書きされる番号を選択し、押して 確定します。

入力メニューが表示されます。 新しい電話番号を入力するためのデータ欄が強調されます。

▶ 文字を入力します(▷ 30 ページ)

通話リストの使用

概要

電話を使用している間は、COMAND システムは受信と発信（受話しなかった通話を含む）の両方それぞれのリストを保存します。 通話リストは携帯電話が COMAND システムに接続されてない場合は使用できません。

COMAND システムは PBAP Bluetooth® プロファイルをサポートしています。 COMAND システム の通話リストの処理方法は接続されている携帯電話の機種によって以下のように異なります。

- PBAP Bluetooth® プロファイルを使用した Bluetooth® 電話：

  携帯電話が COMAND システムに接続されるとただちに、COMAND システムは携帯電話から通話リストを自動的にダウンロードします。
- PBAP Bluetooth® プロファイルを使用しない Bluetooth® 電話：

  携帯電話が COMAND システムに接続されるとただちに、COMAND システムは発信と受信（受話しなかった通話を含む）の両方から通話リストを作成します。

ⓘ PBAP Bluetooth® プロファイルのない Bluetooth® 電話では、COMAND システムの通話リストは携帯電話のそれと同期されません。これらの通話は、機種によって携帯電話にリストになったり、ならなかったりすることがあります。

ⓘ 接続されている携帯電話がない場合は、メニュー項目の 履歴 は灰色になり、選択できません。 以前のものとは別の携帯電話を COMAND システムに接続すると、以前に利用できた通話リストとそれらの項目が自動的に削除されます。これらはまだ携帯電話本体では使用できます。

ⓘ COMAND システムから一度通話を受信、または発信した場合にのみ、それぞれのメニュー項目を選択することができます。

受話しなかった通話を COMAND ディスプレイに表示することは、全ての携帯電話ではサポートされていません。

通話リストを表示し、履歴項目を選択する

▶ TEL 機能スイッチを押します。

▶ 電話基本メニューで COMAND コントローラーをスライドして ◎↓ から、まわして ◎ 、履歴 を選択し、押して 確定します。

メニューが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、着信履歴 または 発信履歴 を選択し、押して 確定します。

該当するリストが表示されます。

ⓘ 電話基本メニューが表示されているときに スイッチを押すと、発信履歴のリストを呼び出すことができます。この場合、リストには電話番号のみが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、項目を選択します。

▶ **電話番号をダイヤルする：** 押します ◎ 。

▶ **リストを閉じる：** ⮌ マークを選択し、押して ◎ 確定します。

または

▶ リターンスイッチ ⮌ を押します。

リスト項目からの詳細の表示

COMAND システムには簡略化された履歴項目を全体表示することもできます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 履歴項目を選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 詳細 を選択し、押して ◎ 確定します。
詳細表示が表示されます。

▶ **リストに戻る：**リストが強調されるまで、繰り返しスライドします ←◎→ 。

電話番号の保存

新しいアドレス帳項目

アドレス帳にない人からの着信は、COMAND システムは通話リストに電話番号を表示します。この項目を保存することができます。

▶ 通話リストを開いて項目を選択します (▷ 159 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 保存 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 新規 を選択し、押して ◎ 確定します。

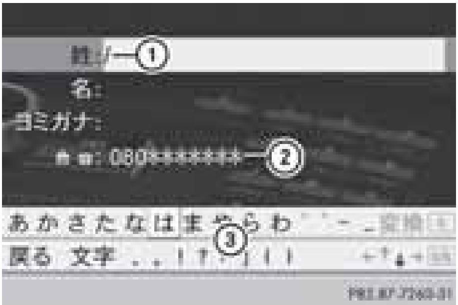
▶ 番号カテゴリーを選択し（例：プライベート)、押して ◎ 確定します。

▶ 電話カテゴリーを選択し （例：携帯電話)、押して ◎ 確定します。

番号カテゴリー	表示 (電話帳/アドレス帳)
一般	マークなし
プライベート	
仕事関連	

電話カテゴリー	表示 (電話帳/アドレス帳)
一般	
一般電話	
携帯電話	
FAX	

▶ 保存 を選択し、押して ◎ 確定します。
データ欄のある入力メニューが表示されます。 電話番号のデータ欄に自動的に表示されます。



情報のアドレス帳項目への追加

アドレス帳にない人からの着信は、COMAND システムは通話リストに電話番号を表示します。 この項目を保存することができます。

▶ 通話リストを開いて項目を選択します (▷ 159 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎➡、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 保存 を選択し、押して ◎ 確定します。

ⓘ 選択した履歴項目が既に保存されている場合は、保存 が表示されます。

▶ 電話番号追加 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 番号カテゴリーを選択し（例：プライベート)、押して ◎ 確定します。

▶ 電話カテゴリーを選択し （例：携帯電話)、押して ◎ 確定します。

▶ 保存 を選択します。
アドレス帳項目の検索メニューが表示されます。

▶ 希望の項目を検索します (▷ 156 ページ)。

▶ 検索が終了したら、押します ◎ 。
選択した番号カテゴリーの中で、検索している項目に指定された番号が 5 件より少ない場合は、COMAND システム がデータを保存します。
この結果に対するメッセージが表示されます。
検索中の項目に 5 件の番号が登録されている場合、既存の番号のいずれかに上書きするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。
はい を選択した場合は、既存の 5 件の番号からなる選択リストが表示されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ◖◎◗ リスト内で上書きする番号を選択し、押して ◎ 確定します。
COMAND システムは、選択した番号に新規データを上書きします。

通話リストを削除する

PBAP Bluetooth® プロファイルをサポートしていない Bluetooth® 電話を使用している場合は、通話リストは COMAND システムによって生成され管理されます。COMAND システムのこれらの通話リストを削除することができます。

▶ 電話基本メニューで COMAND コントローラーをまわして ◖◎◗ 、履歴 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 発着信履歴削除 を選択し、押して ◎ 確定します。
全ての通話リストを削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。
はい を選択した場合は、通話リストが削除されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

ⓘ 携帯電話からこれらの通話リストを削除すると（別冊の携帯電話取扱説明書をご覧ください)、次回接続したときに

COMAND システム は通話リスト表示を更新します。

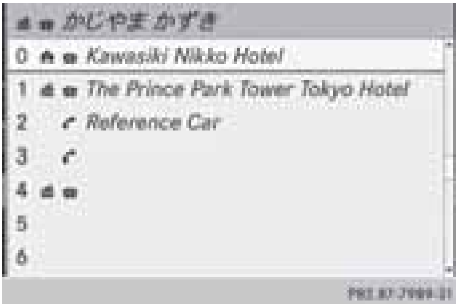
短縮ダイアルリストの使用

項目の登録

10 件の短縮ダイアルプリセット（0 - 9）を短縮ダイアルリストに指定できます。 この目的のため、使用可能な 2 つのオプションがあります。

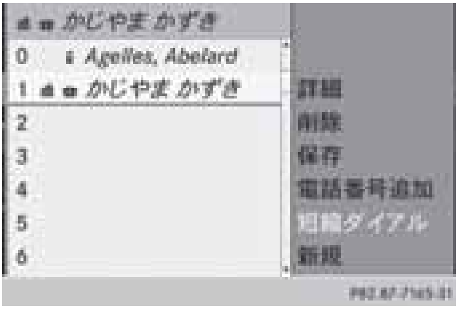
オプション 1：

- ▶ 電話帳項目を電話帳で検索します (▷ 156 ページ)。
- ▶ 項目に複数の電話番号がある場合は、COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、希望の番号を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。
  メニューが表示されます。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、短縮ダイアル を選択し、押して ◎ 確定します。
  メニューが表示されます。



短縮ダイアルメニュー

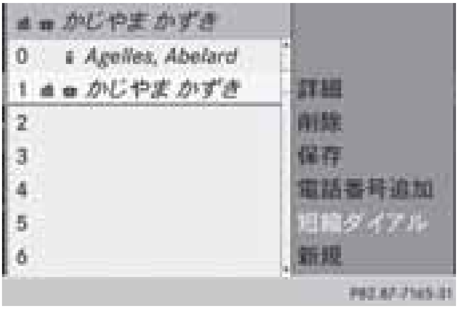
- ▶ 短縮ダイアル登録 を選択し、押して ◎ 確定します。
  短縮ダイアルリストが表示されます。
  選択された電話帳項目が一番上に表示されます。 次の空欄の短縮ダイアルプリセットが強調されます。



- ▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、短縮ダイアルプリセットを選択し、押して ◎ 確定します。
  電話帳項目が短縮ダイアルプリセットに保存されます。

オプション 2

- ▶ 電話基本メニューを呼び出します (▷ 149 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、履歴 を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ 短縮ダイアルリスト を選択し、押して ◎ 確定します。
  短縮ダイアルリストが表示されます。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ 短縮ダイアル登録 を選択し、押して ◎ 確定します。
  短縮ダイアルリストが表示されます。
  選択された電話帳項目が一番上に表示されます。 次の空欄の短縮ダイアルプリセットが強調されます。



▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、短縮ダイアルプリセットを選択し、押して ⊛ 確定します。
電話帳項目が短縮ダイアルプリセットに保存されます。

短縮ダイアルプリセットを使用して電話をかける

短縮ダイアルリストには登録した電話帳項目が含まれます (▷ 162 ページ)。

オプション 1：

▶ テンキーの 1 つを 2 秒以上押します。
電話基本メニューに選択した項目が表示されます。 電話を発信します。

オプション 2：

▶ 電話基本メニューを呼び出します (▷ 149 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、履歴 を選択し、押して ⊛ 確定します。
短縮ダイアルリストが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、短縮ダイアルリスト を選択し、押して ⊛ 確定します。
短縮ダイアルリストが表示されます。

▶ プリセットを選択し、押して ⊛ 確定します。
電話基本メニューに選択した項目が表示されます。 電話を発信します。

短縮ダイアルプリセットを削除する

▶ **短縮ダイアル番号を削除する：** COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、短縮ダイアルメニューで 短縮ダイアル削除 を選択し、押して ⊛ 確定します。
短縮ダイアルプリセットが削除されます。

▶ **すべての短縮ダイアル番号を削除する：** COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、短縮ダイアルメニューで 短縮ダイアル全件削除 を選択し、押して ⊛ 確定します。
続けたいかどうかをたずねられます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ⊛ 確定します。
はい を選択すると、すべての短縮ダイアルプリセットが短縮ダイアルリストから削除されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

アドレス帳の使用

概要

これらのアドレス帳項目を電話の発信やナビに使用することができます。

ℹ **アドレス帳の連絡先の数：** アドレス帳は 4,000 件の連絡先を登録できます。

1,500 件の項目がそれぞれアドレス帳の以下に割り当てられています。

- 携帯電話からの連絡先
- COMAND システムに作成した、または他のソースからインポートした連絡先

残りの 1,000 件の項目は、必要に応じて COMAND システム によって指定されます。

携帯電話の連絡先を表示する： COMAND システムから携帯電話の接続を切断すると、ダウンロードした連絡先は、携帯電話のアドレス帳に残ります。携帯電話が再接続されるとただちに、以前使用可能であった連絡先を表示することができます。

携帯電話に追加された新しい連絡先を表示できるようにするには、これらの連絡先を最初に手動でダウンロードしなければなりません(▷ 169 ページ)。

新しい携帯電話を COMAND システムに接続するとただちに、以前の携帯電話からのすべての連絡先が新しい電話のアドレス帳からのものと置き換わります。

携帯電話の接続を切断しても、アドレス帳項目は保存されたままです。 そのため、車を売却するときなどは、リセット機能を使用して個人データを消去してください (▷ 39 ページ)。

アドレス帳を呼び出す

オプション 1：

- ▶ TEL 機能スイッチを押します。
  電話基本メニュー、あるいは既に開かれていた場合はアドレス帳が表示されます。
- ▶ 電話基本メニューが表示されている場合は、 TEL 機能スイッチを再度押します。

オプション 2：

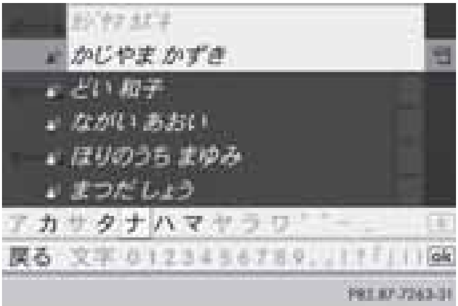
- ▶ 表示された電話基本メニューで COMAND コントローラーをスライドして ◎↑ 、電話 を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ メニューから アドレス帳 を選択し、押して ◎ 確定します。
  アドレス帳が開きます。

アドレス帳項目には以下の情報を含めることができます。

- 姓
- 名
- 会社
- 2 つの住所
- 緯度・経度
- 5 件までの電話番号

- ▶ **アドレス帳を閲覧する：** COMAND コントローラーをまわします 〔◎〕。
- ▶ **アドレス帳を閉じる：** TEL スイッチを押します。

アドレス帳項目を検索する



- ▶ アドレス帳を呼び出します (▷ 164 ページ) 。
- ▶ アドレス帳で COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、検索 を選択し、押して ◎ 確定します。
  項目が 8 つ以上ある場合は、検索メニューと文字バーが表示されます。
- ▶ **文字種類を選択する：** COMAND コントローラーをスライドして ◎↓、文字 を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ カタカナ、ABC または 数字 を選択し、押して ◎ 確定します。

- 項目を探します(▷ 156 ページ)。

アドレス帳に新規データを登録する

住所データをアドレス帳に直接入力できます。 電話番号を COMAND システムの電話帳に保存すると、これらはアドレス帳にも保存されます。 ナビゲーションの目的地を保存すると、案内可能な完全な住所データを含むアドレス帳項目を COMAND システムが作成します。

- アドレス帳を呼び出します (▷ 164 ページ) 。
- アドレス帳で COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↻◎↺ 、新規 を選択し、押して ◉ 確定します。
  データ欄のある入力メニューが表示されます。
- 文字を入力し、項目を保存します。 "文字を入力する"の項目 (▷ 30 ページ) に記載されているように進めてください。

アドレス帳項目を削除する

- **オプション 1：** COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↻◎↺、アドレス帳で 削除 を選択し、押して ◉ 確定します。
- **オプション 2：** アドレス帳項目を検索します (▷ 164 ページ)。
- COMAND コントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ◉ 確定します。
- 削除 を選択し、押して ◉ 確定します。
  選択されたオプションに関係なく、メッセージが表示されます。
- はい または いいえ を選択し、押して ◉ 確定します。
  はい を選択すると、項目が削除されます。
  いいえ を選択すると、処理が中止されます。

アドレス帳項目の詳細を表示する

項目を選択する

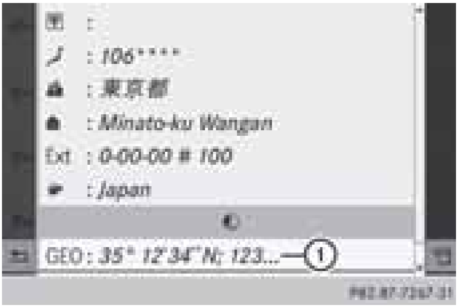
アドレス帳の詳細表示
① 前のメニューに戻る
② 会社の詳細
③ オプションを呼び出す

- アドレス帳項目を検索し、COMAND コントローラーをまわして ↻◎↺、選択リストで選択します (▷ 164 ページ)。

または

- 閲覧して (▷ 164 ページ)、アドレス帳項目を選択します。

▶ どちらの場合も、押します ⊛ 。
詳細表示が表示されます。



① 座標表示

住所までのルート案内を開始する

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、住所データ欄を選択し、押して ⊛ 確定します。
目的地住所までのルートが検索され、ルート案内が開始します (▷ 69 ページ)。

電話番号に発信する

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、電話番号データ欄を選択し、⊛ を押して確定します。
発信が行なわれ、通話をすることができます (▷ 152 ページ)。

アドレス帳項目の詳細を表示する

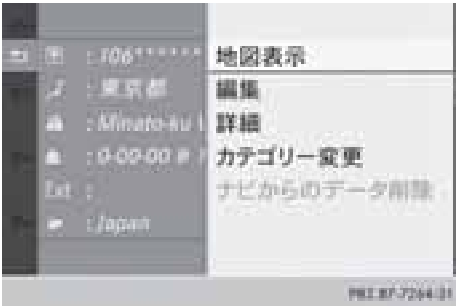
▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 詳細 を選択し、押して ⊛ 確定します。
全画面で表示されます。

▶ **詳細表示を閉じる：** リターンスイッチ ⮌ を押します。

アドレス帳項目を変更する

項目を変更する



▶ **オプション 1：** アドレス帳項目を検索し、COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、選択リストで選択します (▷ 164 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ⊛ 確定します。
メニューが表示されます。

▶ 編集 を選択し、押して ⊛ 確定します。

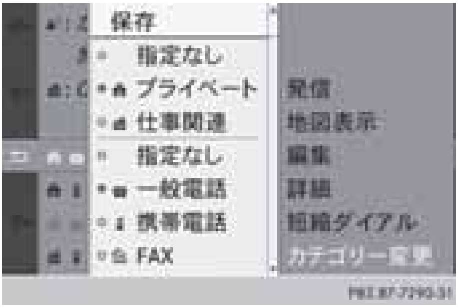
▶ **オプション 2：** アドレス帳項目の詳細画面を呼び出します (▷ 165 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 編集 を選択し、押して ⊛ 確定します。
いずれの場合も、データ欄のある入力メニューが表示されます。

▶ "文字を入力する"の項目 (▷ 30 ページ) に記載されているように進めてください。

電話番号データ欄のカテゴリーを変更する



- ▶ アドレス帳項目の詳細画面を表示して (▷ 165 ページ)、電話番号データ欄を強調します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎➡、項目の右にあるリストマークを選択し、押して ◉ 確定します。
- ▶ カテゴリー変更 を選択し、押して ◉ 確定します。
- ▶ プライベート のような番号カテゴリーを選択します。
- ▶ 携帯電話のような電話カテゴリーを選択します。
- ▶ 希望であれば、通常使用番号 を選択し、押して ◉ 確定します。

  前回の状況によって、オプションのオン ☑ またはオフ ☐ を切り替えます。

  この電話番号は電話帳の最初の番号として表示され、すぐにダイアルすることができます。
- ▶ 保存 を選択し、押して ◉ 確定します。

  新しいカテゴリーが保存されます。

項目に保存された番号に発信する

前提条件

携帯電話が Bluetooth® インターフェースを介して接続されていなければなりません。

番号のダイアル

- ▶ アドレス帳項目の詳細を表示します (▷ 165 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、電話番号データ欄を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎➡、データ欄の右のリストマークを選択します。
- ▶ COMAND コントローラーを押して ◉、確定します。
- ▶ 発信 を選択し、押して ◉ 確定します。

または

- ▶ アドレス帳項目の詳細を表示します (▷ 165 ページ)。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、電話番号データ欄を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーを押して ◉、確定します。

または

▶ 押して 確定します。
電話が発信されます。 表示が電話モードに切り替わります。

電話番号を短縮ダイアル番号として保存する

▶ アドレス帳項目の詳細を表示します (▷ 165 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをまわして 、電話番号データ欄を選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎➡、データ欄の右にあるリストマークを選択し、押して 確定します。

▶ 短縮ダイアル を選択し、押して 確定します。
10 件の短縮ダイアルプリセットの 1 つに番号を保存することができます。

項目までのルート案内を開始する

注意点

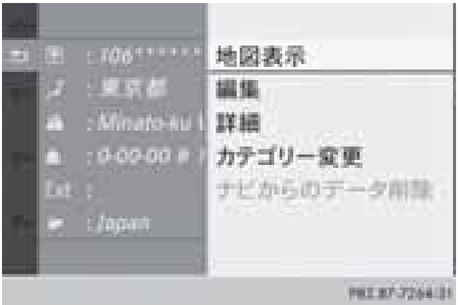
COMAND システムはナビの目的地メモリーとルート案内の完全な住所データのあるアドレス帳の両方に目的地を保存します。

この機能はアドレス帳項目に以下のデータが含まれているときに使用することができます。

- 電話番号
- 郵便番号
- 以前のナビゲーションデータ、住所欄に が付いています。
- 緯度・経度

ℹ 電話番号または郵便番号が使用される場合は、実際の目的地は使用されず、代わりに目的地周辺の地域が使用されます。

ナビ可能なデータのあるアドレス帳項目



▶ マークのあるアドレス帳項目を検索し(▷ 164 ページ)、リストから選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎➡、項目の右にあるリストマークを選択し、押して 確定します。

▶ 地図表示 を選択し、押して 確定します。
ルート案内が開始します。

または

▶ アドレス帳項目の詳細を表示します (▷ 165 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをまわして 、住所データ欄を選択し、押して 確定します。
ルート案内が開始します。

携帯電話の電話帳項目をアドレス帳に保存する

この機能では、インポートした電話帳項目をアドレス帳に保存できます。

可能なソースは以下の通りです。

- 携帯電話
- メモリーカード

- USB 機器
- Bluetooth® インターフェース

インポートされた電話帳項目は電話帳に異なるマークで示されます(▷ 156 ページ)。

▶ 携帯電話 (▷ 156 ページ) の電話帳にある項目を検索します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎➡、項目の右にあるリストマークを選択し、押して 確定します。

▶ 保存 を選択し、押して 確定します。
保存しました というメッセージが表示されます。ここで電話帳項目がアドレス帳項目として保存されます。
マークが マークと置き換わります。

連絡先をインポートする

情報と要件

メモリーカードや USB 機器からアドレス帳に連絡先（vCard）をインポートしたり、Bluetooth®接続で vCard を受信することができます。

ℹ 2,500 件までの項目をアドレス帳にインポートできます。 最大数に達した場合はメッセージが知らせます。新しい項目をインポートするには既存の項目 (▷ 165 ページ) を削除しなければなりません。

連絡先データのソースによって、異なる要件が適用されます。

ソース	条件
メモリーカード	SD メモリーカードは挿入され (▷ 218 ページ)、インポート可能な連絡先データが含まれている。
USB 機器	USB 機器が USB ポートに挿入され、インポート可能な連絡先データが含まれている。
携帯電話	携帯電話が PBAP Bluetooth® プロファイル (Phone Book Access Profile) をサポートしている。

Bluetooth®経由による vCard の受信要件

Bluetooth®接続により vCard の送信をサポートしている PC などの機器から vCard を受信することができます。

そのために COMAND システムで機器を認証する必要はありません。

以下のことを念頭に置いてください。

- Bluetooth® が COMAND システムおよび Bluetooth® 機器で作動していること（機器の取扱説明書をご覧ください)。
- Bluetooth® 機器が Bluetooth®経由により vCard を送信できること (機器の取扱説明書をご覧ください)。
- 車両の Bluetooth® 機器がオンになっていること。

メモリーカードまたは USB 機器からインポートする

メモリーカードまたは USB 機器からインポートされた項目には マークがあります。

vCard をインポートするには、以下の条件を満たしていなければなりません。

- vCard (vcf ファイル) が主要なディレクトリまたはフォルダにあること。COMAND システム により関連のフォルダーを直接選択できます。
- vCard にファイル拡張子".vcf"が付いていること。

ⓘ vCard には複数の vCard を含めることもできます。

COMAND システムは、バージョン 2.1 および 3.0 の vCard をサポートしています。

▶ SD メモリーカードを挿入するか (▷ 218 ページ)、USB 機器（USB スティックなど）を接続します。(▷ 219 ページ)

▶ アドレス帳で アドレス帳 を選択するか、または電話基本メニューが表示されている場合は、COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、電話 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 電話帳ダウンロード を選択し、押して ◎ 確定します。

メニューが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、メニューで メモリーカードから または USB デバイスから を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 追加 または 上書き を選択し、押して ◎ 確定します。

追加 はメモリーカードまたは USB 機器からアドレス帳に項目をインポートします。

上書き はメモリーカードまたは USB 機器から項目をインポートし、 マークがあるアドレス帳の全項目が上書きされます。 その後、以前の項目は使用できなくなります。

連絡先データが正常にインポートされると、その結果に関するメッセージが表示されます。 アドレス帳または該当する電話基本メニューが表示されます。

ⓘ アドレス帳に対応する項目が含まれている場合は、メニュー項目の 上書き を選択することができます。 アドレス帳がいっぱいの場合は、メッセージが知らせます。

携帯電話からインポートする

▶ アドレス帳で アドレス帳 を選択するか、または電話基本メニューが表示されている場合は、COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、電話 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 電話帳ダウンロード を選択し、押して ◎ 確定します。

メニューが表示されます。

▶ メニューから 携帯電話から を選択し、押して ◎ 確定します。

連絡先が携帯電話からダウンロードされます。

Bluetooth®経由で vCard を受信する

▶ アドレス帳で アドレス帳 を選択するか、または電話基本メニューが表示されている場合は、COMAND コント

ローラーをスライドしてから ◎、まわして ◎、電話 を選択し、押して ◎ 確定します。
メニューが表示されます。

▶ 電話帳ダウンロード を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、メニューで Bluetooth 接続機器から を選択し、押して ◎ 確定します。
これにより COMAND システムと作動している携帯電話間の Bluetooth® 接続が中断します。ただし、COMAND システムは、他の Bluetooth® 機器（PC、携帯電話）から vCard を受信する準備はできています。

▶ 外部の Bluetooth® 機器でデータ送信を開始します (機器の取扱説明書をご覧ください)。
受信した vCard の数が表示されます。

▶ **受信を終了する：** ◎ またはリターンスイッチ ⮌ を押します。
そして、COMAND システムは携帯電話に再接続します。

受信された vCard はアドレス帳に BT マークで識別されます。

ℹ vCard を受信している間にナビのような他の基本機能に切り替えると、vCard の受信は終了します。

連絡先を削除する

▶ アドレス帳で アドレス帳 を選択するか、または電話基本メニューが表示されている場合は、COMAND コントローラーをスライドしてから ◎、まわして ◎、電話 を選択し、押して ◎ 確定します。
メニューが表示されます。

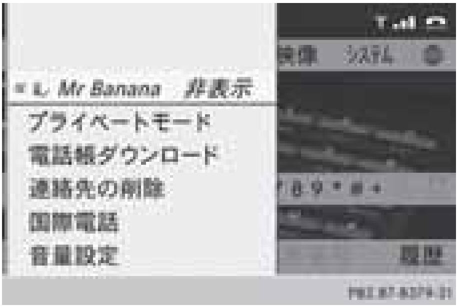
▶ 連絡先の削除 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 以下のオプションの 1 つを選択します。
- COMAND 上で作成した連絡先
- メモリーデバイスの登録データ
- Bluetooth 接続機器から
- 全て

選択に対応する確認が表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。
はい を選択すると、選択に応じて連絡先が削除されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

アドレス帳の非表示



携帯電話からダウンロードしたアドレス帳を非表示にすることができます。
携帯電話の接続 (▷ 144 ページ)。

▶ アドレス帳 を選択するか、または電話基本メニューが表示されている場合は、COMAND コントローラーをスライド

電話

してから ◎⬇、まわして ⟲◎⟳、電話 を選択し、押して ◎ 確定します。

メニューが表示されます。

▶ 詳細の非表示 ＜自宅の電話番号＞ を選択し、押して ◎ 確定します。

アドレス帳の表示を非表示にする ☑、またはそれを表示させます ☐。

ℹ 詳細の非表示 機能が作動している場合は、携帯電話からアドレス帳をインポートする 電話帳ダウンロード 機能は使用できません。

COMAND システムの特徴 174
全体的な注意事項 174
アクセスデータの設定 175
接続の確立/終了 184
Google™ ローカル検索 185
目的地のダウンロード 188
天気 191
オプション 196
追加のサービス 201
インターネット 202

COMAND システムの特徴

本補足版は、印刷時点で利用可能な COMAND システムのすべての標準装備やオプション装備について記載しています。 国により、仕様が異なる場合があります。 本書に記載されているすべての機能が、お客様の車両に当てはまらない可能性があることにご留意ください。

全体的な注意事項

アクセスの条件

⚠ **警告**

COMAN Online を操作するときは、そのときに運転している国の法規則に従ってください。走行中に通信機器を操作することが法律で認められている場合は、交通状況が許すときのみ操作してください。交通状況から注意がそれて、事故の原因になったり、お客様や他の乗員の方々が負傷するおそれがあります。

オンライン機能とインターネットアクセスは、Bluetooth® インターフェースを介して利用することができます。

機能を使用するには、以下の条件が必要です。

- 携帯電話が DUN Bluetooth® プロファイル (**D**ial-**U**p **N**etworking：ダイアルアップネットワーク) をサポートしていて、Bluetooth® インターフェース (▷ 144 ページ) によって COMAND システムに接続されていること。 DUN Bluetooth® プロファイルは携帯電話のインターネットへのダイアルアップ接続を確立させることができます。
- データオプションがある有効な携帯電話の契約が必要で、それには関連する接続費用が請求されます。
- 接続している携帯電話のアクセスデータが COMAND システムに設定されていること(▷ 176 ページ)。

ℹ 適合している携帯電話の詳しい情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場へお問い合わせください。

ℹ 携帯電話によっては、独立して DUN Bluetooth® プロファイルをオンにしなければならないものもあります (携帯電話の取扱説明書をご覧ください)。

ℹ 携帯電話の中には同時に 2 つの Bluetooth® プロファイルのみをサポートするものがあります (例：Bluetooth® 電話機能のハンズフリープロファイルおよびオーディオストリーミングの Bluetooth® オーディオプロファイル)。 さらにインターネット接続を確立させたときは、Bluetooth® オーディオ経由での再生が停止することがあります。

ℹ 正しくないアクセスデータを使用すると、追加の費用が発生することがあります。 これは、契約と違う項目や、他の契約/データパッケージの項目を使用したときに発生します。

ℹ 個々の COMAND システムのメルセデス・ベンツのアプリケーションの使用可能状況は国によって異なります。

ℹ 利用規約は COMAND Online が初めて使用されたとき、およびそれ以降年に 1 度表示されます。 車両が停止しているときにのみ、利用規約を読んで同意してください。

ℹ インターネットのページは走行中は表示できません (▷ 202 ページ)。

データをインポート/エクスポートし、そのために インターネットデータ オプションを選択するときは、携帯電話のネットワークプロバイダーのパスワードは保存**されません**。

インターネットに再度接続するときは、以下のように進めます。

▶ **ステップ 1：** 携帯電話のネットワークプロバイダーを削除します。

▶ **ステップ 2：** 携帯電話のネットワークプロバイダーを再度選択する (オプション 1)か、手動で設定します (オプション 2)。

車両が走行している間の接続障害

以下の場合は、接続が切断されることがあります。

- 特定の地域において、携帯電話のネットワーク範囲が不十分なとき
- 携帯電話の送信/受信エリア（携帯電話の基地局）を他に移動して空いているチャンネルがないとき
- 使用可能なネットワークに適していない SIM カードを使用しているとき

機能の制限

以下の状況のときは、携帯電話を使用できなかったり、携帯電話を使用できなくなったり、使用できるようになるまでに待たなければならないことがあります。

- 携帯電話の電源が入っていないとき
- COMAND システムの"Bluetooth®"機能がオフになっているとき
- Bluetooth® インタフェースの電話機能を使用している間に携帯電話の"Bluetooth®"機能がオフになったとき
- 携帯電話が携帯電話のネットワークにログインしていないとき
- 携帯電話のネットワークおよび携帯電話のどちらにも、電話とインターネット接続の同時使用が認められていないとき

ℹ 使用している携帯電話と携帯電話ネットワークによっては、インターネットに接続しているときは着信できないことがあります。

ローミング

他の国でご自身の車両を運転していて、オンラインとインターネット機能を使用すると、追加費用（ローミング料金）が発生することがあります。他の国にいるときは、SIM カードがデータローミングをできるようにしなければなりません。携帯電話のネットワークプロバイダーがローミングパートナーとデータローミングの契約を結んでいない場合は、インターネット接続を確立できないことがあります。 他の国にいるときにデータローミングを避けたい場合は、携帯電話のこの機能を非作動にしてください。

アクセスデータの設定

概要

接続された携帯電話のインターネットアクセスデータは、携帯電話のネットワークプロバイダーから取得することができます。 COMAND システムにおいて必要なインターネットアクセスデータの設定は以下に記載されています。

選択された/手動で設定された携帯電話のネットワークプロバイダーは、選択/設定されたときに接続されている携帯電話のみで有効です。 再接続されたときは携帯電話のネットワークプロバイダーは自動的に設定されます。

ℹ 正しくないアクセスデータを使用すると、追加の費用が発生することがあります。 例えば、適切でないデータは契約と異なる項目や、他の契約/データパッケージの項目です。

ℹ 他の国で車両を運転していて、COMAND システムとインターネット機能を使用すると、追加費用（ローミング料金）が発生することがあります。

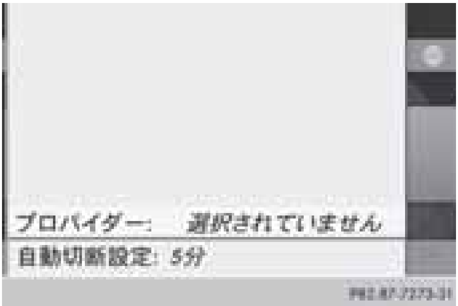
ℹ 車両が停止しているときにアクセスデータの設定を調整してください。 交通状況から注意がそれて、事故の原因になったり、お客様や他の方がけがをするおそれがあります。

インターネットアクセスデータの選択/設定

携帯のネットワークプロバイダーを呼び出す

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳、基本機能バーでマーク 🌐 を選択し、押して ◎ 確定します。

カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。



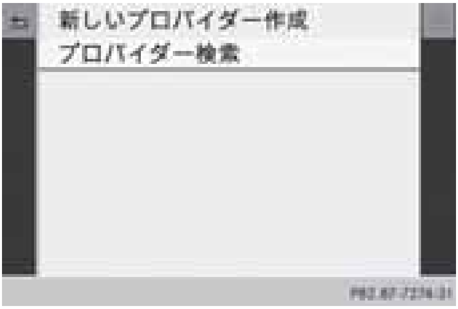
▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、設定 を選択し、押して ◎ 確定します。

携帯電話を初めて COMAND システムに接続するときは、あらかじめ設定されている携帯電話のネットワークプロバイダーはありません(▷ 144 ページ)。 プロバイダー： に選択されていません という言葉が続きます。

携帯電話が接続されていて、携帯電話のネットワークプロバイダーが選択されている場合は、携帯電話のネットワークの名称がプロバイダー： の後に表示されます。

▶ COMAND コントローラーを押します ◎。

携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示されます。

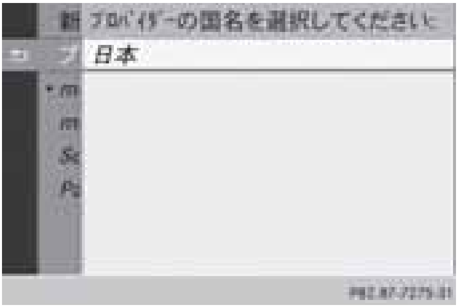


携帯電話のネットワークプロバイダーのリスト（空欄）

携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを設定するために、以下のことができます。

- 携帯電話のネットワークプロバイダーのあらかじめ設定されたアクセスデータを選択する(▷ 177 ページ)
- 携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを手動で設定する(▷ 179 ページ)

携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの選択



プロバイダーの検索

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、携帯電話のネットワークプロバイダーリストで プロバイダー検索 を選択し、押して ◉ 確定します (▷ 176 ページ)。
国のリストが表示されます。

▶ 押して ◉、日本 を確定します。
使用可能な携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示されます。

ⓘ 携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータが接続している携帯電話で一度選択されると、携帯電話が接続されるたびに再び読み込まれます(▷ 176 ページ)。

ⓘ 接続している携帯電話の SIM カードおよび関連するデータパッケージ（アクセス設定）を提供している携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを設定してください。 他に国にいるときは、アクセスデータは同じままです（ローミング）。 他のネットワークのアクセスデータは選択**されません**。

複数のアクセスデータを提供している携帯電話のネットワークプロバイダーがあります。 これは、例えば使用しているデータパッケージによって異なります。

携帯電話のネットワークアクセス設定が１つの場合

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、携帯電話のネットワークプロバイダーを選択し、押して ⊛ 確定します。
メニューが表示されます。

▶ **プリセットアクセスデータを確認する：** 編集 を選択し、⊛ で確定します。
アクセスデータのリストが表示されます。
アクセスデータを確認します。 アクセスデータの記載(▷ 179 ページ).

▶ **アクセスデータが正しい場合：** リセットスイッチ ⮌ を押すか、または ⮌ マークを選択し、押して ⊛ 確定します。
携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを受け取ることができます。

▶ 保存 を選択し、押して ⊛ 確定します。
携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示されます。プロバイダーのアクセスデータを受け取ります。

▶ **アクセスデータを編集する：**"携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定" (▷ 179 ページ) に記載されているように進めてください。
編集したアクセスデータを確定すると、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示され、選択したプロバイダーが表示されます。

携帯電話のネットワークアクセス設定が複数の場合

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、適切なアクセス設定を選択し、押して ⊛ 確定します。
メニューが表示されます。

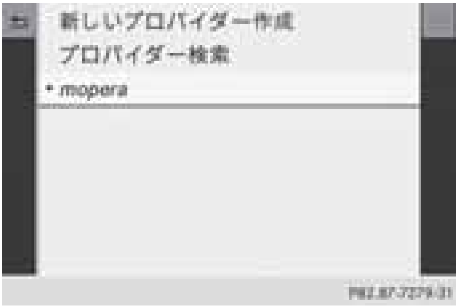
▶ **アクセス設定を確認する：** 編集 を選択し、押して ⊛ 確定します。
アクセスデータのリストが表示されます。
アクセスデータを確認します。 アクセスデータの記載(▷ 179 ページ).

▶ **アクセスデータが正しい場合：** リセットスイッチ ⮌ を押すか、または ⮌ マークを選択し、押して ⊛ 確定します。
携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを受け取ることができます。

▶ 保存 を選択し、押して ⊛ 確定します。
携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示されます。プロバイダーのアクセスデータを受け取ります。

▶ **アクセスデータを編集する：**"携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定" (▷ 179 ページ)

に記載されているように進めてください。
編集したアクセスデータを確定すると、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが表示され、選択したプロバイダーが表示されます。



選択したプロバイダーがある携帯電話のネットワークプロバイダーのリスト

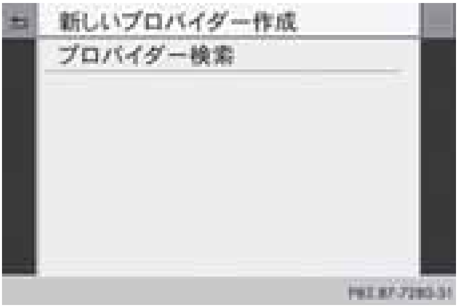
現在選択されているアクセス設定（項目の前の ● で示されています）は接続されている携帯電話に使用されています。

▶ **カルーセルビュー（マルチウインドウ）に戻る：** リターンスイッチ ⮌ を 2 回押します。

または

▶ COMAND コントローラーを押して ⊚、リターンスイッチ ⮌ を押します。

携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定



アクセスデータのリスト（新しいプロバイダー）

アクセスデータのリストを呼び出す

▶ COMAND コントローラーを押して ⊚、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストで 新しいプロバイダー作成 を確定します。
アクセスデータのリストが表示されます。 標準的な名前 プロバイダー <x> がプロバイダー： 欄に自動的に入力されます。 ここで項目を作成することができます。

ℹ 携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータは接続されている携帯電話に一度設定されます。

アクセスデータの説明

入力欄	意味
プロバイダー名：	携帯電話のネットワークプロバイダーのリストに表示されるプロバイダーの名前。 名前を自由に選択できます。 標準的な項目は プロバイダー <x> です。
電話番号:	接続を確立するためのアクセス番号 ℹ アクセス番号はプロバイダーによって異なります。
アクセスポイント：	APN ネットワークアクセスポイント (**A**ccess **P**oint **N**ame：アクセスポイント名) ℹ ネットワークのアクセスポイントは入力されている必要はありません。
ユーザー ID：	ユーザー ID は携帯電話のネットワークプロバイダーから取得することができます。 ℹ すべての携帯電話のネットワークプロバイダーで入力は必要ではありません。
パスワード：	パスワードは携帯電話のネットワークプロバイダーから取得することができます。 ℹ すべての携帯電話のネットワークプロバイダーで入力は必要ではありません。 ℹ パスワードはデータをインポート/エクスポートすると失われます。
DNS アドレス：	DNS アドレス (**D**omain **N**ame **S**ervice：ドメインネームサービス) は自動的に決めるか、手動で入力することができます。 必要な情報は携帯電話のネットワークプロバイダーから取得することができます。 ℹ ほとんどの携帯電話のネットワークプロバイダーは自動 機能をサポートしています。 マニュアル オプションを選択すると、通常は DNS アドレスを入力する必要があります。
DNS 1： DNS 2：	DNS サーバーのアドレスを手動で入力するための欄。 アドレスは携帯電話のネットワークプロバイダーから取得することができます。

アクセスデータの入力

▶ アクセスデータのリストで、押して ⓢ プロバイダー名 の入力欄を確定します。
入力メニューが表示されます。

▶ プロバイダーを入力します (▷ 30 ページ)。

▶ **電話番号を入力する：** アクセスデータのリストで、COMAND コントローラーをスライドするか ↓◎、まわして ⟲◎⟳、電話番号 の入力欄を選択し、押して ⓢ 確定します。
電話番号の入力メニューが表示されます。

▶ 電話番号を入力します。

▶ **アクセスポイントを入力する：** アクセスデータのリストで、入力欄の アクセスポイント を選択し、押して ⓢ 確定します。

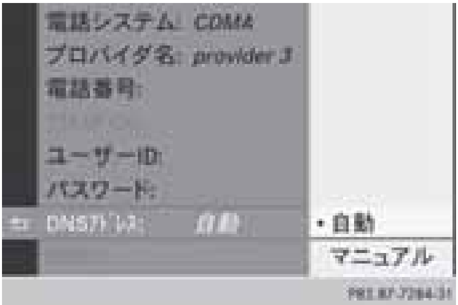
▶ アクセスデータを入力します。

▶ **ユーザー ID を入力する：** アクセスデータのリストで、入力欄の ユーザー ID を選択し、押して ⓢ 確定します。

▶ ユーザー ID を入力します。

▶ **パスワードを入力する：** アクセスデータのリストで、入力欄の パスワード を選択し、押して ⓢ 確定します。

▶ パスワードを入力します。



▶ **DNS アドレスを設定する：** アクセスデータのリストで、入力欄の DNS アドレス： を選択し、押して ⓢ 確定します。
項目の前にあるドット ● は現在の設定を示しています。

▶ COMAND コントローラーで 自動 または マニュアル を選択し、押して ⓢ 確定します。
自動 は DNS アドレスを自動的に決定します。
マニュアル は DNS 1 と DNS 2 にある項目を使用します。

DNS1 を入力する

DNS の例を入力する

▶ マニュアル を選択した後、COMAND コントローラーを使用して入力欄の DNS1 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ たとえば、172.28.4.81 を入力します。

他の携帯電話のインターネットのアクセスデータ

アクセスデータが携帯電話のネットワークプロバイダーのリストですでに使用可能であれば、追加する携帯電話に使用できます。

これには以下の前提条件が必要です。

- 追加する携帯電話が接続されていること。
- アクセスデータが現在接続されている携帯電話の契約に適用されていること。

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、携帯電話のネットワークプロバイダーリストでプロバイダーを選択し、押して ◎ 確定します (▷ 177 ページ)。
プロバイダーを選択した後、携帯電話のネットワークプロバイダーのリストが閉じます。 選択したプロバイダーが入力されます。

▶ **カルーセルビュー（マルチウインドウ）を呼び出す：** COMAND コントローラーをスライドします ←◎→。

携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを管理する

概要

携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータは以下のことができます。

- 編集
- 新しいプロバイダー名用のコピー、編集、取り込み
- 削除

ℹ 携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの変更は、このアクセスデータを使用するすべての携帯電話に適用されます。

ℹ インターネットが接続されているときは、現在設定されている携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを編集、または削除することはできません。

アクセスデータを編集する

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、携帯電話のネットワークプロバイダーリストでプロバイダーを選択します(▷ 177 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎→、項目の右にあるマークを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 押して ⊛、編集 を確定します。
アクセスデータが表示されます。

▶ アクセスデータを編集します。 項目の記載は、"携帯電話ネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定" (▷ 179 ページ) にあります。

アクセスデータを新しいプロバイダー名に保存する

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、携帯電話のネットワークプロバイダーリストでプロバイダーを選択します(▷ 177 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎➡、項目の右にあるマークを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 押して ⊛、コピーを作成 を確定します。
アクセスデータが表示されます。

▶ アクセスデータを編集します。 項目の記載は、"携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータの手動設定" (▷ 179 ページ) の"項目の作成" にあります。

携帯電話のネットワークプロバイダーのアクセスデータを削除する

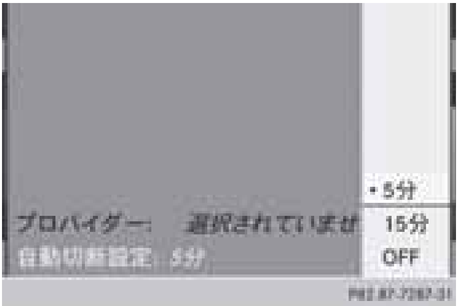
▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、携帯電話のネットワークプロバイダーリストでプロバイダーを選択します(▷ 177 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎➡、項目の右にあるマークを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 押して ⊛、削除 を確定します。
アクセスデータを削除してもよいかを問う確認が表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ⊛ 確定します。
はい を選択すると、アクセスデータが削除され、プロバイダー名が携帯電話のネットワークプロバイダーのリストから削除されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

インターネットから自動的に切断する時間の長さを選択する



オンライン機能およびインターネットのどちらも使用されていない間に、あらかじめ設定した時間が経過した後は、COMAND システムはインターネットから自動的に切断します。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ⬇◎、まわして ⟲◎⟳、カルー

セルビュー（マルチウインドウ）で設定 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 自動切断設定： を選択し、押して ⊛ 確定します。
ドット ● は現在の設定を示します。

▶ 5 分、15 分 または OFF を選択し、押して ⊛ 確定します。
OFF は機能をオフにします。

インターネット接続の作動は、ディスプレイ右上の 2 本の矢印で識別されます。

接続の確立/終了

接続を確立する

接続を確立するための前提条件は、"全体的な注意事項" (▷ 174 ページ) をご覧ください。

▶ **オプション 1：** COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ↺◎↻、基本機能バーでアイコン 🌐 を選択し、押して ⊛ 確定します。
カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

▶ Mercedes-Benz Apps パネル、または以前に作成されている場合はお気に入り (▷ 208 ページ) が前面になるまで、COMAND コントローラーをまわすか ↺◎↻、スライドします ←◎→。

▶ **オプション 2：** ウェブアドレス (▷ 202 ページ) を入力します。

▶ どちらのオプションも、COMAND コントローラーを押します ⊛。
インターネットの接続が確立されます。 インターネットの接続の作動は、マーク ① で識別されます。例は、Google™ ローカル検索 機能のメニューを示しています(▷ 185 ページ)。

▶ **接続を中止する：** 接続を確立している間に、押して ◎ 中止 を確定します。

または

▶ COMAND システムまたはマルチファンクションステアリングの ☎ スイッチを押します。

ℹ インターネット接続の作動と同時に通話をすると、☎ マークが ① に表示されます。インターネット接続は、使用されている携帯電話と携帯電話ネットワークによって接続されたままになります。

接続を終了する

▶ COMAND システムまたはマルチファンクションステアリングの ☎ スイッチを押します。

または

▶ カルーセルビュー（マルチウインドウ）の右下にあるハサミマークを選択して、押して ◎ 確定します。

ℹ 携帯電話のインターネット接続が中止されると、COMAND システムは再接続しようとします。　そのため、COMAND システムでまたはマルチファンクションステアリング経由で接続を常に閉じるようにしてください。

Google™ ローカル検索

ローカル検索メニューを呼び出す

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳、基本機能バーでアイコン 🌐 を選択し、押して ◎ 確定します。

カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、Mercedes-Benz Apps のパネルを前面にし、押して ◎ 確定します。

メルセデス・ベンツ アプリケーションメニューが表示されます。

▶ Google ローカル検索 パネルを前面にし、押して ◎ 確定します。

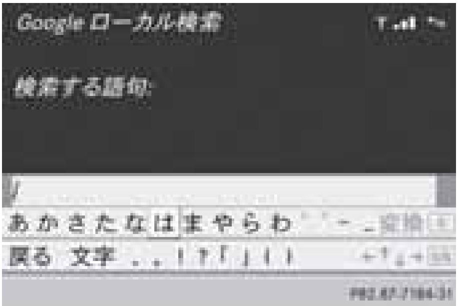
▶ **メニューを終了する：** COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、戻る を選択し、押して ◎ 確定します。

キーワード検索

入力の制限

車両が停止しているときにのみ、入力メニューの検索語句を入力することができます。

検索条件の入力



入力メニュー

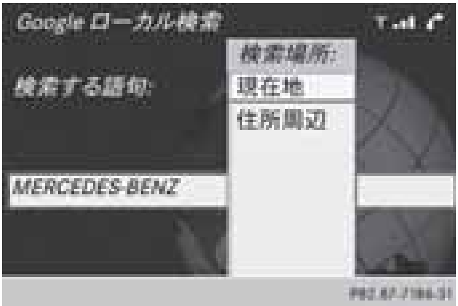
▶ 押して ⊛、ローカル検索メニューのキーワード検索 を確定します。
入力メニューが表示されます。

▶ **文字バーを使用して入力する：** 検索語句を入力します。

▶ **テンキーを使用して文字を入力する：** 素早く連続してテンキーを押します。キーを押すと文字が表示されます。 最初に使用可能な文字が強調されます。

▶ 検索語句を入力した後に、COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、ok を選択し、押して ⊛ 確定します。
メニューが表示されます。 ここで目的地検索を始める場所を選択できます。

検索位置の選択

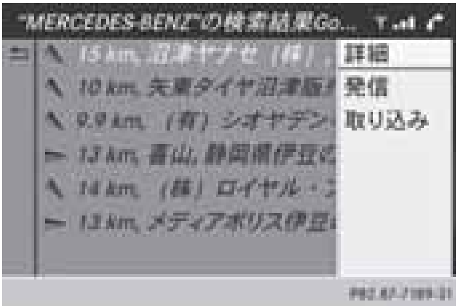


▶ 目的地を入力したら、COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、項目を選択し、押して ⊛ 確定します。
COMAND システムは入力された検索条件で利用可能な施設を検索します。
- 現在の車両位置付近
- 他の場所の付近

▶ 住所周辺 を選択した後に、住所を入力して確定します。
検索結果が表示されます。

例：Google™ 検索結果

検索結果を使用する



▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、検索結果リストで項目を選択し、押して ◎ 確定します。
メニューが表示されます。

▶ **詳細画面を表示する：** COMAND コントローラーを押して ◎、詳細 を確定します。
選択した項目の住所が表示されます。

▶ **目的地を呼び出す：** COMAND コントローラーで 発信 を選択し、押して ◎ 確定します。
次に電話機能に切り替え、発信します (▷ 150 ページ)。

ℹ 使用できる電話番号がない場合は、メニュー項目が灰色になります。

▶ **目的地をインポートする：** COMAND コントローラーで 取り込み を選択し、押して ◎ 確定します。
項目がアドレス帳に保存されます。<目的地 x> をアドレス帳にインポートしました というメッセージが表示されます。

▶ 押して ◎、OK を確定します。

通常検索

この機能ではあらかじめ設定した検索条件を使用して検索することができます。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、ローカル検索メニューで 通常検索 を前面にし、押して ◎ 確定します。
メニューに使用可能な検索条件が表示されます。

例：通常の GoogleTM 検索

▶ 検索条件を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ "検索位置の選択" (▷ 186 ページ) に記載されているように進めてください。 車両が停止している場合は、"サ

クラホテル" のように手動で検索結果を追加することができます。

検索履歴

この機能は以前のすべての検索照会を提供します。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、ローカル検索メニューで 検索履歴 を前面にし、押して 確定します。
一番最近のものから最上部になり、以前の検索照会が表示されます。

▶ 検索条件を選択し、押して 確定します。

▶ "検索位置の選択" (▷ 186 ページ) に記載されているように進めてください。 車両が停止している場合は、"サクラホテル" のように手動で検索結果を追加することができます。

目的地のダウンロード

概要

Google™ マップから目的地をダウンロードし、サーバーに送信することができます。 ルート案内に目的地を使用したり、その他で使用するために保存することができます。

ステップ 1：目的地をサーバーに送信する

▶ インターネットで Google™ マップのウェブサイトを呼び出します。

▶ 目的地を選択します。

▶ 会社項目で "Mercedes-Benz" を選択します。

▶ ダウンロード用の ID を選択します (車台番号または e-mail アドレス)。

ℹ 車台番号 (VIN) は工場であらかじめ設定されています。 e-mail アドレスへの変更手順は "目的地のダウンロードの設定オプション" (▷ 199 ページ) に記載されています。

ℹ Google™ マップ機能の使用可能状況は国によって異なります。

▶ Google™ マップのウェブサイトで"送信" を確定します。
目的地がサーバーに送信されます。

ステップ 2：サーバーから目的地をダウンロードする

サーバーに送信した目的地/ルートを使用するには以下のように進めてください。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳、基本機能バーで 🌐 マークを選択し、押して ⊙ 確定します。

カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

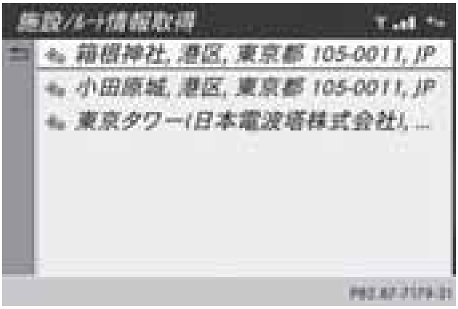
▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、COMAND Online パネルを前面にし、押して ⊙ 確定します。

COMAND システムのメニューが表示されます。

▶ 施設/ルート情報取得 のパネルを前面にし、押して ⊙ 確定します。

中止 で目的地のダウンロードを中止することができます。

オプション で、目的地のダウンロードのオプションを設定することができます (▷ 199 ページ)。



例：3 つの目的地項目があるリスト

▶ 押して ⊙、施設/ルート情報取得 パネルを確定します。

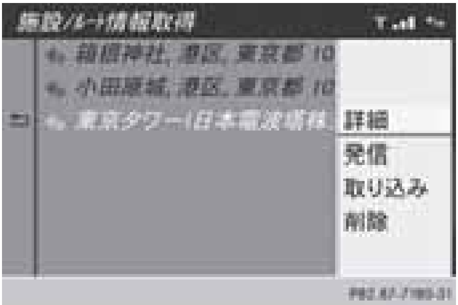
使用可能な目的地 ⌖@がリストに表示されます。

サーバーには車両の目的地を 50 件まで保存し、リストに表示することができます。 サーバーにさらに目的地を送信する場合は、一番古い項目がリストから削除されます。

ℹ Google™ マップからサーバーに送信された目的地は 7 日後に自動的にサーバから削除されます。

ステップ 3：目的地を使用する

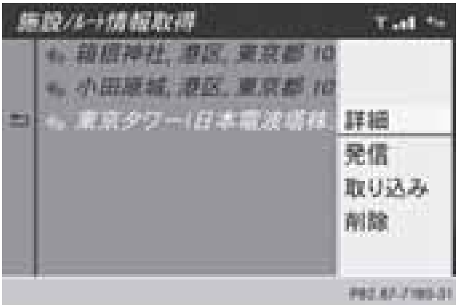
メニューの呼び出し

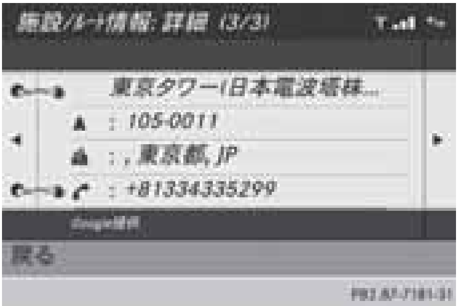


▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、リストで項目を選択し、押して ⊙ 確定します。

メニューが表示されます。

詳細を表示する





目的地の住所の例

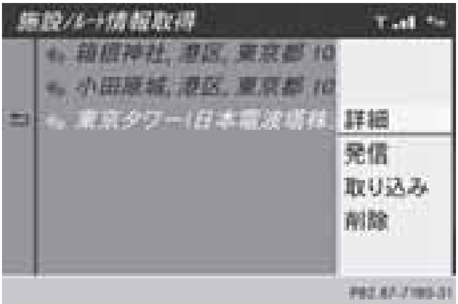
▶ COMAND コントローラーを押して ⊛、メニューで 詳細 を確定します。
ルートまたは目的地が表示されます。

▶ **施設を呼び出す**： 押して ⊛、項目を確定します。

ℹ 以下のときにこの機能を使用できます。

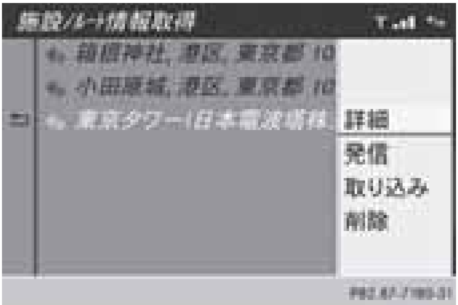
- 携帯電話が接続されている(▷ 144 ページ)
- 目的地住所が電話番号を含んでいる

目的地を呼び出す



▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、メニューで 発信 を選択し、押して ⊛ 確定します。
次に電話機能に切り替え、通話をします (▷ 150 ページ)。

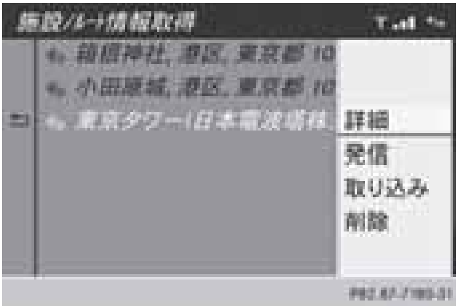
目的地をインポートする



インポートするときは、アドレス帳に施設として目的地を保存します。

▶ COMAND コントローラーでメニューで 取り込み を選択し、押して ⊛ 確定します。
項目がアドレス帳に保存されます。

サーバーから目的地を削除する



▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、リストで項目を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 削除 を選択し、押して ◎ 確定します。
目的地を削除してもよいかを確認するメッセージが表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◎ 確定します。
はい を選択すると、目的地が削除されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

天気

概要

COMAND システムはオンライン接続によって世界中のどこでも天気予報を受信し、それらを情報チャート（現在の日付、5 日間の予報）または天気図に表示することができます。

天気図に以下の天気データをマークと一緒に表示することができます。

- 気圧の状態
- 気温
- 雲の量
- 風の向きと速度

天気表示のオン/オフを切り替える

▶ **オンにする：** COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ◎、基本機能バーで 🌐 マークを選択し、押して ◎ 確定します。
カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

▶ Mercedes-Benz Apps が前面になるまで COMAND コントローラーをまわして ◎、押して ◎ 確定します。
メルセデス・ベンツアプリケーションのカルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

▶ 天気 が前面になるまで COMAND コントローラーをまわして ◎、押して ◎ 確定します。
情報チャートは現在の車両位置の現在の天気を表示します（工場出荷時の設定）。 オプションメニューで初期設定の画面と初期設定の場所を変えることができます (▷ 196 ページ)。

以下の情報が表示されます。

- 現在の天気予報の時刻
- 現在の気温
- 天気の情報（例：曇り、雨）
- 日中の最高気温
- 日中の最低気温
- 降水確率
- 今日の予報 (3 つの時間別を含む)

▶ **現在の天気情報に戻る：** 押して ⊛、天気状況 を確定します。

▶ **オフにする：** [↩] スイッチを押します。

または

▶ COMAND コントローラーをまわして《◎》、[↩] マークを選択し、押して ⊛ 確定します。
選択したオプションに関わらず、カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

追加情報を表示する

現在の気温に加えて、湿度や大気状態のような情報も表示できます（情報が利用可能な場合）。

▶ COMAND コントローラーをまわして《◎》、情報チャートの詳細 を選択し、押して ⊛ 確定します。
情報チャートは選択した場所の情報を表示します。

場所を選択する

概要

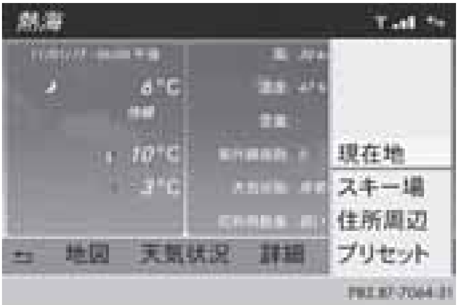
天気予報で以下のオプションを選択することができます。

- 現在の車両位置
- ウインタースポーツのエリア
- 世界中のあらゆる場所

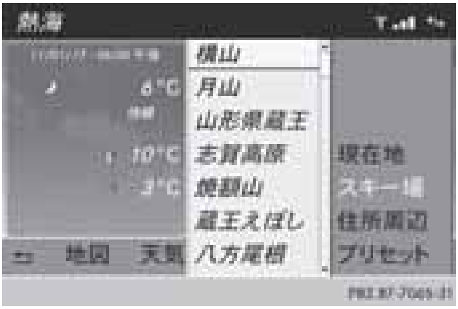
情報チャート（オプション 1）(▷ 192 ページ) または天気図（オプション 2）(▷ 194 ページ) で場所を選択できます。天気情報は最寄りの測候所から提供されます。

オプション 1：情報チャートで場所を選択する

▶ COMAND コントローラーをまわして《◎》、情報チャートの 各地の天気 を選択し、押して ⊛ 確定します。
メニューが表示されます。

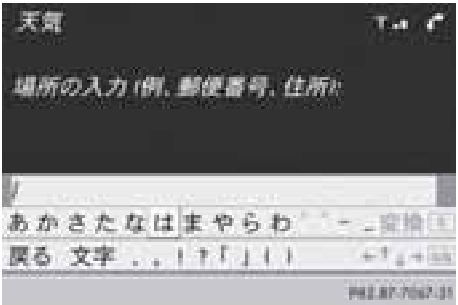


▶ **現在の車両位置を選択する：** 押して ⊛、現在地 を確定します。



▶ **ウインタースポーツのエリアを選択する：** メニューで スキー場 を選択し、押して ⊛ 確定します。
利用可能なウインタースポーツのエリアが表示されます。

▶ メニューからウインタースポーツのエリアを選択し、押して ⊛ 確定します。
情報チャートが以下の情報を表示します。
- リフト運転
- 雪の状態
- 気温



▶ **場所を選択する：** COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、メニューで 住所周辺 を選択し、押して ⊛ 確定します。
入力メニューが表示されます。

▶ **文字バーで使用する文字設定を変更する：** COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、文字 を強調し、押して ⊛ 確定します。
使用可能な文字設定のリストが表示されます。

▶ 希望の文字設定を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 検索エリアを入力します。 文字入力の説明は、"ナビゲーションモードで文字を入力する" (▷ 30 ページ) にあります。
検索エリアが入力されると情報チャートは天気予報と一緒に表示されます。

項目	例
郵便番号	100-8798
都市	東京都
住所	千代田区霞ヶ関 1-x-x
空港コード	NRT (東京-成田空港)

オプション 2：天気図で場所を選択する

- 天気図を呼び出し、希望の場所に動かします (▷ 194 ページ)。
- COMAND コントローラーを押します ⊛。

  メニューバーが表示されます。
- COMAND コントローラーを再度押して ⊛、 天気情報 を確定します。

  情報チャートは選択した場所の現在の天気を表示します。

天気図

天気図を呼び出す

- COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、情報チャートで 地図 を選択し、押して ⊛ 確定します。

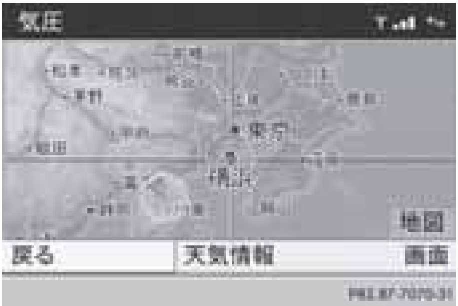
  20 km の縮尺で地図が表示されます。

- **クロスカーソルを表示する：** COMAND コントローラーをスライドします ↑◎。
- **天気図をスクロールする：** COMAND コントローラーをスライドします ←◎→、↑◎↓、↘◎↖。

  天気図をクロスカーソルの向きに合わせて動かします。
- **地図の縮尺を変更する：** COMAND コントローラーをまわすと 〔◎〕 すみやかに、縮尺バーが表示されます。
- 希望の縮尺が設定されるまでまわします 〔◎〕。

ℹ これらの機能では、データはサーバーから再びダウンロードされるため、地図の表示に時間がかかることがあります。

天気図のメニューの表示/非表示



- **表示する：** 天気図で COMAND コントロールを押します ⊛。

  天気図にメニューが表示されます。
- **非表示にする：** COMAND コントローラーを上にスライドします ↑◎。

  メニューが消えます。

地図の天気情報の表示に切り替える

▶ 天気図にメニューを表示します (▷ 194 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、画面 を選択し、押して ⑯ 確定します。

気象特性	地図の表示
天気図	等圧線とともに色分けされた地域で地図に気圧を表示します
温度	気温を表示します
雲レーダー	雲の広がりを表示します
風向き・風速	矢印で風向きを、および色で風速を表示します

ℹ 工場出荷時には気圧表示にプリセットされています。 このプリセットはオプションメニューで変更することができます (▷ 197 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、気象特性を選択し、押して ⑯ 確定します。
● は地図に現在表示されている気象特性を示しています。 一度に 1 つの気象特性を選択することができます。

凡例

気温の凡例

▶ 天気図にメニューを表示します (▷ 194 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、画面 を選択し、押して ⑯ 確定します。

▶ 凡例 を選択し、押して ⑯ 確定します。
現在選択されている気象特性によって凡例が表示されます。

▶ **情報チャートに戻る：** 天気図にメニューを表示させます(▷ 194 ページ)。

▶ 天気情報 を選択し、押して ⑯ 確定します。

メモリー機能

プリセットの場所を登録する

頻繁に呼び出される場所を 10 件のプリセット位置 (0、1 – 9) に保存できます。

▶ 場所を選択します (▷ 192 ページ)。

▶ テンキーを押して保持します。
場所が保存されると、選択されたプリセットの番号がキャプションにある場所の名前の前にきます。

プリセットから場所を選択する

- ▶ **クイック選択：** 天気表示（COMAND システム）がオンで、項目が使用可能な場合は、**2** のようなテンキーを押します。
  情報チャートが表示され、天気情報を表示します。
- ▶ **天気のプリセットから：** COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、情報チャートで 各地の天気 を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ プリセット を選択し、押して ◎ 確定します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、項目のあるプリセット位置を選択し、押して ◎ 確定します。
  情報チャートが表示され、天気情報を表示します。

オプション

概要

COMAND システムの以下のメルセデス・ベンツアプリケーションのオプションを選択することができます。

- ローカル検索(▷ 197 ページ)
- 天気表示(▷ 197 ページ)
- 目的地のダウンロード(▷ 199 ページ)
  選択したオプションを初期設定にリセットすることができます。(▷ 200 ページ)

オプションメニューを呼び出す

オプションメニュー

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして 〔◎〕、基本機能バーで🌐マークを選択し、押して ◎ 確定します。
  カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、Mercedes-Benz Apps のパネルを前面にし、押して ◎ 確定します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、オプション を選択し、押して ◎ 確定します。

ローカル検索のオプションを選択する

検索範囲を設定する

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、オプションメニューで ローカル検索 を選択し、押して ◉ 確定します。
メニューは現在の設定を表示します。

▶ 押して ◉、検索範囲： の隣の項目を確定します。
ドット ● は現在選択されている検索範囲を示しています。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、項目を選択し、押して ◉ 確定します。
選択されている設定が承認されます。

▶ **メニューを終了する：** COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、戻る を選択し、押して ◉ 確定します。

サービスプロバイダーを選択する

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、プロバイダー： の隣の項目を選択し、押して ◉ 確定します。
ドット ● は現在選択されているサービスプロバイダーを示しています。

▶ 項目を選択し、押して ◉ 確定します。
選択されたサービスプロバイダーが承認されます。

▶ **メニューを終了する：** COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、戻る を選択し、押して ◉ 確定します。

ℹ 項目が灰色の場合は、サービスプロバイダーを選択できません。

検索照会の削除/保存

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、検索履歴削除 項目を選択し、押して ◉ 確定します。
検索照会を本当に削除したいかどうかを問う確認が表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ◉ 確定します。
はい を選択すると、検索照会が削除されます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

天気表示のオプションを選択する

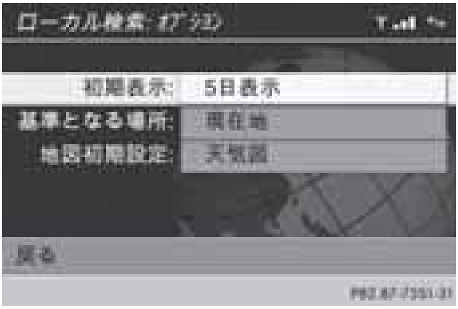
初期設定の画面を設定する

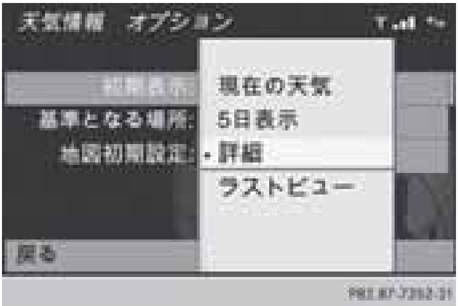
天気表示をオンにした後に、呼び出す画面を指定できます (▷ 191 ページ)。

以下の設定をすることができます。

- 現在の天気
- 5 日間の予報

- 情報
- ラストビュー





▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、オプションメニューで 天気 を選択し、押して ⊛ 確定します (▷ 196 ページ)。
メニューは現在の設定を表示します。

▶ 押して ⊛、初期表示： の隣の項目を確定します。
ドット ● は現在選択されている初期設定の画面を示しています。

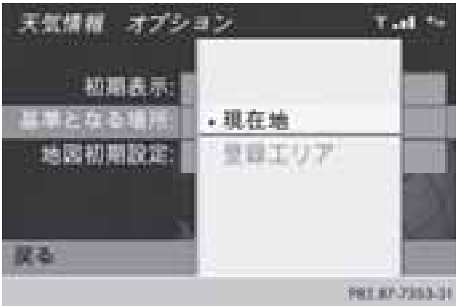
▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、項目を選択し、押して ⊛ 確定します。
選択されている画面が承認されます。

▶ **メニューを終了する：** COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、戻る を選択し、押して ⊛ 確定します。

初期設定の場所を設定する

以下の設定をすることができます。

- 現在地
- 現在の目的地 (目的地が入力されている場合のみ使用可能)
- メモリー (既存の目的地がある場合のみ使用可能)



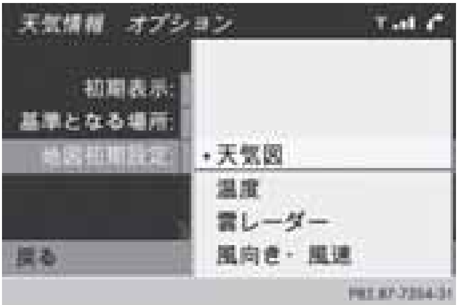
▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、オプションメニューで 天気 を選択し、押して ⊛ 確定します (▷ 196 ページ)。
メニューは現在の設定を表示します。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、基準となる場所： の隣の項目を選択し、押して ⊛ 確定します。
ドット ● は現在選択されている初期設定の場所を示しています。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、項目を選択し、押して ⊛ 確定します。
選択されている場所が承認されます。

▶ **メニューを終了する：** COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、戻る を選択し、押して ⊛ 確定します。

地図表示の天気データを選択する



天気図に以下の天気データを表示することができます。

- 気圧の状態
- 気温
- 雲の量
- 風の向きと速度

地図表示それぞれに 1 つの特性を選択することができます。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、オプションメニューで 天気 を選択し、押して ⊙ 確定します (▷ 196 ページ)。
メニューは現在の設定を表示します。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、地図初期設定： の隣の項目を選択し、押して ⊙ 確定します。
ドット ● は現在選択されている特性を示しています。

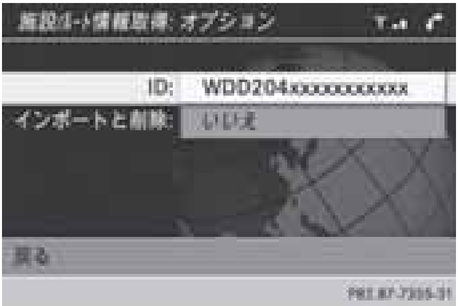
▶ 項目を選択し、押して ⊙ 確定します。
選択されている特性が承認されます。

▶ **メニューを終了する：** COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、戻る を選択し、押して ⊙ 確定します。

ℹ 天気情報の使用可能状況は国によって異なります。

目的地のダウンロードの設定オプション

ダウンロード用 ID を指定する



車台番号は ID の初期設定の項目です。車台番号を e-mail アドレスに置き替えることができます。

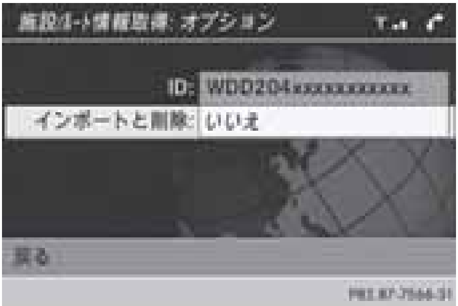
▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎↓、オプションメニューで 施設/ルート情報取得 を選択し、押して ⊙ 確定します(▷ 196 ページ)。
メニューは現在の設定を表示します。

▶ 押して ⊙、ID： の隣の項目を確定します。
入力メニューが表示されます。

- e-mail アドレスを入力します。 文字入力は (▷ 30 ページ) に記載されています。
- 入力した後に、 ok を選択し、押して ⊛ 確定します。

  e-mail アドレスがメニューに入力されます。 その後すぐに e-mail が e-mail アドレスに送信されます。 48 時間以内にこれを確認しなければなりません。 そうでなければ、前の ID が使用され続けます。
- 設定を完了するには、メールボックスを確認して、e-mail のリンクに従います。
- **メニューを終了する：** COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、戻る を選択し、押して ⊛ 確定します。

インポートの種類を指定する



手動と自動のインポートを選択できます。

- COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、インポート： の隣の項目を選択し、押して ⊛ 確定します。

  ドット ● は現在の設定を示します。
- マニュアル または 自動 を選択し、押して ⊛ 確定します。

  設定が承認されます。

サーバーにインポートした後に施設を削除/保存する

- COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、インポートと削除： の隣の項目を選択し、押して ⊛ 確定します。

  ドット ● は現在の設定を示します。
- はい または いいえ を選択し、押して ⊛ 確定します。

  設定が承認されます。

  はい はサーバーにインポートした後に施設を削除します。

  いいえ はサーバーにある施設を削除しません。
- **メニューを終了する：** COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、戻る を選択し、押して ⊛ 確定します。

ℹ 目的地は 7 日後にサーバーから自動的に削除されます。

設定のリセット

リセット機能で、すべてのメルセデス・ベンツアプリケーションの設定は工場出荷時の設定にリセットされます。リセット後、e-mail アドレスを再度作動させるまで、Google™ は目的地を車台番号 (ID) のみに送信できます (▷ 199 ページ)。

- COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ⟲◎⟳、基本機能バーで🌐 マークを選択し、押して ⊛ 確定します。

  カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。
- COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、Mercedes-Benz Apps のパネルを前面にし、押して ⊛ 確定します。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして 🔄◎🔄、オプション を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ リセット を選択し、押して ⊛ 確定します。
本当にリセットしたいかどうかを問う確認が表示されます。

▶ はい または いいえ を選択し、押して ⊛ 確定します。
はい を選択すると、設定がリセットされます。
いいえ を選択すると、処理が中止されます。

追加のサービス

メルセデス・ベンツモバイルウェブサイト

COMAND Online の機能には、あらかじめ設定したお気に入りとしてメルセデス・ベンツモバイルウェブサイトが含まれています。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ⬆◎、まわして 🔄◎🔄、基本機能バーでアイコン 🌐 を選択し、押して ⊛ 確定します。
カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして 🔄◎🔄、メルセデス・ベンツモバイルウェブサイト のパネルを前面にし、押して ⊛ 確定します。
メルセデス・ベンツのホームページが表示されます。

ℹ メルセデス・ベンツモバイルウェブサイト のパネルを削除することはできません。

メルセデス・ベンツの追加アプリケーション

Facebook または Google™ のサービスや、ストリートビューまたはパノラミオのように追加のメルセデス・ベンツのアプリケーションをここに呼び出すことができます。

以下の例は、メルセデス・ベンツのアプリケーション、例えば Facebook をどのように呼び出すか、そして Google™ のサービスを一般的にどのように呼び出すかを示しています。

▶ **Facebook を呼び出す：** COMAND コントローラーをスライドしてから ⬆◎、まわして 🔄◎🔄、基本機能バーで

オンライン/インターネット

マークを選択し、押して確定します。
カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして、Mercedes-Benz Apps のパネルを前面にし、押して確定します。
メルセデス・ベンツ アプリケーションメニューが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして、Facebook を選択し、押して確定します。
Facebook のホームページが表示されます。

▶ **Google™ のサービスを呼び出す：**
Google™ ローカル検索を通して行なわれます(▷ 187 ページ)。

ⓘ Facebook はソーシャルネットワークのウェブサイトです。このアプリケーションは車両からログインし、Facebook の多くの機能を使用することができます。

Google™ ストリートビューは、360 度パノラマで通りを表示します。

Google™ パノラミオは、選択した位置での写真を含む、Google ローカル検索を発展させたものです。

インターネット

表示制限

インターネットのページは走行中は表示できません。

ウェブサイトを呼び出す

カルーセルビュー（マルチウインドウ）を呼び出す

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから、まわして、基本機能バーでマークを選択し、押して確定します。
カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。

ウェブアドレスを入力する（オプション 1 (▷ 202 ページ)）またはカルーセルビュー（マルチウインドウ）で選択する（オプション 2 (▷ 203 ページ)I ことができます。

カルーセルビュー（マルチウインドウ）で選択するには、まずお気に入りを作成してください (▷ 208 ページ)。

オプション 1：ウェブアドレスを入力する

文字バーまたはテンキーのどちらかを使用してウェブアドレスを入力できます (▷ 30 ページ)。

▶ カルーセルビュー（マルチウインドウ）を呼び出します (▷ 202 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↻◎↺、www を選択し、押して ◎ 確定します。

入力メニューが表示されます。

▶ **文字バーを使用して入力する：** 入力行にウェブアドレスを入力します。
最初の文字を入力行に入力するとすみやかに、リストがその下に表示されます。 入力した文字で始まるウェブアドレスと、すでに呼び出されたウェブアドレスがリストに表示されます。

初めて呼び出したときはリストは空欄です。

▶ **テンキーを使用して文字を入力する：** 素早く連続してテンキーを押します。
キーを押すと文字が表示されます。 最初に使用可能な文字が強調されます。

▶ ウェブアドレスを入力した後に、COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↻◎↺、 ok マークを選択し、押して ◎ 確定します。
ウェブサイトが呼び出されます。

▶ **リストでウェブアドレスを選択する：** 文字バーのある入力メニューで COMAND コントローラーをスライドします ↑◎。

リストが選択可能になります。

▶ COMAND コントローラーをまわすか ↻◎↺、スライドして ↑◎↓、ウェブアドレスを選択し、押して ◎ 確定します。

ウェブアドレスが入力行に入力されます。

▶ COMAND コントローラーを押します ◎。

ウェブサイトが呼び出されます。 データ通信 <provider name>に接続します というメッセージが表示されます。

オプション 2：お気に入りを選択する

この機能のために、カルーセルビュー（マルチウインドウ）に少なくとも 1 つのお気に入りを作成してください (▷ 208 ページ)。

- カルーセルビュー（マルチウインドウ）を呼び出します (▷ 202 ページ)。
- カルーセルビュー（マルチウインドウ）で、COMAND コントローラーをまわすか ⟲◎⟳、スライドして ←◎→、お気に入りを前面に出し、押して ◎ 確定します。
  ウェブサイトが呼び出されます。

ウェブサイトを操作する

概要

手順	動作
▶ コントローラーをまわす ⟲◎⟳	リンク、文字欄または選択リストなどの選択できる 1 つの項目から次に操作し、ウェブサイトのそれぞれの項目を強調します。
コントローラーをスライドする ▶ 左右 ←◎→ ▶ 上下 ↑◎↓ ▶ 斜め ↖◎↘	ページのポインターを動かします。
▶ コントローラーを押す ◎	メニューを呼び出す、または選択した項目を開きます。

手順	動作
▶ 押す ↩	前のページを呼び出します。
▶ 押す C	インターネットのブラウザーを、または複数が開いているときは現在のウインドウを閉じます。

例：選択できる項目の強調

- COMAND コントローラーをまわします ⟲◎⟳。
  例ではスイッチが強調されています。

例：文字の入力

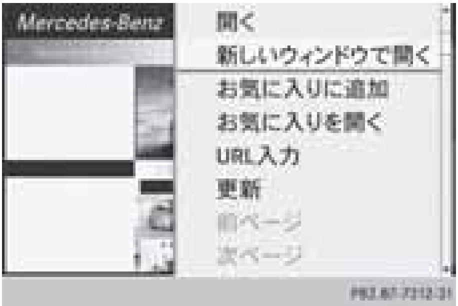
- COMAND コントローラーをまわして入力行を選択し ⟲◎⟳、押して ◎↓ 確定します。
  文字バーが表示されます。
- 文字バーまたはテンキーを使用して文字を入力します(▷ 30 ページ)。

- 文字が入力されたら、COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、 ok マークを選択し、押して ◎↓ 確定します。
  文字が入力されます。

メニューの機能

メニューの呼び出し

- **ショートメニューを呼び出す：** COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、ページで選択可能な項目を強調し、押して ◎↓ 確定します。



メニューの開始

メニューの終了

- **メニュー全体を呼び出す：** ショートメニューが表示されているときに、COMAND コントローラーを下へスライドします ◎↓。

または

- COMAND コントローラーをスライドして ↑◎↓、←◎→、↖◎↘、ウェブサイトで何もないエリアを選択し、押して ◎↓ 確定します。

開く

選択可能な項目のウェブサイトを開きます。

- COMAND コントローラーを押して ◎↓、開く を確定します。

新しいウインドウで開く

新しいウインドウでウェブサイトを開きます。 同時に 5 つまでウインドウを開くことができます。

▶ COMAND コントローラーをまわすか〔◎〕、スライドして↑◎↓、新しいウインドウで開く を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ **ウインドウを選択する：**ウインドウ を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ ページ選択 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ COMAND コントローラーをまわすか〔◎〕、スライドして←◎→、カルーセルビュー（マルチウインドウ）でウェブサイトを選択し、押して ◎ 確定します。

お気に入りに追加する

現在のウェブサイトをお気に入りに追加します。 カルーセルビュー（マルチウインドウ）を使用してウェブサイトを呼び出すことができます。 カルーセルビュー（マルチウインドウ）に 20 件までお気に入りを保存できます。

▶ COMAND コントローラーをまわすか〔◎〕、スライドして↑◎↓、お気に入りに追加 を選択し、押して ◎ 確定します。
お気に入りに登録しました というメッセージが表示されます。

お気に入りを表示する

お気に入りを呼び出します。

▶ COMAND コントローラーをまわすか〔◎〕、スライドして↑◎↓、お気に入りを開く を選択し、押して ◎ 確定します。
カルーセルビュー（マルチウインドウ）にお気に入りが表示されます。

さらに詳しい情報は " お気に入り" (▷ 208 ページ) にあります。

URL の入力

ウェブアドレス (URL) を入力できる入力メニューを開きます。

▶ COMAND コントローラーをまわすか〔◎〕、スライドして↑◎↓、URL 入力 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ ウェブアドレス (URL)を入力します (▷ 202 ページ)。

再読み込み

ウェブサイトを再読み込みし、コンテンツを更新します。

▶ COMAND コントローラーをまわすか〔◎〕、スライドして↑◎↓、更新 を選択し、押して ◎ 確定します。

前

前のウェブサイトを呼び出します。

▶ COMAND コントローラーをまわすか〔◎〕、スライドして↑◎↓、前ページ を選択し、押して ◎ 確定します。

次

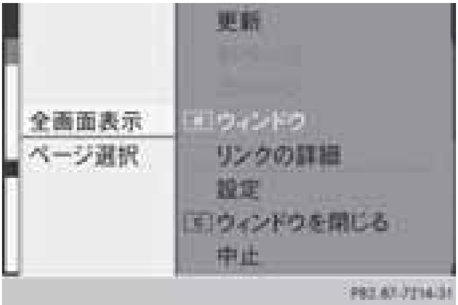
次のウェブサイトを呼び出します。

▶ COMAND コントローラーをまわすか〔◎〕、スライドして↑◎↓、次ページ を選択し、押して ◎ 確定します。

ウインドウ

この機能を使用して以下のことができます。

- ディスプレイより大きいウェブサイトの選択ウインドウの位置を決める
- すでに開いているウインドウを選択する



- ▶ COMAND コントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ↑◎↓、ウインドウ を選択し、押して ◉ 確定します。

または

- ▶ テンキーの # キーを押します。

ℹ 通話をしている場合には、# キーは使用できません。

- ▶ **選択ウインドウの位置を決める：** COMAND コントローラーを押して ◉、全画面表示 を確定します。
  選択ウインドウがウェブサイトに表示されます。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして ←◎→、↑◎↓、⤡◎⤢、ウェブサイトの選択ウインドウの位置を決めます。
- ▶ COMAND コントローラーを押します ◉。
  選択した項目が拡大されます。

- ▶ **開いているウインドウを表示し選択する：** COMAND コントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ↑◎↓、ページ選択 を選択し、押して ◉ 確定します。
  カルーセルビュー（マルチウインドウ）が表示されます。
- ▶ COMAND コントローラーを押します ◉。
  ウェブサイトが表示されます。

リンクの詳細

選択したリンク (URL) の完全なウェブアドレスを表示します。

- ▶ COMAND コントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ↑◎↓、リンクの詳細 を選択し、押して ◉ 確定します。
  ウェブアドレス (URL) が表示されます。
- ▶ COMAND コントローラーを押して ◉、ディスプレイを閉じます。

設定

設定は別の項 (▷ 210 ページ) に記載されています。

作動しているウインドウを閉じる

▶ COMAND コントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ↑◎↓、ウインドウを閉じる を選択し、押して ◎ 確定します。

または

▶ COMAND コントローラーの右側の [c] キーを押します。

ℹ 通話をしている場合には、[c] キーは使用できません。

終了

▶ COMAND コントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ↑◎↓、中止 を選択し、押して ◎ 確定します。
インターネットのブラウザーが閉じます。 裏で他のウインドウが開いている場合は、他の確認が表示されます。

お気に入り

概要

お気に入りはよく訪れるウェブサイトです。

お気に入りを作成するには以下のオプションがあります。

- カルーセルビュー（マルチウインドウ）で(▷ 208 ページ)
- メニュー項目 お気に入りに追加経由で (▷ 206 ページ)

カルーセルビュー（マルチウインドウ）にお気に入りを作成する前に、まず作動させている接続を閉じてください(▷ 185 ページ)。

作成したお気に入りを選択して編集することができます。

お気に入りを作成する

オプション 1：カルーセルビュー（マルチウインドウ）に作成する

▶ カルーセルビュー（マルチウインドウ）を呼び出します (▷ 202 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ←◎→、お気に入り作成 パネルを前面にします。

▶ COMAND コントローラーを押します ◎。
入力メニューが表示されます。

▶ 文字バーまたはテンキーのどちらかを使用してウェブアドレス (URL) と名前を入力します(▷ 30 ページ)。

▶ [ok] マークを選択し、押して ◎ 確定します。
お気に入りが作成されます。

オプション 2：お気に入りに追加する

▶ ウェブサイトが表示されているときに、メニューを呼び出します 。

▶ メニューで お気に入りに追加 を選択し、押して ⊙ 確定します。(▷ 206 ページ).

お気に入りを選択する

▶ カルーセルビュー（マルチウインドウ）を呼び出します (▷ 202 ページ)。

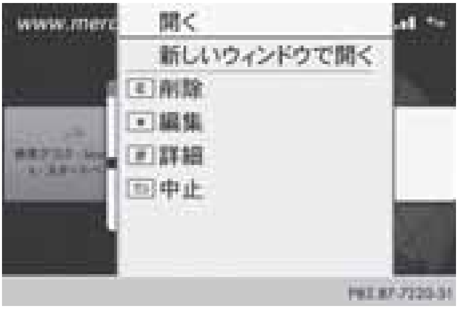
▶ COMAND コントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ←◎→、カルーセルビュー（マルチウインドウ）でお気に入りを選択し、押して ⊙ 確定します。
お気に入りが開きます。

お気に入りを編集する

カルーセルビュー（マルチウインドウ）

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↓◎、まわして 〔◎〕、カルーセルビュー（マルチウインドウ）(▷ 202 ページ) で編集 を選択し、押して ⊙ 確定します。
入力メニューが表示されます。

▶ 文字バーまたはテンキーのどちらかを使用してウェブアドレス (URL) と名前を入力します(▷ 30 ページ)。



お気に入りメニュー

お気に入りメニュー

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、メニュー(▷ 205 ページ) でお気に入りを開く を選択し、押して ⊙ 確定します。
お気に入りが表示されます。

▶ COMAND コントローラーを押します ⊙。
お気に入りメニューが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわすか 〔◎〕、スライドして ↑◎↓、編集 を選択し、押して ⊙ 確定します。

または

▶ テンキーの [＊] キーを押します。
入力メニューが表示されます。

▶ 文字バーまたはテンキーのどちらかを使用してウェブアドレス (URL) と名前を入力します。 文字入力(▷ 30 ページ).

お気に入りメニューの他の機能

現在のお気に入りを開く

▶ COMAND コントローラーを押して ◎、お気に入りメニューで 開く を確定します (▷ 209 ページ)。

新しいウインドウで現在のお気に入りを開く

▶ COMAND コントローラーをまわすか 《◎》、スライドして ↑◎↓、お気に入りメニュー (▷ 209 ページ) で 新しいウインドウで開く を選択し、押して ◎ 確定します。

詳細を呼び出す

▶ COMAND コントローラーをまわすか 《◎》、スライドして ↑◎↓、お気に入りメニュー (▷ 209 ページ) で 詳細 を選択し、押して ◎ 確定します。

または

▶ テンキーの [#] キーを押します。

詳細表示が表示されます。

終了

▶ COMAND コントローラーをまわすか 《◎》、スライドして ↑◎↓、お気に入りメニュー (▷ 209 ページ) で 中止 を選択し、押して ◎ 確定します。

または

▶ COMAND コントローラーの左側の [⮌] スイッチを押します。

お気に入りメニューが閉じます。

お気に入りを削除する

カルーセルビュー（マルチウインドウ）でお気に入りを削除する

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 《◎》、カルーセルビュー（マルチウインドウ）(▷ 202 ページ) で 削除 を選択し、押して ◎ 確定します。

確認が表示されます。

▶ はい を選択し、押して ◎ 確定します。

お気に入りが削除されます。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

お気に入りメニューでお気に入りを削除する

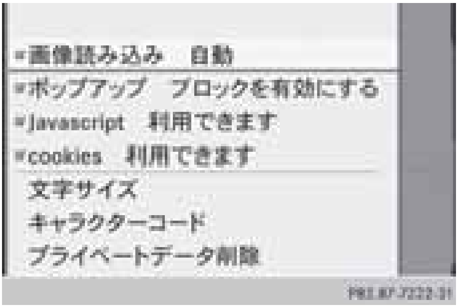
▶ COMAND コントローラーをまわすか 《◎》、スライドして ↑◎↓、お気に入りメニューで 削除 を選択し、押して ◎ 確定します。.

または

▶ COMAND コントローラーの右側の [c] キーを押します。

お気に入りが削除されます。

設定



▶ メニューを呼び出します (▷ 205 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをまわすか 《◎》、スライドして ↑◎↓、設定 を選択し、押して ◎ 確定します。

以下の設定を設定/解除することができます。

• 画像読み込み

たくさんの画像を含むウェブサイトのコンテンツをダウンロードするには時間がかかることがあります。 そのため、このオプションを解除すると便利です。

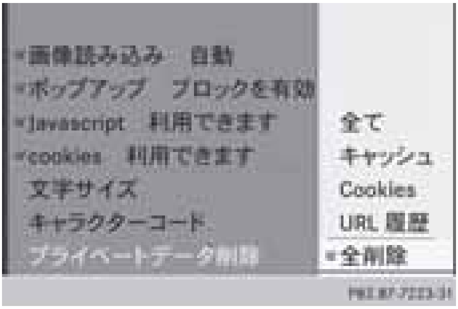
- ポップアップ ブロックを有効にする
  ポップアップはウェブサイトを呼び出すときに自動的に表示されるウインドウ（通常は広告が含まれます）です。これらの表示をブロックすることができます。
- Javascript 利用できます
  Javascript はウェブサイトの動画コンテンツを表示し、双方向作用させることができます。
- Cookies　利用できます
  ウェブサイトの中には、COMAND システムに小さな文字ファイル（cookies）で情報を保存するものがあります。 cookies が保存されるかどうかを決めることができます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、設定を選択し、押して ◎↓ 確定します。
設定をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。

ℹ 設定を変更すると、ウェブサイトが正しく表示されないことがあります。

▶ COMAND コントローラーをまわすか ⟲◎⟳、スライドして ↑◎↓、文字サイズ または キャラクターコード を選択し、押して ◎↓ 確定します。

▶ COMAND コントローラーを使用して設定を選択し、押して ◎↓ 確定します。



▶ プライベートデータ削除 を選択し、押して ◎↓ 確定します。
メニューが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわすか ⟲◎⟳、スライドして ↑◎↓、設定を選択し、押して ◎↓ 確定します。
項目の前にあるドット ● は設定がオンであることを示します。

または

▶ 全削除 を選択し、押して ◎↓ 確定します。
設定をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。

オプション	機能
全て	すべてのプライベートデータを削除する。
キャッシュ	キャッシュのデータを削除する。
Cookies	呼び出したウェブサイトによって作成された cookies を削除する。

オプション	機能
URL 履歴	訪れたすべてのウェブサイト（履歴）を削除する。
☑ 全削除	この機能がオン ☑ の場合、インターネットブラウザーを終了するときにすべてのプライベートデータが削除されます。

ℹ これらの設定は COMAND システムをリセットすると削除されます (▷ 39 ページ)。

COMAND システムの特徴 214
ラジオモード 214
音楽 CD/DVD オーディオおよび
MP3 モード 217
ミュージックサーチ 230
ミュージックレジスター 234
Bluetooth® オーディオの操作 .. 239
メディアインターフェースモード 247
オーディオ AUX モード 253

COMAND システムの特徴

本補足版は、印刷時点で利用可能な COMAND システムのすべての標準装備やオプション装備について記載しています。 国により、仕様が異なる場合があります。 本書に記載されているすべての機能が、お客様の車両に当てはまらない可能性があることにご留意ください。

ラジオモード

全般的な情報

車内に置かれた携帯型電子機器はラジオの受信品質を著しく損なうおそれがあります。

移動している間のラジオの受信条件は、停止しているときのラジオの受信条件とは大いに異なります。 車両が移動し、その結果としてアンテナの位置が絶えず変化することが原因です。

ラジオモードへの切り替え

機能スイッチでオンにする

▶ AUDIO 機能スイッチを押します。

FM ラジオモードが前回オンだった場合は、ラジオの画面が表示されます。 そうでなければ、オーディオメニューを使用してラジオモードをオンにしてください。

オーディオメニューをオンにする

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ から、まわして ⟲◎⟳ 、基本機能バーの オーディオ を選択し、押して ◎ 確定します。

前回選択していたモードがラジオモードであれば、ラジオモードが起動します。

別のオーディオモードをオンにしていたときは、オーディオメニューでラジオモードに切り替えます。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎、オーディオを選択し、押して ◎ 確定します。

オーディオメニューが表示されます。

ドット • は現在選択されているオーディオモードを示しています。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、ラジオを選択し、押して ◎ 確定します。

例：FM ラジオ画面

① 選択された放送局のプリセット位置
② 選択された放送局の名称
③ 選択された放送局の周波数
④ サウンドの設定
⑤ 周波数バンドの切り替え

⑥ プリセット機能

⑦ 周波数の手動入力

周波数バンドの切り替え

FM （FM1 、FM2） と AM （AM1 、AM2) の周波数の間でラジオを切り替えられます。

例：FM ラジオ画面

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ‹◎›、FM1 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ メニューから希望の周波数バンドを選択し、押して ◎ 確定します。
項目の左側のドット • は現在選択している周波数バンドを示しています。

放送局の選択

全体的な注意事項

受信状態が悪い場合は、COMAND システム はラジオ番組をステレオで再生できないことがあります。

放送局サーチ機能を使用して放送局を選択する

▶ **オプション 1：** ラジオ画面で表示/選択ウインドウが作動している間に、COMAND コントローラーをまわすか ‹◎›、スライドします ←◎→。
上または下に放送局サーチを行ない、次の放送局で停止します。

▶ **オプション 2：** [⏮] または [⏭] スイッチを押します。
どちらの場合も、上または下に放送局サーチを行ない、次に受信可能な放送局で停止します。

ℹ 2 つ目のオプションは、ナビ作動時、電話機能作動時、またはシステム機能になっているときから放送局を設定するときにも使用できます。

プリセットにより放送局を選択する

▶ **プリセットされた放送局の直接選局：** COMAND コントローラーをスライドして ◎↓ から、まわして ‹◎› 、プリセットを選択して、押して ◎ 確定します。

または

▶ 表示/選択ウインドウがオンになっているときに、COMAND コントローラーを押します ◎ 。
放送局プリセットメモリーが表示されます。 現在選択しているプリセット放送局に、ドット • が表示されます。

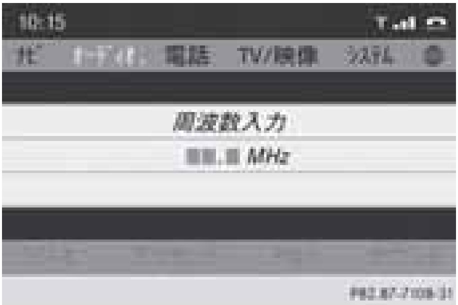
▶ COMAND コントローラーをまわして ‹◎›、放送局を選択し、押して ◎ 確定するか、または **2** のようなテンキーを押します。

周波数を手動で入力して放送局を選択する

▶ **オプション 1：** [＊] スイッチを押します。

▶ **オプション 2：** ラジオ基本画面で COMAND コントローラーをスライドして ◎↓ から、まわして ‹◎› 、ラジオを選択して、押して ◎ 確定します。

▶ 周波数入力を選択して、押して ◉ 確定します。
選択したオプションに関わらず、入力メニューが表示されます。



▶ テンキーを使用して周波数を入力します。
周波数の 3 つの数字を入力してください。 7、8 または 9 の数字で入力を始めます。
COMAND システムは入力した周波数を設定します。

ℹ 受信可能な周波数以外の数字は入力できません。

ℹ 周波数域から外れた周波数を FM または AM の周波数バンドで入力すると、COMAND システムは次に低い周波数を設定します。

放送局の保存

手動で放送局を記憶させる

FM および AM にはそれぞれ 10 局まで放送局をプリセットできます。

▶ **クイック記憶：** 確認音が聞こえるまで 2 のようなテンキーを押して保持します。
放送局が記憶されます。

▶ **表示/選択ウインドウが作動しているときの放送局プリセットで直接選局：** COMAND コントローラーを押します ◉。

または

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎↓ から、まわして ⟲◎⟳ 、プリセットを選択して、押して ◉ 確定します。
どちらの場合にも、放送局プリセットが表示されます。 現在選択しているプリセット放送局に、ドット • が表示されます。

例：放送局メモリー

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、プリセット番号を選択して、確認音が鳴るまで押して ◉ 保持します。
放送局がこのプリセットに記憶されます。

自動的に放送局を記憶する

この機能は十分な受信状態の放送局を自動でプリセットに記憶します。 探索は最も低い周波数から開始します。 COMAND システム は見つけた放送局をプリセット 1 から記憶します。最も高い周波数に到達したとき、または 10 個の放送局が見つかったときに記憶は終了します。 プリセットにある手動で記憶させた放送局はすべて消去されます。 記憶する際に、COMAND システム はすべてのメモリスロットを占有することはありません。

- **オプション 1：表示/選択ウインドウがオンになっているとき：** COMAND コントローラーを押します ◎。
  放送局プリセットメモリーが表示されます。
- **オプション 2：** COMAND コントローラーをスライドして ◎↓ から、まわして ↺◎↻ 、プリセットを選択して、押して ◎ 確定します。
  放送局プリセットメモリーが表示されます。
- どちらの操作方法でも、オートプリセットを選択して、押して ◎ 確定します。
  どちらの場合にも、COMAND システムが受信可能な放送局を探索します。この結果に対するメッセージが表示されます。 受信可能な放送局は自動的にプリセット位置に記憶されます。
- **記憶を中止する：** 中止を選択して、押して ◎ 確定します。

交通情報（AM ラジオ）

交通情報の放送局を選択する

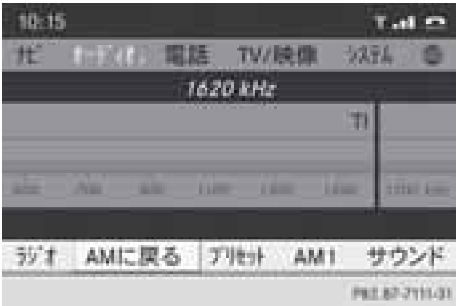
- COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↺◎↻、交通情報 を選択し、押して ◎ 確定します。

1620 kHz または 1629 kHz の 2 つの交通情報の放送局の間で選択できます。 COMAND システム はより良い受信状態の放送局を自動的に選択します。

それぞれの地域の交通情報は、道路管理者や所轄の警察署が放送しています。 交通情報は、受信地域以外で受信することはできません。

放送地域については、道路上の標識などで知ることができます。

AM ラジオ画面に戻る



- 押して ◎、AM に戻る を確定します。

サウンドの設定

FM ラジオや AM ラジオでは、サウンドを調整できます (▷ 25 ページ)。

音楽 CD/DVD オーディオおよび MP3 モード

重要な安全上の注意

⚠ **警告**

COMAND システムはクラス 1 のレーザー製品に分類されています。ケースは決して開けないでください。ケースを開いたり、あるいはケースが故障または損傷している場合には、目に見えないレーザー放射にさらされることにより、目にけがをするおそれがあります。

COMAND システムにはお客様が整備できる部品は含まれていません。安全上の理由から、すべてのメンテナンス作業は

メルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

⚠ 警告

以下の操作は、車両が停止しているときにのみ行ってください。

- データキャリアの挿入
- データキャリアの取り出し

走行中にディスクの挿入や取り出しを行うと、道路状況や交通事情に対する注意力が散漫になるおそれがあります。

CD/DVD の挿入と取り出し

注意

CD/DVD に印刷されている面があるときは、この面を上に向けてください。 どちらの面にも印刷されていない場合は、再生する面を下に向けて挿入してください。 コピープロテクトされている CD/DVD は、システムで再生できない場合があります。

ℹ メディアに音楽ファイル以外の別のファイルが含まれている場合は、最初のトラックの再生が開始するまで少し時間がかかることがあります。

挿入

▶ ディスク排出スイッチ [⏏] を押します。
すでに挿入されているディスクがあれば、排出されます。

▶ スロットからディスクを取り出します。

▶ ディスクをスロットに挿入します。
適合しているデータキャリアを正しく挿入すると、ドライブがそれを引き込み、再生します。

取り出し

▶ ディスク排出スイッチ [⏏] を押します。

▶ スロットからディスクを取り出します。
スロットからディスクを取り出さない場合は、しばらくすると自動的に引き込まれ、再び読み込まれます。

SD メモリーカードの挿入と取り出し

全般的な情報

COMAND システムは SD メモリーカード (**S**ecure **D**igital) と SDHC メモリーカード (**S**ecure **D**igital **H**igh **C**apacity) をサポートしています。

ℹ 市販されているすべてのメモリーカードが、車内で到達する可能性のある温度に耐えられるよう設計されているとは限りません。

SD メモリーカードを使用しなくなった場合は、COMAND システムから取り出してください。高温によりカードが損傷するおそれがあります。

様々な SD メモリーカードが市販されているため、すべての種類の SD メモリーカードで再生を保証することはできません。

読み取り可能な記憶容量は、使用するメモリーカードによります。 詳しい情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

SD メモリーカードの挿入

▶ 所定の位置に固定されるまでメモリーカードをスロットに挿入します。 接触部がある面が下を向き、スロットの方向を向くようにしてください。
最初の 100 個の MP3 トラックが読み込まれます。そして最初の MP3 トラックが再生されます。その他のト

ラックはバックグラウンドで読み込まれます。これは砂時計のマークによって示されます。

MP3 ファイルが見つからない場合は、その結果がメッセージに表示されます。

SD メモリーカードの排出

- メモリーカードを押します。
  メモリーカードが排出されます。
- スロットからメモリーカードを取り出します。

USB 機器を接続する

USB ポートはセンターコンソールの小物入れにあります。

この接続における電力消費は直流で 500 mA を越えないようにしてください。電力消費がこれより大きい場合は、他の電源 (12 V 電源など) を使用して、USB 機器に給電してください。

- USB 機器 (USB スティックなど) を USB ポートに接続します。
  最初の 100 個の MP3 トラックが読み込まれます。 そして最初の MP3 トラックが再生されます。 その他のトラックはバックグラウンドで読み込まれます。これは砂時計のマークによって示されます。

  MP3 ファイルが見つからない場合は、その結果がメッセージに表示されます。

ℹ 様々な USB 機器が市販されているため、すべての種類の USB 機器での再生を保証することはできません。

適合する USB 機器についての情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

MP3 プレーヤーは Media Transfer Protocol (MTP)をサポートしていなければなりません。

音楽 CD/DVD オーディオまたは MP3 モードへの切り替え

オプション 1

- CD/DVD を挿入します(▷ 218 ページ)。

または

- SD メモリーカードを挿入します (▷ 218 ページ)。

または

- USB 機器を接続します (▷ 219 ページ)。
  COMAND システムが挿入されたメディアを読み取って、再生を開始します。

オプション 2

- AUDIO 機能スイッチを押します。

  前回 CD/DVD オーディオ/MP3 モードが選択されていた場合は、このモードが再び作動します。

オプション 3

- COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ から、まわして ◎ 、基本機能バーの オーディオ を選択し、押して ◎ 確定します。

  最後に作動していたオーディオソースがオンになります。

  オーディオメニューを使用して、他のオーディオソースをオンにできます。
- COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ から、まわして ◎ 、オーディオを選択して、押して ◎ 確定します。
  オーディオメニューが表示されます。
- ディスク、メモリーカード、ミュージックレジスター、USB メモリー ま

たは メディアインターフェース を選択し、押して ⊛ 確定します。

希望のオーディオソースに切り替わります。

▶ メディアリスト(▷ 222 ページ)からオーディオメディアを選択します。

表示例：音楽 CD モード

① CD ジャケット (使用可能な場合)

② Gracenote ® データの読み込みと経過したトラック時間

③ トラック番号とトラック名 (CD テキストとしてディスクに記録されているか、Gracenote® データが利用できる場合のみ)

④ 経過時間とトラックのグラフ表示

⑤ ディスクタイプ、メディアリストでのディスク位置、およびディスク名 (CD テキストとしてディスクに記録されているか、Gracenote® データが利用できる場合のみ)

⑥ アーティスト（CD テキストとしてディスクに記録されているか、Gracenote®のデータが利用できる場合のみ)

⑦ 録音機能（REC）がある CD モードメニュー

表示例：DVD オーディオモード

① ジャケット (使用可能な場合)

② 経過時間

③ トラック番号

④ 経過時間とトラックのグラフ表示

⑤ ディスクタイプ、メディアリストでのディスク位置、ディスク名 (ディスクに記録されている場合のみ)

⑥ DVD オーディオモードメニュー

表示例：MP3 モード

① ジャケット (使用可能な場合)

② 経過時間

③ トラック番号と名前

④ 経過時間とトラックのグラフ表示

⑤ メディアタイプ、メディアリストでのメディアの位置、現在のフォルダ

⑥ アーティスト（使用可能な場合)

⑦ MP3 モードメニュー

使用可能なジャケットがないときの表示例

CD/DVD オーディオ/MP3 CD (左), SD メモリーカード (中央), USB スティック (右) などのデータキャリア

一時停止機能

音楽 CD/DVD オーディオおよび MP3 モードのとき

▶ **再生を一時停止する：** [🔇] スイッチを短く押します。
🔇 マークがステータスバーの左上に表示されます。

▶ **再生を再開する：** 再度 [🔇] スイッチを短く押します。
🔇 マークが消えます。

DVD オーディオモードのとき

▶ **再生を一時停止する：** DVD オーディオモード(▷ 219 ページ) に切り替えます。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳ 、[⏸] を選択し、押して ◎ 確定します。
[⏸] の表示が [▶] に変わります。

▶ **再生を再開する：** [▶] を選択し、押して ◎ 確定します。
中断された場所から再生が再開されます。 [▶] の表示が [⏸] に変わります。

停止機能

この操作は DVD オーディオモードのときのみ有効です。

▶ DVD オーディオモード(▷ 219 ページ) に切り替えます。

▶ **再生を中断する：** COMAND コントローラーをスライドして ◎↓ から、まわして ⟲◎⟳ 、[■] を選択し、押して ◎ 確定します。
[⏸] の表示が [▶] に変わります。
[■] マークが強調されたままになります。

▶ **再生を再開する：** [▶] を選択し、押して ◎ 確定します。
中断された場所から再生が再開されます。

- **再生を停止する：** 再生が中断しているときに再度 [■] を選択し、押して ⊛ 確定します。

または

- [■] を選択し、素早く 2 回続けて押して ⊛ 確定します。
  [▶] が強調されます。
- **再生を再開する：** [▶] を選択し、押して ⊛ 確定します。
  DVD の最初から再生が開始されます。

CD/DVD オーディオ/MP3 ディスクを選択する

メディアリストから選択する

- **CD/DVD オーディオおよび MP3 モードのとき：** COMAND コントローラーをスライドする ◎↓ か、まわして ⟲◎⟳、メディアを選択して、押して ⊛ 確定します。
  メディアリストが表示されます。 ドット ● は現在の再生メディアを示しています。

メディアリスト

メディアリストは現在利用可能なディスクを表示します。

- COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、データキャリアを選択し、押して ⊛ 確定します。

メディアリストでの位置
1 ：シングル DVD ドライブ、読み込み可能なデータキャリアは、音楽 CD、MP3 CD または MP3 DVD、DVD オーディオおよび DVD ビデオ
2 ：メモリーカード
3 ：ミュージックレジスター
4 ：USB 機器
5 ：メディアインターフェース
6 ：Bluetooth® オーディオ

ℹ ディスクが読み取れない場合は、対応するマガジントレーの隣に項目が表示されます。

ℹ DVD ビデオを選択すれば、システムは DVD ビデオモード(▷ 273 ページ)に切り替わります。

テンキーを使用してトラックを選択する

- テンキーの [*+] キーを押します。
  数字の入力欄が表示されます。 与えられた位置の番号は、CD/DVD のトラック番号に対応します。 CD/DVD のトラック番号に対応する番号のみが入力できます。
- テンキーを使用して希望のトラック番号を入力します。
  最後の可能な番号が入力された後に、トラックが再生されます。

ℹ テンキーを 2 秒以上押して保持すると入力が完了し、対応するトラックが再生されます。

トラックの選択

トラックをスキップして選択する

▶ **トラックを次または前にスキップする：** 表示/選択ウインドウがオンのときに COMAND コントローラーをまわします 〔◎〕。

または

▶ ⏮ または ⏭ ボタンを押します。

次へスキップ機能を使用すると、次のトラックにスキップします。

トラックが 8 秒 以上再生されていた場合、前へのスキップ機能で現在のトラックの最初にスキップします。 トラックが 8 秒未満再生されていた場合、前のトラックの最初にスキップします。

再生オプションの ランダム または ランダム（フォルダ） が選択されている場合は、トラック順は順不同になります。

▶ **マルチファンクションステアリングによる操作：** COMAND システムを音楽 CD、DVD オーディオ、または MP3 モード(▷ 219 ページ)に切り換えます。

▶ ◀ または ▶ を押してオーディオ メニューを選択します。

例：シングル DVD ドライブの表示
① トラックの表示

▶ ▲ または ▼ スイッチを軽く押します。

▶ 希望のトラックが選択されるまで、▲ または ▼ スイッチを押して保持します。

▲ または ▼ スイッチを押して保持すると、高速スクロールの速度が上がります。 すべてのオーディオ機器またはメディアがこの機能をサポートしているわけではありません。

トラック情報がオーディオ機器またはメディアに記録されている場合は、マルチファンクションディスプレイにトラックの番号と名前が表示されます。

テンキーを使用してトラックを選択する

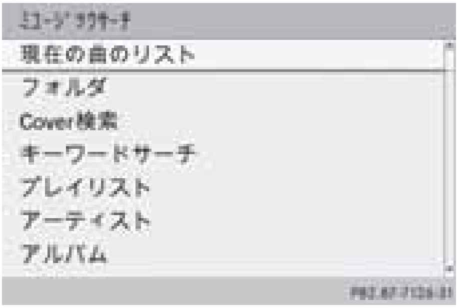
▶ テンキーの *+ キーを押します。

数字の入力欄が表示されます。 与えられた位置の番号は、CD/DVD のトラック番号に対応します。 CD/DVD のトラック番号に対応する番号のみが入力できます。

▶ テンキーを使用して希望のトラック番号を入力します。
最後の可能な番号が入力された後に、トラックが再生されます。

ℹ テンキーを 2 秒 以上押して保持すると、対応するトラックが再生されます。

ミュージックサーチを使用してトラックを選択する



▶ 現在の曲のリスト、フォルダ またはカテゴリーを選択し、押して ◎ 確定します。

ミュージックサーチ機能により、カテゴリー（アルバム、アーティストなど）によって音楽を選択します。

カテゴリーを選択すると、以下の条件が満たされている場合に、COMAND システム がトラック情報の検索を開始します。

- データキャリアが挿入または接続されている場合。
- それらのデータキャリアからのトラック情報が COMAND システムのミュージックデータベースに含まれていない場合

COMAND システムは以下のデータキャリアからトラック情報をインポートします。

- ディスク（音楽 CD/DVD/MP3）
- メモリーカード
- ミュージックレジスター
- USB 機器

検索が完了すると、全ての曲情報の取得が完了しました というメッセージが表示されます。 COMAND システム は音楽データを内蔵データベースに保存します。希望のカテゴリー内で利用可能な音楽データを選択できます。

音楽の検索に関する詳しい情報は "ミュージックサーチ" (▷ 230 ページ) にあります。

▶ 音楽 CD/DVD オーディオ/MP3 モードでは、COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、ミュージックサーチ を選択し、押して ◎ 確定します。
カテゴリーリストが表示されます。

例: 現在のトラックリスト

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、トラックを選択し、押して ◎ 確定します。
基本画面が表示され、トラックが再生されます。

早送り/早戻し

▶ 表示/選択ウインドウがオンになっているときに、希望の位置になるまで、COMAND コントローラーをスライドして ←◎→ 保持します。

または

▶ 希望の位置になるまで、⏮ または ⏭ スイッチを押して保持します。

Gracenote Media Database

概要

この機能は音楽 CD モードのときのみ有効です。

COMAND システムのハードドライブには、Gracenote® 音楽認識テクノロジー のバージョンがあります。特定のオーディオ画面の右下隅のロゴによってこれを認識します。

多くの音楽 CD には CD テキストが含まれています。 COMAND システム はそこに含まれている情報を使用して、アーティスト、アルバムおよびトラック名を表示します。

音楽 CD に CD テキスト情報が含まれていない場合は、COMAND システムは Gracenote® メディアデータベースを使用して、音楽 CD モード時に不明の音楽トラックを識別することができます。これは、関連する情報が Gracenote Media Datebase に記録されていて、かつ Gracenote Media Datebase 機能が作動している場合にのみ可能です。

この場合には、COMAND システム はアーティスト、アルバムおよびトラック名のように対応するデータを関連の画面およびリストに表示します。

表示する Gracenote® データを選択する

▶ 音楽 CD モード(▷ 219 ページ) に切り替えます。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ⟲◎⟳ 、CD を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、Gracenote メディア データベースを選択し、押して ◎ 確定します。
メニューが表示されます。

特定のアーティストの CD に複数の項目が存在する場合は、どの項目を表示するかを選択できます。

挿入した CD に Gracenote® データ がない場合は、メニュー項目の Gracenote メディアデータベース が灰色で表示され、選択できません。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、項目を選択し、押して ◎ 確定します。

Gracenote®データの表示のオン/オフを切り替える

▶ 音楽 CD モード(▷ 219 ページ) に切り替えます。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳ 、CD を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、Gracenote メディア データベースを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ **表示をオフにする：**なしを選択して、押して ◎ 確定します。

基本画面(▷ 220 ページ)では、Gracenote®データの代わりに、例えばトラック 1、トラック 2 などと表示されます。

▶ **表示をオンにする：** COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、メニューにある項目を選択し、押して ◎ 確定します。

Gracenote®音楽認識テクノロジーおよび Gracenote Media Datebase を更新する

新しい CD が発売されると、Gracenote Media Datebase のデジタルデータが古くなってしまいます。Gracenote®音楽認識テクノロジーを更新することによって最適な機能性が発揮されます。 新しいバージョンの情報については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

音楽認識ソフトウェアは DVD によって更新したり、お客様自身でも更新することができます。

ℹ Gracenote Media Datebase はナビゲーションシステムの地図と一緒に更新されます。

トラックとアルバムを表示する

▶ # スイッチを押します。

現在のトラックとアルバムがウインドウに表示されます。

曲情報を表示する (MP3 モード)

情報がシステムに入力されている場合、再生中に COMAND システムはアルバム名とアーティスト (メタデータ) を表示することもできます。

MP3 データが含まれているすべてのメディア（MP3 CD、SD メモリーカード、ミュージクレジスターなど)について、以下のことを決めることができます。

- エンコードされた音楽データのタグに含まれる曲情報を表示する
- 再生中にファイルおよびディレクトリ名を表示する

▶ **アルバムおよびアーティスト名を表示する：** COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳、基本画面で MP3 または USB を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 曲情報表示 を選択し、押して ◎ 確定します。

グループの選択（DVD オーディオ）

DVD オーディオのコンテンツは 9 つのグループまで分けることができます。 グループの使用可能状況と種類は、それぞれの DVD によります。

グループにはさまざまな音質（例えば、ステレオおよびマルチチャンネルフォーマット）の音楽、またはボーナストラックを含めることができます。

各グループには 99 個までのトラックを含めることができます。

DVD オーディオに含まれるオーディオフォーマットが 1 つだけの場合、メニュー項目の グループ は選択できません。

- ▶ DVD オーディオモード(▷ 219 ページ) に切り替えます。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、DVD-A を選択し、押して 確定します。
- ▶ まわして 〔◎〕、グループ を選択し、押して 確定します。
  ドット ● は現在選択されているグループを示しています。
- ▶ まわして 〔◎〕、希望のグループを選択し、押して 確定します。
- ▶ **メニューを終了する：** COMAND コントローラーをスライドさせるか ←◎→、または ⮌ スイッチを押します。

アクティブパーティションを選択する (USB 機器のみ)

機器がパーティション化されている場合は、USB 機器用にこの機能を選択できます。 最大 9 つのパーティション（プライマリーまたはロジカル；FAT および FAT32)をサポートしています。

- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、基本画面で MP3 を選択し、押して 確定します。
- ▶ パーティション選択 を選択し、押して 確定します。

再生オプション

- ▶ **再生オプションを選択する：** 音楽 CD/DVD オーディオまたは MP3 モード (▷ 219 ページ) に切り替えます。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、CD、DVD-A、または MP3 を選択し、押して 確定します。
  オプションリストが表示されます。 ドット ● は、選択されたオプションを示します。
- ▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、オプションを選択し、押して 確定します。
  オプションがオンになります。 ノーマル以外のすべてのオプションでは、対応する表示が表示/選択ウインドウに表示されます(▷ 220 ページ)。

以下の再生オプションが利用できます。

- ノーマル
  トラックが通常の順番で再生されます (たとえば、トラック 1、2、3、…)。
  MP3 モードでは、トラックの順番は、トラックが作成されたとき、それが MP3 データキャリアに書き込まれた順番で決まります。 通常はアルファベット順です。 フォルダ内の全トラックが再生されると、次のフォルダのトラックが再生されます。
- ランダム（音楽メディア）
  メディアの全トラックが順不同に再生されます（例えば、トラック 3、8、5、…)。
- ランダム（曲） (MP3 モードのみ)
  現在のプレイリストまたは現在作動しているフォルダ（すべてのサブフォルダを含む）のトラックが順不同で再生されます。

ℹ ノーマル は、現在聴いているディスクを変更したとき、または他のメディア

を選択した場合に、自動的に選択されます。 オプションが選択されていると、COMAND システム をオンまたはオフにした後でも選択されたままになります。

MP3 モードに関する注意

全体的な注意事項

MP3 データの容量とフォーマットによって、データの読み込みに必要な時間の長さが増えることがあります。

認められているデータキャリア

- CD-R および CD-RW
- DVD-R および DVD-RW
- DVD+R および DVD+RW
- SD メモリーカード
- USB 機器

再生可能なファイルシステム

- ISO 9660/Joliet（CD）
- UDF（DVD オーディオ/DVD ビデオ）
- FAT16 または FAT32 （SD メモリーカードと USB 機器）

マルチセッション CD

マルチセッション CD では、最初のセッションの内容によって、COMAND システム が CD を再生する方法が決まります。COMAND システムが再生するのは 1 つのセッションのみで、音楽 CD セッションに優先権が与えられます。

可能であれば、1 つのセッションに書き込まれた CD のみを再生するために COMAND システムを使用してください。

データキャリアのファイル構造

圧縮された音楽ファイルでディスクを作成するとき、トラックはフォルダ内に体系化することができます。 フォルダにはサブフォルダが含まれることもあります。 ディスクに作成できるディレクトリの階層は 8 階層までです。 8 階層より深いディレクトリにあるファイルはシステムから認識されません。

ℹ COMAND システムは、SD メモリーカードまたは USB 記憶メディアから 15,000 トラックまでを読み込みます。

トラックおよびファイル名

圧縮された音楽ファイルでディスクを作成するとき、トラックおよびフォルダに名前を割り当てることができます。

COMAND システムはこれらの名前を表示に応じて使用します。 MP3 または WMA トラック以外のデータを含むフォルダは、COMAND システムでは表示されません。

MP3 または WMA ファイルがルートディレクトリ自体に保存されている場合、ルートディレクトリもフォルダとして扱われます。 そして、COMAND システムはルートディレクトリ名をフォルダ名として表示します。

トラック名を指定するときは、以下の点を遵守してください。

- トラック名は少なくとも 1 つの文字を持っていなければなりません。
- トラック名は “mp3” または “wma” という拡張子を持っていなければなりません。
- トラック名と拡張子の間にはドットがなければなりません。

  正しいトラック名の例： "トラック 1.mp3"。

再生可能なフォーマット

COMAND システムは以下のフォーマットをサポートしています。

- MPEG1 Audio Layer 3（MP3）
- コピープロテクトのない Microsoft Windows Media Audio V8 および V9 (WMA)
  Microsoft Windows Media Audio V2、V7、V8 および V9 (WMA)
- ファイル拡張子が.aac、.mp4、.m4a および.m4b の AAC フォーマットのその他の音楽ファイル、ただし拡張子が.m4p のコピープロテクトされていない iTunes ミュージックファイル

ⓘ MP3 ファイルに加えて、これらのオーディオフォーマット以外の音楽ファイルがディスクに記録されている場合、最初のファイルが再生されるまでに長い時間がかかることがあります。

ⓘ MP3 オーディオのエンコード方式は Fraunhofer IIS (Institut Integrierte Schaltungen – Institute for Integrated Circuits) と Thomson のライセンスで保護されています。

再生可能なビットレートおよびサンプリングレート

COMAND システムは以下のタイプの **MP3** ファイルをサポートしています。

- 固定および可変ビットレート（32 kbit/s ～ 320 kbit/s）
- サンプリングレート（8 kHz ～ 48 kHz）

COMAND システムは以下のタイプの **WMA** ファイルをサポートしています。

- 固定ビットレート（5 kbps ～ 384 kbps）
- サンプリングレート（8 kHz ～ 48 kHz）

COMAND システムは以下のタイプの **WMA** ファイルはサポートしていません。

- DRM（デジタル著作権管理） 暗号化ファイル
- 可変ビットレート
- WMA Pro
- 5.1 サラウンド

ⓘ 必ず 128 kbps 以上のビットレートおよび 44.1 kHz 以上のサンプリングレートのトラックを使用してください。レートがそれより低いと、十分な音質が得られません。 サラウンド機能を使用しているときは特に顕著になります。

著作権に関する注意

MP3 または WMA トラックの作成または再生に関しては、適用される国際法や国内法によって著作権が保護されています。

多くの国では、個人で楽しむ場合でも著作権者に無断で複製することは禁じられています。

適用される著作権法について理解を深め、それらを遵守するようにしてください。

お客様が自分で作曲したり録音して著作権をお客様が所有している場合、または著作権者から許可が与えられた場合には、上記の制約事項は適用されません。

CD/DVD に関する注意

! ディスクにシールやラベルを貼らないでください。それが剥がれて、ドライブが損傷するおそれがあります。

ドライブは EN 60908 規格に準拠するディスクを収容できるように設計されており、厚さが最大で 1.3mm までのディスクのみ使用できます。

それより厚みのあるディスク、例えば両面にデータが記録されているディスク(片

面に DVD、もう片面にオーディオデータなど)を挿入すると、取り出すことができなくなり、ドライブを損傷するおそれがあります。

アダプタを装着しても、8cm 径のディスクは使用しないでください。12cm 径の円形ディスクのみを使用してください。

コピープロテクト付きのディスクは音楽 CD 規格に準拠していないため、COMAND システム で再生できない場合があります。

コピーされたディスクを再生する場合は、再生の問題に直面することがあります。 広範なデータキャリアやディスクライティングソフトを使用することができます。 この多様性のため、お客様自身でコピーしたディスクの再生については保証できません。

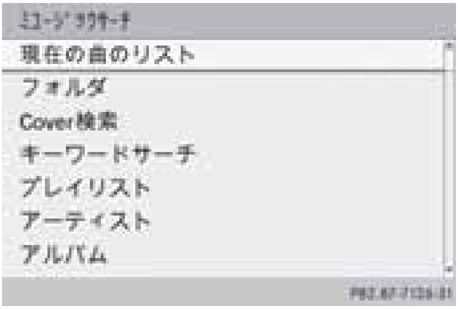
ご自身でコピーした 700 MB 以上の記憶容量の CD を再生する場合、再生に問題が生じることがあります。 このタイプの CD は、現在適用されている規格には適合していません。

ℹ 多くの DVD オーディオディスクでは、最後のトラックに音楽が含まれていません。 したがって、COMAND システム が次のディスクに切り替わる場合は、これは正常なシステム動作であり、故障があることを意味するものではありません。

ℹ COMAND システムは、マルチチャンネルオーディオフォーマットの音楽 CD を再生することができます。

ミュージックサーチ

カテゴリーリストを呼び出す



カテゴリーリスト

▶ オーディオソースをオンにして、MP3 モードなど基本画面を呼び出します (▷ 219 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして ⟲◎⟳、ミュージックサーチ を選択し、押して ◎ 確定します。
カテゴリーリストが表示されます。

利用可能なデータに応じてカテゴリーが表示されます。 現在の曲のリスト、フォルダ（使用可能な場合）、および 写真 (使用可能な場合) カテゴリーは、すでに割り当てられています。 他の使用可能なカテゴリーはミュージックサーチにより占有されます。

カテゴリーを選択する

ミュージックサーチを開始する

ミュージックサーチ機能により、カテゴリー（アルバム、アーティストなど）によって音楽を選択します。

カテゴリーを選択すると、COMAND システムは以下の条件でミュージックサーチを開始します。

- データキャリアが挿入または接続されている場合。
- これらのデータキャリアの音楽トラックが COMAND システムのミュージックデータベースにまだ入っていない場合。

COMAND システムは以下のデータキャリアから音楽トラックを読み込みます。

- ディスク（音楽 CD/DVD/MP3)
- メモリーカード
- ミュージックレジスター
- USB 機器

▶ COMAND コントローラーをまわして〔◎〕、カテゴリーリストでカテゴリーを選択し、押して ⊙ 確定します。

データを読み込み中です... というメッセージが表示されます。 使用可能なトラックの数によっては、サーチに時間がかかることがあります。

検索が完了すると、全ての曲情報の取得が完了しました というメッセージが表示されます。 前回作動していたオーディオソースで再生が開始されます。

▶ **ミュージックサーチを中止する：** 押して ⊙、中止 を確定します。

アーティストを選択する

▶ COMAND コントローラーをまわして〔◎〕、カテゴリーリストで アーティスト を選択し、押して ⊙ 確定します。

使用可能なアーティストがアルファベット順に表示されます。

アルバムを選択する

▶ COMAND コントローラーをまわして〔◎〕、カテゴリーリストで アルバム を選択し、押して ⊙ 確定します。

使用可能なアルバムがアルファベット順に表示されます。 アルバムに利用可能なジャケットがある場合は、アルバム名の前に表示されます。

トラックの選択

▶ COMAND コントローラーをまわして〔◎〕、カテゴリーリスト (▷ 230 ペー

ジ) で 曲 を選択し、押して ⊛ 確定します。
使用可能なトラックが表示されます。

リリース年を選択する

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、カテゴリーリスト (▷ 230 ページ) でリリースされた年 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ 項目を選択し、押して ⊛ 確定します。
ジャンルのリストが表示されます。

▶ ポップスなどのジャンルを選択し、押して ⊛ 確定します。
トラックリストが表示されます。

▶ トラックを選択し、押して ⊛ 確定します。
再生が開始されます。

作曲者を選択する

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、カテゴリーリストで 作曲者 を選択し、押して ⊛ 確定します。
使用可能な作曲家がアルファベット順に表示されます。

音楽ジャンルを選択する

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、カテゴリーリストで ジャンル を選択し、押して ⊛ 確定します。
使用可能な音楽ジャンルがアルファベット順に表示されます。

ジャケットを選択する

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、カテゴリーリスト (▷ 230 ページ) で Cover 検索 を選択し、押して ⊛ 確定します。
使用可能なジャケットがアーティストのアルファベット順に表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、希望のジャケットを選択し、押して ⊛ 確定します。
対応するアルバムが再生されます。

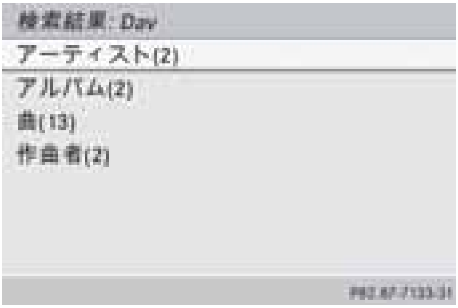
キーワードサーチによる選択

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、カテゴリーリストで キーワードサーチ を選択し、押して ⊛ 確定します。
入力メニューが表示されます。

▶ **文字バーで使用する文字設定を変更する：** COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、文字 を強調し、押して ◎ 確定します。
使用可能な文字設定のリストが表示されます。

▶ 希望の文字設定を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 文字を入力し、入力を確定します。 文字入力(▷ 30 ページ).
入力に応じて、検索結果がリストに表示されます。



▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、項目を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ アーティスト のような項目を選択し、押して ◎ 確定します。
アルバムとジャケット（使用可能な場合）が表示されます。

▶ アルバムを確定します ◎。
アルバムのトラックが表示されます。

▶ トラックを選択し、押して ◎ 確定します。
再生が開始され、基本画面が表示されます。

ミュージックレジスター

全体的な注意事項

! 元の音楽 CD は安全な場所に保管してください。例えば、誤ってリセット機能により COMAND システムを工場出荷時の設定にリセットした場合、ミュージックレジスターの音楽ファイルはすべて削除されます。失われたデータについては一切責任を負いかねます。

音楽ファイルを圧縮フォーマットでミュージックレジスターに保存できます。 メモリーの容量は 10 GB です。

ミュージックレジスターへの切り替え

機能スイッチでオンにする

▶ AUDIO 機能スイッチを押します。
前回終了時にミュージックレジスターが選択されていたときは、ミュージックレジスターがオンになります。
別のオーディオソースがオンの場合は、オーディオメニューでミュージックレジスターをオンにできます（オプション 2)。

ミュージックレジスターがオンで音楽ファイルが使用できる場合は、前回聞いたところから再生が開始されます。

音楽ファイルがない場合には、その結果を示すメッセージが表示されます。

オーディオメニューをオンにする

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして 〔◎〕 、基本機能バーの オーディオ を選択し、押して ◎ 確定します。
前回選択していたモードがミュージックレジスターのときは、オンになります。
別のオーディオソースがオンの場合、オーディオメニューでミュージックレジスターをオンにできます。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↑、まわして 〔◎〕 、オーディオを選択し、押して ◎ 確定します。
オーディオメニューが表示されます。

▶ ミュージックレジスターを選択し、押して ◎ 確定します。

テンキーを使用してオンにする

例：ミュージックレジスター

① ジャケット (使用可能な場合)

② 経過時間

③ トラック番号と名前

④ 経過時間とトラックのグラフ表示

⑤ 現在の再生オプション（ノーマルの場合は非表示）に続く、メディアリストのメディアの位置とメディアの名称

⑥ アーティスト

⑦ ミュージックレジスターのメニューバー

▶ テンキー [3 DEF] を押します。
ミュージックレジスターがオンになります。

音楽ファイルのインポート

概要

音楽ファイルを CD からコピーし、ミュージックレジスターに保存できます。

ℹ 多くの音楽 CD には CD テキストが含まれています。 COMAND システムはそこに含まれている情報を使用して、アーティスト、アルバム、およびトラック名を表示します。
CD テキスト情報が使用できない場合は、COMAND システムは Gracenote メディアデータベースを使用して未識別のオーディをトラックを識別できます (▷ 225 ページ)。

ℹ 保存中は、いくつかの機能が使用できません。 その場合は、この結果に対するメッセージが表示されます。

ステップ 1：音楽 CD モードへ切り替える

▶ 押して ⊛、録音 を確定します。
ミュージックレジスターが表示されます。

ステップ 2：インポートするトラックを選択する

音楽 CD のすべてのトラックを選択してコピーしたい場合は、このステップは省略できます。

① 選択を確定する
② すべての音楽ファイルをコピーする（標準）
③ 各々のトラックをコピーする

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟨◎⟩、コピーする希望のトラックまたは 全てのトラック を選択し、押して ⊛ 確定します。
トラック/全てのトラックを選択 ☑ するか、またはトラックの選択を解除 ☐ します。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟨◎⟩、続ける を選択し、押して ⊛ 確定します。

ステップ 3：保存先フォルダを選択する

新規フォルダを作成したい場合はこのステップを選択します。COMAND システムは、初期状態では CD テキストまたは Gracenote® データ（使用可能な場合）からの情報を使用してフォルダ名を指定します。

① 新しい保存先のフォルダ

② 保存先のフォルダ (COMAND システムにより作成)

③ 保存用に現在選択されている保存先のフォルダ

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、保存先のフォルダを選択し、押して ◎ 確定します。

ステップ 4：コピーする

① CD からミュージックレジスターへコピーする

② 現在コピー中 (トラック 1/16)

③ コピーのオプション (全トラック)

④ コピーの進捗

⑤ コピー元、ディスク位置と名称

⑥ ミュージックレジスターの保存先のフォルダ

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、開始を選択し、押して ◎ 確定します。
インポートが完了すると、音楽 CD の基本画面が自動的に表示されます。

▶ **コピーを中止する：** インポート中に COMAND コントローラーを押して ◎、停止 を確定します。
音楽 CD の基本画面が表示されます。コピー処理が中止されたところまでのすべての音楽データがミュージックレジスターに保存されます。

すべての音楽ファイルの削除

! 故障を防ぐため、この間は COMAND システムを使用しないでください。

この機能は、ミュージックレジスターからすべての音楽ファイルを削除します。

▶ ミュージックレジスターに切り替えます (▷ 234 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、ミュージックレジスターを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 全音楽ファイル削除を選択し、押して ◎ 確定します。
確認が表示されます。 いいえ が強調されています。
はい を選択すると、すべての音楽ファイルが削除されます。 しばらくお待ちください... のメッセージが表示されます。 そして 削除しました というメッセージが表示されます。

いいえ を選択すると、処理が中止されます。

メモリー容量の表示

▶ ミュージックレジスターに切り替えます (▷ 234 ページ)。
▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↻◎↺、ミュージックレジスターを選択し、押して ◎ 確定します。
▶ 容量 を選択し、押して ◎ 確定します。
以下の情報が表示されます。
- 全容量
- 空き容量
- 使用している容量
- 記録内容（フォルダ、トラック）

ミュージックサーチ

全体的な注意事項

ミュージックサーチは使用可能なすべてのメディアからトラックを検索します。検索は現在作動しているオーディオソースから始まります。

ミュージックサーチは以下のメディアに対応しています。

- ディスク（音楽 CD/DVD/MP3）
- メモリーカード
- ミュージックレジスター
- USB メモリー

▶ ミュージックレジスターに切り替えます (▷ 234 ページ)。
▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↻◎↺、ミュージックサーチ を選択し、押して ◎ 確定します。
カテゴリーリストが表示されます。
▶ カテゴリーでトラックを選択します (▷ 230 ページ)。

例：フォルダを開く

▶ COMAND コントローラーをまわして ↻◎↺、カテゴリーリストで フォルダ を選択し、押して ◎ 確定します。
現在のフォルダの内容が表示されます。
現在のフォルダ名が最上部になり、現在再生しているトラックがドット ● によって示されます。
▶ **次の上位のフォルダに切り替える：** [⮌] スイッチを押すか、または COMAND コントローラーをスライドします ←◎。

フォルダ/トラック名を変更する

▶ ミュージックレジスターに切り替えます (▷ 234 ページ)。
▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ↻◎↺、ミュージックレジスターを選択し、押して ◎ 確定します。
▶ ファイルの名前変更/削除 を選択し、押して ◎ 確定します。

- まわして 〔◎〕、フォルダ/トラックを選択します。
- スライドして ◎→ 、オプション を選択し、押して ◎ 確定します。
- 編集を選択し、押して ◎ 確定します。
- フォルダ/トラックの名前を入力します。 文字入力に関する情報(▷ 30 ページ).
- **変更を保存する：** ok を選択し、押して ◎ 確定します。

ⓘ 曲情報表示 機能がオフのときには、変更されたフォルダ名/トラック名がミュージックレジスターに表示されます。 この機能がオンの場合は、CD テキストまたは Gracenote® データからのトラック情報になります。

フォルダ/トラックを削除する

- ミュージックレジスターに切り替えます (▷ 234 ページ)。
- COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、ミュージックレジスターを選択し、押して ◎ 確定します。
- ファイルの名前変更/削除 を選択し、押して ◎ 確定します。
- まわして 〔◎〕、フォルダ/トラックを選択します。
- スライドして ◎→ 、オプション を選択し、押して ◎ 確定します。
- 削除 を選択し、押して ◎ 確定します。
  確認が表示されます。 いいえ が強調されています。
  はい を選択すると、フォルダ/トラックが削除されます。 しばらくお待ちください... のメッセージが表示されます。 そして 削除しました というメッセージが表示されます。
  いいえ を選択すると、処理が中止されます。

再生オプション

以下のオプションを使用できます。

- ノーマル
  トラックが通常の順番で再生されます(たとえば、トラック 1、2、3 、…)。
- ランダム（音楽メディア）
  メディアの全トラックが順不同に再生されます。
- ランダム（曲） (MP3 モードのみ)
  現在作動しているフォルダまたはトラックリストにあるトラックが順不同で再生されます。

- **オプションを選択する：** ミュージックレジスターに切り替えます (▷ 234 ページ)。
- COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、ミュージックレジスターを選択し、押して ◎ 確定します。
  オプションリストが表示されます。 ドット ● は、選択されたオプションを示します。
- オプションを選択し、押して ◎ 確定します。
  オプションがオンになります。 ノーマル以外のすべてのオプションは、表示/選択ウインドウに該当する表示が表示されます。

ⓘ ノーマル 再生オプションは、現在再生しているメディアを変更したとき、または別のメディアを選択した場合に、自動的に選択されます。 オプションを選択すると、COMAND システムをオンまた

はオフにした後でも、それが維持されます。

Bluetooth® オーディオの操作

Bluetooth® オーディオデバイスの接続

条件

Bluetooth® オーディオモードには、Bluetooth® の利用が可能なオーディオ機器が必要です。

ℹ 市場にあるすべての Bluetooth® オーディオ機器が一律に適合しているわけではありません。適合している Bluetooth® オーディオ機器や COMAND システムへの Bluetooth® オーディオ機器の接続についてのより詳しい情報は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で取得できます。Bluetooth® オーディオ機器の取扱説明書にある情報に注意してください。

Bluetooth® オーディオモードを使用する前に、Bluetooth® オーディオ機器の以下の点を確認してください。

- Bluetooth® オーディオプロファイル

  Bluetooth® オーディオ機器が A2DP および AVRCP Bluetooth® オーディオプロファイルをサポートしていること
- Bluetooth® の検出性

  Bluetooth® オーディオ機器によっては、Bluetooth® 機能を作動させるのに加え、機器自身を他の機器に "見える" ようにもしなければなりません。
- Bluetooth® 機器名

  機器名はあらかじめ決められていますが、通常は変更することができます。Bluetooth® 機器を明確に選択できるようにするために、機器名をカスタマイズすることをお勧めします。

ℹ A2DP (**A**dvanced **A**udio **D**istribution **P**rofile): オーディオデータ伝送用 Bluetooth® オーディオプロファイル
AVRCP (**A**udio **V**ideo **R**emote **C**ontrol **P**rofile): オーディオデータ再生用 Bluetooth® オーディオプロファイル

Bluetooth® オーディオ機器

▶ Bluetooth® をオンにし、Bluetooth® オーディオ機器上で Bluetooth® を検索できるようにします。

COMAND システムで

▶ COMAND システムで Bluetooth® 機能を作動させます(▷ 36 ページ)。

全般的な情報

Bluetooth® オーディオ機器を初めて COMAND システムに接続してご使用になる場合、Bluetooth® オーディオデバイスを認証する必要があります。

新しい Bluetooth® オーディオ機器を認証する場合、自動的に接続されます。接続ではまず Bluetooth® オーディオ機器の検索が、そして認証が行なわれます。

15 個までの Bluetooth® 機器を認証することができます。

ℹ Bluetooth® オーディオをサポートしている携帯電話を認証すると、A2DP および AVRCP Bluetooth® オーディオプロファイルが自動的に接続されます。
そして携帯電話は以下に入力されます。

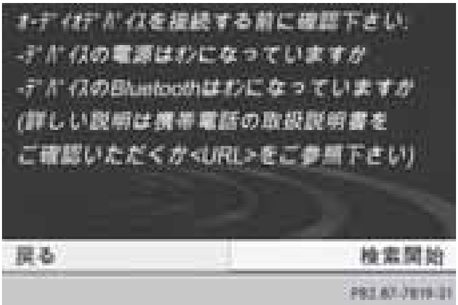
- Bluetooth® の電話リスト (▷ 145 ページ)
- Bluetooth® デバイスリスト (▷ 240 ページ)

メルセデス・ベンツは、Bluetooth® 電話通信で携帯電話を認証することをお勧めします (▷ 144 ページ)。

ℹ 接続されている携帯電話が同時に 2 つの Bluetooth® プロファイルのみサポートしている場合は、COMAND システムは以下のように機能します。

- インターネットに接続すると (▷ 184 ページ)、Bluetooth® オーディオ機器の再生は停止します。
- Bluetooth® オーディオ機器で再生を開始すると、インターネット接続が終了します。

Bluetooth® オーディオ機器を検索・認証する



例：Bluetooth® デバイスリスト

① 所定の範囲内で新たに検出された Bluetooth® オーディオ機能付き携帯電話

② 範囲内にないが以前認証した Bluetooth® オーディオプレーヤー（マークが灰色で表示されます）

範囲内にあってもなくても、Bluetooth® デバイスリストは認証されたすべての機器を表示します。機器検索の後、範囲内にはあるが認証されていない機器も表示されます。

▶ Bluetooth® オーディオモードをオンにします (▷ 243 ページ)。
Bluetooth オーディオ 認証されていません。というメッセージが表示される場合は、最初に Bluetooth® オーディオ機器を認証する必要があります。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〔◎〕、

Bluetooth オーディオ を選択し、押して 確定します。

▶ COMAND コントローラーを押して 、Bluetooth オーディオデバイスリスト を確定します。

▶ **検索する：** COMAND コントローラーを押して 、ｵｰﾃﾞｨｵﾃﾞﾊﾞｲｽ検索 を確定します。
COMAND システムは範囲内の Bluetooth® オーディオ機器を検索して、それらを Bluetooth® デバイスリストに追加します。 Bluetooth® オーディオ機器が Bluetooth® オーディオプロファイル (A2DP, AVRCP)をサポートしている場合は、機器が検知されます。
検索に要する時間は、所定の範囲内の Bluetooth® オーディオ機器の数とその特性によって異なります。

ℹ Bluetooth® オーディオ機器の中には、COMAND システム がオーディオデータを再生できるように、はじめに機器自体で再生を開始しなければならないものもあります。

▶ **認証する：** COMAND コントローラーをまわして 、認証されていない Bluetooth® オーディオ機器をリスト（例では ①）から選択します。

▶ COMAND コントローラーをスライドして 、Bluetooth® オーディオ機器の右側にあるマークを選択し、押して 確定します。

▶ 認証 を選択し、押して 確定します。
使用されている Bluetooth® オーディオ機器によって、認証を続ける 2 つのオプションがあります。

▶ **オプション 1：** パスキーを入力します (▷ 145 ページ)。
認証が成功すると、Bluetooth® オーディオ機器が接続され、再生が開始されます。

▶ **オプション 2 (シンプルペアリング)：** COMAND システムと Bluetooth® オーディオ機器に表示されている数字のコードが同じ場合は、押して はい を確定します。
はい を選択すると、認証が続けられ、Bluetooth® オーディオ機器が接続されます。 再生が開始されます。
いいえ を選択すると、認証が中止されます。

ℹ シンプルペアリング経由で接続するためには、Bluetooth® オーディオ機器は Bluetooth® version 2.1 をサポートしていなければなりません。COMAND システムは、接続される両方の機器に表示される 6 桁のコードを生成します。

外部認証

COMAND システムが Bluetooth® オーディオ機器を見つけられない場合は、Bluetooth® オーディオ機器の特別なセキュリティ設定が原因であることがあります。 このような場合、Bluetooth® オーディオ機器が COMAND システムを確認できるか確認してください。COMAND システム

の Bluetooth® 機器名は "MB Bluetooth"です。

▶ Bluetooth® オーディオモードをオンにします (▷ 243 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして 〈◎〉、Bluetooth オーディオ を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ COMAND コントローラーを押して ◎、Bluetooth オーディオデバイスリスト を確定します。

▶ **検索する：** COMAND コントローラーを押して ◎、Bluetoothｵｰﾃﾞｨｵﾃﾞﾊﾞｲｽから接続 を確定します。
検索に要する時間は、所定の範囲内の Bluetooth® オーディオ機器の数とその特性によって異なります。

▶ **認証する：** Bluetooth® オーディオ機器で認証を開始します。Bluetooth® オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
認証が成功すると、Bluetooth® オーディオ機器が接続され、再生が開始されます。

ℹ Bluetooth® オーディオ機器の中には、COMAND システムがオーディオデータを再生できるように、はじめに機器自体で再生を開始しなければならないものもあります。

Bluetooth® オーディオ機器を再接続する

Bluetooth® オーディオプロファイルは、以下の環境下では自動的に接続されます。

- 接続された最後の 2 つの携帯電話の 1 つが Bluetooth® オーディオプレーヤーとしても使用されるとき(この機能が携帯電話でサポートされている場合)。
- 携帯電話が自動接続自体を引き継いでいるとき

電話機能のない Bluetooth® オーディオプレーヤーは、たとえ最後に接続された機器でも自動的に再接続されることはありません。

Bluetooth オーディオ 認証されていません。 というメッセージが表示された場合、Bluetooth® オーディオ機器を接続するための 2 つのオプションがあります。

オプション 1

▶ 基本画面で COMAND コントローラーを押して ◎、前のデバイスに再接続 を確定します。
Bluetooth® オーディオ機器が COMAND システムによって確認されると、接続され、再生が開始されます。

ℹ Bluetooth® オーディオ機器の中には、COMAND システムがオーディオデータを再生できるように、はじめに機器自体で再生を開始しなければならないものもあります。

オプション 2

▶ COMAND コントローラーをまわして 〈◎〉、Bluetooth オーディオ を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ COMAND コントローラーを押して ◎、Bluetooth オーディオデバイスリスト を確定します。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〈◎〉、Bluetooth® オーディオ機器を選択し、押して ◎ 確定します。
Bluetooth® オーディオ機器が COMAND システムによって確認されると、接続され、再生が開始されます。

ℹ Bluetooth® オーディオ機器の中には、COMAND システムがオーディオ

データを再生できるように、はじめに機器自体で再生を開始しなければならないものもあります。

Bluetooth® オーディオ機器と携帯電話の同時検索

携帯電話を検索している間は、Bluetooth® オーディオ機器との接続は終了します (▷ 144 ページ)。Bluetooth® オーディオ基本画面に、Bluetooth オーディオ 接続されていません。 というメッセージが表示され、メニュー項目の 前のデバイスに再接続 は選択することができません。

詳細を表示する

- ▶ Bluetooth® デバイスリスト内で Bluetooth® オーディオ機器を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎➡、Bluetooth® オーディオ機器の右側にあるマークを選択し、押して ⊛ 確定します。
- ▶ 詳細 を選択し、押して ⊛ 確定します。
  選択した携帯電話に関する以下の情報が表示されます。
  - Bluetooth® の名称
  - Bluetooth® のアドレス
  - 使用可能状況 (更新の後、表示されます)
  - 認証状況
- ▶ **詳細表示を閉じる：**COMAND コントローラーをまわす ⟲◎⟳ か、スライドします ⬅◎➡。

Bluetooth® オーディオ機器の認証 (登録) を解除する

- ▶ Bluetooth® デバイスリスト内で Bluetooth® オーディオ機器を選択します。
- ▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎➡、Bluetooth® オーディオ機器の右側にあるマークを選択し、押して ⊛ 確定します。
- ▶ 削除 を選択し、押して ⊛ 確定します。
  この機器の認証を本当に取り消したいかどうかを問う確認が表示されます。
- ▶ はい または いいえ を選択します。
  はい を選択すると、機器が Bluetooth® デバイスリストから削除されます。
  いいえ を選択すると、処理は中止されます。

ℹ Bluetooth® オーディオ機器を再認証する前に、Bluetooth® オーディオ機器の Bluetooth® リストから機器名 MB Bluetooth を削除しなければならないこともあります。Bluetooth® オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth® オーディオモードに切り替える

注意点

携帯電話の中には同時に 2 つの Bluetooth® プロファイルのみをサポートするものがあります (例：Bluetooth® 電話機能のハンズフリープロファイルおよびオーディオストリーミングの Bluetooth® オーディオプロファイル)。 Bluetooth® オーディオモードをオンにして、インターネット接続がすでに作動している場合は、これは接続を終了させる原因になります。

基本画面の使用

例：Bluetooth® オーディオ基本画面

① トラック名表示
② 現在の再生設定（“ノーマル” のときは表示なし）
③ アルバム名
④ サウンドの設定
⑤ メディアリスト
⑥ 停止 ■ または再生 ▶ スイッチ
⑦ アーティスト
⑧ Bluetooth® オーディオ機器の接続、COMAND システムの音量を上げる
⑨ Bluetooth® オーディオデータメディアの種類
⑩ メディアリスト内のデータ媒体の位置

▶ Bluetooth® オーディオ機器を接続します (▷ 239 ページ)。

または

▶ Bluetooth® オーディオ機器を再接続します (▷ 242 ページ)。
COMAND システムが Bluetooth® オーディオ機器をオンにします。 基本画面が表示され、機器が再生を開始します。

メディアリストの使用

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、メディアリストで Bluetooth オーディオ(▷ 222 ページ) を選択し、押して ◎ 確定します。
COMAND システムが、接続されている機器をオンにします。 この結果に対するメッセージが表示されます。 次に、基本画面が表示されます。

ℹ 接続されている Bluetooth® オーディオ機器がメタデータをサポートしていて、対応するデータが利用可能な場合、その後にアーティスト、トラック、アルバム名が表示されます。

音楽再生を開始/停止する

▶ **再生を開始する：** COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ◎、▶ を選択し、押して ◎ 確定します。
再生が開始されます。 ■ が選択されます。

▶ **音楽再生を停止する：** COMAND コントローラーをまわして ◎、■ を選択し、押して ◎ 確定します。
メッセージが表示されます。 ▶ が選択されます。

▶ **再生を再開する：** COMAND コントローラーをまわして ◎、▶ を選択し、押して ◎ 確定します。
メッセージが表示されます。 ■ が選択されます。

中止した後の再生の再開

最後の機器を接続する

再生を手動で開始する

携帯電話を検索している間は、Bluetooth® オーディオ機器との接続は終了します (▷ 144 ページ)。Bluetooth® オーディオ基本画面に、Bluetooth オーディオ 接続されていません。というメッセージが表示され、メニュー項目の 前のデバイスに再接続 は選択することができません。

検索が終了したとき、Bluetooth® オーディオ機器を再接続することができます。

▶ 押して ◉ 前のデバイスに再接続 を確定します。
使用されている Bluetooth® オーディオ機器によって、再生がただちに開始するか、手動で再生を開始させなくてはなりません。

この場合、Bluetooth オーディオ 一時停止中 というメッセージが表示されます。

▶ **音楽再生を開始する：** COMAND コントローラーをまわして ◎、▶ を選択し、押して ◉ 確定します。
再生が先頭から再開されます。

ℹ インターネットが接続されていて、接続されている携帯電話が同時に 2 つの Bluetooth® プロファイルのみをサポートしている場合は、インターネット接続は中断されます。

ℹ Bluetooth® オーディオ機器との接続は以下のときにも中断することがあります。

- 接続された携帯電話が同時に 2 つの Bluetooth® プロファイルのみをサポートしているとき
- COMAND システムを使用してインターネットに接続するとき(▷ 184 ページ).

トラックの選択

この機能は全ての Bluetooth® オーディオ機器でサポートしているわけではありません。

携帯電話によっては、以下の内容に関しての機能が損なわれます。

- 選択できるトラックの数
- 次または前のトラックが再生されるまでの時間

▶ **トラックを前または後にスキップする：** COMAND システムの ⏮ または ⏭ スイッチを押します。

または

▶ マルチファンクションステアリングの ▲ または ▼ スイッチを軽く押します。

▶ **高速スクロール：** 希望のトラックになるまでマルチファンクションステアリングの ▲ または ▼ スイッチを押して保持します。
▲ または ▼ スイッチを押して保持すると、高速スクロールの速度が速くなります。

音楽再生オプションを選択する

Bluetooth® オーディオ機器が該当する機能をサポートしている場合、以下のオプションを使用できます。

- ノーマル
  トラックが通常の順番で再生されます (たとえば、トラック 1、2、3 、…)。
  オーディオデータ再生は、データ記憶媒体に書き込まれた順番により決定されます。 通常はアルファベット順です。 フォルダ内の全トラックが再生されると、次のフォルダのトラックが再生されます。
- ランダム
  メディアの全トラックが順不同に再生されます (例えば、トラック 3、8、5、…)。

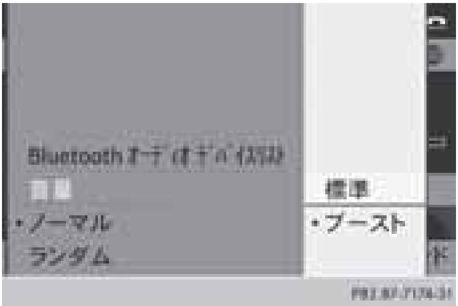
▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして 〔◎〕、Bluetooth オーディオ を選択し、押して ◎ 確定します。
ドット ● は、選択されたオプションを示します。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、オプションを選択し、押して ◎ 確定します。
ランダム を選択すると、該当するマークが表示/選択ウィンドウに表示されます。

サウンド設定を調整する

サウンド設定の情報(▷ 25 ページ)。

COMAND システムの音量を上げる



▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎⬇、まわして 〔◎〕、Bluetooth オーディオ を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 音量 を選択し、押して ◎ 確定します。
メニューが表示されます。 ドット ● は現在の設定を示します。

▶ 標準 または ブースト を選択し、押して ◎ 確定します。

詳しい情報については "オーディオ AUX モード" (▷ 253 ページ) をご覧ください。

メディアインターフェースモード

接続オプション

概要

接続ソケットはセンターコンソールの小物入れにあります。

外部機器をメディアインターフェースに接続するためには機器別アダプターケーブルが必要です。 メディアインターフェースは国別の仕様によって装備されています(▷ 247 ページ)。

以下のデータキャリアをメディアインターフェース経由で COMAND システムに接続することができます。

- iPod®
- iPhone®
- 特定の MP3 プレーヤー

ℹ 各部品は安全な場所に収納してください。

必ずメルセデス・ベンツ純正接続ケーブルを使用してください。

ℹ iPod® と iPhone® は Apple Inc. (Cupertino, California, USA)の登録商標です。

ℹ MTP (**M**edia **T**ransfer **P**rotocol) をサポートしている MP3 プレーヤーを使用することができます。

これにより、MP3 プレーヤーを容易にメディアインターフェースに接続し、使用後に取り外すことができます。 音楽データは問題なく再生されます。

MP3 プレーヤーには、関連する機能を作動させなければならないものがあります。MP3 プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

サポートしている機器

サポートしている機器の詳細と包括リストについては、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

外部機器を接続する

車内に外部機器を放置しないでください。 極端な温度では、正しく機能することを保証できないことがあります（疑問があるときは機器の取扱説明書をご覧ください）。 極度の温度の例は、直射日光またはとても低い外気温度です。 メルセデス・ベンツは、外部機器の損傷に関しては責任を負いかねます。

ℹ 1 度に 1 つ以上の機器を接続しないでください。 外部機器からの再生ができなくなる場合があります。

USB ハブ（いくつかの USB 接続のある機器）はサポートされていません。

① 3.5 mm ステレオジャック、たとえば MP3 プレーヤー（オーディオおよびビデオ）用 4 極ソケット

② iPod®接続のための iPod®プラグ

③ MP3 プレーヤー接続のための USB ソケット

④ 機器の例（iPod®）

▶ 適切なソケット ①、② または ③ を使用して、外部機器を接続します。
COMAND システムが機器を作動させ、メッセージが表示されます。(iPod® プラグまたは USB ソケット接続時)

機器を取り外すと、デバイスが接続されていません というメッセージが表示されます。

オーディオ

ℹ 接続された iPod® または MP3 プレーヤーをメディアインターフェースやリモコン（例：Bluetooth® リモコン）経由で同時に、または機器自体経由で直接操作しないでください。そうすると予期せぬ技術トラブルの原因となることがあります。

接続した機器で作動しているアプリケーション（apps）は故障につながることがあります。

ℹ 完全に放電した iPod® または MP3 プレーヤーを接続すると、初期化に時間がかかる場合があります。

以下の場合、機器の作動中にエラーメッセージが表示されます。

- 接続された機器がサポートされていない（デバイスエラー メッセージ）。
- 接続された機器の電力消費が過大である。
- メディアインターフェースの接続が間違っている場合。
- 大容量記憶装置（例：USB メモリースティックまたは USB ハードドライブ）がメディアインターフェースに接続されている。

  この場合、 別の USB ポートにデバイスを接続してください というメッセージが表示されます。

ℹ 独立した USB 接続により、迅速なアクセスと拡大されたメディアコンテンツのオプションを可能にします。

ℹ 情報はすべてのメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

メディアインターフェースモードに切り替える

全体的な注意事項

極端な場合、個別の機能の起動に数分かかる場合があります。これは外部機器とそのコンテンツによるものです（例：ビデオポットキャスト）。

iPods® または MP3 プレーヤーにファイルを保存するためにはオリジナルのソフトウェアのみを使用してください。 さもないと、一部または全ての機能が使用できなくなる場合があります。

自動的にオンにする

▶ 外部機器を接続します (▷ 247 ページ)。
COMAND システムが機器を作動させます（iPod® プラグまたは USB ソケット接続時）。 そして基本画面が表示されます。

テンキーを使用してオンにする

▶ テンキー [5 JKL] （シングル DVD ドライブ)を押します。
接続した外部オーディオ機器が直接選択されます。

メディアリスト経由でオンにする

メディアインターフェースモード（iPod® モード）

① データメディアの種類
② トラック番号
③ 経過したトラック時間（オーディオブックでは 00:00:00 のフォーマット）
④ トラック名表示
⑤ 時間のグラフ表示
⑥ トラックのグラフ表示
⑦ アルバム名（使用可能な場合）
⑧ サウンドの設定
⑨ メディアリスト
⑩ ミュージックサーチ
⑪ メディアリスト内での位置
⑫ アーティスト（使用可能な場合）
⑬ 再生オプション

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳、メディアリストで 5 の位置（シングル DVD ドライブ）にある項目を選択し、押して ◎ 確定します(▷ 222 ページ)。
COMAND システムが、接続されている機器をオンにします。 この結果に対するメッセージが表示されます。 次に、基本画面が表示されます。
接続されている機器がない場合は、機器名のかわりに メディアインターフェース の項目が表示されます。

接続されている機器の種類は iPod® または MP3 プレーヤーに対応するマークで示されます。

現在の再生オプションはアルバム名の後にマークで示されます（ノーマルでは表示なし）(▷ 252 ページ)。

ℹ 接続されている機器に再生可能なトラックが含まれていない場合は、この結果に対するメッセージが表示されます。

音楽ファイルを選択する

注意点

COMAND システムはそれぞれのメディアで使用されているファイル構造に従って、iPod®、iPhone® または MP3 プレーヤーに保存されたデータを表示します。

トラックをスキップして選択する

▶ **トラックを次または前にスキップする：** 表示/選択ウインドウがオンのときに COMAND コントローラーをまわします ⟲◎⟳。

または

▶ [⏮] または [⏭] ボタンを押します。
次へスキップ機能を使用すると、次のトラックにスキップします。 前へスキップ機能を使用すると、現在のトラックが 8 秒以上再生されていた場合、トラックの最初にスキップします。 トラックが 8 秒未満再生されていた場合、前のトラックの最初にスキップします。 ノーマル 以外の再生オプションが選択されていた場合、トラックの再生順序がランダムになります。

テンキーを使用して選択する

▶ **入力する：** [＊/＋] スイッチを押します。
入力メニューが表示されます。 入力に使用できる文字の数は、保存されているトラックの数によって異なります。

▶ **トラック番号を入力する：** テンキー、たとえば [7 PQRS] を押します。
入力行の最初の位置に数字が入力されます。

ℹ COMAND システムは無効な数字を無視し、表示しません。

▶ 希望であれば、さらに数字を入力します。
最後の可能な番号が入力された後に、トラックが再生されます。

ℹ テンキーを 2 秒 以上押して保持すると、対応するトラックが再生されます。

早送り/早戻し

▶ 表示/選択ウインドウがオンになっているときに、希望の位置になるまで、COMAND コントローラーをスライドして ←◎→ 保持します。

または

▶ 希望の位置になるまで、[⏭] または [⏮] スイッチを押して保持します。

ℹ iPod® または iPhone®では、速い巻戻しは現在のトラックの中でのみ機能します。

カテゴリー/プレイリスト/フォルダを選択する

概要

iPod®、iPhone® またはいくつかの MP3 プレーヤーでは、カテゴリーまたはフォルダを使用してトラックを選択することができます。

接続された機器に応じて、たとえば、以下のカテゴリーが使用可能です。

- 現在の曲のリスト
- Cover 検索
- キーワードサーチ
- プレイリスト（全てなど）
- アーティスト
- アルバム
- 曲
- Podcast
- ジャンル
- 作曲者
- オーディオブック
- ビデオ

ℹ 再生カテゴリーの中には、全て の登録データを含むものがあります。 この登録データを選択した場合、選択したカテゴリーの全てのコンテンツが再生されます。

カテゴリーの ビデオ は iPod® と iPhone®で使用できます。

ℹ 機能はすべてのメディアの内容が読み込まれ解析された後に使用できます。 キーワード検索やカバーによる選択のようないくつかの機能では、メディアの範囲や接続されている機器によってこれに数分かかることがあります。

メディアの内容が変更されていない外部機器に再接続されると、これらの機能はより早く使用することができます。

しかし、メディアの内容を変更すると、再び読み込み、解析しなければなりません。

カテゴリーリストを呼び出す

例: カテゴリーリスト

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓ まわして ⟨◎⟩、基本画面で ミュージックサーチ を選択し、押して ◎ 確定します。
カテゴリーリストが表示されます。

ℹ 機器がオンになるまで 検索 は使用できません。

ℹ **読み込む：** 接続されている機器のメディアのコンテンツが読み込まれているときは、マークによって右上に示されます。 読み込みが終了していると、カテゴリーの Cover 検索 および キーワード検索 が利用可能です。
接続している機器とメディアのコンテンツのサイズによって、読み込みに数分かかることがあります。 次に機器が起動するまたは再接続されると、最新の機能がすぐに利用可能になります。
しかし、iPod®/iPhone®でメディアのコンテンツを変更すると、再度読み込み、解析しなければなりません。

例: 現在のトラックリスト
① 機器マークと機器名
② 次のフォルダに上がるマーク
③ 現在のトラック
④ トラックマーク

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟨◎⟩、現在の曲のリスト を選択し、押して ◎ 確定します。
現在のトラックリストの内容が表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟨◎⟩ 、トラックを選択し、押して ◎ 確定します。
トラックが再生されます。

▶ **次の上位のフォルダに切り替える：** COMAND コントローラーをスライドします ←◎。

または

▶ リターンスイッチ [↩] を押します。

カテゴリーまたはフォルダの内容を再生する

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟨◎⟩、カテゴリーまたはフォルダを選択します。

▶ COMAND コントローラーを 2 秒以上押します ◎。
選択されたカテゴリーまたはフォルダの内容は、選択された再生オプション

に従って再生されます(▷ 252 ページ)。

アルファベット順のトラック選択

iPod®、iPhone® および MP3 プレーヤー

この機能は、カテゴリーおよびフォルダがアルファベット順に並べられている場合に使用できます。 この機能は、たとえばアルバムまたはプレイリストに対しては使用できません。

▶ COMAND コントローラーをまわして 🔄、カテゴリー、たとえば アーティスト を選択し、押して ⊚ 確定します。
使用可能なアーティストが表示されます。

▶ 対応するテンキーを一度または繰り返し押して、希望のアーティストの最初の文字を選択します。 例えば、名前が C で始まるアーティストを選択するためには、テンキー [2 ABC] を 3 回押します。
使用可能な文字はディスプレイの下端に表示されます。
メッセージの後、入力された文字と一致するリスト内の最初の項目が強調されます。

ℹ 該当する項目がない場合、代わりに、前の文字と一致する最後の項目が強調されます。

ℹ iPod および MP3 プレーヤー：検索結果の品質は、装着している機器で使用しているソフトウェアのバージョンおよび言語の種類によって大いに異なります。 そのようなソフトウェアでよく知られた例は iTunes です。
さまざまな並び替えの規則が決められている場合は（例：iTunes®)、検索は結果を出すことなく中止されます。

追加選択機能

- Cover 検索
  アルバムはメニュー項目を使用してジャケットによって選択されます。
  初めて Cover 検索 機能が使用されるときは、追加データを iPod®/iPhone®から読み込まなければなりません。 現在の音楽の再生が中断され、このデータにアクセスできます。 処理に数分かかることがあり、中止することはできません。 さもなければ、次回 Cover 検索 が選択されたときに、再度始めから開始します。ジャケットは最初に Gracenote メディアデータベースで検索され、それから接続している機器から再生中に追加されます (▷ 225 ページ)。 有効性は使用法とすでに選択されているトラックによって異なります。
- キーワードサーチ
  キーワード検索を選択すると、接続している機器のすべてのカテゴリーでキーワードで検索することができます。

ℹ Cover 検索 および キーワード検索 に関するさらなる情報は、"ミュージックサーチ、カテゴリー選択" (▷ 250 ページ) をご覧ください。

ℹ iPod®/iPhone® では、すべてのメディアのコンテンツが現在のプレイリストにある場合は、利用可能なジャケットが最も効率的に追加されます。 これは、再生オプションの曲 または ランダム（音楽メディア） を選択した場合です (▷ 252 ページ)。

再生オプション

▶ **再生オプションを選択する：** 基本画面で COMAND コントローラーをスライドして ⊚↓ から、まわして 🔄、メ

ディアインターフェース を選択し、押して ⊚ 確定します。
オプションリストが表示されます。ドット ● は、選択されたオプションを示します。

▶ オプションを選択し、押して ⊚ 確定します。

以下のオプションを使用できます。

- ノーマル
  通常のトラック順：通常の順序（例：番号またはアルファベット）でトラックを聞きます。
- ランダム（音楽メディア）
  メディアの全トラックが順不同に再生されます。
- ランダム（曲）
  サブフォルダを含め、現在アクティブなカテゴリーまたはフォルダのトラックが順不同に再生されます。

MP3 プレーヤーの説明

全般的な情報

メディア毎に 30,000 までのトラックがサポートされています。

以下によっていくつかの機能の速度が早くなり、検索結果の精度が向上します。

- 例えば、トラック、アルバムやアーティストの名前が同じ方法で書かれていることを確認する
- 様々なアーティストを特色付けたアルバムを"コンピレーション"として分類する

ℹ プレイリストにあるトラックの複数の項目は、いくつかのプレーヤーでは取り除かれます。

データフォーマット

MP3 と WMA は固定および可変ビットレート（320 kbit/s まで）のデータ形式がサポートされています。

MP3 プレーヤー使用時の特別な考慮点

最大 8 つのディレクトリーレベルと、ディレクトリー毎に最大 1,000 のトラックをサポートしています。

USB 延長リードまたはアダプターは使用しないでください。 機能を損ねるおそれがあります。

ℹ DRM （ Digital Rights Management）保護ファイルはメディアインターフェースではサポートされません。

オーディオ AUX モード

オーディオ AUX モードに関する注意

⚠ **事故のおそれがあります**

外部オーディオソースの音量は一定でないため、システムメッセージ（交通情報およびナビゲーション音声案内など）の音量が大きくなることがあります。 必要に応じてシステムメッセージを無効にするか、音量を手動で調整してください。

外部オーディオソース（AUX）を COMAND システムに接続することができます。ソケットはセンターコンソールの小物入れにあります。

COMAND システムにメディアインターフェースが装備されているときは、外部オーディオソースは提供されたケーブルを使用して接続します。 ケーブルを設置してから、オーディオ AUX ソケットの代わりにします。 メディアインターフェースの接続は、センターコンソールの小物入れにあります。

ℹ 詳しい情報は"メディアインターフェースでの操作" (▷ 247 ページ) をご覧になるか、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

オーディオ AUX モードに切り替える

機能スイッチでオンにする

外部機器はオーディオ AUX ソースに接続されています。

▶ DISC 機能スイッチを 1 回以上押します。

機能スイッチを繰り返し押すことにより、以下の順番に操作モードを変更することができます。

- 音楽 CD/DVD/MP3 （ディスク）
- メモリーカードモード
- ミュージックレジスター
- USB メモリー
- メディアインターフェースまたはオーディオ AUX モード
- Bluetooth® オーディオの操作

オーディオメニューをオンにする

外部オーディオソースを接続しても、オーディオ AUX モードは自動的には起動しません。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ から、まわして ⟲◎⟳ 、基本機能バーの オーディオ を選択し、押して ◎ 確定します。

前回選択されていたモードが AUX モードであれば、AUX モードが起動します。

別のオーディオソースが起動した場合は、オーディオメニューでオーディオ AUX モードに切り換えます。

▶ オーディオを選択し ↑◎ 、押して ◎ 確定します。

オーディオメニューが表示されます。

▶ 外部入力を選択し ⟲◎⟳ 、押して ◎ 確定します。

オーディオ AUX メニューが表示されます。 ソースを接続して再生を選択すれば、外部オーディオソースにあるメディアが再生されます。

外部オーディオソースの操作方法は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

情報：

- 音量の設定 (▷ 25 ページ)
- サウンドの設定(▷ 25 ページ)

COMAND システムで音量を上げる

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、外部入力画面の音量を選択し、押して ◎ 確定します。

メニューが表示されます。 ドット ● は現在の設定を示します。

▶ 標準 または ブースト を選択し、押して ◎ 確定します。

標準：外部オーディオソースの音量を初期値に調整します。

ブースト：外部オーディオソースの音量を約 10 ｄＢ 増加します。

外部オーディオソースとして接続されている機器は、車内では静かにまたはうるさくなったり、または通常の最大音量が得られないことがあります。 機器によっては、音量を個別に調整できる場合もあります。 この場合には、適度な音量から少しずつ音量を上げていきます。 これによって、システムが歪みのない大きな音

量で音楽再生が可能かどうかを確認することができます。

COMAND システムの特徴 258
全体的な注意事項 258
基本設定 258
テレビモード 259
DVD ビデオモード 273
ビデオ AUX 操作 279
画像ビューワー 281

COMAND システムの特徴

本補足版は、印刷時点で利用可能な COMAND システムのすべての標準装備やオプション装備について記載しています。 国により、仕様が異なる場合があります。 本書に記載されているすべての機能が、お客様の車両に当てはまらない可能性があることにご留意ください。

全体的な注意事項

映像の自動非表示

車両が約 5 km/h 以上で走行しているときは、映像が次のモードで自動的に表示されなくなります。

- テレビモード (文字多重放送)
- DVD ビデオモード

次のメッセージがディスプレイに表示されます。安全のため走行中は表示できません

車両の速度が約 5 km/h 以下になると、映像が再び表示されます。

バックグラウンドビデオモード

ナビのような他のメインメニューが作動しているときは、テレビモードと DVD ビデオモードで次の操作を行なうことができます。 選択した機能についての情報が画面に表示されます。

⏮ スイッチまたは ⏭ スイッチを使用して、以下のことができます。

- テレビのチャンネルを選択する
- シーンまたはチャプターを選択する (DVD ビデオモード)
- 早送りまたは早戻しする (DVD ビデオモード)

メインメニューでテンキーを使用して操作手順が行なわれているときは、次の機能は使用できません。

- チャンネルプリセットからテレビのチャンネルを選択する
- チャンネルプリセットにテレビのチャンネルを登録する

基本設定

明るさ、コントラスト、色合いを調整する

以下は、テレビ、DVD ビデオおよびビデオ AUX モードについての記載です。

▶ テレビまたは DVD ビデオモードで COMAND コントローラーを押して ⊚、メニューを表示させます。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎↓ から、まわして ⟨◎⟩ 、TV、DVD ビデオ、または外部入力を選択し、押して ⊚ 確定します。

メニューが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟨◎⟩、明るさ、コントラスト または カラー を選択し、押して ⊚ 確定します。

画面形式を変更する

以下は、テレビ、DVD ビデオおよびビデオ AUX モードについての記載です。

▶ テレビまたは DVD ビデオモードで COMAND コントローラーを押して ⊚、メニューを表示させます。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ◎↓ から、まわして ⟨◎⟩ 、TV、DVD ビデオ、または外部入力を選択し、押して ⊚ 確定します。

メニューが表示されます。

▶ オート、16：9 表示、4：3 表示、またはワイドスクリーンを選択し、押して ⊛ 確定します。
項目の前のドットは現在選択されている形式を示します。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、設定を選択し、押して ⊛ 確定します。

テレビモード

概要

テレビ機能

COMAND システムを使用して、地上デジタルテレビを受信できます。 これは走行中に、CD 品質のオーディオの再生ととも鮮明で完璧な映像、および光沢のある画質を提供します。
テレビチューナーは以下のテレビ機能をサポートしています。

- SDTV 映像による多チャンネルテレビ
  SDTV（Standard Definition TV：標準画質テレビ） - 標準解像度テレビ
- フルセグメントテレビとしての HDTV
  HDTV（高精細度テレビ）
- ワンセグメントテレビとしての携帯テレビ
- フルセグメントとワンセグメントテレビとの間の自動切換えはそのときの受信状況によって異なります。
- フルセグメントテレビの BML データ受信
- チャンネルスキップ
  テレビチャンネルが同一内容の複数の番組を放送しているときは、"手動でチャンネルを設定する"機能(▷ 264 ページ)を使用してこれらは自動的にスキップされます。
- 以下のサービス
  受信品質によって、テレビチューナーは同じ番組内容でより良い受信状態の代替チャンネルに自動的に切り替えます。
- 電子番組ガイド（EPG）
- 挿入した B-CAS カードの情報表示
- 放送番組メール
- 言語選択のサブタイトル
- 現在の番組の追加情報表示（テロップ）
- 音声言語の選択
  音声言語は"追加オプション"メニューのオーディオ設定で選択することができます。
- 緊急警告システム

ℹ COMAND システムのテレビチューナーは、HDTV（高解像度テレビ）の信号を受信したりデコードしたりできます。 ただし、COMAND ディスプレイではテレビの映像は標準画質で表示されます。
COMAND システムは、双方向機能はサポートしていません。

ℹ 地上デジタルテレビは、UHF/VHF の周波数範囲で受信できます。

受信品質

車両が移動する間に受信状態が絶えず変化することで、信号が遮断されることがあります。 受信状態が悪いときは、COMAND システムは音声を消音したり、映像を停止したりすることがあります。このことを示すために、×印の付いた電波塔のアイコンがディスプレイに表示されます。

ℹ 車内に置かれた携帯型電子機器はテレビの受信を著しく損ねるおそれがあります。

B-CAS カードの情報

デジタル放送の知的所有権の保護のために、受信機器には B-CAS カードを挿入しなければなりません。

このカードはすでに、テレビチューナーに挿入されています。

B-CAS カードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズが所有しています。このカードは、「B-CAS カード使用許諾契約約款（特別内蔵用）」に基づいて運用されています。

さらなる情報はメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

B-CAS カード使用上の注意

- デジタルテレビチューナーから B-CAS カードを抜き取らないでください。

  デジタルテレビチューナーから B-CAS カードを抜き取りたい場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。
- デジタルテレビチューナーに挿入されている B-CAS カードは、地上デジタル放送受信専用です。

  B-CAS カードは、BS（Broadcast Satellite：放送衛星）または 110° CS（Communication Satellite：通信衛星）を介したデジタル放送用の共用受信機器には対応していません。

B-CAS カードが以下の場合には、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にご連絡ください。

- 盗難された場合
- 損傷した場合
- 紛失した場合

ℹ COMAND システムでテレビ放送を受信する前には必ず、「B-CAS カード使用許諾契約約款（特別内蔵用）」をお読みの上、署名が必要となります。

ℹ B-CAS カードを交換した場合は、ID 番号は変更されます。

以下に B-CAS カードの 20 桁の ID 番号があります。

- センターコンソールカバーの内側
- TV チューナーのスロット上のラベル
- "B-CAS カード情報"画面からアクセスできる"他の機能"メニュー（▷ 271 ページ）

ℹ B-CAS カードに関する問い合わせの際は、ID 番号が必要になります。

テレビモードへの切り替え

▶ 押す VIDEO

または

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ から、まわして ⟲◎⟳ 、基本機能バーの TV/映像を選択し、押して ◎ 確定します。

前回選択されていたモードがテレビモードであれば、テレビモードが起動します。

他のモードに切り替わった場合は、ビデオメニューでテレビモードに切り換えます。

▶ TV/映像を選択して、押して ◎ 確定します。
ビデオメニューが表示されます。

例：ビデオメニュー

▶ テレビを選択し、押して ◉ 確定します。
以前選択した TV チャンネルがまだ受信可能な場合、表示されます。

ナビゲーションメニュー

全体的な注意事項

コントロールメニューには以下のことが表示されます。

- 論理チャンネル番号
- チャンネル名称
- 放送番組の名前
- 放送番組に関する情報マーク
- 保存したチャンネルが選択された場合、プリセット番号

ナビゲーションメニューを表示する

ナビゲーションメニュー
① 選択されたテレビチャンネルのプリセット位置
② 論理チャンネル番号（LCN）および選択された TV チャンネル
③ 番組タイトル（現在の放送）
④ 番組情報マーク（可能なとき）

全画面モードとは： コントロールメニューが非表示になり、テレビ画像が表示されています。

▶ 全画面モードで、COMAND コントローラーをスライドします ↑◎↓。

または

▶ テレビモードに切り替えた場合、またはテレビ映像が全画面画像で表示された場合は、VIDEO スイッチを押します。
ナビゲーションメニューが約 8 秒間表示されます。

ℹ COMAND コントローラーを全画面モードでまわしたときは ↺◎↻、コントロールメニューも表示されます。 同時の他のテレビチャンネルが設定されます。(▷ 264 ページ)

ℹ 車両が約 5 km/h 以上で走行しているときは、テレビの映像はオフになり、ナビゲーションメニューが常に表示されます。

論理チャンネル番号（LCN）は 3 または 4 桁で構成されています。

- 1 桁目：テレビの種類（例：フルセグメントテレビ）
- 2 桁目：プリセット番号
- 3 桁目：メインまたはサブ番組

ℹ 同じプリセットを使用している 2 つのチャンネルを受信した場合は、011-0 と 011-1 のように、それらを区別する 4 桁目が追加されます。

ナビゲーションメニューを非表示にする

▶ コントロールメニューが表示されているときは、COMAND コントローラーをスライドします ↑◎↓。

ℹ 約 8 秒後に、メニューは自動的に非表示になります。

番組情報マーク

番組情報マークにより、番組の情報を知ることができます。

以下の表は、利用可能な番組情報マークのリストです（例）。

手	手話付き放送
デ	番組連動データ付き放送
S	ステレオ放送
二	二か国語放送
多	音声多重放送
解	解説あり放送
B	圧縮 B モードステレオ放送
N	ニュース放送
再	確認
新	新番組
字	字幕

ℹ ここにリストされているもの以外のマークがディスプレイに表示されることがあります。 しかし、対応する機能が常に COMAND システムでサポートされているわけではありません。

テレビメニューの表示/非表示

テレビメニュー

テレビの映像は全画面モードで表示されます。

▶ **表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛。

または

▶ ナビゲーションメニューが表示されているときにメニューを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ **非表示にする：** COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ 、押して ⊛、全画面表示 を確定します。

チャンネルの自動記憶（チャンネル検索）

COMAND システムは、日本の ARIB (**A**ssociation of **R**adio **I**ndustries and **B**usinesses：社団法人 電波産業会）規格に従って、十分な受信状態にあるチャンネルを 12 個までそれぞれチャンネルメモリー（テレビ 1、テレビ 2）に自動的に記憶します。 これは受信可能なチャンネルが受信品質の順に記憶されないことを意味します。 プリセットに空きがある可能性もあります。 例として東京でのプリセット 10 です。 メモリーに以前記憶されたいかなるチャンネルも（自動または手動でも）消去されます。

テレビチャンネルは論理チャンネル番号（LCN）と一緒に記憶されます。

受信状態によって、チャンネルプリセットメモリーには以下のものが含まれます。

- フルセグメントテレビのあるチャンネル
- フルセグメントとワンセグメントテレビのあるチャンネル
- ワンセグメントテレビのあるチャンネル

ℹ 定期的にプリセットメモリーを更新してください。 これにより、現在のチャンネル地域の正確な画像を受信します。

P82.87-8424-31

▶ **テレビメニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、プリセットを選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ オートプリセットを選択し、押して ⊛ 確定します。
オートプリセット実行中...のメッセージが表示されます。 COMAND システムが十分な受信状態のチャンネルを探します。 利用可能なチャンネルが自動的にプリセット位置に記憶されます。

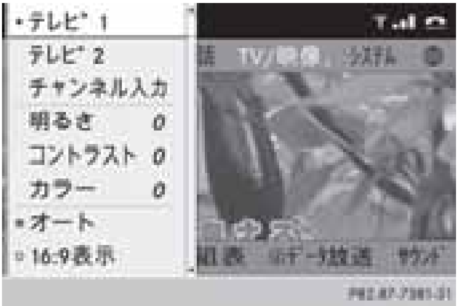
▶ **オートプリセットを終了する：** 記憶処理中に COMAND コントローラーを押します。

テレビ 1 とテレビ 2 の切り換え

P82.87-7293-31

▶ **テレビメニューを表示する：** COMAND コントローラーを押します ⊛。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、テレビ 1 またはテレビ 2 を選択し、押して ⊛ 確定します。
設定メニューが表示されます。



P82.87-7981-31

ドット • は現在の選択を示しています。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎↓、テレビ 1 またはテレビ 2 を選択し、押して ⊛ 確定します。

ℹ 例えば、テレビ 1 には自宅周辺のよく視聴するチャンネルを記憶させます。 他の地域を走行しているときは、例えば、地域のチャンネルを記憶させるためにテレビ 2 を使用できます。

テレビチャンネルの選択

手動でチャンネルを選択する

ℹ チャンネルを手動で選択する前に、まずチャンネル検索 (▷ 262 ページ) からチャンネルを自動で登録しなければなりません。

機能はチャンネルスキップを使用します：テレビチャンネルが同一内容の複数の番組を放送しているときは、チャンネル選択時にこれらはスキップされます。

▶ COMAND コントローラーをまわすか ⟲◎⟳ 、スライドします ←◎→ 。

または

▶ ⏮ または ⏭ ボタンを押します。
テレビチューナーは、前または次のチャンネルを選択します。

ℹ ナビや電話、システム機能では、⏮ または ⏭ スイッチを使用してのチャンネル設定を行なうこともできます。

プリセットにより放送局を選択する

チャンネルプリセット

まず、チャンネル検索または手動 (▷ 265 ページ)から自動テレビチャンネル (▷ 262 ページ) を保存します。

COMAND システムでのチャンネルの選択

▶ **オプション 1：** テレビの映像が表示されているときに、COMAND コントローラーを押します ◎。
テレビメニューが表示されます。

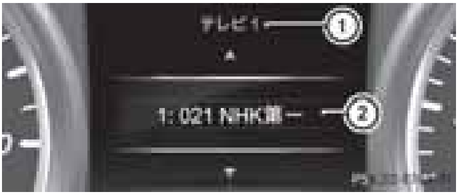
▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、プリセットを選択し、押して ◎ 確定します。
放送局プリセットメモリーが表示されます。 プリセット位置の前にあるドット ● は、現在選択されているチャンネルがそこに保存されていることを示しています。

▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、放送局を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ **オプション 2：** 2 などのテンキーを軽く押します。
コントロールメニューが約 8 秒間表示されます。

ℹ 記憶されているチャンネルの番号のみを選択できます。

ℹ ナビや電話、システム機能のときは、 テンキーを使用してチャンネルを設定することもできます。 しかし、これは文字入力メニューでは機能しません。



例：マルチファンクションディスプレイ

① チャンネル帯 テレビ 1 またはテレビ 2

② 現在プリセットおよび論理チャンネル番号で選択されているチャンネル

マルチファンクションステアリングを使用してのチャンネルの設定

▶ COMAND システムでテレビモードに切り替えます(▷ 260 ページ)。

▶ [◀] [◂] または [▶] スイッチを押して、オーディオ メニューを選択します。

▶ [▲] または [▼] スイッチを軽く押します。
次または前のプリセット位置のチャンネルが選択されます。

▶ [▲] または [▼] スイッチを押して保持します。
手動チャンネルサーチが開始され、受信可能な次のチャンネルで停止します。

チャンネルを入力してのチャンネルの選択

▶ **オプション 1：** テレビの映像が表示されているときに、COMAND コントローラーを押します ⊛。
テレビメニューが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ❨◎❩ 、テレビ 1 またはテレビ 2 を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ チャンネル入力を選択して、押して ⊛ 確定します。
設定メニューが表示されます。

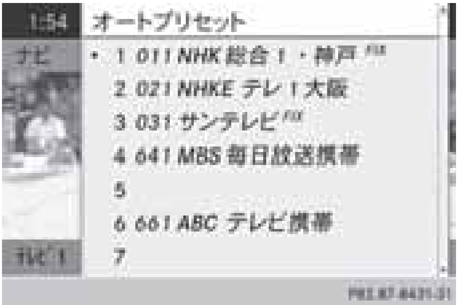
▶ **オプション 2：** テレビ再生中に [✱] スイッチを押します。
どちらのオプションでも、スクリーン上部に入力バーが表示されます。

▶ **チャンネル番号を入力する：** 対応するテンキーを押します。
4 桁を入力すると、COMAND システムは自動的に適切なチャンネルを選択します。

ℹ 例えば 2 7 などの最初の 2 桁を入力し、確定すると ⊛、次の 2 桁が自動的に 0 1 と入力されます。
13 ～ 52（を含む）数字範囲で始まらないチャンネルを入力すると、チャンネルをお確かめくださいメッセージが表示されます。

▶ **メッセージを確認する：** COMAND コントローラーを押します ⊛ 。

テレビチャンネルの記憶



チャンネルメモリーテレビ 1 またはテレビ 2 のチャンネルはチャンネル検索 (▷ 262 ページ) で自動的に最適に記憶されます。このように、日本の ARIB (Association of Radio Industries and Businesses：社団法人電波産業会）規格に従って十分な受信状態のチャンネルが 12 個まで登録されます。

手動でもテレビ 1 および テレビ 2 それぞれに 12 のチャンネルを登録することができます。

TV/映像

▶ **オプション 1：** テレビの映像が表示されているときに、COMAND コントローラーを押します ⊚。

テレビメニューが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、プリセットを選択し、押して ⊚ 確定します。
放送局プリセットメモリーが表示されます。 プリセット位置の前にあるドット ● は、現在選択されているチャンネルがそこに保存されていることを示しています。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、好みのプリセット位置を選択します。

▶ 確認音が聞こえるまで COMAND コントローラーを押して ⊚ 保持します。

選択したプリセット位置にチャンネルが記憶されます。 そしてテレビ画面が再び表示されます。

▶ **オプション 2：** テレビ映像が表示されているときに、確認音が聞こえるまで 2 のようなテンキーを押して保持します。
対応するプリセット位置にチャンネルが記憶されます。

以下のサービス

機能で作動： 受信状況によって以下のようにテレビチューナーが切り替わります。

- フルセグメントとワンセグメントテレビ間で自動的に
- より良い受信状態で同じ番組内容の代替チャンネルに

これにより、最適なテレビの映像がすべての受信状況で表示することができます。

機能で解除： チャンネルは変わりません。 重なっている受信範囲内を走行しているような状況では、これは役に立ちます。 これによりチャンネル間で後ろや前に切り替わることを避けることができます。

チャンネルを手動で記憶させる場合、FIX(▷ 265 ページ) 表示灯でチャンネルメモリー内に表示されます。

以下の場合、FIX 表示灯がテレビ映像内に表示されます。

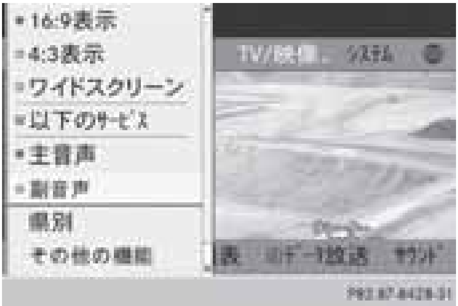
- 機能が作動解除されている
- 以前手動で記憶したチャンネルメモリーからチャンネルを選択すると、この表示灯でマークされます。

▶ **テレビメニューを表示する：** テレビの映像が表示されているときに、COMAND コントローラーを押します ⊚。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、テレビ 1 またはテレビ 2 を選択し、押して ⊚ 確定します。

▶ 以下のサービス を選択し、押して ⊚ 確定します。
以前の選択によって、機能をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。

オーディオ設定



音声多重放送が受信可能な場合、聞きたい音声チャンネルを選択できます。主音声を使用してメインチャンネルを選択で

きます。副音声を使用して補助的な音声を選択できます。

オーディオ設定は"その他の機能"メニューを使用しても行なうことができます。 そこで行なわれた変更は主音声 および 副音声にも適用されます。 ここで記載された設定は、"その他の機能"メニューのオーディオ設定にも影響があります。

▶ **テレビメニューを表示する：** テレビの映像が表示されているときに、COMAND コントローラーを押します ⊚。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、テレビ 1 またはテレビ 2 を選択し、押して ⊚ 確定します。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、主音声 または 副音声 を選択し、押して ⊚ 確定します。
項目の前にあるドット ● は選択した設定を示しています。

現在の番組および番組予告の表示

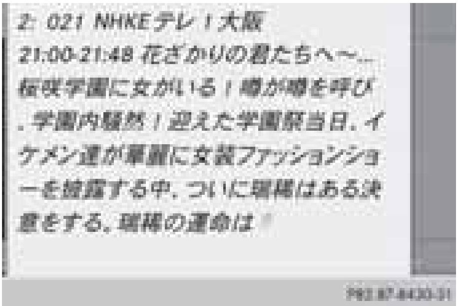
フルセグメントテレビ： 視聴しているチャンネルの、現在の番組および 12 番組先までの内容を表示できます。

ワンセグメントテレビ： 現在の番組の内容および、現在選択しているチャンネルによって、最大 10 番組先までの内容を表示できます。

▶ **テレビメニューを表示する：** テレビの映像が表示されているときに、COMAND コントローラーを押します ⊚。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、番組表を選択し、押して ⊚ 確定します。
電子番組ガイドは以下の情報を表示します。
- プリセット、論理チャンネル番号および放送局名
- 放送時間
- 番組名
- 番組情報マーク（可能なとき）

▶ **番組情報を表示する：** COMAND コントローラーをスライドするか ↑◎↓、回して 〔◎〕、番組を選択し、押して ⊚ 確定します。



▶ **マルチページ情報を表示する：** COMAND コントローラーを回します〔◎〕。

▶ **一つ前の画面に戻る：** COMAND コントローラーの左側のリターンスイッチ ↩ を押します。

または

▶ COMAND コントローラーを押します ◉。

データの受信

全体的な注意事項

番組やテレビ受信状況によっては、常にデータを受信できるわけではありません。

COMAND システムのテレビ機能は以下のものには対応していません。

- ワンセグデータの受信
- 双方向データの受信

BML データサービスの映像の設定

この設定は、主に都道府県からのテレビチャンネルおよび BML データを受信するために使用できます。

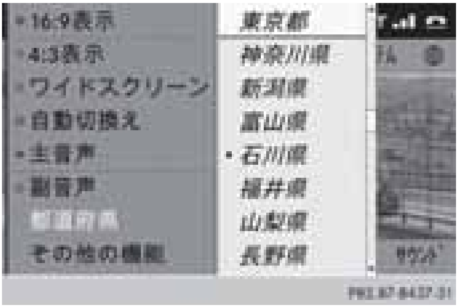
これにより、例えば、東京の NHK 総合チャンネルが選択されているときも、都道府県リストで選択することにより、石川県の天候データを表示できます。

▶ **テレビメニューを表示する：** テレビの映像が表示されているときに、COMAND コントローラーを押します ◉。

▶ COMAND コントローラーをまわして〔◎〕、テレビ 1 またはテレビ 2 を選択し、押して ◉ 確定します。

▶ 県別を選択して、押して ◉ 確定します。

データ受信の都道府県リストが表示されます。 項目の前のドット ● は現在選択されている都道府県を示しています。



データ受信の都道府県リスト

▶ COMAND コントローラーをまわして〔◎〕、データを受信する都道府県を選択し、押して ◉ 確定します。

データの内容を表示する

テレビメニューを表示する：

▶ テレビの映像が表示されているときに、COMAND コントローラーを押します ⊛。

データ内容のメニュー項目を選択する

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、d データ放送を選択し、押して ⊛ 確定します。
データの内容が表示されます。

ℹ 受信状態が悪いときは、d データ放送は灰色で表示され選択できません。

ℹ データの内容を受信して適切なページが表示されるまでに時間がかかる場合があります。

▶ COMAND コントローラーをスライドする ↑◎↓ か、←◎→ して、メニュー項目を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ データの内容が表示されているときに、COMAND コントローラーをまわします 〔◎〕。
画面の下部に、メニューバーが表示されます。

カラーメニュー項目を選択する

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、青、赤、緑、または黄を選択します。

▶ 押して ⊛ 確定します。
受信するデータの内容によっては、内容が、青・赤・緑・黄の異なる色で表示されることがあります。 内容は、それぞれのチャンネルによって異なります。

メニューバーを非表示にする

▶ メニューバーが表示されているときに、COMAND コントローラーをスライドします ↑◎↓。

TV/映像

一つ前のコンテンツのページに戻る

▶ コンテンツのページを表示させて、COMAND コントローラーをまわして 🔘、メニューバーで ページアップ を選択し、押して 確定します。

または

▶ COMAND コントローラーの左にあるリターンスイッチ [↩] を軽く押します。

データ受信を終了してテレビ放送に戻る

▶ メニューバーを表示させて、COMAND コントローラーをまわして 🔘、テレビを選択します。

または

▶ COMAND コントローラーの左側にあるリターンスイッチ [↩] を押して保持します。

その他の機能

概要

この機能を使用して以下のことができます。

- B-CAS カードの情報を表示する
- 放送番組メールから追加情報を受信する
- オーディオチャンネルおよび音声言語を選択し、言語選択のサブタイトルのオン / オフを切り替える
- 解説 / 追加情報を言語選択（テロップ）でオン / オフを切り替える
- 緊急警告システム（EWS）のオン/オフの切り替え

"TV -その他の機能" メニュー

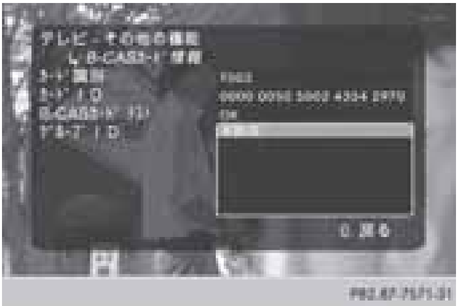
▶ **メニューを呼び出す：** テレビの映像が表示されているときに、COMAND コントローラーを押します 。

▶ COMAND コントローラーをまわして 🔘 、テレビ 1 またはテレビ 2 を選択し、押して 確定します。

▶ その他の機能 を選択し、押して 確定します。
"テレビ - その他の機能" メニューが表示されます。

▶ **メニューを終了する：**0. 中止 を選択し、押して 確定します。

B-CAS カードの情報を表示する



以下の情報を表示することができます。

- メーカー ID とカードのバージョンのあるカード識別
- ID 番号
- テスト情報（OK または OK ではない）
- グループ ID（可能なとき）

ℹ グループ ID が使用可能でない場合、未設定. が表示されます。

▶ **メニューを表示する：** テレビの映像が表示されているときに、COMAND コントローラーを押します ⊙。
テレビメニューが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、テレビ 1 またはテレビ 2 を選択し、押して ⊙ 確定します。

▶ その他の機能 を選択し、押して ⊙ 確定します。
"その他の機能" メニューが表示されます。

▶ B-CASｶｰﾄﾞ 情報 を選択し、⊙ で確定します。
ID 番号とさらなる情報が表示されます。

▶ **表示を終了する：**0. 戻る を選択して、⊙ で確定します。

放送番組メール

放送番組メールによって放送会社からさらなる情報を一方向で受信することができます。

▶ **メニューを表示する：** テレビの映像が表示されているときに、COMAND コントローラーを押します ⊙。
テレビメニューが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、テレビ 1 またはテレビ 2 を選択し、押して ⊙ 確定します。

▶ その他の機能 を選択し、押して ⊙ 確定します。
"その他の機能" メニューが表示されます。

▶ 放送メール を選択し、押して ⊙ 確定します。
日時のあるリストに使用可能な e-mail のメッセージが表示されます。

▶ **e-mail を読む：** COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、e-mail を選択し、押して ⊙ 確定します。
メールの内容が表示されます。

▶ **メールを削除する：**1. 削除を選択し、⊙ で確定します。

▶ はい または いいえ を選択します。
はいを選択して、メールを削除します。
いいえ を選択して、削除を取り消します。

▶ **機能を終了する：**0. 戻る を選択して、⊙ で確定します。

音声言語、字幕およびテロップの選択

P82.87-8432-31

▶ **メニューを表示する：** テレビの映像が表示されているときに、COMAND コントローラーを押します。
テレビメニューが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎ 、テレビ 1 またはテレビ 2 を選択し、押して 確定します。

▶ その他の機能 を選択し、押して 確定します。
"その他の機能" メニューが表示されます。

▶ 言語と字幕を選択し、押して 確定します。
メニューが表示されます。

音声言語の選択

▶ 音声言語 を選択し、押して 確定します。
使用可能であれば、例えば英語のように現在の番組の音声言語を選択することができます。

▶ 言語を選択し、押して 確定します。

▶ **メニューを終了する：** 0. 戻る を選択し、 で確定します。

字幕の選択

▶ 字幕言語 を選択し、押して 確定します。
字幕のオン/オフを切り替えることができます。 字幕をオンにすると、例えば英語のように現在の番組の字幕を選択することができます。

▶ 字幕言語 を選択し、押して 確定します。
字幕のオン ☑ またはオフ ☐ を切り替えます。

▶ 言語を選択し、押して 確定します。
使用可能であれば、字幕は選択した言語で表示されます。

▶ **メニューを終了する：** 0. 戻る を選択し、 で確定します。

テロップの選択

▶ テロップ を選択し、押して 確定します。
テロップのオン/オフを切り替えることができます。 テロップをオンにすると、例えば英語のように現在の番組のコメント / 追加情報を選択することができます。

▶ テロップ を選択し、押して 確定します。
テロップをオン ☑ またはオフ ☐ にします。

▶ 言語を選択し、押して 確定します。
使用可能であれば、追加情報または解説が選択した言語で表示されます。

▶ **メニューを終了する：** 0. 戻る を選択し、 で確定します。

ℹ 字幕およびテロップは、初期状態ではオフです。
字幕または テロップ（使用可能であれば）機能がオンの場合、番組が変わった後も表示されます。

緊急警告システム（EWS）

メッセージ例

▶ **EWS のオン/オフを切り替える：** テレビの映像が表示されているときは、COMAND コントローラーを押します。

▶ COMAND コントローラーをまわして、テレビ 1 またはテレビ 2 を選択し、押して確定します。

▶ その他の機能 を選択し、押して 確定します。

▶ 設定 を選択し、押して 確定します。

▶ 緊急放送自動選局を選択し、押して 確定します。
以前の選択によって、機能をオン ☑ またはオフ ☐ に切り替えます。

機能がオンのとき： テレビチューナーが受信したチャンネルの 1 つ以上から EWS 信号を受信した場合は、このチャンネルに切り替わります。

災害の警告時には、メッセージの受信は、まず音で知らされ、その後現在の番組に文字や図形情報が表示されます。チャンネルは、その後特別番組に切り替えることができます。 別の災害警告が出てくる場合、使用可能な任意の情報だけでなく、活用するための適切な措置が含まれます。

DVD ビデオモード

重要な安全上の注意

⚠ 警告

COMAND システムはクラス 1 のレーザー製品に分類されています。ケースは決して開けないでください。ケースを開いたり、あるいはケースが故障または損傷している場合には、目に見えないレーザー放射にさらされることにより、目にけがをするおそれがあります。

COMAND システムにはお客様が整備できる部品は含まれていません。安全上の理由から、すべてのメンテナンス作業はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

⚠ 事故のおそれがあります

以下の操作は、車両が停止しているときにのみ行ってください。

- データキャリアの挿入
- ディスクの取り出し

走行中にディスクの挿入や取り出しを行うと、道路状況や交通事情に対する注意力が散漫になるおそれがあります。

ディスクに関する注意事項

! ディスクにシールやラベルを貼らないでください。剥がれて、COMAND システムを損傷するおそれがあります。シールはディスクが曲がる原因となり、読み取りエラーやディスク認識不良につながるおそれがあります。

! COMAND システムは、EN 60908 規格に準拠するディスクを再生するように設計されています。そのため、厚さが最大で 1.3mm までのディスクのみ使用できます。

それより厚みのあるディスク、例えば両面にデータが記録されているディスク(片面に DVD、もう片面にオーディオデータなど)を挿入すると、取り出すことがで

きなくなり、機器を損傷するおそれがあります。

12cm 径の円形ディスクのみを使用してください。8cm 径のディスクはアダプタを装着しても使用しないでください。

コピーされたディスクを再生する場合は、再生の問題に直面することがあります。 多くの種類のディスク、DVD オーサリングソフト、ライティングソフト、ライターが利用できます。 この多様性のため、お客様自身でコピーしたディスクをシステムが再生できることについての保証はありません。

DVD の再生条件

COMAND システムは以下の規格に基づいて作成された DVD ビデオを再生できます。

- リージョンコード 2 またはリージョンコード 0（リージョンコードなし）
- PAL または NTSC 規格

DVD ビデオが PAL または NTSC 規格に準じていない場合は、映像、音または再生に問題を生じることがあります。

関連のある詳細は、通常 DVD のディスク本体または DVD ケースにあります。

ℹ 別のリージョンコードの DVD ビデオを挿入すると、それに対応するメッセージが表示されます。

ℹ COMAND システムは出荷時にリージョンコード 2 に設定されています。 この設定はメルセデス・ベンツ指定サービス工場で変更することができます。 これにより、PAL または NTSC 規格で作成されたものであれば、他のリージョンコードの DVD ビデオを再生できます。 リージョンコードは最高 5 回まで変更することができます。

機能の制限

DVD によっては、一部の機能または操作が、一時的に利用できなかったり、またはまったく機能しない場合があります。 これらの機能や操作を実行しようとすると、画面に ⃠ マークが表示されます。

DVD の挿入と取り出し

▶ "CD/DVD の挿入と取り出し" (▷ 218 ページ) に記載されているように進めます。

DVD ビデオモードへの切り替え

オプション 1

▶ DVD ドライブに DVD ビデオを挿入します。
COMAND システムが挿入されたメディアを読み取って、再生を開始します。

オプション 2

▶ COMAND コントロールパネルの VIDEO スイッチを押します。

または

▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ◖◎◗ 、基本機能バーの TV/映像を選択し、押して ◎ 確定します。

2 つのバリエーション： DVD ビデオが最後に選択されたモードの場合は、DVD ビデオが作動します。

別のビデオソースに切り替わった場合は、TV/映像メニューで DVD ビデオモードに切り換えます。

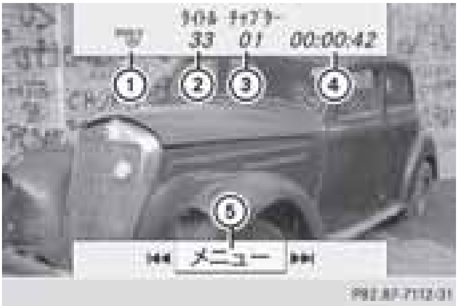
▶ **TV/映像メニューでオンにする：** COMAND コントローラーをスライドしてから ↑◎、まわして ◖◎◗、 基本

機能バーで TV/映像 を選択し、押して ⊛ 確定します。
ビデオメニューが表示されます。

▶ DVD ビデオを選択し、押して ⊛ 確定します。

コントロールメニューの表示/非表示

DVD メニューが表示されている場合は、この機能は使用できません(▷ 277 ページ)。



コントロールメニューの表示

① データメディアの種類
② 現在のトラック
③ 現在のシーン
④ 経過時間
⑤ メニューの表示

▶ **表示する：** DVD ビデオモードで、COMAND コントローラーをスライドします ↑◎↓。

▶ **非表示にする：** COMAND コントローラーをスライドするか ↑◎↓、[↩] スイッチを押します。

または

▶ 約 8 秒待ちます。

メニューの表示/非表示

DVD メニューが表示されている場合は、この機能は使用できません(▷ 277 ページ)。

表示されたメニュー

① DVD ビデオオプション
② 一時停止機能
③ 停止機能
④ メディアの選択
⑤ サウンドの設定

▶ **表示する：** 全画面 DVD ビデオモードで、COMAND コントローラーを押します ⊛。

または

▶ コントロールメニューが表示されている間に メニュー を選択し、押して ⊛ 確定します。

▶ **非表示にする：** COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ 、押して ⊛、全画面表示 を確定します。

早送り/早戻し

▶ 全画面 DVD ビデオモードで、希望の位置に達するまで COMAND コント

ローラーをスライドして ←◎→、保持します。

または

▶ 希望の位置になるまで、⏮ または ⏭ スイッチを押して保持します。
コントロールメニューが表示されます。

停止機能

▶ メニューを表示します (▷ 275 ページ)。

▶ **再生を中断する：** COMAND コントローラーをまわして ◎、■ を選択し、押して 確定します。
⏸ の表示が ▶ に変わります。 ビデオ映像が消えます。

▶ **再生を再開する：** ▶ を選択し、押して 確定します。
中断された場所から再生が再開されます。

▶ **再生を停止する：** 再生が中断しているときに再度 ■ を選択し、押して 確定します。

または

▶ 再生中に、素早く 2 回続けて押して、■ を確定します。
▶ が選択されます。

▶ **再生を再び開始する：** 押して、▶ を確定します。
再生が先頭から開始されます。

一時停止機能

▶ メニューを表示します (▷ 275 ページ)。

▶ **再生を一時停止する：** COMAND コントローラーをまわして ◎、⏸ を選択し、押して 確定します。
⏸ の表示が ▶ に変わります。

▶ **再生を再開する：** ▶ を選択し、押して 確定します。
メニューが消えます。

シーン/チャプターの選択

映像が複数のシーンまたはチャプターに分割されている場合は、再生中に直接それらを選択したり、1 つずつ次にスキップさせることができます。 一部の DVD には、特定の箇所でこのことを行なうことができません（オープニングクレジット中など)。

また、DVD 内に記録されているメニュー内からシーン/チャプターを選択することもできます。

ⓘ DVD によっては、この機能はまったく利用できない、または DVD メニューで利用できない箇所があります。 そのことを示すために、画面に ⊘ マークが表示されます。

▶ **前または後にスキップする：** 全画面モードで、COMAND コントローラーをまわすか ◎、またはスライドします ←◎→。

または

▶ コントロールパネルにある ⏮ または ⏭ スイッチを押します。
コントロールメニュー (▷ 261 ページ) は約 8 秒間表示されます。

▶ **マルチファンクションステアリングで：** COMAND システムで DVD ビデ

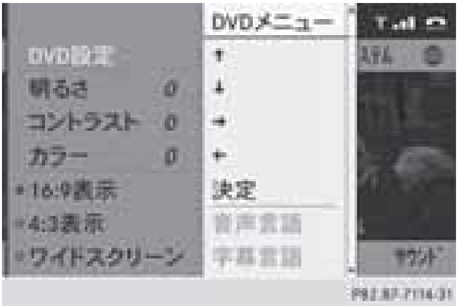
オモードをオンにします (▷ 274 ページ)。

▶ ◀ または ▶ スイッチを使用して、オーディオ メニューを選択します。

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、シーン/チャプターを選択します。

▲ または ▼ スイッチを押して一定時間保持すると、高速スクロールが始まります。

映像/タイトルの選択



DVD 機能メニュー

この機能は、DVD が複数の映像/タイトルに分割されている場合にのみ利用できます。 DVD に複数の映像が含まれている場合には、これらを直接選択することができます。 映像は、DVD が再生中でも、停止していても選択できます。

映像は DVD のディスク本体にあるメニューからも選択できます。

▶ メニューを表示します (▷ 275 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、DVD を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ DVD 設定を選択し、押して ◎ 確定します。
DVD 機能メニューが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、タイトルサーチを選択し、押して ◎ 確定します。

▶ 映像/タイトルを選択し、押して ◎ 確定します。

DVD メニュー

DVD メニューを呼び出す

DVD メニューは DVD 本体に記録されているメニューです。 このメニューは、個々の DVD によってさまざまな方法で構成されていて、特定の動作や設定を行なうことができます。

例えば、マルチランゲージ DVD の場合、DVD メニューで DVD の言語を変更することができます。

▶ メニューを表示します (▷ 275 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、メニューにある DVD を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ DVD 設定を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ DVD メニューを選択し、押して ◎ 確定します。
DVD メニューが表示されます。

DVD メニューでメニュー項目を選択する

▶ DVD メニューを表示します (▷ 277 ページ)。
▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎↓、←◎→、メニュー項目を選択し、押して ◎ 確定します。
メニューが表示されます。
▶ **選択した内容を再確認する：** 押して ◎、選択 を確定します。
必要に応じて、詳細オプションから選択を行ないます。
その後、COMAND システムは DVD メニューに戻ります。

ℹ 選択できないメニュー項目は灰色で表示されます。

ℹ DVD によっては、ビデオに戻る、プレイ、ストップ、⏮、⏭ または 上へ のメニュー項目がまったく機能しなかったり、DVD メニューのいくつかの箇所で機能しないことがあります。 そのことを示すために、画面に ⊘ マークが表示されます。

DVD メニューの 1 つ上の階層に移動する

▶ DVD メニューを表示します (▷ 277 ページ)。
▶ DVD メニューの中の対応するメニュー項目を選択し、COMAND コントローラーを押して ◎ 確定します。

または

▶ DVD メニューの中の任意のメニュー項目を選択し、COMAND コントローラーを押して ◎ 確定します。
▶ 上へを選択し、押して ◎ 確定します。

映像に戻る

▶ 映像が再開されるまで、リターンスイッチ [↶] を繰り返し押します。

または

▶ DVD メニューから対応するメニュー項目を選択します。
▶ メニューでメニュー項目 ビデオに戻る を選択し、押して ◎ 確定します。

言語とオーディオフォーマットの設定

この機能は、すべての DVD で利用できないことがあります。 利用可能であれば、音声言語やオーディオフォーマットを設定できます。 設定数は DVD のコンテンツによります。 DVD メニュー (▷ 277 ページ) でこの設定を行なうこともできます。

▶ DVD メニューを表示します (▷ 277 ページ)。
▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、メニューにある DVD を選択し、押して ◎ 確定します。
▶ DVD 設定を選択し、押して ◎ 確定します。
▶ 音声言語 を選択し、押して ◎ 確定します。
しばらくするとメニューが表示されます。 項目の前にあるドット ● は現在選択されている言語を示しています。
▶ COMAND コントローラーをまわして ⟲◎⟳ 、設定を選択し、押して ◎ 確定します。

字幕とカメラアングル

この機能は、すべての DVD で利用できないことがあります。 利用可能な字幕言

語およびカメラアングルの数は、DVD のコンテンツによります。 DVD メニュー(▷ 277 ページ) でこの設定を行なうこともできます。

- DVD メニューを表示します (▷ 277 ページ)。
- COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、メニューにある DVD を選択し、押して ◎ 確定します。
- DVD 設定を選択し、押して ◎ 確定します。
- 字幕言語またはアングルを選択し、押して ◎ 確定します。

  どちらの場合も、メニューが表示されます。 項目の前にあるドット ● は現在の設定を示しています。
- COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、設定を選択し、押して ◎ 確定します。

インタラクティブコンテンツ

DVD によっては、インタラクティブコンテンツ（例：ビデオゲーム）が収録されていることがあります。 ビデオゲームでは、例えばアクションを選択または開始することによってイベントに影響を与えることができます。 アクションの種類と数は DVD によって異なります。

- COMAND コントローラーをスライドして ↑◎↓、←◎→、アクションを選択し、押して ◎ 実行します。

  メニューが表示され、最初の項目選択が強調されます。
- COMAND コントローラーを押します ◎。

ビデオ AUX 操作

外部ビデオソースを接続する

⚠ **事故のおそれがあります**

外部ビデオソースはさまざまな音量になっているため、交通案内やナビゲーション音声案内などのシステムメッセージが非常に大きくなることがあります。必要に応じてシステムメッセージを無効にするか、音量を手動で調整してください。

車両にメディアインターフェースが装備されている場合は、外部ビデオソースを接続することができます。

外部ビデオソースをメディアインターフェースに接続するには、追加のオーディオ/ビデオケーブルセットが必要です。

詳細は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

接続ソケットはセンターコンソールの小物入れにあります。

オーディオ/ビデオソケット
① ビデオポート (V) (黄)
② オーディオポート (L) (白)
③ オーディオポート (R) (赤)

ℹ 正しく再生するには、適合するビデオ規格が外部ビデオソースに設定されていなければなりません。

- 外部機器を対応するポートに接続します。

ビデオ AUX モードに切り替える

ビデオ AUX モード

▶ メディアインターフェースモードが選択されるまで AUDIO 機能スイッチを繰り替えし押します。

または

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ から、まわして ⟲◎⟳ 、基本機能バーの TV/映像を選択し、押して ◎ 確定します。

前回選択されていたモードがビデオ AUX モードであれば、ビデオ AUX モードが起動します。

別のビデオソースに切り替わった場合は、ビデオメニューでビデオ AUX モードに切り換えます。

▶ TV/映像を選択して、押して ◎ 確定します。

▶ 外部入力を選択して、押して ◎ 確定します。
ビデオ AUX メニューが表示されます。 外部ビデオソースが接続され、再生されていれば、外部ビデオソースのコンテンツを視聴できます。

メニューの表示/非表示

▶ **表示する：** ビデオ AUX モードで、COMAND コントローラーを押します ◎。

▶ **非表示にする：** COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ 、押して ◎、全画面表示 を確定します。

音量とサウンドの設定

情報：

• 音量の設定 (▷ 25 ページ)

• サウンドの設定(▷ 25 ページ)

⚠ 事故のおそれがあります

外部ビデオソースはさまざまな音量になっているため、交通案内やナビゲーション音声案内などのシステムメッセージが非常に大きくなることがあります。必要に応じてシステムメッセージを無効にするか、音量を手動で調整してください。

ℹ 外部ビデオソースとして接続されている機器は、車内では静かにまたはうるさくなったり、または通常の最大音量が得られないことがあります。 機器によっては、音量を個別に調整できる場合もあります。 この場合には、適度な音量から少しずつ音量を上げていきます。 これによって、システムが歪みのない大きな音量で音楽再生が可能かどうかを確認することができます。

COMAND システムの音量を上げる

▶ ビデオ AUX メニューを表示します (▷ 280 ページ)。

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、音量 を選択し、押して 確定します。
メニューが表示されます。 ドット ● は現在の設定を示します。

▶ 標準 または ブースト を選択し、押して 確定します。
標準：外部ビデオソースの音量を標準値に調整します。
ブースト：外部ビデオソースの音量を約 10 dB 増加させます。

画像ビューワー

概要

作動しているデータメディアに画像がある場合は、それらを表示できます。2000 万画素までの解析度の画像を表示できます。

データメディア	サポートされている画像フォーマット
画像ファイルのある CD/DVD	jpeg、jpg
USB 機器 (スティック、ハードドライブ) SD メモリーカード	jpeg、jpg

カテゴリーリストを呼び出す

▶ 以下のように画像のあるデータメディア（例：メモリーカード）を選択します。
- オーディオメニュー (▷ 214 ページ)
- メディアリスト (▷ 222 ページ)

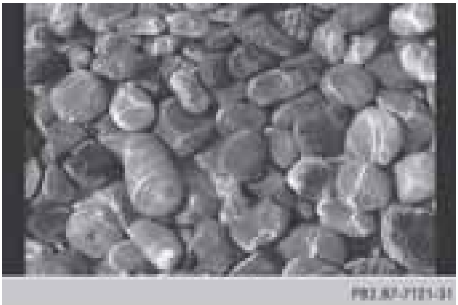
▶ COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓ まわして ◎、基本画面で ミュージックサーチ を選択し、押して 確定します。
カテゴリーリストが表示されます (▷ 230 ページ)。

画像を表示する

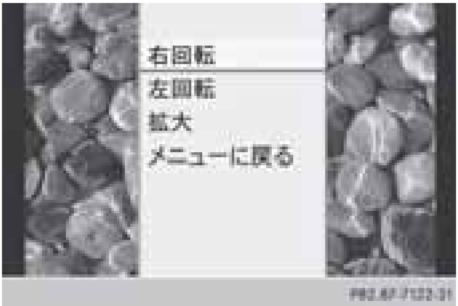
▶ COMAND コントローラーをまわして ◎、カテゴリーリストで (▷ 230 ページ)写真 を選択し、押して 確定します。
フォルダのディレクトリが表示されます。

▶ 写真のあるフォルダを選択し、押して 確定します。
フォルダは既存の画像ファイル (例) を表示します。

▶ 写真を選択し、押して ◎ 確定します。
写真が表示され、音楽が停止します。



画像表示を変更する



▶ 画像を表示している間に(▷ 281 ページ)、COMAND コントローラーを押します ◎。
メニューが表示されます。

▶ **画像を時計回りにまわす：** COMAND コントローラーを押して ◎、右回転 を確定します。

▶ **映像を反時計回りにまわす：** COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、左回転 を選択し、押して ◎ 確定します。

▶ **画像を拡大する：** COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、拡大 を選択し、押して ◎ 確定します。
画像を拡大した後に、画像部分を動かすことができます。

▶ COMAND コントローラーをスライドします ↑◎↓、←◎→。

▶ **元のサイズに戻す：** COMAND コントローラーを押します ◎。

または

▶ リターンスイッチ [↩] を押します。

画像ビューワーを終了する

▶ COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、メニューで メニューに戻る を選択し、押して ◎ 確定します。

- **音楽の再生を開始する：** 押して ⓢ、ミュージックサーチ を確定します。
カテゴリーリストが表示されます (▷ 230 ページ)。
- COMAND コントローラーをまわして 〔◎〕、カテゴリーを選択し、押して ⓢ 確定します。
- 音楽の再生が始まるまで、カテゴリー（例：トラック、アルバム）内で他の項目を選択します。

COMAND システムの特徴 286
概要 286
基本機能 293
システムの設定 295
音楽 CD/DVD オーディオおよび MP3 モード 296
テレビモード 302
DVD ビデオモード 307
COMAND システムのソースモードの作動 313
外部入力モード 315

COMAND システムの特徴

本補足版は、印刷時点で利用可能なCOMAND システムのすべての標準装備やオプション装備について記載しています。 国により、仕様が異なる場合があります。 本書に記載されているすべての機能が、お客様の車両に当てはまらない可能性があることにご留意ください。

概要

重要な安全上の注意

⚠ **警告**

リアエンターテインメントシステムのCD / DVD ドライブはクラス 1 のレーザー製品です。 ケースを開けたり、ケースを損傷させた場合には、目に見えないレーザー放射により、目にけがをするおそれがあります。

カバーを取り外さないでください。 リアエンターテインメントシステムの CD / DVD ドライブには、お客様がご自身で修理できるような部品は含まれていません。 安全上の理由から、点検や修理作業は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

⚠ **警告**

車両を運転しているときには、運転者はけっしてリアエンターテインメントシステムのヘッドセットを装着しないでください。 運転中にヘッドホンを使用すると、周囲から受ける聴覚刺激（例えば、警察車 / 消防車 / 救急車などのサイレン、他車のホーンなど）に反応する能力が著しく損なわれます。

⚠ **警告**

使用しないヘッドホン / ヘッドセットまたは外部映像機器などは、急ブレーキや急ハンドル、あるいは事故発生時に車内に投げ出されないように、安全な場所（車内の小物入れなど）に保管しておいてください。 車内に固定されずに置かれている物によってけがをするおそれがあります。

⚠ **警告**

首に巻きつくおそれがあるため、子供がコード付きヘッドホンを使用するときは大人の注意と監視が必要です。

構成部品

リアエンターテインメントシステムの構成部品は以下のとおりです。

- フロントシートのヘッドレストの後背面の 2 つの画面
- リモコン
- CD/DVD ドライブ
- 両方のディスプレイの外部入力端子（ディスプレイ外部入力端子）およびCD/DVD ドライブの外部入力端子（ドライブ外部入力端子）
- 2 組のコードレスヘッドホン

後席用ディスプレイ

① AUX ジャック、"CD/DVD ドライブと AUX ジャック"の詳細表示(▷ 289 ページ)。
② ディスプレイ

リモコン

概要

① ディスプレイのオン/オフを切り替える
② スイッチ照明のオン/オフを切り替える
③ リモコン操作を行なうディスプレイを選択する
④ メニューまたはメニュー項目を選択する
⑤ 選択または設定を確定する
⑥ サウンドのオン/オフを切り替える（コード付きヘッドホン）
⑦ 音量を調整する（コード付きヘッドホン）
⑧ スキップしたり、早送り・早戻しする
⑨ トラックを選択する、トラックを直接入力する
⑩ メニューを終了する (戻る)

リモコンで画面を選択する

リモコンを使用して、2 つのうちの 1 つの後席用ディスプレイを一度に操作できます。 そのためには、リモコンを希望のディスプレイに切り替えなくてはなりません。

▶ 左側ディスプレイを選択する："REAR L" がウインドウで強調されるまで、ダイヤル ① をまわします。

▶ 右側ディスプレイを選択する： "REAR R" がウインドウで強調されるまで、ダイヤル ① をまわします。

ディスプレイのオン/オフを切り替える

エンジンスイッチのキーが **0** または **1** の位置にあるとき (車両の取扱説明書をご覧ください)、またはキーが差し込まれていないときは、30 分後にリアのディスプレイが消えます。 ディスプレイが消える前に、この結果に関するメッセージが表示されます。

ディスプレイをオンに戻すことができます。 ただし、これにより始動用バッテリーが上がることがあります。

▶ リモコン操作で選択した後席用ディスプレイにリモコンを向けます。

▶ リモコンのスイッチ ① を押します。

それぞれの後席用ディスプレイのオン/オフが切り替わります。

ℹ イグニッションがオンのときにのみ、リモコンを使用してディスプレイをオンにできます。

スイッチ照明のオン/オフを切り替える

▶ リモコンのスイッチ ① を押します。

以前の状態に応じて、スイッチ照明のオン/オフが切り替わります。

ℹ リモコンを約 15 秒間操作しないでいると、スイッチ照明は自動的に消えます。

サウンドのオン/オフを切り替える（コード付きヘッドホンのみ）

▶ リモコンのスイッチ ① を押します。
サウンドのオン/オフが切り替わります。

メニュー/メニュー項目を選択したり、選択を確定する

▶ リモコンの ◀ ▶ ▶ ▲ ▼ スイッチを使用してメニュー/メニュー項目を選択し、OK スイッチを押して確定します。

CD/DVD ドライブおよび外部入力端子

① CD/DVD スロット
② 外部入力端子：右側（R）音声用（赤）
③ 外部入力端子：左側（L）音声用（白）
④ 外部入力端子：映像（V）用（黄色）
⑤ CD/DVD ディスク排出スイッチ

表示されている外部入力端子はドライブ外部入力端子です。 同じ端子が、後席用ディスプレイ（外部入力画面）の右側にあります(▷ 287 ページ)。

コードレスヘッドホン

概要

① 音量の調整
② ヘッドホンに対応するディスプレイの選択
③ 電池収納部カバー
④ コードレスヘッドホンのオン/オフの切り替え
⑤ 表示灯(▷ 291 ページ)

▶ ヘッドホンの両側を開き、ヘッドホンバンドを矢印の方向に引いてヘッドホンの装着感を調整します。

コードレスヘッドホンのオン/オフの切り替え

▶ ① スイッチを押す。

前回の状態に応じて、ヘッドホンはオンまたはオフになります。 電池を保護するため、オーディオ信号を約 3 分間受信しないと、ヘッドホンは自動的にオフになります。

ヘッドホンの音量を調整する

▶ 希望の音量に設定されるまで、音量ダイヤル ① をまわします。

ℹ コード式ヘッドホンを後席用ディスプレイに接続すると、リモコンを使用して音量を調整することができます(▷ 287 ページ)。

ヘッドホンに対応するディスプレイの選択

▶ スライドスイッチ ① を **L**（左側ディスプレイ）または **R**（右側ディスプレイ）に動かします。

表示灯の表示

表示灯の色は、ヘッドホンの電源のオン/オフを表し、電池の充電レベルを表示します。

LED ディスプレイ	状態
緑	電池は良好な状態にある。
赤	電池の残量がほとんどない。
連続点灯	ヘッドホンの電源がオンになっていて、ディスプレイに接続されている。

LED ディスプレイ	状態
点滅	ヘッドホンが接続するディスプレイを検索している。
消灯（黒）	ヘッドホンの電源がオフになっているか、または電池の残量がない。

追加のヘッドホンを接続する

左右それぞれのリアディスプレイに 1 個の追加コード付きヘッドホンを接続できます(▷ 287 ページ)。 端子は、3.5 mm ステレオジャックおよびインピーダンス 32 オームのヘッドホン用に設計されています。

電池の交換

注意

⚠ **警告**

電池には有毒な物質が含まれています。

電池を飲み込むと重大な危険にさらされることがあります。

電池は子供の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んでしまったときは、ただちに病院に行ってください。

リモコンおよび 2 組のコードレスヘッドホンには電池が必要です。 電池は交換することができます(▷ 292 ページ)。

環境保護に関する注意

使用済みの電池は環境保護の観点から責任を持って適切に廃棄してください。

リモコン

① 電池収納部
② ノブ
③ 電池収納部カバー
④ ツメ
⑤ 電池

リモコンには 2 個の単 4、1.5 V 電池が収納されています。

▶ **電池収納部を開く：** リモコン背面から電池収納部カバー ③ を取り外します。

▶ そうするために、固定つまみ ② を押し下げ、電池収納部カバー ③ を取り外します。

▶ トレーから放電した電池 ⑤ を取り外します。

▶ 新しい電池を差し込みます。 このとき、電池と電池収納部に記載されている極性に注意してください。
左側の電池：プラス（+）極が上方を向かなければなりません。
右側の電池：プラス （+）極が下方を向かなければなりません。

▶ **電池収納部を閉じる：** 最初に固定つまみ ④ から電池収納部カバー ③ を電

池収納部に挿入し、ノブ ② を固定します。

コードレスヘッドホン

① 電池収納部カバー

コードレスヘッドホンには 2 個の単 4、1.5 V の電池が収納されています。

▶ **電池収納部を開く：** 電池収納部カバー ① を上方に開きます。 電池が落ちないように、図のようにヘッドホンの左側を持ちます。

▶ 使用済みの電池を収納部から取り出します。

▶ 新しい電池を差し込みます。 このとき、電池と電池収納部に記載されている極性に注意してください。
左側の電池：プラス（+）極が上方を向かなければなりません。
右側の電池：プラス （+）極が下方を向かなければなりません。

▶ **電池収納部を閉じる：** 所定の位置に固定されるまで、電池収納部カバーを押し下げます。
電池が正しく取り付けられると、ヘッドホンの電源をオンにしたときに表示灯が緑色に点灯します。

ℹ 電池を取り付けたヘッドホンの操作時間は最大 40 時間です。

基本機能

ヘッドホンの使用

車載されているコードレスヘッドホンや後席用ディスプレイの対応する端子に接続しているコード付きヘッドホンを 2 セットまで使用することができます (▷ 287 ページ)。

情報：

• コードレスヘッドホンのオン/オフを切り替える
• ヘッドホンの音量を調整する
• ヘッドホンに対応するディスプレイを選択する

"コードレスヘッドホン" (▷ 290 ページ) にあります。

メインスピーカーの使用

この機能は COMAND システムとの併用により利用できます。

リアシートのディスクドライブに挿入したディスクを車両のスピーカーで聴くことができます。 このためには、少なくとも 1 つの後席用ディスプレイをディスクモードに設定する必要があります。

▶ **COMAND システムを使用しての設定：** 例えば、RADIO 機能スイッチを 1 度または 2 度押して、オーディオモードをオンにします。

▶ COMAND コントローラーをスライドして ↑◎ 、オーディオを選択し、押して ◎ 確定します。
オーディオメニューが表示されます。

▶ COMAND コントローラーをまわして ◎ 、後席を選択し、押して ◎ 確定します。

ℹ ヘッドホンの音量設定はメインスピーカーには影響を及ぼしません。

サウンドの設定の選択

音楽 CD/DVD/MP3、テレビ、DVD ビデオ、および外部入力モードでサウンド設定を選択できます。

▶ 任意のモード（例えば、音楽 CD モード）(▷ 296 ページ)にします。

▶ リモコンの ▼ ◀ ▶ スイッチを使用して Treble または Bass を選択し、OK スイッチを押して確定します。

調整スケールが表示されます。

▶ ▲ ▼ スイッチを使用して設定を選択し、OK スイッチを押して確定します。

マルチユーザー

後席ディスクドライブの同時使用

2 つの後席用ディスプレイは、片方からほぼ完全に独立して操作することができます。 しかし、2 つのディスプレイを同時に使用した場合には一部のメニューで不一致が起こることがあります。

後席のディスクドライブを両方のディスプレイで同時に使用する場合には、特定のメニューを選択したり、片方のディスプレイを設定することによっても、他方のディスプレイに影響を及ぼします。

以下の操作は両方のディスプレイに影響を与えます。

- 再生オプションの変更
- トラックの選択（トラックリストまたはフォルダから）
- 再生、一時停止、および停止操作
- 早送り/早戻し、またはスクロール
- DVD メニューの表示、およびメニュー操作
- 言語、サブタイトル、およびカメラアングルの設定
- インタラクティブ DVD コンテンツの呼び出し

以下の操作は 1 つのディスプレイにのみ影響を与えます。

- オーディオおよびビデオ操作、画質の調整
- 全画面表示とメニュー表示の切り替え

モード間の切り替え

任意のモード（例えば音楽 CD モード）を終了するときに、現在の設定は保存されます。 後にこのモードを再び呼び出す場合には、2 つの可能性があります。

- モードが他のディスプレイによって変更されている。
- モードは変更されていない。

最初のケースでは、他のディスプレイで設定されたモードが表示されます。

2 番目のケースでは、前回終了したモードがディスプレイに表示されます。

画質の設定

概要

テレビ、DVD ビデオおよび外部入力モードで画像設定を選択できます (▷ 315 ページ)。

明るさ、コントラスト、色合いを調整する

例：テレビモード

① 明るさ、コントラスト、および色合い
② 画面比率

▶ テレビモード(▷ 302 ページ)または DVD ビデオモード(▷ 307 ページ)にします。

▶ **メニューを表示する：** リモコンの Ⓞ スイッチを押します。

または

▶ ナビゲーションメニュー (▷ 261 ページ) が表示されているときに、メニューを選択し、Ⓞ スイッチを押して確定します。

▶ どちらの場合も、▼ ◀ ▶ スイッチを使用して、テレビ または DVD ビデオ を選択し、Ⓞ スイッチを押して確定します。

▶ ▲ ▼ スイッチを使用して明るさ、コントラスト、または色合いを選択し、Ⓞ スイッチを押して確定します。
調整スケールが表示されます。

▶ ▲ ▼ スイッチを使用して設定を選択し、Ⓞ スイッチを押して確定します。

画面形式を変更する

▶ **メニューを表示する：** リモコンの Ⓞ スイッチを押します。

または

▶ ナビゲーションメニュー (▷ 261 ページ) が表示されているときに、メニューを選択し、Ⓞ スイッチを押して確定します。

▶ ▼ ◀ ▶ スイッチを使用して、テレビ または DVD ビデオ を選択し、Ⓞ スイッチを押して確定します。
メニュー項目 16:9 表示、4:3 表示 または ワイドスクリーン の 1 つの前にあるドットは、現在選択されているフォーマットを示しています。

▶ ▲ ▼ スイッチを使用して画面比率を選択し、Ⓞ スイッチを押して確定します。

システムの設定

注意点

他方のディスプレイに影響を与えることなく、ほぼすべてのシステム設定をそれぞれのディスプレイで個別に調整できます。 リモコンを使用してこれらの設定を行ないます(▷ 287 ページ)。

表示言語を選択する

▶ リモコンの ▲ ◀ ▶ スイッチを使用してシステムを選択し、Ⓞ スイッチを押して確定します。
選択した後席用ディスプレイにシステムメニューが表示されます。

- ▼ スイッチを使用して、設定 を選択し、押して OK 確定します。
- ▲▼ スイッチを使用して言語/Language を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  言語の一覧が表示されます。 現在の設定に • が表示されます。
- ▲▼ スイッチを使用して言語を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  リアエンターテインメントシステムが選択した言語で作動します。

画面設定を切り替える

- ▼ スイッチを使用して、設定 を選択し、押して OK 確定します。
- ▲▼ スイッチを使用して昼画面設定、夜画面設定、またはオートを選択し、OK スイッチを押して確定します。
  ドット は現在の設定を示します。

設定	説明
昼画面設定	ディスプレイは常に昼デザインに設定されます。
夜画面設定	ディスプレイは常に夜デザインに設定されます。
オート	ディスプレイがメーターパネルの照明に応じて変わります。

明るさを設定する

- ▼ スイッチを使用して、設定 を選択し、押して OK 確定します。
- ▲▼ スイッチを使用して 明るさ を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  スケールが表示されます。
- ▲▼ スイッチを使用して明るさを調整し、OK スイッチを押して確定します。
  明るさを示すバーが上下に動きます。
  画面はスケールに従って明るく、または暗くなります。

画面を非表示/表示する

- **画面を非表示にする：** リモコンの ▼▶ スイッチを使用してシステムメニューから画面 OFF を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  画面が表示されなくなります。
- **画面を表示する：** OK スイッチを押します。

音楽 CD/DVD オーディオおよび MP3 モード

重要な安全上の注意

⚠ **警告**

CD/DVD ドライブはクラス 1 のレーザー製品です。 ケースは決して開けないようにしてください。 ケースを開けたり、またはケースが故障または損傷している場合には、目に見えないレーザー放射に晒されるおそれがあります。

リアエンターテインメントシステムには、お客様ご自身で修理できるような部品は含まれていません。 安全上の理由から、すべてのメンテナンス作業は必ずメルセ

デス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

全体的な注意事項

オーディオの章に、以下の項目に関する情報が記載されています。

- CD/DVD に関する注意(▷ 229 ページ)
- MP3 モードに関する注意(▷ 228 ページ)
- 著作権に関する注意(▷ 229 ページ)

CD/DVD を挿入する

① ディスクスロット

② ディスク排出スイッチ

車両モデルおよび装備のレベルによって、CD/DVD ドライブは以下にあります。

- 折りたたみ式小物入れのセンターコンソールの裏、または
- リアベンチシートの下、または
- 後席間の収納ボックスの中

CD/DVD ドライブは、シングルディスクドライブです。 すでにディスクが挿入されている場合は、別のディスクを挿入する前に取り出してください。

▶ ディスクをディスクスロットに挿入します。

ディスクの印刷されている面を上に向けてください。 どちらの面にも印刷されていない場合は、再生しようとする面を下に向けて挿入してください。

ディスクが CD/DVD ドライブに引き込まれます。

以下のときは、CD/DVD ドライブがディスクを再生します。

- ディスクが正しく挿入され、かつ再生可能なディスクであるとき
- ディスクモード（音楽 CD/DVD オーディオ/MP3 モード）(▷ 298 ページ) に切り替えた後

MP3 CD のデータは最初にドライブによる読み込みが必要になります。 フォルダおよびトラックの数によって、読み込みに時間がかかることがあります。

音楽 CD、DVD オーディオ、または MP3 モードに切り替える

例：音楽 CD モード

① データメディアの種類 CD

② トラック番号

③ トラック名表示（CD テキストとしてディスクに記録されている場合のみ）

④ 経過時間

⑤ 経過時間とトラックのグラフ表示

⑥ 現在の再生設定（“ノーマル”のときは表示なし）

⑦ 低音の調整

⑧ 高音の調整

⑨ ディスク名（CD テキストとしてディスクに記録されている場合）

⑩ トラックリストの呼び出し

⑪ 再生オプション

▶ CD/DVD を挿入します(▷ 297 ページ)。
挿入されたディスクをリアエンターテインメントシステムが読み込みます。

▶ リモコンの ▲ ◀ ▶ スイッチでメニューの ディスク を選択し、OK スイッチを押して確定します。
再生したいモードになります。 リアエンターテインメントシステムがディスクを再生します。

例：DVD オーディオモード

① データメディアの種類 DVD-A

② トラック番号

③ トラック名（ディスクに記録されている場合）

④ 経過時間

⑤ 経過時間とトラックのグラフ表示

⑥ 現在の再生設定（“ノーマル”のときは表示なし）

⑦ 低音の調整

⑧ 高音の調整

⑨ ディスク名（ディスクに記録されている場合）

⑩ トラックリストの呼び出し

⑪ 停止機能

⑫ 一時停止機能

⑬ 再生オプション

例：MP3 モード

① データメディアの種類 MP3

② トラック番号

③ トラック名表示
④ 経過時間
⑤ 経過時間とトラックのグラフ表示
⑥ 現在の再生設定（“ノーマル”のときは表示なし）
⑦ 低音の調整
⑧ 高音の調整
⑨ ディスク名または現在のフォルダ
⑩ フォルダリストの呼び出し
⑪ 再生オプション、トラック情報オン/オフの切り替え

ⓘ 可変ビットレートの MP3 ファイルでは、経過時間表示が実際の経過時間と異なることがあります。

トラックの選択

トラックをスキップして選択する

▶ **トラックを前方または後方にスキップする**：リモコンの ◀ または ▶ スイッチを押します。

または

▶ ⏮ または ⏭ スイッチを押します。
次へスキップ機能を使用すると、次のトラックにスキップします。
経過したトラック時間が 8 秒を過ぎると、機能はトラックの始めにスキップします。経過した時間が短い場合は、前のトラックの始めにスキップします。
再生オプションの ランダム または ランダム（フォルダ） が選択されている場合は、トラック順は順不同になります。

トラックリストにより選択する

音楽 CD モードでは、現在再生しているディスク内のすべてのトラックがトラックリストに含まれます。

DVD オーディオモードでは、現在選択しているグループ内のすべてのトラックがトラックリストに含まれます。“オーディオフォーマットを設定する”(▷ 226 ページ)をご覧ください。

MP3 モードでは、現在選択しているフォルダ内のすべてのトラック、および MP3 CD 内のすべてのトラックが選択できるようにフォルダ階層が表示されます。

▶ リモコンの ▼ ◀ ▶ スイッチを使用して、曲（音楽 CD/DVD オーディオモード）またはフォルダ（MP3 モード）を選択し、OK スイッチを押して確定します。

または

▶ 表示/選択ウインドウが作動しているときに、OK スイッチを押します。
トラックリストが表示されます。ドット ● は現在のトラックを示しています。

▶ ▲ ▼ スイッチを使用してトラックを選択し、OK スイッチを押して確定します。

トラック番号を直接入力して選択を行なう

▶ リモコンの ✱ スイッチを押します。
トラック入力画面が表示されます。

例：トラック 2

▶ 番号スイッチ **2** を押します。

例：トラック 12

▶ 対応するテンキーを素早く続けて押します。

▶ 入力後、約 3 秒間待ってください。
入力したトラックが再生されます。 その後に対応する基本メニューが表示されます。

ℹ CD に収録されているトラックの数、または現在選択されているフォルダにあるトラックの数を上回る番号の入力はできません。

早送り/早戻し

▶ 表示/選択ウインドウが選択されているときに、リモコンの ◀ または ▶ スイッチを、再生したい位置になるまで繰り返し押します。

または

▶ 希望の位置になるまで、⏮ または ⏭ スイッチを押して保持します。

フォルダを選択する

この操作は MP3 モードのときのみ有効です。

▶ リモコンの ▼ ◀ ▶ スイッチを使用して MP3 モードからフォルダを選択し、OK スイッチを押して確定します。

または

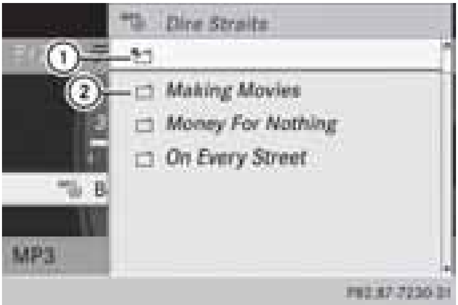
▶ 表示/選択ウインドウが作動しているときに、OK スイッチを押します。
フォルダの内容が表示されます。

① フォルダ選択アイコン

② 現在のフォルダ名

③ トラックマーク

▶ **上の階層のフォルダに切り替える：** リモコンの ▲ ▼ スイッチを使用して、マーク ① を選択し、OK スイッチを押して確定します。
画面に上位の階層のフォルダが表示されます。



① フォルダ選択アイコン

② フォルダマーク

▶ ▲ ▼ スイッチを使用してフォルダを選択し、OK スイッチを押して確定します。
フォルダ内のトラックが表示されます。

▶ ▲ ▼ スイッチを使用してトラックを選択し、OK スイッチを押して確定します。
トラックが再生されて、該当するフォルダが現在のフォルダになります。

一時停止機能

この操作は DVD オーディオモードのときのみ有効です。

▶ **再生を一時停止する：** リモコンの ▼ ◀ ▶ スイッチを使用して ▮▮ を選択し、OK スイッチを押して確定します。
▮▮ の表示が ▶ に変わります。

▶ **再生を続ける：** ▶ を選択し、OK スイッチを押して確定します。
▶ の表示が ▮▮ に変わります。

停止機能

この操作は DVD オーディオモードのときのみ有効です。

▶ **再生を中断する：** リモコンの ▼ ◀ ▶ スイッチを使用して ■ を選択し、OK スイッチを押して確定します。
▮▮ の表示が ▶ に変わります。

▶ **再生を続ける：** ▶ を選択し、OK スイッチを押して確定します。
中断された場所から再生が再開されます。

▶ **再生を停止する：** 再生が中断されている間に、■ を再び選択し、OK スイッチを押して確定します。
再生が中止され、DVD の最初に戻ります。 ▶ が強調されます。

▶ **再生を再開する：** ▶ を選択し、OK スイッチを押して確定します。
DVD の最初から再生が開始されます。

オーディオフォーマットを設定する

オーディオフォーマットに関するさらに詳しい情報は “オーディオ” (▷ 226 ページ)に記載されています。

▶ リモコンの ▼ ◀ ▶ スイッチを使用して、DVD オーディオ を選択し、押して OK 確定します。

▶ ▲ ▼ スイッチを使用してグループを選択し、OK スイッチを押して確定します。
利用可能なオーディオフォーマットのリストが表示されます。 ドット • は現在選択されているフォーマットを示しています。

▶ ▲ ▼ スイッチを使用してオーディオフォーマットを選択し、OK スイッチを押して確定します。

▶ **メニューを終了する：** ◀ または ▶ スイッチを押します。

再生オプション

再生オプションに関するさらに詳しい情報は “オーディオ” (▷ 227 ページ)に記載されています。

▶ リモコンの ▼ ◀ ▶ スイッチを使用して CD、DVD オーディオ、または MP3 を選択し、OK スイッチを押して確定します。
オプションリストが表示されます。 ドット • は現在選択されているオプションを示しています。

▶ ▲ ▼ スイッチを使用してノーマル、ランダム、またはランダム（フォルダ）を選択し、OK スイッチを押して確定します。
オプションがオンになります。 ノーマル以外のすべてのオプションは、表示/

選択ウインドウに該当する表示が表示されます。

ℹ 現在聞いているデータキャリアを切り替えると、ノーマル オプションが自動的に作動します。オプションが選択されていると、リアエンターテインメントシステムをオン/オフした後でも、選択されたままになります。

トラック情報のオン/オフを切り替える（MP3 モードのみ）

この機能を有効にすると、フォルダおよびトラック名が表示されます。

この機能を無効にすると、ディスクおよびファイル名が表示されます。

▶ リモコンの ▼ ◀ ▶ スイッチを使用して MP3 を選択し、OK スイッチを押して確定します。

▶ ▲ ▼ スイッチを使用して トラック情報表示 を選択し、OK スイッチを押して確定します。
前回の状態に応じて、この機能はオン ☑ またはオフ □ になります。

テレビモード

全般的な情報

チャンネルの受信品質に関するさらなる情報は、"COMAND システムのテレビモード" (▷ 259 ページ) にあります。

テレビモードへの切り替え

▶ リモコンの ▲ ◀ ▶ スイッチを使用して TV を選択し、OK スイッチを押して確定します。
受信可能な状態であれば、前回選択されたテレビチャンネルが表示されます。

コントロールメニューの表示/非表示

① 選択されたテレビチャンネルのプリセット位置
② 番組情報マーク
③ 選択されたテレビチャンネル
④ メニューの表示

▶ **表示する：** リモコンの ▲ または ▼ スイッチを押します。

▶ **非表示にする：** ▲ または ▼ スイッチを押します。

または

▶ 約 8 秒後に、メニューは自動的に非表示になります。

番組情報マーク

番組情報マークにより、番組の情報を知ることができます。

以下の表は、利用可能な番組情報マークのリストです（例）。

手	手話付き放送
デ	番組連動データ付き放送
S	ステレオ放送
二	二か国語放送
多	音声多重放送

解	解説あり放送
B	圧縮 B モードステレオ放送
N	ニュース放送
再	確認
新	新番組

上記以外のマークが表示されることがありますが、リアエンターテインメントシステムでは対応していません。

メニューの表示/非表示

① テレビメニュー項目の呼び出し
② チャンネルプリセットの呼び出し
③ 番組表
④ 文字放送
⑤ 高音の調整
⑥ 低音の調整

▶ **表示する：** リモコンの OK スイッチを押します。

または

▶ コントロールメニューが表示されている間にメニューを選択し、OK スイッチを押して確定します。

▶ **非表示にする：** ▲ スイッチを押して全画面表示を選択し、OK スイッチを押して確定します。

テレビ 1 とテレビ 2 の切り替え

▶ **メニューを表示する：** リモコンの OK スイッチを押します。

または

▶ コントロールメニューが表示されている間にメニューを選択し、OK スイッチを押して確定します。

▶ ◀ ▶ スイッチを使用して テレビ 1 または テレビ 2 を選択し、OK スイッチを押して確定します。
テレビメニューが表示されます。

▶ ▼ ▲ スイッチを使用して テレビ 1 または テレビ 2 を選択し、OK スイッチを押して確定します。
テレビ 1 または テレビ 2 になります。

ℹ 例えば、テレビ 1 には自宅周辺のよく視聴するチャンネルを記憶させます。そして、テレビ 2 には他地域を走行するときにその地域のチャンネルを記憶させるために使用します。

テレビチャンネルの選択

コントロールメニューを使用してチャンネルを選択する

- ▶ 表示/選択ウインドウがオンになっている間に、リモコンの ◀ または ▶ スイッチを押します。

または

- ▶ ⏮ または ⏭ スイッチを押します。
  アルファベット順のチャンネルリストから、前または次のチャンネルが選択されます。

プリセットにより放送局を選択する

- ▶ **メニューを表示する：** リモコンの OK スイッチを押します。

または

- ▶ コントロールメニューが表示されているときにメニューを選択し、OK スイッチを押して確定します。

例：放送局メモリー

- ▶ ▲ ▼ スイッチを使用してチャンネルを選択し、OK スイッチを押して確定します。

または

- ▶ テンキーを押します。

チャンネル番号を入力してチャンネルを選択する

オプション 1：

- ▶ ⁎ スイッチを押す。
  チャンネル番号の入力画面が表示されます。
- ▶ テンキーを使用してチャンネル番号を入力します。
  4 桁のチャンネル番号を入力すると、チャンネルが選択されます。
- ▶ **入力した数字を消去する：** ⮌ スイッチを押します。

オプション 2：

- ▶ ◀ ▶ スイッチを使用して テレビ 1 または テレビ 2 を選択し、OK スイッチを押して確定します。
- ▶ ▲ ▼ スイッチを使用してチャンネル入力 を選択し、押して OK 確定します。
  チャンネル番号の入力画面が表示されます。
- ▶ テンキーを使用してチャンネル番号を入力します。
  4 桁のチャンネル番号を入力すると、チャンネルが選択されます。
- ▶ **入力した数字を消去する：** ⮌ スイッチを押します。

ℹ 13 から 62 の範囲外の数字から始まるチャンネル番号を入力すると、チャンネルをお確かめください というメッセージが表示されます。

テレビチャンネルの記憶

手動でチャンネルを記憶させる

放送局を 10 局までプリセットできます。

- **メニューを表示する：** リモコンの OK スイッチを押すか、コントロールメニューが表示されている間に OK スイッチを押して、メニュー を確定します。
- ◀ ▶ スイッチを使用して プリセット を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  放送局プリセットメモリーが表示されます。 現在選択しているプリセット済みのチャンネルに、ドット • が表示されます。
- **チャンネルを記憶する：** ▲ ▼ スイッチを使用してプリセットを選択し、OK スイッチを確認音が鳴るまで押して保持します。

または

- 音が聞こえるまでテンキーを押して保持します。
  そしてテレビ画面が再び表示されます。

自動的に放送局を記憶する

COMAND システムは日本の ARIB (Association of Radio Industries and Businesses：社団法人電波産業会) 規格に従って、十分な受信状態にあるすべてのチャンネルを自動的に記憶します。 これは受信可能なチャンネルが受信品質の順に記憶されないことを意味します。 たとえば東京では、プリセット 10 のような空いているプリセットがあることがあります。 以前メモリーに記憶された（自動または手動でも）いかなるチャンネルも失われます。

- **メニューを表示する：** リモコンの OK スイッチを押すか、コントロールメニューが表示されている間に OK スイッチを押して、メニュー を確定します。
- ◀ ▶ スイッチを使用して プリセット を選択し、OK スイッチを押して確定します。
- オートプリセット を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  リアエンターテインメントシステムが受信可能なチャンネルを探します。 受信可能な放送局は自動的にプリセット位置に記憶されます。

番組表を表示する

- **メニューを表示する：** リモコンの OK スイッチを押すか、コントロールメニューが表示されている間に OK スイッチを押して、メニュー を確定します。
- ◀ ▶ スイッチを使用して 番組表 を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  放送時間と番組名、番組情報マークが表示されます。
- ▲ ▼ スイッチを使用して視聴したい番組を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  選択した番組の内容が表示されます。

文字放送

文字放送のオンとオフを切り替える

▶ **メニューを表示する：** リモコンの OK スイッチを押します。

または

▶ コントロールメニューが表示されているときにメニューを選択し、OK スイッチを押して確定します。

▶ **オンにする：** ◀ ▶ スイッチを使用して 文字放送 を選択し、OK スイッチを押して確定します。
最初の文字放送のページが表示されます。

▶ **オフにする：** リターンスイッチ ↩ を押します。

文字放送のページを選択する

▶ **ページを直接選択する：** ページに対応するリモコンのテンキーを押します。

▶ **前/次のページを呼び出す：** ▲ または ▼ スイッチを押します。

ℹ 100 から 899 の間の文字放送で可能なページのみを入力できます。

テロップ放送ページ

テロップ放送ページは複数のサブページから構成されています。 一定の時間が経過すると表示が自動的に切り替わります。

データの受信を設定する

全般的な情報

ℹ 番組や電波状況によっては、データ放送を受信できない場合があります。

ℹ リアエンターテインメントシステムのテレビチューナーは日本語のワンセグ規格の受信をサポートしていません。
リアエンターテインメントシステムのテレビ機能は、双方向データサービスをサポートしていません。

データ放送受信地域の設定

それぞれの地域に合わせたデータ放送を受信するための設定を行ないます。

▶ **メニューを表示する：** リモコンの OK スイッチを押します。

または

▶ コントロールメニューが表示されている間にメニューを選択し、OK スイッチを押して確定します。

▶ ◀ ▶ スイッチを使用して テレビ 1 または テレビ 2 を選択し、OK スイッチを押して確定します。
テレビメニューが表示されます。

▶ スイッチ ▼ ▲ を使用して、県別を選択し、OK スイッチを押して確定します。

▶ ▼ ▲ スイッチを使用してデータ放送を受信する都道府県を選択し、OK スイッチを押して確定します。
ドット ● は現在選択されている都道府県を示しています。

ℹ 他地域のテレビチャンネルの番組を視聴しているときでも、データ放送で表示される天気予報はあらかじめ設定した放送地域の天気予報が表示されます。

データ放送の受信に切り替える

P82.87-7359-31

▶ **メニューを表示する：** リモコンの ⓞⓚ スイッチを押します。

または

▶ コントロールメニューが表示されている間にメニューを選択し、ⓞⓚ スイッチを押して確定します。

▶ ◀ ▶ スイッチを使用して、d マークを選択し、押して ⓞⓚ 確定します。
データが表示されます。
現在作動しているチャンネルからデータが受信できないときは、d マークは灰色で表示され選択できません。

ⓘ 受信データを表示するには時間がかかることがあります。

ⓘ データ放送の内容およびメニューはチャンネルにより異なります。

データ放送のメニュー項目を選択する

▶ ▼ ▲ ◀ ▶ スイッチを押して希望の項目を選択し、ⓞⓚ スイッチを押して確定します。

▶ **色を選択する：** ◀ ▶ スイッチを押して、赤、緑、黄 または 青 を選択し、ⓞⓚ で確定します。.
選択した色の項目が表示されます。

▶ **前の画面に戻る：** ⮌ スイッチを押します。

データ受信を終了してテレビモードに戻る

▶ ⮌ スイッチを押して保持します。

音声チャンネル設定を表示する

▶ **メニューを表示する：** リモコンの ⓞⓚ スイッチを押します。

または

▶ コントロールメニューが表示されている間にメニューを選択し、ⓞⓚ スイッチを押して確定します。

▶ ◀ ▶ スイッチを使用して テレビ 1 または テレビ 2 を選択し、ⓞⓚ スイッチを押して確定します。

▶ ▼ ▲ スイッチを使用して、主音声 または 副音声 を選択し、ⓞⓚ スイッチを押して確定します。

▶ 現在選択している言語に、ドット • が表示されます。

DVD ビデオモード

重要な安全上の注意

⚠ **警告**

CD/DVD ドライブはクラス 1 のレーザー製品です。 ケースは決して開けないようにしてください。 ケースを開けたり、またはケースが故障または損傷している場合には、目に見えないレーザー放射に晒されるおそれがあります。

リアエンターテインメントシステムには、お客様ご自身で修理できるような部品は含まれていません。 安全上の理由から、すべてのメンテナンス作業は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

全体的な注意事項

DVD の再生条件

コピーされたディスクを再生する場合は、再生の問題に直面することがあります。 多くの種類のディスク、DVD オーサリングソフト、ライティングソフト、ライターが利用できます。 お客様ご自身でコピーした DVD ビデオをリアエンターテインメントシステムで再生できることを保証するという意味ではありません。

さらなる情報はビデオ (▷ 274 ページ) にあります。COMAND システムに関する情報はリアエンターテインメントシステムにも適用されます。

機能の制限

DVD によっては、この項の一部の機能や動作が一時的に制限されたり、まったく作動しない場合があります。 これらの機能や操作を実行しようとすると、画面に ⊘ マークが表示されます。

DVD ビデオモードへの切り替え

▶ DVD ビデオを挿入します(▷ 297 ページ)。
リアエンターテインメントシステムがディスクを読み込みます。
前回選択されていたモードがディスクモードであれば、ディスクモードが起動します。
そうでなければ、以下の説明に記載されているように DVD ビデオモードをオンにしてください。

▶ リモコンの ▲ ◀ ▶ スイッチでメニューの ディスク を選択し、OK スイッチを押して確定します。
DVD ビデオが再生基準を満たす場合、映画が自動的に始まったり、DVD に保存されているメニューが表示されます。 DVD メニューが表示された場合は、手動で映画を再生させます。

▶ DVD メニューの中の対応するメニュー項目を選択します。

ナビゲーションメニューの表示/非表示

ナビゲーションメニュー
① データメディアの種類
② 現在のトラック
③ 現在のシーン
④ 経過時間
⑤ メニューの表示

▶ **表示する：** リモコンの ▲ または ▼ スイッチを押します。

▶ **非表示にする：** ▲ または ▼ スイッチを押します。

または

▶ 約 8 秒待ちます。

メニューの表示/非表示

メニューシステム
① DVD ビデオオプション
② 一時停止機能
③ 停止機能
④ 高音の調整
⑤ 低音の調整

- **表示する：** リモコンの OK スイッチを押します。

または

- ナビゲーションメニューが表示されている間にメニュー を選択して、OK スイッチを押して確定します。
- **非表示にする：** ▲ スイッチを押して全画面表示を選択し、OK スイッチを押して確定します。

早送り/早戻し

- 好みの位置になるまでリモコンの ⏮ または ⏭ スイッチを押して保持します。
  情報メニューが表示されます。

一時停止機能

- **メニューを表示する：** リモコンの OK スイッチを押します。

または

- ナビゲーションメニューが表示されている間にメニュー を選択して、OK スイッチを押して確定します。
- **再生を一時停止する：** II を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  II の表示が ▶ に変わります。
- **再生を続ける：** ▶ を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  メニューが消えます。

停止機能

- **メニューを表示する：** リモコンの OK スイッチを押します。

または

- ナビゲーションメニューが表示されている間にメニュー を選択して、OK スイッチを押して確定します。
- **再生を中断する：** ■ を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  II の表示が ▶ に変わります。ビデオ映像が消えます。
- **再生を続ける：** ▶ を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  中断された場所から再生が再開されます。メニューが消えます。
- **再生を停止する：** 再生が中断されている間に、■ を再び選択し、OK スイッチを押して確定します。
  再生が中止され、DVD の最初に戻ります。▶ が強調されます。

- **再生を再開する：** ▶ を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  DVD の最初から再生が開始されます。

シーン/チャプターの選択

全体的な注意事項

ビデオ DVD モードの情報を遵守してください(▷ 276 ページ)。

前または後ろにスキップする

- リモコンの ◀ または ▶ スイッチを押します。

または

- ⏮ または ⏭ スイッチを押します。
  ナビゲーションメニュー(▷ 275 ページ)が約 8 秒間表示されます。

シーン/チャプターを直接選択する

例としてシーン/チャプター 5 の選択方法を示します。

- **オプション 1：** 映画を再生している間に、リモコンの ✳ スイッチを押します。
- **5** のように対応するテンキーを押します。

- **オプション 2：** 映画を再生している間に、リモコンの OK スイッチを押してメニューを表示します。
- DVD ビデオ を選択して、OK スイッチを押して確定します。
- DVD 設定 を選択して、OK スイッチを押して確定します。
- シーンサーチ を選択して、OK スイッチを押して確定します。
- ▲ または ▼ スイッチを使用して 5 を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  どちらの場合も、しばらく停止した後に 5 番目のシーン/チャプターから再生が始まります。

映像/タイトルの選択

オプション 1：

- リモコンの OK スイッチを押してメニューを表示します。
- DVD ビデオ を選択して、リモコンの OK スイッチを押して確定します。

- DVD 設定 を選択して、OK スイッチを押して確定します。
- タイトルサーチ を選択して、OK スイッチを押して確定します。
- **選択リストを呼び出す：** OK スイッチを押します。
- 映像/トラックを選択します。

オプション 2：

例：映像 2 を選択する

- スイッチ **2** を押します。
  しばらく停止した後に、2 番目の映像が再生されます。

DVD メニュー

DVD メニューを呼び出す

DVD メニューは DVD 本体に記録されているメニューです。 このメニューは、個々の DVD によってさまざまな方法で構成されていて、特定の動作や設定を行なうことができます。

例えば、マルチランゲージ DVD の場合、DVD メニューで DVD の言語を変更することができます。

- ▶ リモコンの OK スイッチを押してメニューを表示します。
- ▶ DVD ビデオ を選択して、リモコンの OK スイッチを押して確定します。
- ▶ DVD 設定 を選択して、OK スイッチを押して確定します。
- ▶ メニュー を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  DVD メニューが表示されます。

DVD メニューでメニュー項目を選択する

- ▶ リモコンの ▲ ▼ ◀ ▶ スイッチを使用してメニュー項目を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  メニューが表示されます。
- ▶ OK スイッチを押して選択を確定します。
  リアエンターテインメントシステムが動作を実行するか、またはサブメニューを表示します。
- ▶ 利用可能であれば、さらにオプションが選択できます。
  リアエンターテインメントシステムが DVD メニューに戻ります。

ℹ 選択できないメニュー項目は灰色で表示されます。

ℹ DVD によっては、ビデオに戻る、プレイ、ストップ、⏮、⏭ または 上へ のメニュー項目がまったく機能しなかったり、DVD メニューの特定の箇所で機能しないことがあります。 そのことを示すために、画面に ⃠ マークが表示されます。

映像を停止する、またはシーンの最初または最後にスキップする

- ▶ DVD メニューから任意のメニュー項目を選択します。
  メニューが表示されます。
- ▶ **映像を停止する：** メニュー項目のストップ を選択し、リモコンの OK スイッチを押して確定します。
- ▶ **シーンの終わりにスキップする：** メニュー項目の⏭ を選択し、OK スイッチを押して確定します。
- ▶ **シーンの始めにスキップする：** メニュー項目の ⏮ を選択し、OK スイッチを押して確定します。

DVD メニューの 1 つ上の階層に移動する

▶ DVD メニューを表示します 。
▶ リモコンのリターンスイッチ [↩] を押すか、DVD メニューで対応するメニュー項目を選択します。

または

▶ DVD メニューの中の任意のメニュー項目を選択し、COMAND コントローラーを押して ⊛ 確定します。
▶ 上へを選択し、押して ⊛ 確定します。

映像に戻る

▶ 映像が再開されるまで、リターンスイッチ [↩] を繰り返し押します。

または

▶ DVD メニューの任意のメニュー項目を選択し、押して OK 確定します。
▶ メニュー項目のビデオに戻る を選択して、OK スイッチを押して確定します。

オーディオフォーマットを設定する

この機能は、すべての DVD で利用できないことがあります。 利用可能であれば、音声言語やオーディオフォーマットを設定できます。 設定数は、DVD のコンテンツによります。 DVD メニューから設定にアクセスすることも可能です。

▶ リモコンの OK スイッチを押してメニューを表示します。
▶ DVD ビデオ を選択して、リモコンの OK スイッチを押して確定します。
▶ DVD 設定 を選択して、OK スイッチを押して確定します。
▶ 音声言語 を選択して、OK スイッチを押して確定します。
しばらくするとメニューが表示されます。 項目の前にあるドット ● は現在選択されている言語を示しています。
▶ [▲][▼] スイッチを使用して言語を選択し、OK スイッチを押して確定します。
▶ **メニューを終了する：** [◀] または [▶] スイッチを押します。

字幕とカメラアングル

この機能は、すべての DVD で利用できないことがあります。 利用可能な字幕言語およびカメラアングルの数は、DVD のコンテンツによります。 DVD メニューから設定にアクセスすることも可能です。

▶ リモコンの OK スイッチを押してメニューを表示します。
▶ DVD ビデオ を選択して、リモコンの OK スイッチを押して確定します。
▶ DVD 設定 を選択して、OK スイッチを押して確定します。
▶ サブタイトル または カメラアングル を選択して、OK スイッチを押して確定します。
どちらの場合にも、数秒後にメニューが表示されます。 項目の前にあるドット ● は現在の設定を示しています。
▶ [▲][▼] スイッチを使用して設定を選択し、OK スイッチを押して確定します。
▶ **メニューを終了する：** [◀] または [▶] スイッチを押します。

インタラクティブコンテンツ

DVD によっては、インタラクティブコンテンツ (例：ビデオゲーム) が収録されていることがあります。 ビデオゲームでは、アクションを選択または開始することによってイベントに影響を与えることができます。 アクションの種類と数は DVD によって異なります。

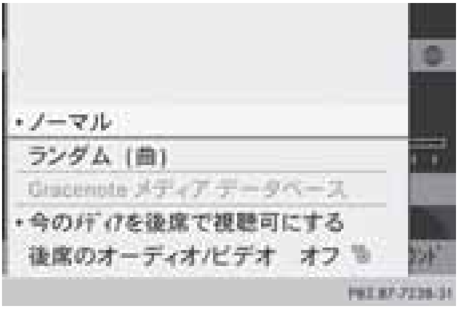
- リモコンの ▲ ▶ ▼ ◀ スイッチを使用してアクションを選択し、OK スイッチを押して実行します。
  メニューが表示され、最初の項目選択が強調されます。
- OK スイッチを押す。

COMAND システムのソースモードの作動

COMAND システムで機能のオン/オフを切り替える

COMAND システムで選択されているオーディオまたはビデオソースをリアエンターテインメントシステムに送信することができます。その後に COMAND システムでモードを切り替えると、新しいメディアはリアエンターテインメントシステムには送信されません。

- **COMAND システムで機能をオンにする：** COMAND システムで CD モード (▷ 219 ページ) のような希望のオーディオモードに切り替えるか、または DVD ビデオモード (▷ 275 ページ)でメニューを表示します。
- COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳ 、例えば音楽 CD モードであれば CD などの、左下にあるメニュー項目を選択して、押して ◎ 確定します。



- 現在のメディアを後席で視聴可にする を選択して、押して ◎ 確定します。

ステータスバーに、ヘッドホンのマークとオンにしたソースの CD マークが表示されます。

- **COMAND システムで機能をオフにする：** COMAND システムで希望のオーディオモードに切り替えるか、または DVD ビデオモードでメニューを表示させます。
- COMAND コントローラーをスライドしてから ◎↓、まわして ⟲◎⟳ 、例えば音楽 CD モードであれば CD などの、左下にあるメニュー項目を選択して、押して ◎ 確定します。
- 後席のオーディオ / ビデオ オフ CD を選択して、COMAND コントローラーを押して ◎ 確定します。

後席用ディスプレイで COMAND システムのメディアを選択する

COMAND システムのメディアを読み込む

▶ リモコンの [▲][◀][▶] スイッチを使用して、COMAND システム を選択し、押して ⓞⓚ 確定します。

COMAND システムで選択したオーディオまたはビデオソースがリアエンターテインメントシステムで読み込まれます。

読み込み処理が完了すると、オーディオまたはビデオソースがリアエンターテインメントシステムに設定されます。

後席のオーディオ/ビデオ　オフ が COMAND システムで作動しているときは、COMAND システム オフ または COMAND システムで再生されているソースがありません。 というメッセージが表示されます。

音楽 CD モード

例：CD モード

▶ **トラックをスキップしてトラックを選択する：** リモコンの [◀] または [▶] スイッチを押します。

または

▶ [⏮] または [⏭] スイッチを押します。

次へスキップ機能を使用すると、次のトラックにスキップします。

後方にスキップ操作をすると、現在のトラックの先頭から再生を始めます (再生を開始してから 8 秒以上経過している場合)。現在のトラックを再生してから 8 秒以内の場合は、前のトラックにスキップします。

追加設定オプション：

- サウンドの設定の選択(▷ 294 ページ)

DVD オーディオモード

例：DVD オーディオモード

▶ **次/前のグループにスキップする：** リモコンの ▼ スイッチを押します。

▶ ◀ または ▶ または « または » スイッチで強調して、押して OK 確定します。

追加設定オプション：

- サウンドの設定の選択(▷ 294 ページ)

ℹ グループの情報は"オーディオフォーマットを設定する" (▷ 226 ページ) にあります。

MP3 モード

例：MP3 モード

▶ **トラックをスキップしてトラックを選択する：** リモコンの ◀ または ▶ スイッチを押します。

または

▶ ⏮ または ⏭ スイッチを押します。

次へスキップ機能を使用すると、次のトラックにスキップします。

後方にスキップ操作をすると、現在のトラックの先頭から再生を始めます(再生を開始してから 8 秒以上経過している場合)。現在のトラックを再生してから 8 秒以内の場合は、前のトラックにスキップします。

▶ **フォルダーを選択する：** リモコンの ▼ スイッチを押します。

▶ ◀ または ▶ スイッチで 2 つのフォルダーマークの 1 つを強調し、押して OK 確定します。

選択によって、前または次のフォルダーが選択され、はじめのトラックが再生されます。

追加設定オプション：

- サウンドの設定の選択(▷ 294 ページ)

DVD ビデオモード

例：DVD ビデオモード

▶ **メニューを非表示にする：** OK スイッチで メニュー を確定します。

ビデオ映像が全画面モードで再生されます。

追加設定オプション：

- 明るさ、コントラストおよびカラーの設定(▷ 295 ページ)
- 画面形式の変更(▷ 295 ページ)
- サウンドの設定の選択(▷ 294 ページ)

外部入力モード

概要

1 つの外部ビデオソースをリアエンターテインメントシステム (外部画面) のそれぞれの画面に、また 1 つの外部ビデオソースを後席のドライブ（外部ドライ

ブ）に、サウンドとビデオ信号で接続できます。

外部映像機器の操作方法は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

外部映像機器の詳細については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

外部入力機器を接続する

ドライブ外部入力端子

ドライブ外部入力端子は CD/DVD 排出スイッチの右横の CD/DVD ドライブにあります(▷ 289 ページ)。

外部画面

ディスプレイ外部入力端子は画面の横にあります(▷ 287 ページ)。

オーディオおよびビデオの接続

- 左右の音声プラグを、それぞれに対応する **L** と **R** の端子に差し込みます。
- 映像プラグを **V** 端子に差し込みます。

外部入力モードに切り替える

ドライブ外部入力端子

- リモコンのスイッチ ▲ ◀ ▶ を使用して、メニューで外部入力を選択し、OK スイッチを押して確定します。
  外部入力メニューが表示されます。

外部入力メニュー

- 外部入力メニューからメディアを選択して、OK スイッチを押して確定します。
- 外部ディスクドライブ を選択して、OK スイッチを押して確定します。
  外部映像機器を CD/DVD ドライブに接続して再生すると、外部映像機器の映像を視聴できます。 接続した外部入力機器から映像が視聴できない場合は、オーディオメニューをご覧ください。

外部画面

- "**L** REAR" (左側画面) または "REAR **R**" (右側画面) がウインドウで強調されるまで、リモコン (▷ 288 ページ) のダイアルを使用して画面を選択します。
- リモコンのスイッチ ▲ ◀ ▶ を使用して、メニューで外部入力を選択し、OK スイッチを押して確定します。
- 外部入力メニューからメディアを選択して、OK スイッチを押して確定します。
- ディスプレイ接続機器を選択して、OK スイッチを押して確定します。
  再生操作をすると、映像機器の映像を視聴できます。 接続した外部入力機器から映像が視聴できない場合は、オーディオメニューをご覧ください。

高音と低音を調整する

▶ 外部入力メニューで Treble または Bass を選択し、リモコンの ⓞⓚ スイッチを押して確定します。
調整スケールが表示されます。

▶ ▲ または ▼ スイッチを使用して選択し、ⓞⓚ スイッチを押して確定します。

明るさ、コントラスト、色合いを調整する

▶ 外部入力メニューで ディスプレイ接続機器 または プレーヤー接続機器 を選択し、ⓞⓚ スイッチを押して確定します。

▶ 明るさ、コントラスト、または色合いを選択して、ⓞⓚ スイッチを押して確定します。
調整スケールが表示されます。

▶ ▲ または ▼ スイッチを使用して選択し、ⓞⓚ スイッチを押して確定します。

画面形式を変更する

▶ 外部入力メニューで ディスプレイ接続機器 または プレーヤー接続機器 を選択し、ⓞⓚ スイッチを押して確定します。

▶ ▲▼ スイッチを使用して 16：9 表示、4：3 表示、またはワイドスクリーンを選択し、ⓞⓚ スイッチを押して確定します。
メニュー項目の前のドットは現在の設定を示します。

発行物の詳細

インターネット

メルセデス・ベンツ車や Daimler AG についての詳細情報については、以下のウェブサイトに記載されています。

http://www.mercedes-benz.co.jp

http://www.daimler.com

編集オフィス

Daimler AG の書面による許可なく、本書のすべてまたは一部を複写、翻訳または複製することはできません。

編集終了 24.10.2011

1725842881

Order no. 6515 6946 20 Part no. 172 584 28 81 Edition ÄJ 2012-1a